

官報 號外

大正九年七月二十八日

水曜日

印刷局

第四十三回 衆議院議事速記録第十九號

大正九年七月二十七日(火曜日)午前十時十四分開議

議事日程 第十八號 大正九年七月二十七日

午前十時開議

質問

一 特別市制制定ニ關スル質問(森下龜太郎君提出)

二 不當解散外八項ニ關スル再質問(小橋漢三君提出)

三 明治會館ニ於ケル警察官ノ職權濫用ニ關スル質問(橫山勝太郎君提出)

四 外交ニ關スル再質問(中野正剛君提出)

五 官紀紊亂ニ關スル質問(田中萬逸君提出)

六 海面埋立ニ關スル質問(高木正年君外一名提出)

七 府縣立病院ノ改善及公立病院ト醫師會トノ協調ニ關スル質問(山田永俊君提出)

第一 決議案(小川平吉君提出) (前回ノ續)

第二 刑事訴訟法中改正法律案(藤田代君提出)

第三 軌道條例中改正法律案(高見之通君外二名提出)

第四 決議案(古島一雄君外五名提出)

第五 貴生川ノ加茂間輕便鐵道敷設速成ニ關スル建議案(西村伊亮君外四名提出)

第六 思想問題臨時審議會設置ニ關スル建議案(星島二郎君提出)

第七 小松島港改良ニ關スル建議案(原田佐之治君外三名提出)

第八 朝鮮ノ石炭需給ニ關スル建議案(阪上貞信君外一名提出)

第九 高松港擴張工事國庫補助ニ關スル建議案(田中定吉君外一名提出)

第十 恩給其ノ他ノ恩典ニ雇員在職年數通算ニ關スル建議案(鳩山一郎君提出)

第十一 監獄醫、教誨師、教師、警察醫等及是等ニ準スヘキ者ノ優遇法制定ニ關スル建議案(林亮君外二名提出)

第十二 不具病弱兒童ノ教育振興ニ關スル建議案(河上哲太郎君外三名提出)

第十三 貧困兒童就學保護ニ關スル建議案(河上哲太郎君外三名提出)

第十四 葉煙草罹災補償ニ關スル建議案(林亮君外四名提出)

第十五 國都鐵道建設ニ關スル建議案(日野辰次君外三名提出)

第十六 隈森宇鐵道建設ニ關スル建議案(二宮房治郎君外二名提出)

第十七 延松鐵道建設ニ關スル建議案(上塚司君外三名提出)

第十八 日南東部鐵道建設ニ關スル建議案(長峰與一君外三名提出)

第十九 南日隅鐵道建設ニ關スル建議案(津崎尚武君外三名提出)

第二十 官幣大社出雲大社境内擴張費國庫補助ニ關スル建議案(原夫次郎君提出)

第二十一 敦賀港擴張ニ關スル建議案(河崎清君外七名提出)

第二十二 島根縣斐伊川治水工事速成ニ關スル建議案(原夫次郎君外五名提出)

第二十三 勢和鐵道速成ニ關スル建議案(津野田是重君外十名提出)

第二十四 五條新宮間鐵道建設ニ關スル建議案(玉置良直君外五名提出)

第二十五 遠信鐵道速成ニ關スル建議案(北井波治目君提出)

第二十六 信越東線鐵道速成ニ關スル建議案(丸山巖峨二郎君外一名提出)

第二十七 福山三次間輕便鐵道速成ニ關スル建議案(永屋茂君外三名提出)

第二十八 勝倉鐵道速成ニ關スル建議案(福井三郎君外四名提出)

第二十九 姫津鐵道速成ニ關スル建議案(福井三郎君外六名提出)

第三十 因美鐵道支線敷設ニ關スル建議案(清瀨規矩雄君外二名提出)

第三十一 四國循環鐵道完成ニ關スル建議案(原田佐之治君外十九名提出)

第三十二 阿豫鐵道池田、川之江線敷設ニ關スル建議案(原田佐之治君外七名提出)

第三十三 四國縱貫鐵道琴平、池田、山田間線工事速成ニ關スル建議案(原田佐之治君外二十名提出)

第三十四 松山、高知間縱貫鐵道速成ニ關スル建議案(高山長幸君外十名提出)

第三十五 帝國在鄉軍人會國庫補助ニ關スル建議案(八田宗吉君外二名提出)

第三十六 (特別報告第十九號) 名改稱許可法制定ノ請願

第三十七 (特別報告第二十號) 物部神社昇格ノ請願

第三十八 (特別報告第二十一號) 社寺境内地無償交付ニ關スル法律制定ノ請願

第三十九 (特別報告第二十三號) 仙臺市上水道工事費增加ニ依ル國庫補助ノ請願

第四十 (特別報告第二十四號) 橫須賀市上水道工事費增加ニ依ル國庫補助ノ請願

第四十一 (特別報告第二十五號) 福岡市上水道工事費增加ニ依ル國庫補助ノ請願

第四十二 (特別報告第二十六號) 鹿兒島市上水道工事費增加ニ依ル國庫補助ノ請願

官報號外

大正九年七月二十八日(三月三十一日第三種郵便物認可)

衆議院議事速記録第十九號

第四十三

(特別報告第二十七號)山形市上水道工事費増加ニ依ル國庫補助ノ請願 (委員長報告)

第四十四

(特別報告第二十八號)水道敷設費國庫補助ノ請願 (委員長報告)

第四十五

(特別報告第二十九號)長崎市上水道増設工事費増加ニ依ル國庫補助ノ請願 (委員長報告)

第四十六

(特別報告第三十號)熊本市上水道工事費増加ニ依ル國庫補助ノ請願 (委員長報告)

第四十七

(特別報告第三十一號)東京市上水道増設工事費増加ニ依ル國庫補助ノ請願 (委員長報告)

第四十八

(特別報告第三十二號)奈良市上水道工事費増加ニ依ル國庫補助ノ請願 (委員長報告)

第四十九

(特別報告第三十五號)巡查看守退隱料法改正ノ請願 (委員長報告)

第五十

(特別報告第三十七號)香形港修築ノ請願 (委員長報告)

第五十一

(特別報告第三十八號)紋別港修築ノ請願 (委員長報告)

第五十二

(特別報告第四十一號)未成年者飲酒取締法制定ノ請願 (委員長報告)

第五十三

(特別報告第四十二號)日本住血吸蟲病豫防撲滅事業費國庫補助ノ請願 (委員長報告)

第五十四

(特別報告第四十三號)湯本温泉保護ノ請願 (委員長報告)

第五十五

(特別報告第四十四號)マツサデ街營業許可ノ請願 (委員長報告)

第五十六

(特別報告第四十八號)傷病兵優遇ノ請願 (委員長報告)

第五十七

(特別報告第四十九號)調布町ニ登記所新設ノ請願 (委員長報告)

第五十八

(特別報告第五十號)田川郡内ニ區裁判所設置ノ請願 (委員長報告)

第五十九

(特別報告第五十一號)小清水村清水市街地ニ登記所設置ノ請願 (委員長報告)

第六十

(特別報告第五十二號)浦幌村ニ登記所設置ノ請願 (委員長報告)

第六十一

(特別報告第五十三號)淨法寺村ニ登記所新設ノ請願 (委員長報告)

第六十二

(特別報告第五十四號)吉田村ニ登記所新設ノ請願 (委員長報告)

第六十三

(特別報告第五十五號)斜里ニ網走區裁判所出張所新設ノ請願 (委員長報告)

第六十四

(特別報告第五十六號)寺院並佛堂財產管理ニ關スル法律制定ノ請願 (委員長報告)

第六十五

(特別報告第五十八號)染料工業保護ノ請願 (委員長報告)

第六十六

(特別報告第五十九號)森林火災保險官營ノ請願 (委員長報告)

第六十七

(特別報告第六十號)八海山拂下ノ請願 (委員長報告)

第六十八

(特別報告第六十一號)三條貯木所撤廢ノ請願 (委員長報告)

第六十九

(特別報告第六十二號)氷見漁港修築ノ請願 (委員長報告)

第七十

(特別報告第六十五號)上士幌ルベシノ間鐵道(石勝線)速成ノ請願 (委員長報告)

第七十一

(特別報告第六十六號)帶廣苦小牧間鐵道(日勝線)速成ノ請願 (委員長報告)

第七十二

(特別報告第六十八號)五所川原小泊間鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)

第七十三

(特別報告第六十九號)梨ヶ原信號所ヲ貨物取扱所若ハ停車場ニ變更ノ請願 (委員長報告)

第七十四

(特別報告第七十號)網走釧路間鐵道海岸線變更ノ請願 (委員長報告)

第七十五

(特別報告第七十一號)一戸荒屋間鐵道敷設速成ノ請願 (委員長報告)

第七十六

(特別報告第七十三號)紋別中湧別間鐵道(名寄線)ヲ紋別下湧別間ニ變更ノ請願 (委員長報告)

第七十七

(特別報告第七十四號)孝道復興ニ關スル請願 (委員長報告)

第七十八

(特別報告第七十五號)南北兩極探險調査ニ要スル經費ノ下附並飛行機及船舶貸與ノ請願 (委員長報告)

第七十九

(特別報告第七十六號)小墾田神社創立ノ請願 (委員長報告)

第八十

(特別報告第七十九號)陽曆曆行ノ請願 (委員長報告)

第八十一

(特別報告第八十號)御省像新聞雜誌ニ奉掲方取締ノ請願 (委員長報告)

第八十二

(特別報告第八十一號)濱田港築港ノ請願 (委員長報告)

第八十三

(特別報告第八十二號)多摩川改修費水源涵養費國庫支辨ノ請願 (委員長報告)

第八十四

(特別報告第八十三號)膽澤川河身改修ノ請願 (委員長報告)

第八十五

(特別報告第八十四號)大島港擴張ノ請願 (委員長報告)

第八十六

(特別報告第八十五號)木曾川架橋ノ請願 (委員長報告)

第八十七

(特別報告第八十六號)函館上水道工事費増加ニ依ル國庫補助ノ請願 (委員長報告)

第八十八

(特別報告第八十七號)荒地免租年限延長ノ請願 (委員長報告)

第八十九

(特別報告第八十八號)自家用醬油製造稅納入方法ノ請願 (委員長報告)

第九十

(特別報告第九十號)稅種變更ニ關スル請願 (委員長報告)

第九十一

(特別報告第九十一號)煙草取扱所營造物買上ノ請願 (委員長報告)

第九十二

(特別報告第九十二號)輕油輸入關稅廢止ノ請願 (委員長報告)

第九十三

(特別報告第九十三號)本宿郵便局ニ電信電話架設ノ請願 (委員長報告)

第九十四

(特別報告第九十四號)笹津郵便局ニ集配並電話事務開始ノ請願 (委員長報告)

第九十五

(特別報告第九十五號)入野村星賀二三等郵便局新設ノ請願 (委員長報告)

第九十六

(特別報告第九十六號)切木村ニ郵便局新設ノ請願 (委員長報告)

第九十七

(特別報告第九十七號)稻築村大字鳴生ニ郵便局新設ノ請願 (委員長報告)

第九十八

(特別報告第九十八號)小平郵便局集配事務復舊ノ請願 (委員長報告)

第九十九

(特別報告第九十九號)蘭留郵便局ニ集配事務開始ノ請願 (委員長報告)

第一百

(特別報告第一百號)溫泉村ニ郵便局新設ノ請願 (委員長報告)

第一百一

(特別報告第一百一號)下分上山村ニ集配郵便局設置ノ請願無 (委員長報告)

○議長(奧繁三郎君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

(原田書記官朗讀) 一昨二十六日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

陸海軍職工優遇ニ關スル建議案 提出者 田中 善立君

決議案 提出者 小川 平吉君

一昨二十六日議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

如シ

府縣立病院ノ改善及公立病院ト醫師會トノ協調ニ
關スル質問主意書

提出者 山田 永俊君

一昨二十六日政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

衆議院議員作間耕逸君外一名提出道路ノ管理權

ニ對スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員早川龍介君提出民心統一ニ關スル質問

ニ對スル答辯書

衆議院議員鮎川盛貞君提出勞働立法ニ關スル質問

ニ對スル答辯書

衆議院議員田中善立君提出政治ノ要道ニ關スル質

問ニ對スル答辯書

衆議院議員植原悅二郎君提出海外發展ニ關スル再

質問ニ對スル答辯書

衆議院議員三木武吉君提出選舉干涉ニ關スル質問

ニ對スル答辯書

衆議院議員木曾三四郎君提出選舉干涉ニ關スル質

問ニ對スル答辯書

衆議院議員橋本喜造君提出米國新船舶法ニ對スル

再質問ニ對スル答辯書

大正九年七月二十六日

内閣總理大臣原敬

衆議院議長與繁三郎殿

衆議院議員作間耕逸君外一名提出道路ノ管理權ニ

關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員作間耕逸君外一名質問道路ノ管理

權ニ關スル件答辯書

一道路法施行以前ニ於ケル道路ノ管理ハ專ラ慣例ニ

依リタルヲ以テ一定セザリシト雖大體ニ於テ市町村

費ヲ以テ施行スル道路ノ築造維持修繕ハ市町村長

之ヲ擔任シ來レルカ故ニ道路法ハ之ヲ基礎トシテ管

理關係ヲ明確ニ規定シタルモノニシテ自治體既存ノ

權限ヲ不當ニ縮少セルカ如キコトナシ

二道路ノ管理關係ニ付道路法ニ改正ヲ加ヘサルモ道路

管理上支障ヲ生スル虞ナシト認ム尤モ大都市ニ於ケ

ル道路管理ノ方法ニ關シテハ目下考慮中ニ屬ス

大正九年七月二十六日

内務大臣床次竹二郎

大正九年七月二十六日

内閣總理大臣原敬

衆議院議長與繁三郎殿

衆議院議員早川龍介君提出民心ノ統一ニ關スル質問

ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員早川龍介君提出民心統一ニ關スル質

問ニ對スル答辯書

國民思想ノ健全ナル發達ヲ見ムコトハ政府ノ最モ庶幾

スル所ニシテ之カ爲ニ教化ヲ擴充シ風紀ヲ振厲シ各般

ノ事項ニ互リ國民思想ノ善導ニカメツ、アリ今後倍々

力ヲ此ニ致シ效果ヲ舉ゲムコトヲ期ス

右及答辯候也

大正九年七月二十六日

内務大臣床次竹二郎

大正九年七月二十六日

内閣總理大臣原敬

衆議院議長與繁三郎殿

衆議院議員鮎川盛貞君提出勞働立法ニ關スル質問ニ

對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員鮎川盛貞君提出勞働立法ニ關スル質

問ニ對スル答辯書

政府ハ勞働組合法ヲ制定スルノ趣旨ヲ以テ目下之ガ成

案中ニ屬ス從テ立案ノ方針及各工場ニ於ケル相談會ト

ノ關係等ニ付テハ未タ言明スルノ時機ニ到ラス尙同法

成案ノ上ハ速ニ議會ニ提出セムトス

右及答辯候也

大正九年七月二十六日

農商務大臣山本 達雄

大正九年七月二十六日

内閣總理大臣原敬

衆議院議長與繁三郎殿

衆議院議員田中善立君提出政治ノ要道ニ關スル質問

ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員田中善立君提出政治ノ要道ニ關スル

質問ニ對スル答辯書

現内閣ノ施設經營力信義ノ觀念ニ背キタルモノナク又

國務大臣ノ答辯力毫モ質問書記載ノ如キ詭辯ヲ弄シタ

ルコトナキハ速記録ニ明カナリ

右及答辯候也

大正九年七月二十六日

内閣總理大臣原敬

大正九年七月二十六日

内閣總理大臣原敬

衆議院議長與繁三郎殿

衆議院議員植原悅二郎君提出海外發展ニ關スル質問

ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員植原悅二郎君提出海外發展ニ關スル

再質問ニ對スル答辯書

政府ハ本件ニ關スル七月二十二日附答辯書ハ其ノ要

ヲ盡シタルモノト信ス

右及答辯候也

大正九年七月二十六日

外務大臣子爵內田康哉

大正九年七月二十六日

内閣總理大臣原敬

衆議院議長與繁三郎殿

衆議院議員三木武吉君提出選舉干涉ニ關スル質問ニ

對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員三木武吉君提出選舉干涉ニ關スル質

問ニ對スル答辯書

一本年五月施行セラレタル衆議院議員選舉ニ關シ司

法機關ニ於テ黨ニ組シ法ヲ曲ケテ與黨候補者ヲ擁護

シタルカ如キ事實ナシ

三本年ノ總選舉ニ於テ質問書記載ノ如キ官紀紊亂ノ

事實ヲ認メス

四本年ノ總選舉前ニ行ヒタル恩赦ノ上奏ニ付一黨ニ偏

シタルカ如キ事實アルコトナシ

追テニ付テハ二十四日遞信次官ヨリ口頭ヲ以テ

答辯セリ

右及答辯候也

大正九年七月二十六日

内閣總理大臣原 敬

逓信大臣野田卯太郎

司法大臣伯爵大木 遠吉

大正九年七月二十六日

内閣總理大臣原敬

衆議院議長與繁三郎殿

衆議院議員木曾三四郎君提出選舉干涉ニ關スル質問

ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員木槍三四郎君提出選舉干涉ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一府縣道ノ認可ニ付テハ慎重調査ノ結果ニ基キモノニシテ漫然ノ認可シタル事實ナシ而シテ質問書記載ノ群馬縣管内ニ於ケル縣道中赤城及榛名ニ通スルモノハ兩地ノ樞要區タルニ鑑ミ將來開發ノ必要上之ヲ認メタルモノニシテ其他ニ付テハ當時縣内外ノ關係事項ニ關シ交渉調査ノ完了セサル點アリ縣ニ於テ之カ手續ヲ爲シ得サリシモノナリ從テ群馬縣知事ニ於テ道路法施行ヲ機トシ縣會議員選舉ニ利用シタルノ事實ナシ

二警部橫森大作ハ大正八年九月十八日以降群馬縣警部ニ任用セラレ同縣吾妻郡ニ出張選舉取締監督ノ事務ニ從事シ何等選舉ニ干涉シタル事實ナシ

三土木課長安永俱作ハ利根吾妻兩郡ニ出張道路橋梁堤防等暴風雨被害狀況ヲ視察セルモノニシテ質問書記載ノ如ク官權ヲ濫用シ選舉ニ干涉シタル行爲ナシ

右及答辯候也
大正九年 月 日 內務大臣 床次竹二郎

大正九年七月二十六日

內閣總理大原敬

衆議院議長奥繁三郎殿

衆議院議員橋本喜造君提案米國新船舶法ニ對スル再質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員橋本喜造君提出米國新船舶法ニ對スル再質問ニ對スル答辯書

本件ハ前ニ答辯ノ通り政府ニ於テ最善ノ措置方ニ付寫ト考慮中ナリ
右及答辯候也
大正九年七月二十六日

外務大臣子爵內田 康哉
逋信大臣野田卯太郎

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

一昨二十六日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ
境、飯能間輕便鐵道速成ニ關スル建築案外二件委員

委員長 田村順之助君 理事 山崎 三郎君
飯塚春太郎君

委員長 井上敬之助君 理事 八田 宗吉君
吉野小一郎君
大野 喜六君

競馬法制定ニ關スル建議案委員
道路ノ管理權ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正九年七月七日

提出者 作間 耕逸 太田信治郎
贊成者 牧口 義矩
外三十人

道路ノ管理權ニ關スル質問主意書

一道路ノ管理權ニ關スル建議案委員
事項ハ當該地方自治體ニ於テ權限ヲ有シタルコトハ從來法令判決及慣習ノ上ヨリ明ナルニ拘ラス政府ハ道路法令ノ施行ニ依リ道路ノ管理全部ヲ國ノ行政ニ移シ市町村ヲシテ單ニ其ノ經費ヲ負擔セシムルニ止メトスルカ如シ斯ノ如キハ第四十二回議會ニ提出セル道路法案審議ノ本會及委員會ニ於ケル國務大臣辯明ノ趣旨ニ反リ自治體既存ノ權限ヲ不當ニ縮少シテ時勢ノ進歩ニ逆馳セムトスルモノナリ政府ノ見解如何

二政府ノ方針前項ノ如シトスルモ其ノ經費ヲ負擔セシムル地方自治體ヲシテ全然道路ノ管理ニ干與セシメス國ノ行政トシテ自ラ其ノ全部ヲ施行セムトスルハ當ニ不條理ナルノミナラス實際ニ於テ便宜甚タシカルヘク反テ道路行政ノ運用ヲ阻害スルノ虞アリ政府ハ自治體ニ對シ其ノ地方道路ノ管理殊ニ前項明示ノ權限ヲ費用負擔ノ限度ニ於テ是認シ又ハ之ヲ委任スルノ法令ヲ設クル意思ナキヤ若一般的ニ之ヲ爲サストスルモ少クモ大都市ニ對シテハ道路管理ノ權限ヲ特ニ是認シ又ハ委任スルヲ相當ト認ム政府ノ所見如何
右及質問候也

民心統一ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正九年七月二十日

提出者 早川 龍介 贊成者 淺賀長兵衛
民心統一ニ關スル質問主意書
世界戰亂ノ影響ヲ受ケ我カ國民ノ思想ニ動搖ヲ來スヲ憂ヘ之カ防止ニ力ヲ致スモノ尠シトセサルモ容易ニ統一

ヲ見ル能ハサルモノノ如シ之レ蓋皇道ノ根基ヲ明示セサルニ依ルナラム歟今後政府ハ如何スヘキカ
右及質問候也

勞働立法ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正九年七月十日

提出者 鮎川 盛貞 贊成者 鈴木梅四郎
外三十三人

勞働立法ニ關スル質問主意書

一政府ハ勞働組合ノ公認ニ關スル法律案ヲ本議會ニ提出スルノ意思ナキヤ假ニ其ノ意思ナシトスルモ次期議會迄ニハ之ヲ提出スルノ意思ナキヤ

二政府ノ制定セムトシツアル勞働組合法案ノ立案方針ハ

イ職業ニ於テ同一職業ノミニ制限スルノ方針ナリヤ
或ハ之ヲ勞働者ノ自由ニ放任スルノ方針ナリヤ
ロ地域ニ於テ之ヲ一府縣若ハ一工場ニ限定スルノ方針ナリヤ或ハ全國ヲ通シテ之ヲ承認スルノ方針ナリヤ

三近時國家經營ノ各工場ニ於テ相談會ナルモノヲ設立シ勞働運動ノ緩和ヲ謀リツツアルカ是等ノ相談會ナルモノハ勞働組合法發布ノ曉如何ナル關係ヲ有セシムルノ方針ナリヤ
右及質問候也

政治ノ要道ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正九年七月二十一日

提出者 田中 善立 贊成者 武富 時敏
外二十九人

政治ノ要道ニ關スル質問主意書

抑政治ノ要道ハ信義ヲ本トスルモノナルコトハ古今ヲ通シテ一貫セル所ナリ然ルニ現內閣成立以來將ニ二箇年此ノ間內治外交上ニ於ケル百般ノ施設經營ヲ觀ルニ一モ信義ノ觀念ヲ基礎トセルモノナク徒ニ目前ヲ糊塗シ殊ニ其ノ議會ニ於ケル國務大臣ノ答辯ニ至リテハ詐辯偽言ヲ以テ天下ヲ欺瞞シテ能事終レリトナスモノノ如ク敢テ其ノ所見ヲ問フ
右及質問候也

海外發展ニ關スル再質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正九年七月二十二日

提出者 植原悅二郎 贊成者 鈴木梅四郎
外二十九人

海外發展ニ關スル再質問主意書

七月八日本員ノ提出シタル海外發展ニ關スル質問主意書ニ對スル七月二十二日付書面ニ依ル答辯ハ抽象的ニシテ要領ヲ得ス更ニ具體的答辯ヲ求ム右及再質問候也

選舉干渉ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正九年七月二十二日

提出者 木槍三四郎 賛成者 松井 鐵夫 外二十九人

選舉干渉ニ關スル質問主意書

一 群馬縣知事大芝惣吉ハ大正八年九月二十五日群馬縣會議員總選舉ニ際シ大正九年四月ヨリ道路法實施ヲ機トシ縣會議員選舉ニ利用セリ之カ爲群馬縣ニ於ケル道路法ノ實施ハ却テ一般交通ニ不便ヲ生スルニ至ル想フニ主務大臣ハ縣道認可ニ際シ大芝知事ノ申請ニ從ヒ漫然認可ヲ與ヘタルカ爲ナリ即チ主務大臣ハ申請線路並從來ノ縣道ニ對シ比較調査ヲ爲シ其ノ決定ヲ見タル上ニ於テ可否ヲ決スヘキモノナルニ之カ注意ヲ爲サルノ理由如何

一三國後開道

一十石峠道

一豐岡中野道

一澁川原町道

一草津澤渡道

以上五線路ノ如キハ縣道トシテ交通上必要ナルモノナルニモ拘ラス政友會地盤ナラサル爲廢道トナシタリ此ノ外實例多々アルモ枚舉ノ煩ヲ避ク

右ニ反シ從來一線ノ縣道ナキ赤城山ニ二線ノ縣道ヲ新設シ又榛名山ニ二線ノ縣道ヲ新設セムトスル申請ヲ認可セルニ拘ラス前掲ノ如キ交通上必要ナル線路ヲ廢止シ以テ多數人民ニ不利不便ヲ與フルガ如キ不當ノ處置ヲ默過シ毫モ民衆ノ利益ヲ顧ミサルハ何故ナルヤ其ノ理由如何

二 佐賀縣警部橫森大作ハ大正八年九月二十五日執行ノ群馬縣會議員總選舉ニ際シ群馬縣巡查部長茂

木島五郎ヲ從ヘ同年九月十九日同縣吾妻郡ニ出張シ同月二十四日迄滞在選舉ニ干渉シタリ如斯ハ官紀紊亂ノ甚シキモノニシテ之ヲ放任スル理由如何

三 大正八年九月二十五日群馬縣會議員總選舉ニ當リ群馬縣土木課長安永俱作ハ大芝群馬縣知事ノ命ニ依リ同年九月十七日ヨリ二十一日迄同縣吾妻郡ニ滞在シ道路調査ノ名義ヲ以テ政友會所屬縣會議員候補者二名(吾妻郡)ト共ニ北村土木技手及第五中之條土木管區武藤主幹ヲ伴ヒ同郡高山村、名久田村、中之條町、原町、坂上村、長野原町ノ各役場ニ道路關係町村ノ有力家ヲ町長ヲシテ召集セシメ以テ縣會議員選舉ニ際シ大芝知事ノ系統タル政友會ノ候補者ヲ選出スヘキ旨勸誘セリ同時ニ大正九年四月ヨリ實施ニ係ル道路法ヲ適用シテ大芝知事ノ意見ニ添フコトノ得策ナルヲ力説セリ

米國新船舶法ニ對スル再質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正九年七月二十三日

提出者 橋本 喜造 賛成者 田中 萬逸 外三十六人

米國新船舶法ニ對スル再質問主意書

本問題ハ既ニ論難研究ノ餘地ナク現實ニ帝國ノ産業貿易及船舶ノ運命ヲ賭スル重大問題ニシテ且焦眉ノ急ヲ要スルモノナルヲ以テ成規ノ手續ニ依リ質問書ヲ提出シタルニ政府ノ答辯極メテ簡單ニシテ何等ノ要領ヲ得ル能ハスレハ茲ニ再ヒ質問書ヲ提出スル所以ナリ

第一條 合衆國ハ國家自衛ノ必要上即チ内地産業及外國貿易ノ適當ナル發展ノ目的ヲ以テ多量ノ商品ヲ輸送スルニ充分ナル船舶ヲ所有セサルヘカラス獨リ

商船輸送ニ止ラス同時ニ米國ハ一旦緩急アルニ際シテ陸海軍御用船舶ヲシテ任務ヲ完フセサルヘカラス全ナル設備ト優秀ナル船舶トヲ併セ有セサルヘカラス但之等ノ船舶ハ米國民民ニ依リテ個人的所有セラルルヲ以テ理想トス而シテ之ト同時ニ米國トシテ宣言スヘキハ斯ノ如キ船舶維持並發達獎勵ニ關シテハ政府ハ其ノ事ノ如何ヲ問ハズ之ヲ斷行スヘク云々

リ此ノ間ニ處シテ我カ日本帝國ハ僅ニ二百七十萬噸ノ船舶ヲ以テ東ハ亞米利加太平洋岸ヲ初トシ西ハ支那ノフィリッピン印度洋洲ヲ航海シ地中海及大西洋ニ至テハ其ノ數實ニ少シシテ帝國船舶ノ約八割ハ常ニ太平洋航路ニ從事シテ米國ノ船舶法ノ最嚴密ニ支配スル航路區域ナルコトヲ記憶セサルヘカラス英國及諸外國ハ此ノ船舶法ニ依リ全ク損害ヲ蒙ラサルニ非ルモ全然我カ帝國ト立場ヲ異ニシ其ノ關係スル處微少ナルニモ拘ラス新聞紙ノ報スル處ニ依レハ英國宰相ロイドジョージ氏ハ既ニ米國ニ對シ第一回ノ抗議ヲ申込ミタリト傳ヘラル

又他面ニ於テ英米ノ大會社及宣教師等ハ今尙支那印度洋洲朝鮮等ニ於テ盛ニ排日思想ヲ鼓吹シ又ハ排日貨ヲ煽動セリ彼ノ英米ノ商人輩カ日貨ヲ排斥スルハ所謂商人同士ノ商賣敵トシテノ所業ヲ以テ目セルカ稍恕スヘキ點ナキニ非ルモ宣教師ハ何カ故ニ排日思想ヲ宣傳スルカ又彼等ノ背後ニハ何者カ潜伏スルカ其ノ行動タルヤ實ニ怪訝ニ堪エサル處ナリ帝國政府ハ一日モ速ニ其ノ眞相ヲ確メ其ノ責任ヲ問ハサルヘカラス

事情既ニ斯ノ如シ太平洋ニ於ケル我カ產業貿易並船舶ハ海陸兩面ヨリ峻烈ナル壓迫ヲ受ケ其ノ運命ハ將ニ旦タニ迫ラムトス此ノ危急存亡ノ時ニ當リ政府當局ニ於テハ遂巡スル處ナク斷乎方針ニ出テ速ニ對策ヲ講スルニ非ムハ如何ナル大事ヲ惹起スルカ測リ知ルヘカラス遂ニハ彼我國交上悲シムヘキ結果ヲ招來スルノ止ムヲ得サルモノアルヘキカヲ憂フルモノナリ故ニ之ニ對スル的確ナル答辯ヲ望ム

右及再質問候也

○議長(奧繁三郎君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、諮問致シマス事ガアリマス、第七部選出懲罰委員横山金太郎君常任委員辭任ノ申出ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ウテ、其結果ヲ届出ヲ望ミマス

○小山松壽君 此場合、昨日ノ議事中ニ於テ議長ノ御宣告ニナリマシタ件ニ就テ、議長ノ釋明ヲ求メタイト思ヒマスカラ、發言ヲ御許ヲ願ヒタイト思ヒマス

○議長(奧繁三郎君) 小山君

○小山松壽君 昨日議場ノ光景ハ諸君ノ御認ノ通デアリマス、而シテ佐々木安五郎君ノ動議ノ提出ガ甚ダ不明瞭

デアリ、而シテ此動議ニ對スル議長ノ採決ガ、又不徹底デアリコトニ端ヲ發シマシタ其結果、議場ハ騷擾混亂ニ陥リ、續イテ休憩ニ入ツタ譯デアリマス、休憩後ニ於テ更ニ小川平吉君ノ動議ガ其手續ヲ誤リ、議事進行上最モ重大ナル件ト考ヘマシタカラ、本員ハ議長ニ對シテ、其正シキ道ヲ履ムベキコトノ質問ヲ致シマシタ、此間ニ於テ議長ト本員トノ間ニハ數次ノ應答ヲ重テ居リマス、這ハ本日配付ニナリマシタ速記録ニ於テ明瞭ニナッテ居リマス、決シテ本員ハ濫リニ發言ヲ致シタモノデアリマセヌ、一々議長ノ許可ヲ得、若クハ議長ガ許可スベキ理由アリト認メテ發言ヲ許サレ、之ニ質問シ、議長亦之ニ答ヘラル、ノ形式ヲ議事録ノ上ニ明カニ示シテ居リマス、然ルニモ拘ラズ議長ハ委員ニ對シテ突如發言ノ禁止ヲセラレマシタ、何カ故ニ發言ヲ禁止セラレタカハ、本員之ヲ諒解スルニ苦シシ、重テ之ヲ問ハント致シタノデアリマスガ、議長ハ斷乎トシテ發言ヲ禁止スルノ態度ヲ執ラレマシタ、然ル處我黨ノ同志本田君ノ質問ニ對シテ、議長ハ議院法八十七條ニ依テ發言ヲ禁止シタト云フコトノ御答辯デアリマス、然ルニ八十七條ハ會議中議長ハ議員ニ對シテ警戒シ、若クハ制止シ、之ニ服セザル場合ニ至ラテ、始メテ其發言ヲ禁止スルコト云フ規則デアリマス、是ハ議院法ニ明カニ明記セラレテ居ル所デアリマス、然ルニ唯今述ベマシタル通り、議長ハ本員ニ對シテ更ニ警告ヲ與ヘズ、制止モセズ、尙又警告シ、制止スル場合デアリマセヌ、議長ト本員ト一問一答ヲ致シテ居タ場合デアリマセヌ、議長ハ本員ノ發言ヲ明カニ認メテ居ラレタデアリマス、然ルニ動議ノ採決ニ當リテ、本員ノ主張スル所正シキシテ、議長ノ執ラレタル處置、全ク誤ラシムルハ滿場ノ認ムル所、其議長ノ進退谷ツタル結果、其職權ヲ濫用シテ、本員ノ發言ヲ禁止シタモノト思ヒマス(拍手起リ)ト呼フ者アリ、其點ハ如何ナル御解釋ヲ執ラレノデアリマスカ、議員全體ノ發言ニ關スル重大ナル問題ト思ヒマスカラ、是ハ一黨一派ノ問題デアリマセヌ、總テノ議員ノ重大問題ニ關スルモノデアリ、而シテ議長ハ公平ニ議事ヲ取扱ハレモノデアリマスカ、故ニ、此釋明ヲ求メマス、更ニ第二點トシテ御尋ヲ致シマス事ハ、議長ハ本田恒之君ノ質問ニ對シ、其御答辯ノ中ニ「小山君ノ發言ニ對シ議長ガ禁止ヲシタト云フコトハ八十七條ニ依テ議長ハ會議中終ルマデ禁止スルコトノ出來ル權利ヲ有ッテ居リマスカレドモ」ト「ケレドモ」ト此所ニアリマス「私本日ハ重要ナル案件ガ數多アリマスカラ、當日ノ會議ヲ終ルマデノ積リデハナイノデス、又一通り答辯ガ盡キテ居ラヌノ、尙ホ發言ヲスルカラ禁止シタデアリマス」ト斯ウアリマスガ、此禁止シタト云フコトニ就テハ、前申上ゲマシタル通りニ御承知ト存ジマスガ、更ニ、此案件ガ濟メバ直グ許

スノデアリマス「斯様ニアリマス、斯ノ如キ御答辯デアルト致シマスレバ、昨日ノ發言ノ禁止ハ、唯ダ一時其場合ダケノ發言禁止デアアルカ、若シ其場合ダケノ發言禁止デアルト云フノナラバ、其場合トハ如何ナル事ヲ言フノデアアルカ、若シ本案件ガ終了スルマデト云フコトデアラナラバ、昨日ノ會議ノ中ダケハ發言ヲ禁止スルノデアアルカ、而モ會議中ハ終日禁止スル意味デアナイト云フコトガ、此所ニ曖昧ナ點ガアリマス、而シテ尙ホ本件ガ終ルマデトアリマスガ、昨日ノ決議案、即チ小川平吉君ノ提出セラレタル決議案ガ尙ホ引續イテ爰ニ議題トナル譯デアリマスガ、其案件ガ終ラザル中ハ、尙ホ發言ヲ禁止セラル、ト云フコトデアアルカ、議長ノ御答辯ハ頗ル曖昧不徹底デアッテ、私ハ了解ニ苦ムノデアリマスカラ、第二點トシテ此辯明ヲ求メマス(拍手起リ)

○議長(奧繁三郎君) 逆ニ第二點ヲ申シマスガ、第二點ニ就テハ昨日述ベマシタ意義ハ、議長ハ八十七條ニ依リテ終日ノ會議終ルマデ發言ノ禁止ヲスル權限ヲ持テ居リマスガ、併ナガラ其權限ハ之ヲ縮小シテ、或ハ一時ノ間或ハ一件ノ終ルマデ縮小スルコト云フコトハ、無論出來ルト云フ意味デアリマシタ、ソコ案件ノ終ルマデト云フナラバ、本日尙ホ案件ガ繼續シテ居リマス、本日ニ互ツテ云フヤウナコトハ無論八十七條ニ於テ議長ノ權限ガ無いノデ、十分權能ヲ發揮シテ所ガ、當日ノ會議ノ終リマデト云フコトニ議長ハ解釋シテ居リマス、ソレヲ分テ幾分分割スルコトガ出來ルト解釋致シタト云フ意味ニ御了解ヲ願ヒタイ、ソレカラ前段ノ御尋ハ、小山君ガ議長ニ釋明ヲ求メラレマシテ、一通リ答ヘマシタ、同一ノ事ヲ二度モ三度モ御尋ニナリマシタカラ注意ヲ與ヘタ點ガ速記録ニ現レテ居リマセヌ、速記録ニ現レテ居リマセヌカラ、議長ハ速記録ヲ根據ト致シマシテ、注意ヲ與ヘマシタ事ガ現レテ居ラヌ以上ハ、速記録ニ依リマシテ、昨日ノ小山君ニ對スル命令ハ茲ニ潔ク取消シマス(拍手起リ)

○小山松壽君 唯今ノ釋明ニ依テ一通リ諒承致シマシタ、然ラバ昨日日本員ニ對シテ發言ヲ禁止スルコト云フ議長ノ御宣告ハ、明カニ御取消ニナルト云フ……

○議長(奧繁三郎君) 今申シタ通り……

○小山松壽君 而シテ尙ホ御尋シマス、唯今議長ノ御宣告ニ依テ、一時間若クハ二時間ト云フコトデ、其場合ガ甚ダ不明瞭デアリマスガ、斯様ナ場合ニ於テ、議長ハ一時間若クハ二時間經テ適當ト認メル場合ニハ、更ニ本員ニ尙ホ御許シナッテ、是ヨリ發言ヲ許スト云フ御宣告ニナルノデアリマスカ、此點ハ後日ノ爲メニ伺ッテ置キタイト思ヒマス

ノマス、ソレハ場合ニ依リマスノマス、貴方ニ對シテ新ニ起ル
事ヲ、ドウモ今カラ豫期シテ答ヘテ置クコトハ出來マセヌ、而
シテ茲ニ御諮リヲ致シマスガ、本日ノ公報ニハ質問ガ載ッテ
居リマス、是ハ本日ハ質問日ナルニ依テデアリマス、サリナガ
ラ昨日會議ノ終リニ於テ宣言モ致シマシタ如ク、昨日ノ決
議案ノ議事ヲ、二十七日ノ午前十時ヨリ開會ノ上繼續ス
ト宣言シマシタカラ、先ツ以テ昨日ノ小川君提出ノ決議案
ノ議事ヲ繼續スル考デス、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 異議ナシト思ヒマスカラ、サウ致シ
マス、而シテ此小川君ノ決議案ニハ、佐々木安五郎君ヨリ
修正説ガ出テ居リマス、ソレニ先タチマシテ、鈴木富士彌君、
小泉又次郎君ヨリ小川君ニ對スル質問ノ通告ガアリマス、
先ツ質問ヲ許シマス、ソレカラ佐々木君ノ修正意見ヲ聽キ
マス、ソレカラ賛否ノ通告順ニ基ツテ討論ヲ許シマス

決議案(小川平吉君提出)

(前會ノ續)

〔鈴木富士彌君登壇、拍手起ル〕

○鈴木富士彌君 議員小川平吉君ハ、昨日當議場ニ於
テ、議員島田三郎君ニ處決ヲ迫ル意味ノ決議案ヲ提出サ
レマシタ、此決議案ニ關聯致シマシテ、二三點提案者タル
小川君ニ疑フ質シテ見タイト思ヒマス、此案ハ申スマデモナ
ク、議員島田三郎君ニ詰腹ヲ切ラセテ、同氏ノ議員タル資
格ヲ剝奪スル爲メノ議案デアリマス、事態極メテ重大デゴザ
イマス、先例ノ事ハ深く知リマセヌケレドモ、舊議員ニ就イ
テ聽キマスニ云フト、議員ノ資格ヲ剝奪スル目的ヲ以テ提
出サレマシタ所ノ議案ハ、餘リ數多クナインデアリマス、第五
議會ニ於キマシテ、明治二十六年ニ星亨君ノ除名問題ガ
起テ居リマス、其後明治三十七年即チ第二十議會ニ、秋
山定輔君ニ係ル處決ヲ迫ル意味ノ決議案ガ提出ニナッテ
居リマス、前後唯ダ此ニツデアルカニ承テ居リマス、議會
始テ以來年々聞スルコト三十有餘年、回リ重ヌルコト四十
十有三回、此間ニ於キマシテ、僅ニ二回シカ先例ノ無イト
云フ程ノ大切ナ事案デアリマス、一人ノ議員ヲ活カスカ殺
スカト云フ此重大ナル議案ヲ提出スルニ當リマシテ、議員
小川平吉君ハ、此案ヲ極メテ無造作ニ不注意ニ(ノウー)ト
呼フ者アリ、一層適切ニ申シマシタナラバ、極メテ輕率ニ
取扱ハレタト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ感ズルデアリマス、(ノ
ウー)ヒヤー(ト呼フ者アリ)先ツ第一ニ小川君ニ問ハン、
小川君ハ三大臣ガ投機ヲ爲シタリト云フ所ノ非難ヲ、全然
虛構デアルト申サレマシタガ、其根據ハ唯ダ三大臣ノ答辯
書ニ求メラレテ居ルヤウデアリマス、三大臣ハ被嫌疑者デア

リマス、之ヲ被告ト云フノハ聊カ穩當ヲ缺クカモ知レマセヌ
ガ、之ヲ被嫌疑者ト云フノハ少シモ差支ナイ、被嫌疑者ノ
陳述ヲ全然信用シテ斯ル決議案ヲ出スニ至ッテハ、實ニ驚
カザルヲ得ナイ、(拍手起ル)若シ被嫌疑者若クハ被告ノ言
ヲ信ジテ獄ヲ斷ズルナラバ、(獄トハ何ダ)違ウー(ト呼フ
者アリ)ソレハ違ヒマセケレドモ、物ノ譬デアル(何ヲ言フ)ト
呼フ者アリ、物ノ譬デアル、(モウ少シ冷靜ニシロ)政友會
冷靜ニト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 靜肅ニ……

○鈴木富士彌君(續) 實例ヲ以テ之ヲ申シマスナラバ、
中橋支部大臣ノ答辯書ヲ見マスルコト云フト、日本畫堂肥料
株ヲ賣却シタト云フ一事ニ就キマシテ、其中ノ二千株ハ長女
縫子ニ與ヘタノデアラ、殘餘ノ七百七十九株ハ、明治二十
九年以來引續イテ忠勤ニ勤績致シマシタ所ノ老女ノ石渡
ヒサニ對シテ、養老ノ資トシテ贈與シタルモノ、如クニ言ハ
レテ居リマス、併ナガラ是ハ中橋君タケガ斯ウ言フノデアラ、
此件ニ就キマシテ、茲ニ又新ナル證據ト云フモノガ舉グデ
來タノデス、即チ老女石渡ヒサナル者ハ、熱海ノ石渡金之
助ナル者ノ妹デアリマス、極ク近イ親戚ニ當ル者ガ此議院
ニ見エマシテ、陳述告白シタル所ニ依リマスルコト云フト、此
石渡ヒサナル者ハ、屢々中橋家ノ家庭ニ出入致シテ居リマス
ルガ、此株ハ決シテ實タ譯デハナイ、(拍手起ル)「ソコダ」ト
ト呼フ者アリ、若シ實タノデアルナラバ、親類一統悉ク中橋
家ニ禮ヲ言ハナケレバナラス、(離縁サレテ居リマス)ト呼フ
者アリ

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ……

○鈴木富士彌君(續) マア靜ニ御聽ナサイ、(臭イ)ト下
呼フ者アリ、若シ又果シテ遺タノデアリマスナラバ、七百七
十九株ト云フ此刻シテ數ハドウ云フモノダ、凡ソ人ニ物ヲ遺
ル時分ニ、此數ニ於キマシテモ、ハッキリ極メテ數ヲ遺ルガ從
來ノ慣例デアリマス、ノミナラズ中橋家ニ於キマシテハ大凡
慣例ガアリマシテ、女中十年ヲ勤メタ者ハ百圓デアル、五年
勤メタ者ハ五十圓デアルト云フコトデ、極メテ些細ナ金ヲ
與ヘル所ノ慣例ニナッテ居ルト云フコトデアリマス、如何ニ
何年居タカト云フデ、此老女石渡ヒサナル者ニ、斯ノ如キ
莫大ナル株券ヲ授與スルコト云フ謂レハナイ、斯様ナ事ハ是
ハ私ガ申スノデアリマセヌ、親戚ノ者ガ來テ申スカラ茲ニ
御取次ヲスルノデス、乃チ斯ノ如キモノデアリマシテ、唯ダ被
嫌疑者ノ申ス所ノミヲ信ズルナラバ非常ナ誤ガアル、何カ他
ニ確平タル證據ト云フモノガナケレバナラス、小川君ガ此決
議案ヲ出シマシタニ就キマシテハ、單ニ三大臣ノ答辯書ノミ
ヲ根據トサレタモノデアルカ、或ハ其以外ニ確實ナル證據ガ
アルノデアルカ、此點ヲ先ツ第一ニ伺ッテ見タイノデアル(拍

手起ル)

〔此時發言スル者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 岩本君、靜ニ……

○鈴木富士彌君(續) 第二ニ三大臣ノ答辯書ナルモノハ、
總數數萬言ヲ費シテ居リマスケレドモ、島田三郎氏ノ質問書
ノ要點ニ觸レテ居ナイノデアル、質問書ヲ能ク御覽ニナレバ
直チニ判ル、私ハ小川平吉君ガ、果シテ島田氏ノ質問書ト
三大臣ノ答辯書トヲ能ク討究シテ比較研究ナサレタ上デ
ノ御意見デアルカト云フコトヲ、甚ダ私ハ疑フノデス、質問
書ヲ見マスルトドウ云フ事ガ書イデアルカト申シマスルニ、此
中ニ「想フニ先キ物ヲ賣リ市場相場ノ高低ニ據リテ其益
ヲ收メタル金額ハ實際所有株ヲ賣リタルモノヨリモ多額ナ
ルヘシ」此點ガ島田氏ノ質問ノ要點ノ一ツナッテ居リマス、
又其先キニ至リマスルコト云フト「由來所謂紳士特ニ官僚ガ
此ノ如キ機秘ノ賣買ニ自己ノ名ヲ公稱スルコト絶無ニシテ
必ズ他人ノ名儀ヲ借用シ或ハ腹心ノ者ヲ親昵ノ仲買店ニ
出入セシメ或ハ各會社ノ要部ニ配置シ本人ハ其背後ニ潛
在シテ賣買ノ事實ヲ行フヲ常習トスルカ故ニ或機會ニ於テ
偶々世ニ公評セラル、ハ九牛ノ一毛ノミ」ト斯様ニ言ハレテ
居リマス、是ガ矢張要點ノ一ツナッテ居リマスルノニ、此三
大臣ノ答辯書ヲ見マスルコト、此要點ニ觸レテ居ナイ、唯ダ要
點ニ觸レテ居ルノハ僅ニ(事實ヲ舉ゲテナイ)ト呼フ者アリ、
苟モ答辯ト云フ以上ハ、斯ノ如キ事ノ必要ガアツタナラバ、
明カニ之ヲ答辯シナケレバ、有ルコトカ無イトカ云フコトガ判
ラス、唯ダ中橋德五郎氏ノ答辯ノ中ニ「子ハ會テ定期ナル
モノニ手ヲ染メタルコトナク大正七年以來株式ノ引受ヲ爲
シタル事實アルモノヲ賣却シタルコトハ斷シテ之レナキコト
ヲ責任ヲ以テ言明ス」中橋君ノ答辯ノ中ニ此一語ガアルノ
ミデ、他ノ二大臣ノ答辯書ニ此事ガ語ツテナイ、是ガ島田氏
ノ質問書ノ最も重要ナ骨子ノ一ツナッテ居ルノニ、顧ミテ
他ヲ言フト云フノハ、果シテ何事デアル(拍手起ル)何故ニ
此點ニ論及ヲシナイノデアルカ、此點ニ論及ヲシナイノハ、或
ハ此事實ヲ認ムルモノト看テモ差支ナイノデアル(拍手起
ル)「事實ガ無いノダ」具體的ノ事實ヲ舉ゲテナイト呼フ者
アリ、定期ト云フモノハ、或ハ賣リ或ハ買ッテモ、是ハ轉賣、買
戻ニ依テ其差額ヲ利スルノデアルカラ、人ノ名前ニ依テヤレ
バ帳簿ニハ載リマセヌ、(質問スルノガ間違テ居ル)ト呼フ
者アリ、デアリマスカラ此點ニ於テ若シ疚シテナイト云フナラ
バ、此點ヲ何故書カナイカ、此點ヲ逸スル道理ハ無い、小川
君ガ此點ヲ如何ニ御考ニナッテ居ルノカ(刑事問題ニナラ
ヌカラシムナ事ハ言テ居ラヌノダ)ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 靜カニ……

○鈴木富士彌君(續) 小川君ノ決議案中ニサウ云フ點ガ

逸シテ居ルハ、甚ダ遺憾トスルモノデアリマス、第三ニ凡ソ一國ノ國務大臣ナルモノハ、斯ノ如キ嫌疑ヲ受ケマシタナラバ、進シテ自己ノ財産ヲ公開スルノガ至當ノ處置デアルト私ハ信ズル(拍手起ル)ソノ事ハ何過モ聽ク必要ガ無いト呼フ者アリ御解リニナラナレバ實例ヲ以テ申上ゲマス、英國ニ於テ「ロイドジョージ」ガ「マルコニー」ノ無線電信ノ事ニ就テ疑ヲ受ケタ時ニ、財産ヲ公開シタデハナカ、(ソノ事ハ誰デモ知レル)ト呼フ者アリ知レルナラ尙更ノ事デア、即チ自ラ財産ヲ公開シテ、己レノ財産ハ幾ラアデ、此財産ノ由テ來ル所ハドウ云フコト、云フヤウニ明カニ説明サレテ、而シテ後何等疑ガナイト云フコトニナテ、始メテ提案者ニ處決ヲ迫ルト云フノガ至當ノ順序デアラウト思フ、此點ニ於テ小川君ハ順序ヲ誤テ居ルト私ハ信ジマス、此點ニ關シテ如何ナル御見解ヲ持タレカ、以上三點ニ就テ質問致シタイト思フデアリマス、人盛ナレバ天ニ勝テ、天定テ人ニ勝ツト云フコトガアリマス、今政友會ハ多數ヲ持テ、一議員ノ資格ヲ將ニ剝奪セントスルヤウナ暴舉ヲナサレテ居ル、極メテ近キ將來ニ於テ、天定テ人ニ勝テ、多數黨ノ政友會ニ一大打撃ヲ加フルコトハ、必ズ近キニ來ランコトヲ私ハ信ズルモノデア、願クハ小川君ノ誠意アル御答辯ヲ要求致シマス

○議長(與繁三郎君) 小川君

(小川平吉君登壇)

○小川平吉君 鈴木君ノ御質問ニ御答致シマス、第一ノ御問ハ、私が決議案ヲ出スニ就テ、其證據ヲ持テ居ルカドウカト云フ御尋デアリマス、是ハ甚ダ奇怪千萬ナル御問デア、殊ニ法律家タル所ノ鈴木君ノ口ヨリ斯ノ如キ質問ヲ受クルニ至テハ、驚カザルヲ得ヌデア、初モ人ヲ彈劾セント欲スルナラバ、島田君ノ言ハル、如ク原告デア、原告先ヅ以テ立證スル所ノ責任ガアルデハナカ、然ルニ島田君ハ昨日モ私が此演壇ニ於テ述べタル如ク、株式ノ賣却ヲ致シタト云フ事實ヲ列舉シナガラ、何時ニ於テ何人ニ賣却リヤト云フ事ヲ述ベラレテナ、斯ノ如ク何等ノ事實ニ對スル證據ヲ舉グズシテ、斯ノ如キ重大ナル彈劾問題ヲ起シテ居ルノデアリマス、實ハ斯ノ如キモノニ向テ、吾ハ證據ヲ舉グル必要ハ無いデア、併ナガラ折角ノ御質問デアリマスカラ、私ハ爰ニ明カニ證據ヲ舉ゲルノデア、昨日御聽取ニナリマシタ所ノ答辯書ニ何ト書イテアリマス、此株式ノ賣却ハ株主名簿ニ明カニ書イテアルトアル、此株式ノ賣却君ハ御覽ニナタノデア、苟モ政府ノ大臣ヲ彈劾セント欲スルニ當テ、株式ノ賣却シタル事實ヲ舉ゲテ、之ニ依テ經濟界ヲ攪亂シタリト稱シナガラ、株主名簿ノ一ツモ御調ニナラヌト云フコトハ何タル疎漏デア、證據ハ斯ノ如ク

明カニアルノデアリマス、第二問ハ三大臣ガ先物ノ賣買ヲ致シタ、定期ノ取引ヲシタル所ノ疑ガアル、此株式ノ賣却スル以上ハ、定期ニ於テ賣却シタル額ハ更ニ多額ナルベシト書イテアル、島田君ノ質問書ニハ「是ハ島田君ノ推測デア、昨日私が列舉致シテ決議案ヲ提出致シタル事柄ハ、島田君ガ斷定ヲ致シタ事柄デアリマス、此斷定ノ事實ニ向テ私ハ島田君ノ責任ヲ問ウタノデ、島田君ノ推測ニ止リマシタ部分ニ對シテハ、私ハ寛大ナル度量ヲ以テ、之ヲ不問ニ附シタノデア、政府ノ大臣ガ之ニ向テ答辯ヲセザルコトハ如何ナル理由デア、私ハ之ニ向テ答フル責任モ義務モ無いデアリマス、斯ノ如キ事ヲ鈴木君ノ口ヨリ御問ニナルコトハ、誠ニ奇怪千萬ト存ズル、第三ノ質問ハ聽取ルコトガ出來ナカッタノデアリマス、第三ノ質問ハ、私ハ聽取ルコトガ出來ナカッタ、之ニ對シテハ答辯スルノ必要ハ無いト考ヘマス、若シ更ニ答辯ヲ求メラル、ナラバ、更メテ明カニ御質問ニナレバ更メテ又ソレニ答辯ヲ致シマス

○議長(與繁三郎君) 小泉又次郎君

(小泉又次郎君登壇)

○小泉又次郎君 私も昨日此議場ニ於テ小川平吉君ヨリ御提出ニナリマシタル決議案ニ就テ、同君ニ質問ヲ試ミタイト思フモノデアリマス、小川君ノ決議案ノ御演說中ハ、議場ガ混亂致シテ居リマシテ、詳細ニ其要旨ヲ聽クコトヲ得マセナシタノハ、甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、併ナガラ今朝ノ各新聞紙上ノ掲載ニ依リマシテ、聊カ趣意ノ在ル所ヲ承知致シタノデアリマス、其小川君ノ提案ノ要旨ハ、島田君ノ三大臣ニ對シテ彈劾ノ嫌疑ニ關スル質問書ニ、三大臣ヨリ答辯ガアタ、其答辯書ニ於テ事實ハ明白デア、明白デア、故ニ、島田君ハ誣妄虛構ノ事ヲ構ヘテ徒ラ人ノ名譽ヲ毀損シタモノデア、故ニ島田君ハ潔ク自ラ處決スベシトノ御提案ノ意思デア、其責任ハ吾々ハ之ヲ取ルニ吝カナラヌモノデア、若モ三大臣ノ彈劾ニ關スル嫌疑ガ果シテ的確ニ明白ニナリシ以上ハ、人ヨリ自決ヲ促サレズト雖モ、自ラ責任ヲ重シテ潔ク處決スルト云フコトハ、質問書中ニ立派ニ書イテアルコトデア、然ラバ島田君ノ處決ト云フコトハ、結局三大臣ノ彈劾問題ガ的確ニ明瞭ニ相成タル曉ニ於テ始メテ斷行サレルモノデア、私ハ信ズルノデア、然ルニ三大臣ノ答辯ニハ、悉ク肯綮ヲ外レテ居ルノミナラズ、就中高橋藏相ニ對スル質問中ニ、昨年ノ九月ノ頃カラ、高橋藏相ハ日本銀行ニ向テ利子ノ引上ヲ傳ヘテ居タ、然ルニ十月ノ六日、十一月ノ十九日ノ兩度ニ於テ、日本銀行ガ利子ヲ引上ゲルト云フノ時ニ於テ、鹽水港ノ株ヲ押入某ノ爲メニ賣放タリト云フノ此質問ニ對シテ

ハ、嘗ニ事實無根デア、即チ知ラヌ、存ゼヌノ一點張ノ答辯デア、タノデアリマス(拍手起ル)私共ハ此一片ノ知ラヌ、存ゼヌノ答辯ニハ、満足ヲ表スルコトガ出來ナイノデアリマス(拍手起ル)吾々一人ガ之ニ満足セナイノミナラズ、天下萬衆ガ認メテ是ハ大ニ満足デア、ト思フノデアリマス(拍手起ル)私共一人ノ之ヲ疑フノミナラズ、昨日現ニ同僚ノ佐々木君ヨリ、原告ノ島田三郎君、被告タル所ノ三大臣ノ嫌疑ハ、嘗ニ一片ノ質問應答ノ文書ニ依テハ、誰カ島ノ雄雄ヲ知ラン、是ニ於テ一問一答ヲ盡シテ、此事ヲ天下ニ明白ニスベク、全院委員會ヲ開クベシトノ動議マデハ提出サレタト云フコトハ、是亦諸君ガ既ニ御承知ノ點デア、デアリマス、此三大臣ノ答辯ニ満足ヲセラル、ノ諸君ハ、獨リ此政友會員ノ諸君ノミニシテ、他ノ議員ハ、一人トシテ是ニ満足スル者ハ、無いノデアリマス(拍手起ル)況ヤ天下萬衆認メテ誰カ之ニ満足ヲ與ヘル者ガ、一人モアルデアリマセウカ(拍手起ル)島田君ノ言責ニ於テハ、島田君ノ高潔ナル人格ニ於テ、此島田君ガ三大臣ノ彈劾ノ嫌疑ナキト云フコトガ明カニナリシ上ニハ、自ラ處決ヲスルコト云フコトハ、前以テ申上ゲタ通りデアリマス、平素吾々ガ畏敬スル所ノ小川平吉君ト雖モ、此島田君ノ人格ニ於テハ、私同様にデア、私ハ思フノデアリマス(拍手起ル)況ヤ質問ノ本人タル島田君ハ、昨日現ニ此議場ニ於テ、三大臣ノ答辯書ハ、嘗ニ朗讀ヲ聽イタノミデア、其真相ガ能ク相分ラヌ、一モ肯綮ニハ中テ居ラヌ、靜ニ之ヲ閱讀セシ後ニ於テ、更メテ新ナナル證據ヲ提ゲテ質問ニ及ブト云フコトヲ、發言ノ保留ハ確ニシテアルノデアリマス(拍手起ル)今日マデ議會ノ慣例ト致シマシテ、議員ヨリ政府當局ニ質問ヲ試ミ、政府ヨリ之ニ答辯ノアタタ時ニ於テ、此答辯ニ満足ガナイト致シマス、議員ヨリ更ニ再質問ヲスルト云フコトハ、此神聖ナル議場ニ於テ、慎重審議ヲ盡スベキ精神ヲ以テ、誠實——所謂公平ナル意義ニ於テ、此好慣例ガ貽シテアルノデアリマス、此大切ナル問題ニ對シテ、嘗ニ一片ノ大臣ノ答辯書ヲ以テ是ガ事實明白デア、ト斷定スルコトハ、鑿斷專斷モ亦甚シイト言ハナケレバナラヌト思フノデアリマス(拍手起ル)私ハ是ニ於テ小川君ニ問ハントスル者デアリマス、小川君ハ此議場ニ於キマシテ、政府當局者ニ對シテ、島田君カラ斯ル重要ナル問題ノ質問ヲ試ミ、政府當局者ハ此演壇ニ出テ、詳細ニ之ヲ述ベ盡スノ策ニ出デスシテ、陋劣ニモ一片ノ書面ヲ以テ應答シタニ就テハ、島田君之ヲ快シトセズ、再ビ此演壇ニ於テ、新ナナル證據ヲ提ゲテ詰問セントスル、此議員ノ發言ノ保留ヲ抑壓シテマデモ、島田君ニ處決ヲ促スト云フ御意味デア、ノデアリマス(拍手起ル)此大ニ切ナル議員ノ發言權ノ此好慣例ヲ壓迫シテ、之ヲ破ラントスルノ意思デア、ルカ、

促スト云フ修正案ニ賛成ヲ表スル者デアリマス、(「ヒヤ〜ト呼ビ拍手起ル」)元來此問題ノ性質ガ如何ナルモノデア

カト云(ハ)島田君ノ邪推ト呼フ者アリ。今日政界ニ於
テ爾腐敗ヲ廓清スル所ノ意味、政治道德ヲ振作スル所ノ意
味、政治上ニ於テモ、社會上ニ於テモ、殊ニ一般風教道德
ノ上ニ於テ、重大ナル意味ヲ含シタリト問題アリマス。近
來我政界ノ腐敗ト云フコトハ、一般共ニ認メテ悲シミ居ル
所ノ事實デアリマス。此政治界ノ腐敗ハ即チ政治道德ノ腐
敗デアリマス。(憲政會ガ火元ダト呼フ者アリ)此腐敗ト
云フコトニ就テハ、唯ダ事實ヲ認ムルト云フコトハ、依テ
ハ、吾々ハ満足スルコトガ出来マセヌ。(拍手起ル)腐敗ノ事
實ガアリトスレバ、其腐敗ノ對スル所謂公憤ヲ促サナケレ
バナリマセヌ。又其腐敗ノ事實ガアリトスレバ、之ヲ根本的
ニ廓清スルガ爲メニ努力ヲ必要トスルノデアリマス。(拍手
起ル)政界ノ廓清、政治道德ノ振作ト云フコトニ就テ、特ニ臺
閣ノ上ニ在ル所ノ宰臣ノ身ノ上ニ係リテ、言フニ忍ビザルノ疑
惑ノ雲ノ横テ居ル時、先ヅ此問題ニ向テ其真相ヲ明ニ
シ、延テ政治道德ノ刷新、社會風教ノ維持ニ努メントスル
所ノ用意、即チ島田君ノ質問ノ起タ所以デアリマス。(拍
手起ル)故ニ此島田君ノ質問ニ就テハ、其動機ニ於テモ、其
性質ニ於テモ、御互最モ慎重ニ考慮シ、且ツ十分ナル敬意
ヲ以テ之ヲ取扱フベキノガ當然ノ事ト信ジマス。(拍手起ル)
島田君ノ質問ノ其内容ニ對シテ、昨日當該三大臣ヨリノ
答辯ガアリタリ、其答辯書ヲ根據ト致シテ、直チニ提出セラレ
タル所ノ小川君ノ決議案ナルモノハ、前ニ述ベタル所ノ島田
君ノ用意ニ出デタリ其質問ヲ、大臣ノ答辯ヲ根據トシテ、直
チニ之ニ向テ殆ド極端ナル所ノ、否ナ不法不當ナル所ノ制
裁ヲ加ヘテ、島田君ノ議席ヲ脅迫シ、之ヲ制奪セントスル所ノ
恐レベキ企テヲ提出セラレタリデアリマス。(ヒヤ)「ト呼
ビ拍手スル者アリ」私ハ島田君ノ質問ニ對シ三大臣ノ答辯
セラレタル點ニ於テ、幾百ノ株ガ幾百賣レテ、幾百減タトカ
増シタトカ云フコトニ就テノ爭ヲ、此壇上ニ於テ私ハ茲ニ爲
スコトヲ好ミマセヌ。(出來ナイノダラウ)ト呼フ者アリ。其等
ノ事柄ニ就テハ、自ラ事實明瞭ニナルベキ所ノ方法ガアリ、
手續ガアルデアラウト思フノデアリマス。小川君ノ決議案ノ提
出ハ、島田君ガ大臣ニ對シテ質問シタル事柄ヲ斯様ニ言ハ
レテ居リマス。今日既ニ斯ノ如キ重大ナル問題ヲ提起シテ
人ノ名譽ヲ傷ケ、延イテ全國ノ人心ヲ擾亂致シ、風教上ニ
迄モ容易ナラサル影響ヲ及ホシタル以上ハ、島田君自ラ述
ベタル、如ク、此妄言ニ對シテ責ヲ引カル、ト云フコトハ、當
然ノ歸結デアルト考ヘルノデアリマス。是ガ小川君ノ本案ヲ
提出シテ、島田君ノ處決ヲ促シタル要旨デアリマス。島田君
ガ如何ナル妄言ヲ言ハレタノデアリマスカ、又島田君ノ質問
ガ、如何ニシテ人ノ名譽ヲ傷ケ、社會ノ風教ニ迄及ボスヤウ
ナ迷惑ヲ與ヘタカ、斯様ナル質問ノ由テ起テ來ル所ノ原

因ヲ釋スレバ、社會風教ニ向テ、若クハ人ノ名譽ニ關スル
事柄ノ忌ムベキ所ノ事態ヲ惹起シタト云フコトハ、即チ當
該三大臣ノ責任デアリタリ。當該三大臣ノ間ニ斯ノ如キ行
爲、若クハ斯ノ如キ嫌疑ヲ惹ク如キコトガナケレバ、斷ジテ島
田君ノ質問ハ現レテ來ナカッタノデアリマス。(ノウ)「ヒ
ヤ」ト呼ビ拍手起ル。小川君ハ島田君ノ質問ヲ妄言ナ
リトシ、妄言ノ責ヲ引イテ處決セヨト言ハレマスルカ、島田
君ノ質問ノ間ニ如何ナル妄言ガアリマスルカ。(全部妄言
タト呼フ者アリ)假リニ不穩ナル多少ノ言葉ガアルト致シ
テモ、此議場ニ於テハ、荷モ公ノ心ヲ以テ、國家國民ノ爲メ
ニ利害休戚ヲ論ズル場所デアリマス。上ハ、其言論ニ向テハ、
互ニ自由ヲ尊重シナケレバナリマセヌ。(拍手起ル)無論自
由ヲ尊重スル同時ニ、放縱ナル言葉ヲ戒ムルノガ御互ノ
責任デアリマス。併ナガラ又事毎ニ些末ノ點ヲ捉ヘテ
之ヲ問題トシ、之ニ依テ人ヲ陷レントスルガ如キ事ハ、
甚ダ卑劣ムベキ所ノ行爲デアリマス。(拍手起ル)若シ或ル疑ト
カ嫌疑トカ云フコトニ就テ、他人ノ名譽ニ係ル事ガ、直チ
ニ議員ノ引責處決ヲ促スベキ問題デアルト云フナラバ、私ハ
アリマス。ソレハ遠クモアラズ第四十議會ノ當時ノ事デア
タリ。採本公司ノ問題ガ決算委員會ニ於テ政友會ノ諸君ガ
盛ニ論議セラレタル當時、氏名ヲ舉ゲルコトハ聊カ憚リマス
ルケレドモ、今日ノ政友會ノ要部ニ居ル所ノ三土忠造君、
此三土忠造君ガ此問題ノ、決算委員會ニテ論ゼラル、時、
如何ナル言葉ヲ述ベラレテ居リマスカ、斯様ナコトヲ言ハレ
テ居ル(極端ニ申セバ前内閣ノ總理大臣、外務大臣、大藏
大臣ハ無論論ヲ縛シマハナケレバナラス、刑事上ノ問題
ニナル問題デアリ)。(其通りタシレガ何ダト呼フ者アリ)殆
ド總理大臣、外務、大藏兩大臣ヲ縛シマハレテ居リマス。
所ノ、刑事上ノ問題デアルト云フコトマデ言ハレテ居リマス。
(其通りト呼フ者アリ)若シ人ノ身上ニ關シ名譽ニ關スル
所ノ事ヲ、確實ナル證據ナクシテ、恣ニ放言スルコトガ戒ム
ベキ事柄デアリ、責ムベキ事デアルトスルナラバ、斯ノ如キ事
ハ更ニ島田君ノ質問ニ於テ述ベタル所ノ言葉以上ニ、其意
味合以上ニ、人ノ身上名譽ニ向テ、非常ナル是ハ毀損ヲ
加ヘタリ。言葉デアリマス。(拍手起ル)而シテ此事ニ就テ
當時小林嘉平治君ガ三土君ノ此事ニ就テ、然ラバ如何ナ
ル事實ニ依テ斯様ナル刑事問題ニナル程ノ問題デアルト言
ハル、カ、之ヲ言ハレタル勇氣ニ向テ敬服致ス、此事ニ就テ
事實ヲ明ニシタイト言ウテ小林君ガ同君ニ問ハレタ時ニ、
三土君ハ斯様ニ答ヘテ居リマス。(ドウダ)ト呼フ者アリ。
「私ハ極端ニ言ヘバト云フ言葉ガ使テアル總テ言葉ニハ形
容詞ガアル、副詞ガアル之ヲ除イテ考ヘルト大變ナ間違ニ

ナル、私ハ極端ニ言ヘバ、問題ノ性質カラ言ヘバ、刑事問題
ニナルヤウナ問題デアリ、サウ云フ事マデ私ハ論究セヌノデ
アリマスガ、兎ニ角國民疑惑ノ問題デアル故、政治道德ノ上
カラ言フ、早ク解決シタラ宜カラウト斯ウ感ゼタルデアリマ
ス。島田君ノ演說若クハ質問問題意書ノ上ニ於テ、此三土君
ノ言葉ヲ精リテ用キルナラバ、此文章ノ中、此演說ノ中ニ
ハ、幾多ノ形容詞ガアル、副詞ガアル、其形容詞副詞ヲ取除
ケテ、或ル些末ノ點ヲ捉ヘテ、直チニ之ヲ妄言ナリトシテ引
責處決ヲ求ムルト云フ如キコトデアラナラバ、更ニ此三土君
ノ答辯ハ、政友會トシテハ殆ド今日ノ場合意味ヲ爲シマセ
ヌ、若シ三土君ノ言フガ如ク極端ニ言ヘバサウデアルガ、是
ハ政治道德ノ問題トシテ、自分ハ刑事上ニ於テノ問題トス
ル積リデハナイ、道德問題トシテ解決ガ欲シイ、斯ウ云フコ
トガ三土君ノ眞ノ精神デアッタトスルナラバ、島田君ノ今回
ノ此問題ニ對スル質問ハ、全ク形容詞副詞ヲ除ケバ、政治
上ノ道德問題トシテ、其真相ヲ明カニスルガ至當ナル事ト
信ズルノデアリ、私共ハ當時三土君ノ言葉ニ就テ、聊カ穩
カナラザル事ヲ感ゼテ居リマシタケレドモ、御互ニ議院ニ
立テテ言論ノ自由ヲ尊重スル者、三土君ト雖モ亦一點
私心ヲ以テ論ズルニ非ズシテ、國家ノ公ノためニ議論
ヲ立テラル、場合、斯ノ如キ言說ノ奔テ危激ニ互ル
コトモ、政治家ノ立場トシテ、御互ニ之ヲ許スコトガ至當デ
アルト心得テ、深ク追究スルコトヲ致サナカッタノデアリマス。
(拍手起ル)「ドウダ」ト呼フ者アリ。然レニ此度ハ偶、島
田君ヨリ斯ノ如キ、質問ガ出デタリト云フコトニ依テ、直チニ
政府大臣ノ答辯ヲ聽キ、其答辯ノ中ニモ、島田君ノ質問ニ
對シ諷刺罵詈、人格ニ係ル言葉ヲ、一國宰相ノ答辯トシ
テハ聽クニ忍ビザル事マデモ用井デアリマスガ、(拍手起ル)
其低級ナル道德心ヨリ出デタル所ノ其答辯書ヲ根據ニシ
テ、直チニ島田君ニ向テ其位置ヲ奪ハントスルガ如キコト
ハ、餘リニ是ハ輕卒デアリマセヌカ、餘リニ是ハ不用意デハ
アリマセヌカ、又餘リニ自ラ御互議員ノ職責、神聖ナル責任
ヲ輕ンズルモノデアリマスマイカ、(拍手起ル)私ハ當該大
臣ニ向テモ、洵ニ是ハ御迷惑ナル問題デアルトシテ、竊ニ氣
ノ盡ニ感ゼテ居リマス、併ナガラ既ニ是ガ議會ノ問題トナリ
天下疑惑ノ焦點トナタリ以上ハ、此問題ニ就テハ、進ンデ一
切ヲ天下ニ公表シテ、大臣自ラノ公明正大ヲ表白スルト云
フコトガ、此問題解決ニ就テノ最モ適切ナル是ハ方法デア
ルト信ズル。(拍手起ル)是ハ議會ニ於テ查問會ノ要求ヲ待
タズトモ、全院委員會ノ開會ヲ待タズトモ寧ろ積極的ニ大
臣自ラ進ンデ説明セラルベキガ當然デアリマス。(拍手起ル)
「ヒヤ」ト呼フ者アリ。然レニ此事ヲ爲サズシテ、與黨ノ多
數ヨリシテ斯ノ如キ突飛ノ決議案ヲ出シテ、己レニ向テ深

切ナル質問ヲ出シタ、其質問ハ其疑ヲ解キタイ、對手方ノ
疑ヲ解キタイト云フ其深切ナ質問者ニ向テ、斯様ナル決
議案ヲ出シテ、而シテ當該大臣ハ恬然トシテ居ルコト云フコ
トハ、餘リニ恥ヲ知ラサル所ノ大臣デハナカハ、(拍手起ル)
又小川君ニシテモ、政友會ニシテモ、大臣ノ青天白日、其潔
白ヲ表明セントスルナラバ、何故ニ査問會ヲ開カナカッタ
何故ニ全院委員會ノ要求ニ賛成ヲシナカッタ、斯様ナル
機關ニ依テ而シテ慎重審査シテ取調ノ上、全ク事詳細ニ
分テ、島田君ノ質問ガ誤デアル、大臣ノ身上ニハ一點ノ
私無シ、疑無シト云フコトガ明白ニナッタナラバ、斯様ナル
決議案ヲ出スニ及バズシテ、三大臣ノ名譽ヲ恢復シ、而シ
テ政友會諸君モ亦威信ヲ全ウスルコトガ出來タノデアラウ
ト思フ(拍手起ル)況ヤ島田君ハ昨日ノ大臣ノ答辯ニ對
シテ、更ニ此政府ノ答辯ニ對シテハ、再質問ヲ致スト云
フコトノ聲明ヲ致シテ、問ク所ニ依レバ、今朝右再質問書
ヲ事務局ノ方ニ既ニ提出サレテ居ルコト云フコトヲ承知シ
テ居リマス(拍手起ル)凡ソ片言以テ訟ヲ聽クベカラズ、
諸君ガ三大臣ノ言說ニ對シテ確信ヲ措クト云フコト
ハ、黨ノ領袖デアル、先輩タルガ故ニ、諸君ガ彼等ヲ信ズ
ル所ノ感情德義ノ上カラ、或ハ然ラシデアラウ、併シ同時
ニ吾々ハ其黨ノ先輩タル、殊ニ議會ニ於テハ、否ナ議會
以前ヨリ日本ノ憲政ニ於テ功勞アリ、政治上、社會上、
教育上ニ於テモ一般定評ノアル人格者タル、其島田君ノ
言說ニ向テ、吾々ガ其人格ヲ尊敬シ、其言說ニ重キヲ措ク
所ノ吾々ノ同志デアリ、先輩デアルト云フ德義上ノ觀念ヲ
諸君モ亦之ヲ當然是認シナケレバナラス所ノ義務ヲ有テ
居ルノデアリマス(拍手起ル)吾々ガ島田君ノ質問ニ確信
ヲ措クト云フ事ト、諸君ガ三大臣ノ答辯ニ向テ確信ヲ措
クト云フ事トハ、是ハ御互ノ立場ニ於テ同等ノ意味合デアリ
マス(拍手起ル)己ノ信ズル大臣ノ答辯ノミヲ以テ信ズベク
反對黨ノ島田君ノ言說ヲ以テ信ズルニ足ラズ、而シテ其信
ズベシ信ズベカラズト云フコトヲ、多數ノ頭數ニ依テ之ヲ決
セントスルト云フコトハ、餘リニ是ハ不道理千萬ナル態度デ
アリマス(拍手起ル)尙ホ島田君ニ處決ヲ促スト云フコトハ
成程議會ノ先例ニ一ニ之ヲ見ナイデアリマセヌ、併ナガラ
議員御互ノ間ニ於テ議員ニ向テ處決ヲ促スト云フガ如
キ權能ハ憲法ノ上ニモ、議院法ノ上ニモ、議事規則ノ上ニ
モ、是ハ私共認メルコトガ出來マセヌ、若シ御互議員ノ間ニ
責ムベキ者、罰スベキモノアレバ、是ハ法規ノ規定ニ基ヰテ
相當ノ手當ト形式トヲ履シテ、自ラ制裁ノ方法ガ儼乎トシ
テ存在シテ居リマス、其當然履ムベキ所ヲ手續ヲ履マズ、據
ルベキ所ノ機關ニ據ラズ、法規ノ上ニ根據ナクシテ、唯ダ單
純ニ自分ノ黨派カラシテ、氣ニ入ラナイ反對黨ノ言說ナル

ガ故ニ、之ヲ壓迫スルト同ジキヤウナ其態度ヲ此上ニ加ヘテ、
而シテ一人ノ大切ナル議席ヲ奪ハントスルガ如キハ、道徳ノ
上ニ於テ許サレノミナラズ、法規ノ上ニ於テモ亦是ハ許サ
ザル所ノ行爲デアリマス(「ノウウ」ト呼フ者アリ、拍手スル
者アリ)諸君ハ爲サント欲スレバ何事モ爲シ得ルノデアリマ
ス、議院政治ニ於テハ、諸君ノ多數、其多數ノ力ヲ十分ニ
振廻ストキニハ、殆ド男子ヲ女子ニ反スコトノ出來ナイト云
フ事ヲ取除ケテ、政治上ニ於テ諸君ノ意見行動ハ自由デア
ル、其多數ヲ有テ、其自由ヲ有テ居ル諸君ガ、當然若シ責
ムベキ罰スベキ所ノ島田君ヲ發見シタナラバ、其島田君ニ
向テ加ヘル所ノ制裁ハ、何故ニ法規ノ上ニ據ラザルカ、何故
ニ正當ノ機關ニ據ラザルカ(拍手)又假リニ斯ノ如キ場合、
斯ノ如キ手續方法ニ依テ、輕シク議員ノ進退ヲ決スルト
云フガ如キコトヲ、之ヲ慣例トシテ、若シ許スナラバ
吾々此議場ニ於ケル一人ノ其位地ト云フモノハ、實ニ
不安危險之ヨリ甚シキハナイノデアル、何ニ依テ安シジテ
國民ヲ代表シ、安シジテ 陛下ニ報ヒ奉ル所ノ公ノ議
務ヲ盡スコトガ出來マスカ(「ノウウ」ト呼フ者アリ)殊
ニ權利ヲ尊重シ、自由ヲ尙フト云フコトハ、政友會諸君
ガ自由黨以來、傳統的ニ、歷史的ニ、主張ノ存スル所デア
ナイカ、政友會ガ如何ニ變化シ、世ノ中ガ移リ變リ、如何
ニ人情ガ輕薄ニナリ、如何ニ政治道德ガ腐敗シテ居ル今
日ト云ヘ、其政友會ガ斯ノ如キ事ニ出ルコト云フコト
ハ、其歷史ニ對シ、其主張ニ對シ聊カ衷心恥ヅル所ナキ
カラ其歴史ヒタイノデアリマス(拍手起ル)殊ニ島田君ハ
如何ナル人デアリマスカ、先刻モ私ハ簡單ニ島田君ノ人格
ト歴史ヲ語リマシタガ、此人ノ議會ニ存在スルト云フコトハ
此一人ノ我が政治界ニ存在スルト云フ事ハ、敵ト味方トノ
感情ハ別ト致シテモ、大局ノ上カラ觀テ、是ハ尊重スベキ所
ノ人物デアル(「ノウ」ト呼フ者アリ)拍手スル者アリ)大
政治家デアリマス、然ルニ此島田君ニ向テ、諸君ノ言フガ
如キ卑ムベキ批評ヲ政友會ノ人ミカラ聽クト云フコトハ、
私其由テ來ル諸君ノ心術ヲ疑ハザルヲ得マセヌ(拍手起
ル)推フニ斯ノ如ク島田君ニ向テ輕侮ノ批評ヲ加ヘラル、
ト云フ事ハ、若シ人アテテ政友會ノ歴史ト島田君ノ歴史ト
ヲ對照シテ之ヲ回顧シテ見マシタナラバ、會テ是等君ニ向
テ政治上最後ノ制裁ヲ與ヘタ者ハ島田君デアル、島田君
ハ「シームス」事件ヲ天下ニ喝破シテ、我が腐敗セル海軍
ニ席清ヲ促シ、同時ニ之ガ因ヲ成シテ同時ニ政友會内閣
ト稱スベキ山本内閣ニ、最後ノ宣告ヲ與ヘタ者モ島田君デ
アル、若シ卑劣ナル言葉ヲ以テ島田君ニ加フルナラバ、一部
ノ人之ヲ評シテ、政友會ノ諸君ハ嘗テ其歷史的先輩ニ對
シ島田君ノ正義ノ銳鋒ヲ爲メニ、倒レタ所ノ犧牲者ニ向

テ、其恨ヲ晴スガ爲メニ斯様ナ卑劣ナ手段ヲ講ジ、斯様ナ
態度ニ出ルノデアルト、斯様ニ風評スル者ガアテモ、之ヲ辯
解スルノ言葉ニ或ハ苦シムデハナカハ、奇ニ察スルノデアリ
マス(「ノウ」ト拍手)如何ニ黨派政治ノ弊ト云ヘ、斯ノ
如キ事ハ餘リニ是ハ極端デアリマス、五ニ是ハ慎ムベキ事デ
アリマス、曩ニ佐々木君ハ趙高麗ヲ指シテ馬ト云フノ例ヲ
引カレマシタガ、後漢ノ末ニ支那ニ於ケル朋黨ノ盛ナルトキ、
世ノ中ニ於テ信用アリ尊敬スベキ所ノ人格者ニ向テ、當
時ノ濁リ且汚レタル所ノ輩ガ勢力ヲ得テ居タガ爲メニ、
其清キ人正シキ人ヲ捉ヘテ、此輩清流宜シク濁流ニ投ズベ
シト、之ヲ黃河ノ流ニ投ジタサウシテ朋黨此周ノ弊ヲ後世
ニ遺シタ事ガアリマス(拍手)今日ノ議會ニ島田君ノ如キ
心術ヲ以テ、島田君ノ如キ所ノ態度ヲ以テ、政治道德ノ腐
敗ヲ改メ、社會風教ヲ維持シカメルコト云フ人ニ、輕シク斯
所謂島田君ノ清流ヲ此議會ヨリ逐ハントスル事ハ、
カト言ハレテモ、果シテ諸君何ノ言葉ガアルカ、黨派ヲ離レ
テモ、人物ハ人物トシテ、政治家ハ政治家トシ、長者ハ長者
トシテ、國民トシテ尊敬ヲシナケレバナラス、若シ然ラズシテ
斯様ナル忌ムベキ心術ヲ出デタルモノナラバ、寧ロ島田君
ヲ排斥スル以前ニ、諸君ノ戴イテ居ル所ノ諸君ノ先輩、殊
ニ諸君ノ與黨トシテ之ニ奉公致シテ居ル所ノ現内閣ノ大
臣ノ中ニ、更ニヨリ以上ニ排斥スベキ、ヨリ以上ニ卑ムベキ、憎ム
ベキ人ガ或ハ有リハシナイヤト云フ事ヲ諸君ニ問ヒマ
ス(拍手起ル)故ニ私ハ島田君ニ向テ引責處決ヲ
促スト云フガ如キ、小川君ノ提案ニ向テ、私ハ絕對ニ反對
ヲ表シテ、佐々木君ノ說、即チ若シ島田君ニ向テ是位ノ問
題、是位ノ質問ニ依テ、妄言ノ罪社會風教ノ上ニ害アリト
シテ引責ヲ促ス程ノ問題デアルナラバ、寧ロ其以前ニ、斯様
ナ時代斯様ナ問題ニ於テ、天下ノ疑惑ヲ惹キ、而モ其疑惑
ノ中ニハ何トシテモ言ヒ解クトノ出來ナイ所ノ答辯ヲ爲
セル者ハ、更ニ大ナル害デアル文教ノ局ニ當テ居ル大臣ガ、
議會ニ答辯シタル所ノ其事實ニ於テ、七百七十七株ト云
フモノヲ二十五年カ家ニ仕ヘタ所ノ老女ニ對シテ報酬ト
シテ與ヘタ、慰勞トシテ與ヘタ、小川君ハ之ニ向テ恐ロシキ
所ノ諷刺ヲ與ヘタ、家庭ニ養ウテ居タ所ノ老女ニ室素株
ノ七百七十九株ヲ與ヘタ、當時ノ時價ニ積タナラバ、私斯
様ナル事ニハ甚ダ迂遠デアリマスケレドモ、問ク所ニ依レバ
殆ド十萬圓ヲ以テ數ヘルト云フ、此多額ノ株ヲ一老女ニ與
ヘタト云フコトハ、家庭ノ美事デアアル、中橋文相ノ爲メニ喜
ブベキ所ノ褒ムベキ事柄デアルト言テ、推賞ノ言葉ヲ奉ラ
レテ居リマス、而モ其推賞セル事柄ハ、全ク虛偽ノ事實デア
ルト云フコトハ、今日其直接ノ關係ノアル所ノ者カラ明カニ

言明セザレテ居ルノデアリマス(「ノウ」)「ヒヤ」(拍手)
魁然ラバ先ツ政友會ノ諸君ハ、島田君ニ引責處決ヲ促
スト云フヨリモ、人ヲ正サント欲スレバ先ツ己レヲ正ス、此多
數ヲ有スル所ノ諸君ノ力ヲ以テ、斯ノ如キ行爲ノアル、斯ノ
如キ社會風教ヲ紊亂スル所ノ疑アル大臣ニ向テ、先ツ以テ
引責處決ヲ促シテ、然ル後島田君ニ及ブト云フコトガ、眞ニ
大政黨ノ雅量アリ、眞ニ國家ヲ思フ政治道德ニ忠ナル所
以デアリト思ヒマスカラ、此意味ニ於テ修正案ニ賛成シ小
川君ノ決議案ニ絕對ニ反對ヲ致シマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 川原茂輔君

(川原茂輔君登壇、拍手起ル)

○川原茂輔君 諸君、私ハ小川君ノ提出セラレマシタ、島
田三郎君ニ對スル引責處決スベシト云フ決議案ニ賛成ノ
意ヲ表スル者デアリマス、暫ク御清聴ヲ願ヒマス、島田君ハ
初期以來ノ人デアラ、會テハ衆議院議長ノ職ニ就カレ、其
言動ハ一世ノ模範トナラナク、レバナラヌデアアル(模範ガ
「默」テ聽ケ「ト」呼フ者アリ)而シテ初期議會以來引責キ當
選シテ居ル政治上ノ先輩諸君ハ、河野君デアレ、箕浦君デ
アレ、犬養君デアレ、武富君デアレ、元田君デアレ、大岡君デ
アレ、總テ先輩ガ既ニ臺閣ノ一人トナテ、而シテ島田君
ハ不幸其域ニ至ラザルモ、亦衆議院議長トシテ、一院ヲ代
表スル歴史アル政客デアル、此人ニ向テ引責處決ヲ促スト
云フコトハ、甚ダ御氣ノ毒ニハ存ジマス(「ソ」ナラバ反對シ
「ロ」ト呼フ者アリ)御氣ノ毒ニハ存ジマス、併ナガラ其島田
君ノ言動ニ對シテハ、御氣ノ毒ニハ思フガ、遺憾ナガラ引責
處決ヲ促サナク、レバナラヌデアアル(拍手起ル)近時歐洲ノ
戰亂勃發シテ以來、國民ノ思想ノ問題ノ上ニ於テ、或ハ勞
働問題、政治經濟、總テノ問題ニ向テ非常ナル變化ヲ來
シ、我國ノ前途ニ於テモ甚ダ憂慮スベキ今日デアリマス、然
ラバ責任アル政治家ノ言動ハ、即チ國家社會ニ向テ、其總
テノ問題ニ就キ善導スベキ所ノ行動ヲ爲サナク、レバナラヌ
ト思ヒマス、若夫レ此場合ニ於テ責任アル人ガ一朝方針ヲ
誤テ、此變化セントスル所ノ思想問題、其他ニ向テ惡化
ヲ援助スルガ如キコトガアリマシタナラバ、國家ノ前途ハ如
何デアリマセウカ(「ヒヤ」)「問題外」ト呼フ者アリ拍手起
ル)「ソ」コデ此見地ヨリシテ、此見地ヨリシテ島田君ノ言動ハ、
遺憾ナガラ惡化ヲ援助スル嫌ガナカト思フデアリマス、
言論ノ自由ハオ互ニ尊重シナク、レバナラヌ、併ナガラ言論ノ
自由ヲ尊重スルト同時ニ、言論ノ放縱ハ戒メナク、レバナラヌ
デアリマス、若シ此質問書ガ濫職嫌疑ニ關スル質問
書——濫職ト云ヘバ官吏ガ職務取扱ノ上ニ於テ不都合ナ
ル行爲ヲ爲シテ、其職ヲ辱メ汚スコトガ濫職デアアル(「サウデ
ス其通り」ト呼フ者アリ)例ヘバ自家ノ財産ヲ其弊ニ讓リ、

或ハ其女中ニ讓ル、何デソレガ濫職デアアル、(「ソ」レガ惡イノ
ダ)ト呼フ者アリ何デ濫職デアアル、濫職ガ「默」ト呼フ者
アリ)若シ之ガ濫職ナリト云フナラバ、君ハ人殺ノ嫌疑ニ關
スル質問書トシテモ差支ナイデアアル、是ハ即チ言論ノ放縱
デアリマス(拍手起ル)又或ハ君ハ強盜ノ嫌疑デナカト
云フコトモ、是モ言論ノ自由デアアルガ、即チ言論ノ放縱デ
アリマス(「ヒヤ」)「ノウ」(「静」テ聽ケ「ト」呼フ者アリ)頻リ
ニ此文部大臣——文教ヲ司ル所ノ文部大臣ニ對シテ、日
本室素肥料會社ノ株式ニ就テ、盛ニ諸君ハ批評ヲ爲ス誹
議ヲ爲スガ、人ノ言フコトヲ如何ニ驚ノ島田君ハ曲ゲルト雖
モ、事實ハ事實トシテ認定セラレテ居ルデアアル、事實ハ
即チ石渡ヒサト云フ株主名簿ニ列記シテアル以上ハ、是ガ
即チ事實デアリナカ、(株主名簿ニ列記シテアル以上ハ、是ガ
即チ事實デアリナカ、)「レ」デ此事實無根ノ事柄ヲ提テ、國務大臣ノ濫職ニ關スル
質問ヲ出スト云フコトハ、是ガ果シテ國民ノ思想ノ上ニ於
テ、風教ノ上ニ於テ、是ガ果シテ——果シテ是ガ善導スベキ
手段デアリマセウカ

○議長(奥繁三郎君) 中野寅吉君ニ警告致シマス、靜ニ
ナサイ

○川原茂輔君 甚ダ島田君ノ此言動ニ對シテハ、遺憾ナ
ガラ賛意ヲ表スルコトハ出來ナイデアアル、若シ——若シ其
國務大臣ノ人ミガ財産ガア、テ、サウシテ其財産ノ處分ノ上
ニ嫌疑ヲ與ヘ、是ガ果シテ濫職ナリト云フナラバ、假ニ加藤
高明君ガ他日政局ニ立タラ、政局ニ立タ時分ニ三三三
ハ姻戚デアアル、姻戚デアアルカラ加藤君ハ政權ヲ漏ラシ、而シ
テ三三三ニ向テ利益ヲ與ヘタト云フ嫌疑ガア、タナラバドウ
ナサル、是レ言論ノ自由ト云フデアアルカ、ソレハ言論ノ放
縱デアリマス、斯ノ如キ論理ヲ以テ人ヲ誣ヒントスルコトハ、
甚ダ諸君ハ心得違デアリマス(拍手)關君ハ——關君ハ又
法規ニ依テ何故仕事ヲシナイカ、(「拍手」)關君ハ——關君ハ又
法規ニ依ラズシテ即チ引責處決ノ決議ヲ爲スト云フコトハ
甚ダ宜クナイ、斯ウ仰フシヤル、是ハ法規ニ依テ引責處決ヲ
促スノ手段ヲ執ルト云フコトハ、洵ニ易々タル事デアアル、併ナ
ガラ前ニ言タ通り島田君ハ初期議會以來ノ議員デアアル、
會テハ一院ヲ代表スル榮職ニ就カレタ人デアアル(「洵ニ尊敬
スベシ」ト呼フ者アリ)其尊敬スベキ人ガ斯ノ如キ言動ヲシ
タル上ハ、武士道ニ依テ、即チ武士ノ情ヲ以テ引責處決ヲ
促スデアリマス(拍手)其大藏大臣及農商務大臣ニ向
テ言ハレル所ノ其濫職ノ嫌疑ト云フモノガ、悉ク無根デアアル
無根ノ事柄ヲ以テ此議場ヲ騒ガシ、或ハ世間ヲ騒ガセルト
云フコトガ、此戰後ノ今日ニ於キマシテ、轉々思想ノ變化セ
ントスル時ニ當テ、斯ノ如キ安斷ヲ爲シテ、以テ世道ノ人
心ニ利益アリト爲スカ(拍手)是ハ甚ダ世道人心ヲ或ハ惡

化シハセスカト云フ疑ガアルノデアリマス、是ハ既ニ一世ノ
模範トナラナク、レバナラヌ島田君ニシテ斯ノ如キ言動ヲ爲
ス以上ハ、遺憾ナガラ引責處決ヲ促スノ外ハナイデアリマ
ス關君ハ又曰ク、訴ヲ聽イテ、片言以テ之ヲ糺スト云フコ
トハ甚ダ宜クナイ、唯ダ國務大臣ガシナ事ハアリマセ
ト云フタ其一言ヲ聽イテ、而シテ島田君ニ引責處決ヲ促
スト云フコトハ甚ダ輕卒デアアル、斯ウ云フ話デアアル、其輕卒デ
アルト云フ言葉ノ中ニ、即チ諸君ハ諸君ノ信ズル所ヲ以テ、
三大臣ノ處決ヲ促スト云フコトハ尙ホ輕卒デナカ、(拍
手)斯ノ如キ論理ガ何所ニアル、言論ノ自由ニ言ヲ藉テ言
論ノ放縱ヲ逞シウシ、世間ヲ騒ガシ、議院ヲ騒ガシ、斯ノ如
キ事ガ風教ノ上ニ利ガアルト云フコトハ心得違デアリマセ
スカ(拍手)諸君、昨日ノ議場ハドウデアリマシタカ、諸君ノ
其騷方ト云フモノハ何タル事デアアル、(「政友會ガ橫暴ナルガ
故」ト呼フ者アリ)即チ總テノ方面ノ傍聴者ガ集テ、是デ
ハ實ニ帝國議會ト云フモノハ頼ムニ足ラヌ斯ノ如キ亂暴ナ
議會ト云フモノハ、國家國民ノ利益ヲ圖ルナド、云フコトハ
木ニ縁テ魚ヲ求ムルヤウナモノデアアル(拍手)斯ノ如キ感
想ヲ與ヘタト云フモノハ誰ノ罪デアアル、(「憲政會」ト呼フ
者アリ)五ニ言論ノ自由ヲ尊重スベキタメナラバ、何故謹
デ之ヲ聽カナイデアアル、唯タ徒ラニワイ——騒イデ、而シテ
其日ヲ暮スト云フコトガ諸君ノ任務デアアルカ、斯ノ如キ事
ヲシテ以テ、戰後ノ今日ニ於テ總テノ問題ガ變化セントスル
時ニ方テ、此一院ノ行動ハ天下ノ模範トナラナク、レバナラ
ヌ其模範トナルベキ此議會ニ於テ、唯ダ亂暴狼藉ヲ常トシ
テ、即チ少數黨ノ橫暴ヲ事トシテ、事實無根ノ事ヲ以テ此
議場ヲ騒ガスト云フコトハ、諸君ノ責任デアリマス(「亂暴
狼藉トハ何」ト呼フ者アリ)斯ノ如キ事實無根ノ事ヲ捉ヘ
出シテ、(「ノウ」)「ト」呼フ者アリ)而シテ徒ラニ議院ヲ騒ガ
シ——議院ヲ騒カシ而シテ天下ノ風教ノ上ニ於テ、或ハ惡
化ヲ助長スル嫌ヒアルガ如キ行動ハ、島田君ノ爲メニ於テ
甚ダ遺憾トスル所デアアル、斯ノ如キ行動ヲ爲サレル以上ハ、
遺憾ナガラ此決議案ニ賛成シテ、足下ノ引退處決ヲ促ス所
以デアリマス

○議長(奥繁三郎君) 湯淺凡平君

(湯淺凡平君登壇、拍手起ル)

○湯淺凡平君 本員ハ近時頻々トシテ起ル所ノ懲罰權ノ
濫用ヲ排斥シ、議院ニ於ケル言論ノ自由ヲ擁護スル見地ヨ
リ、小川君提出ノ此決議案ニ對シテ反對ヲ表スルモノデア
リマス(拍手)吾々ハ佐々木君ヨリ提出ノ本案ニ對スル修
正案ニ對シテモ反對ヲ致ス(公平々々)ト呼フ者アリ)其佐
々木君ノ修正案ニ對スル理由ガ即チ小川君ノ決議
ニ反對スル所ノ理由トナルノデアリマス、惟フニ本案提出ノ

動機ハ、本月五日ノ議場ニ於テ、既ニ其兆候ヲ現シテ居タ
ノデアル、即チ當日佐々木君ヨリ島田君ノ質問ニ關シ、島
田君ノ答辯ヲサレタル其事柄ニ對シテ、政友會ノ院內總務
デアル所ノ廣岡君ガ、島田君ニ對シテ質問ヲ爲サント試ミ
ラレタコトガ即チシテ、然ルニ如何ナル事情ノ下ニ
デアリマス、廣岡君ハ急ニ論鋒ヲ轉セラレテ、佐々木君ノ
動議ニ賛成ノ演説ヲ爲サレタルデアル、而シテ此廣岡君ノ
所信ヲ翻サレタルト云フコトハ、即チ此現レント致シマシタ
ル所ノ本案ノ動機ヲ一掃シタコトハ、偶然ノ變化ト
ハ申シナガラ、議院ノ體面ニ於テ、私ハ非常ニ之ヲ喜シタ
デアル、然レニ此低氣壓ハ昨日ノ議場ニ於テ圓ラズモ再ビ
發生スルニ至リテ、今や天候甚ダ不穩ナラントスルノ兆ヲ現
ハシマシタト云フコトハ、本員ノ甚ダ遺憾トスル所デアリマ
ス、(同感々々)天候ハ其前ニ惡イタト呼フ者アリ、本案
ハ、島田君ニ對シテ、引責處決ヲ爲スベシト云フ問題デアリ
マス、其結果ハ遂ニ同君ノ除名ヲ意味スルコト云フ
コトニ立至ルノデハナカト私ハ之ヲ虞レルノデアル、一國ノ
選良、國民ノ代表者ニ對シテ、最モ峻烈ナル所ノ意義ヲ宣
告スルト云フコトノ歸著ヲ見ルモノデアリマス、而シテ島田君
ハ果シテ斯ノ如キ峻烈極マル所ノ宣告ヲ受ケネバナラスノ
デアルカ否ヤ、是レ私ノ大ニ述ベントスル所デアリマス、抑、
此本案ノ内容ニ於ケル事實ヲ調べ見マスノニ至リテ簡單
デアリマス、即チ島田君ハ其與ヘラレタル所ノ權能ニ依リテ、
三大臣ニ對シテ、嫌疑ニ關シテ質問ヲ試ミタノデアル、
吾々ハ若シ疑フ所ガアリマシタラバ、何時デモ質問ヲ爲ス
所ノ權利ヲ有シテ居ルノデアル、併ナガラ此質問ノ事實ガ
若モ全ク所謂火モ無ク煙無ク、架空虛無ノ事實ヲ捏造シ
タモノデアルト云フナラバ、自ラ制裁ヲ免レナイデアリマセウ
(捏造シタデヤナカト)ト呼フ者アリ、併ナガラ本案ニ現レマ
シタル所ノ事實ハ、既ニ新聞ニ依リテ社會ニ公ニサレタル事
實デアリ、ミナラズ、多數ノ國民ハ此問題ニ對シテハ、頗ル
甚大ナル所ノ疑ヲ持シ居ルノデアル、(拍手起リ)其通りト
呼フ者アリ、殊ニ甚シキニ至リマシテハ、經濟界反動ノ原因
モ此國務大臣潰職ガ其因ヲ成シテ居ルト云フコトモ、信ジ
テ居ル者モアルノデアル、又更ニ甚シキニ至リマシテハ、政府
與黨ノ選舉ニ於ケル運動費ノ出處ニ就テサヘモ、關聯ヲ致
シテ疑フ居ル者モアルノデアル、(拍手起リ)斯ノ如ク種々ナ
ル風説ガ流布サレテ居ル、此場合デアル故ニ、此問題ヲ以テ
唯ダ一場ノ架空の捏造説ト斷ズルコトハ出來ナイノデアル
(拍手起リ)殊ニ又島田君ハ本問題ヲ取扱フニハ、失禮ナガ
ラ餘リ適當ナル人柄デハナイト思フノデアル、株ノ賣買ヲ爲
トス云フガ如キハ、島田君ナラズトモ自ラ他ニ其人アリト私

ハ信ジテ居ル、然ルニ其柄ニナイ所ノ島田君ノ口ヨリシテ尚
且ツ是ダケノ事實ガ暴露サレルト云フコトガアルナラバ、更ニ
之ヲ精査糾問致シマシタナラバ、恐ラクハ是レ以上重大ナル
所ノ事實ガ存在シテ居ル等デアルト云フコトハ、疑フ者ハ無
イノデアル、(拍手起リ)「ウー」(ヒヤ)「ト呼フ者アリ」斯
様ナ次第デアリマス、カ、苟モ斯ノ如キ問題ノ提議サレタ以
上ハ、國務大臣タルモノハ之ニ對シテ、最モ公明正大ナル方
法ニ依リテ、是ガ或ヲ解決ト云フ義務ハ當然有シテ居ルヘキ
筈ノモノデアリ、(拍手起リ)公明正大ナル所ノ方法トハ何
ゾヤ、即チ佐々木君ヨリ二回マデモ發議サレタル所ノ議院ニ
於ケル査問ニ依リテ、始メテ之ヲ明カニスルト云フコトガ、
是レ以上公明正大ナル方法ハ無イノデアリマス、(拍手起
ル)而モ佐々木君ノ動議ニ對シテハ、政友會ニ於テモ一旦ハ
賛成ヲサレテ居ルノデハナカト(ヒヤ)「ト呼ヒ拍手起リ」
前ニモ私ガ述ベマシタル通り、政友會ヲ代表スル所ノ院內
總務ノ廣岡君ハ、明カニ此壇上ニ於テ査問會ニ賛成ヲ表
シテ居ラレル方デハナカト、同ジ總務ノ鶴澤總明君、又政友
會ノ長老タル所ノ藏內次郎作君ハ、佐々木君ノ議席ニ就
テ、政友會ハ此佐々木君ノ動議ニ賛成ヲスルモノデアルカ
ラ、廣岡君ノ演説ハ謹聽ヲシテ吳レト哀願ヲサレタルノ事
實ガアルノデアル、(拍手起リ)其通り問達ナシト呼フ者
アリ、若シ此場合ニ於ケルマシテ、或ル高處ヨリ落下シタル所ノ
落ち懸タ所ノ或ル壓力ニ對シテ、若シモ猿ノ如ク羊ノ如ク
從順ナラザル所ノ多數ガアツタナラバ、恐ラクハ此査問會ナ
ル動議ハ、完全ニ成立ヲ致シタニ違イナイノデアル、(拍手起
ル)而シテ此査問會ニ於ケルマシテ、公明正大ナル所ノ審議ガ
進メラレタナラバ、恐ラクハ政友會諸君ガ、最後マデ擁護ヲ
サレタル所ノ山本内閣ノ末路ニ讓ラザル所ノ、一大事實ガ曝
露サレタルノデハナカト信ズルノデアリマス、(拍手起リ)然ル
ニ此公明正大ナル所ノ判決ニ訴フルコトヲ爲サズシテ、唯ダ
徒ラニ被嫌疑者タル所ノ彼ノ三國務大臣ノ手前勝手ナル
所ノ辯明ノミヲ唯一ノ論據トシテ、而モ此辯明ニ對シテモ、
其内容ニ於テハ頗ル疑ハシキモノガアルヘキヤ、ト呼フ者
アリ、現ニ先刻來列ベラレマシタル所ノ、彼ノ多年使用シタ
ル所ノ老女ニ向テ七百七十九株ノ分與シタリト云フガ如
キハ、法律上ノ見解トシテハ、何ト云ハレカモ知レナイ、併ナ
ガラ常識ヲ以テ判斷ヲ致シタナラバ、此事柄ガ抑、疑感
ノ中心トナルヘキモノデアルト云フコトハ私ハ疑ハナイノデ
アル、斯ノ如キ曖昧ナル、斯ノ如キ偏頗ナル、被嫌疑者ノ陳述
ノミヲ唯一ノ論據ト致シマシテ、而モ國家ノ選良國民ノ代
表デアル所ノ島田君ニ對シテ、戰慄スベキ大侮辱ヲ與ヘル
ト云フガ如キハ、何タル輕率ナ事デアラウカ、之ヲシモ多數ノ
横暴ヲ以テ言論ノ壓迫ヲ爲スモノト云ハズシテ、將タ之ヲ

何トカ言ハンヤ、(横暴完膚ナシ)ト呼フ者アリ、(拍手起リ)
若シ夫レ島田君ノ質問中ニ用キタル用語ノ中、其言辭ノ
穩カナラザルモノアリト致シタナラバ、之ニ對スル所ノ處置
ハ議院ノ規則アリ、慣例アリ、自ラ其途ガアルノデアル、然ル
ニ之ヲ爲サズシテ、直チニ島田君ニ向テ斯ノ如キ侮辱ヲ與
ヘルト云フコトハ、單リ島田君ノ問題ニ非ズシテ、議會全體
ヲ侮辱スル所ノモノデアリ、(拍手起リ)即チ神聖ナル所ノ言
論ノ壓迫ヲ爲スモノデアルト私ハ斷ズルノデアル、(ヒヤ)「
ト呼フ者アリ、拍手起リ」之ヲ要スルニ島田君ハ其與ヘラレ
タル所ノ當然ノ權利ニ依リテ質問ヲ爲シタノデアル、其質問
ヲ爲シタ、其事柄デス、質問ヲ爲シタト云フ點ニ於テ、今日
ノ如キ嚴酷ナル所ノ處分ヲ受ケネバナラスト云フコトハ、何
ト致シテモ承認スルコトハ出來ナイノデアリマス、(拍手)諸
君ハ或ハ多數ヲ以テ、一島田君ヲ此院內ヨリ葬リ去ルコト
ハ出來ルデアリマセウ、併ナガラ一步議院ノ門ヲ出デマシタ
ナラバ、更ニ數千萬人ノ島田君有リト云フコトヲ記憶致サ
ネバザリマセウ、(拍手)此數千萬人ノ島田君ニ對シテハ、如
何ニ多數ヲ以テモ、諸君ハ之ヲ如何ニスルコトモ出來ナイノ
デアリマス、(拍手)以上ノ理由ニ依リマシテ、本員ハ此問題
ハ速ニ否決サレンコトヲ希望致スモノデアリマス、(拍手)
○議長(奥繁三郎君) 林毅陸君
(林毅陸君登壇、拍手起リ)
○林毅陸君 諸君、私ハ只今茲ニ小川君ニ依リテ提出セラ
レタル決議案ニ賛成致スモノデアリマス、(良心ガアルカ)ト
呼フ者アリ、議會ニ於テ平常尊敬シテ居リマスル先輩島田
君ニ對シテ、斯ノ如キ決議案ガ提出セラレマシテ、之ニ向テ
賛成ヲ表シ、島田君ニ引責ヲ勸告スルコト云フコトハ、甚ダ情
ニ於テ忍ビナイノデアリマス、(義ニ於テモ然リ)ト呼
フ者アリ、議會ノ權威ノ爲メニ(ウー)必要ナル問題デア
ルト思ヒマス、敢テ賛成ノ意見ヲ表シタイノデアリマス、
(拍手起リ)多數黨ノ權威デヤナイノデスカ、默シテ居レト
呼フ者アリ、近來ノ此議會ノ形勢ヲ見マシテ、私ノ最モ遺
憾ニ感ジマスノハ、言論ノ甚ダ放縱ニ流レテ、無責任ナル言
議ガ溢リニ弄バル、ト云フコトデアリマス、(拍手起リ)林君ニ
於テ最モ然リ「ヒヤ」(良心ニ恥ヂナイカ)ト呼フ者アリ、
或ハ院外ニ於テ、近來ニ於ケル衆議院ノ墮落デアルトカ、色
色ナコトヲ世間デ申シマス、私ハ所謂衆議院ノ墮落ナルモ
ノガアルトハ思ハナイカ
(學者ノ墮落)ト呼フ者アリ、其他發言スル者多シ、
○議長(奥繁三郎君) 靜肅ニ……
○林毅陸君(續) 然ルニ此衆議院ノ信用ニ對シテ——權威
ニ對シテ、世間疑ヲ懷キツ、アルト云フコトハ事實デアル、(政
友會ハドウカ)ト呼フ者アリ、甚ダ私ハ衆議院ノ爲メニ悲ム

ベキ事デアアルト思フノデアリマス(拍手)而シテ(多數が横暴ヲ極ムル故ナリ)ト呼フ者アリ其所謂議會ノ信用ヲ傷ケ議會ノ權威ヲ辱シメルニ於キマシテ、低級ナル野次云々ノ如キハ之ハ論ズルニ足リナシ、サウ云フ者ハ私ハ眼中ニ措カナイ(ヒヤ)ト拍手起ル併ナガラ(「低級ナル學者ハ眼中ニ無シ」ト呼フ者アリ)世間ヨリ見テ信用スベキ政治家ト看做サレテ居ル人ガ、幾多ノ經歷ヲ持テ居ル政治家ガ、世間ニ向テハ模範ヲ與フベキ地位ニ居ル政治家ガ、其人ガ餘リニ無責任ナル(何ガ無責任ダ)ト呼フ者アリ)言論ヲ弄シテ、議會ニ於ケル言論ノ信用ヲ傷ケルト云フニ至リマシテハ、如何ニシテモ私ハ之ヲ見棄テ、置クコトガ出來ナイノデアアル(拍手)世間ニ於テ重キヲ措カレナイガ如キ人ノ事柄ハ、マダ比較的私ハ重キヲ措カナイ、唯ダ島田君ナルガ故ニ大ニ重キヲ措イテ、此問題ヲ鄭重ニ論ゼザルヲ得ナイ(拍手)此問題ニ就キマシテ、實ハ私ハ密ニ島田君ニ同情ヲ寄セテ居ルノデアリマス、初メニ於テハ或一新聞ノ記事ヲ材料トセラレマシテ、自分ニハ確タル信念モ無イケレドモ、自分ニハ責任ヲ負フト云フマデノ考モ無イケレドモ、即チ是ハ新聞社ノ責任デアアルガ、免モ角斯ウ云フ事ガアル、斯ウ云フヤウナコト先ヅ質問ヲ始メラレタノデアリマス、是ハ島田君ノ正直ナル所ヲ現シタルモノト私ハ思フ、若シ不正直ナ人デアリマシタルナラバ、サウ云フ淡白ナ自白ハ爲サナカッタデアリマセウ、故ニ私ハ其點ハ島田君ニ對シテ、寧ロ同情ヲ以テ見ルノデアアル(詰ラヌコトヲ言フナ)ト呼フ者アリ)然ルニ斯ノ如キ己レニ確信ナク、唯ダ新聞ニ出テ居タカラ新聞ガ責任ヲ持ツノデアアル、唯ダ新聞ニ出テ居タカラ、免ニ角ノ御尋スルト云フヤウナコトヲ始リマシタガ、此問題——自分ニ確信ガ無クシテ始タル此問題ガ(確信ガアル)ト呼フ者アリ)氣ノ毒ニモ意外ノ發展ヲ來シタノデアアル、吾々ハ島田君ニ言フ、何故君ハ自分ニ確信ナシ問題ヲ持出シタノデアアル(「確信ガアル」ト呼フ者アリ)總理大臣ハ曰ク、證據ヲ出シテ來イ、吾吾ハ之ニ向テ果シテ責任ヲ負フコトガ出來ルナラバ、其實證ヲ舉ゲヨト迫ル、是ニ於テ島田君ハ餘儀ナクモソレニ釣込マレテ、深味ヘ深味ヘト入デ來マシタノデアリマス(拍手)退却スルコトガ出來ナイ破目ニ陥ラレタノデアアル、是ハ私ハ甚ダ同情スル、寧ロ始リカラ淡白ニ、是ハ實ハソレ程ノモノトハ思フデ居ナカッタ、サウ云フ事實デアアルナラバ、我輩ハ強テ此事ハモウ迫窮シナイ、潔ク退却セラル、ナラバ、ソレデ宜シカッタノデアアル、然ルニ誤レル出發點ヨリ始リタル島田君ノ質問ガ、勢ニ乗ジ、否ナ勢ニ制セラレテ益、深味ヘ入ッテシマハレタノデアアル、サウシテ更ニ第二回ノ質問書ニ於テハ、始リニ述ベラレタル所ハ好イ加減ニシテシマッテ、其事ハ十

分言フコトガ出來ナイデアリマセウ、サウシテ更ニ新ナル事實ヲ舉ゲテ、内閣大臣ニ向テ潰職ノ嫌疑デアルト云フヤウナ、又新ラシイ問題ヲ出シタ、益、深味ヘ入ラレタノデアリマシテ、甚ダ氣ノ毒ニ思フ、而シテ其新タニ提起セラレタル所ノ事柄ニ就テハ、初メニ述ベテ居ラレタル事柄ト併セテ、當局大臣ヨリ極メテ的確ナル答辯ヲ與ヘ、辯明ヲ與ヘ、其證據ナク杜撰極マル所ノモノデアルト云フコトガ明白ニシタノデアリマス(拍手)斯ノ如ク明白ニナリマシタ以上ハ(「何ガ明白ダ」ト呼フ者アリ)島田君自身モ己レノ言フ所ニ對シテハ、責任ヲ負フト云フコトヲ自ら宣言セラレテ居ルノデアリマスカラ、其御言葉通り、男ラシク責ヲ引カレルト云フコトハ當然デアアルノデアリマス(拍手)若シ之ヲ不問ニ附シテ置キマシタルナラバ、即チ無責任ナル言論ヲ其儘看過スルコトニ對スル世間ノ不信用、之ヲ深ク氣遣ヒマスルガ故ニ、飽迄モ此點ニ就テノ責任ヲ明ニスル必要ガアルト思フ(「ヒヤ」)「林君良心ガアルカ」ト呼フ者アリ)此事ニ就テ反對黨ノ諸君ヨリ述ベマシタ點ニ、一ノ私ハ同感ヲ表スル點ガアル、ソレハ島田君ガ此質問ノ件ニ就テ、再び意見ヲ述ベヤウト求メラレテ居ラレタル、然ルニ其機會ヲ與ヘナイ儘デ、此決議ヲシテシマハウト云フコトハ宜シクナイ(「其通り」ト呼フ者アリ)斯ウ云フ事ヲ言フコト居ラレマス、是ハ如何ニモ私ハ御尤ダト思フ(「其通り」ト呼フ者アリ)併ナガラ此決議案ハ島田君ノ身上ニ關スル事柄デアリマスルカラ、愈、最後ノ決ヲ採ルト云フコトニ先ダチマシテ、必ズ島田君ニ發言ノ機會ヲ與ヘラル、コトデアラウト私ハ思フ、(「ソレハ當然ダ」ト呼フ者アリ)然ラバ其場合ニ於テ、島田君ノ言ハント欲スル所ヲ十分ニ御述ニナルガ宜シイ、吾々ハ十分之ヲ傾聴スル積リデアアル、島田君ニ對シテ何等發言ノ機會ヲ與ヘズ、間カラ閣ニ葬ルト云フコトハ無イノデアリマス、若シ島田君ガ更ニ意見ヲ述ベント欲スルナラバ、其決議案ノ採決以前ニ於テ、機會ハ與ヘラル、デアラウト私ハ思フ、故ニ此點ニ於テノ反對黨ノ御議論ニハ同情ヲ表シマスケレドモ、是ハ御心配ニハ及バナイ、島田君ガ若シ辯明セント欲セラル、ナラバ、其機會ハ與ヘラル、デアラウト私ハ思フ(「餘計ナ事ヲ言フナ」ト呼フ者アリ)色々唯今マデニ述ベラレタ事柄ニ就テ、政府當局ノ辯明ガ信用スルニ足ラナイト云フコトニ就テ、(「其通り」ヤナイカ)ト呼フ者アリ)中橋文部大臣ノ老女タル石渡ヒサナル者ノ事ニ就テ、段々御説ガアツタサウデアリマス、(「ソレハ老女デヤナイ」ト呼フ者アリ)其以外ノ事ハ餘リ耳ヲ傾ケルコトハ致シマセヌ、耳ヲ傾ケルダケノ値打ガ無カッタウデアリマスガ、此石渡ヒサナル者ニ就テハ、事實ガ間違デ居ルト斯ウ云フ御議論ガアツタノデアリマス、此石渡ヒサナル者ニ

七百七十九株ト云フモノヲ與ヘタト云フノハ、何ダカ偽リデアアルカノ如ク言ハレタノデアリマス、(「其通り」然リク)「君ノ辯論ノ如シ」ト呼フ者アリ)併シテ是ハ唯ダ事實ノ問題デアリマス、議論ノ事デアリマセヌ、其石渡ヒサナル者ハ私ノ間ク所ニ依レバ、中橋家ニ長ク事ヘテ居リマシテ、中橋文部大臣ノ息子ガ家ヲ成ス場合ニモ、又其令嬢ガ結婚セラル、場合ニ於テモ、常ニ其身邊ニ伴ウ者、一方ナラザル世話ヲ爲シ(「嘘ヲ吐クナ」苦シイナ)ト呼フ者アリ)中橋家トハ舊イ關係ヲ持テ居ル人デアッテ、現ニ今日ニ於テモ中橋家ニ居ルノデアリマス、(「駭辯々々」ト呼フ者アリ)議場騷然)

○議長(奥繁三郎君) 御靜ニ……

○林毅陸君(續) デ或ハ此大林某ト云フ者ガアッテ、此議會ヘ來テ斯ウ云フ事ヲ言ウタト云フコトヲ、憲政會ノ方ハ言ハレテ居ッタヤウデアリマスガ、唯今聞ク所ニ依レバ、此大林某ナル者ハ、石渡ヒサナル者ノ長ク相見ザル所ノ人デアリ、最近ニ於テ石渡ヒサナル者ノ身上ガ、如何ナル事情ニナッテ居ルカト云フ事ヲ、一向知ラナイ筈ニナッテ居ルト云フ事ヲ確メタノデアリマス(拍手起ル)石渡ヒサナル者ガ中橋家カラドレダケノ叔ヲサレテ居ルカト云フヤウナ事ハ、少シモ與リ知ラザル所デアアル(拍手起ル)サウ云フ人ガ憲政會ノ諸君ノ所ヘヤッテ來テ、何カ彼ニカ申シタカラトテ、何モ採用スルニ足ラナイノデアアル(拍手起ル)若シ本人ノ石渡ヒサナル者ガ之ヲ否定スル、本人ガ否定スルト云フコトデアッタナラバ是ハ問題ニナル、併ナガラ本人ハ否定シナイ、寧ロ却テ此大林某ナル者ノ言フコトハ、少シモ信用スベキデナイト云フコトヲ本人ハ言ッテ居ル、是ハ總テ事實ノコトデアリマス、唯ダ事實ダケノコトデアリ議論ノ餘地ハ無イ(中橋ノ辯護ハ止シ給ヘ)ト呼フ者アリ)中橋家ト此老女トハ如何ナル關係ニ在ルカト云フコトハ、單純ナル事實ノ問題、之ヲ以テ強イデ議論ヲセラル、ト云フコトハ、甚ダ吾々ノ了解シ難イ點デアアル(拍手起ル)況ヤ此場合ノ問題ニナッテ居リマスルノハ、單ニ此石渡云々タケノ事デナイ(「皆ナ臭イノデアアル」ト呼フ者アリ)其娘ニ幾ラ株ヲ遺タ、其息子ニ幾ラ株ヲ分ケテ遺タ、其事ハ誰モ否定シナイデハナイカ、サウ云フ二千株ハ息子ニ渡シタ他ノ二千株ハ娘ニ分ケテ遺タ、其餘リ七百餘株ト云フモノヲバ、老女ノ養老ノ資トシテ與ヘテ遺タトカ、唯ダ一小部分ノ事デアアル、其一小部分ノ事ダケ捉ヘ來テ、而モ事實ニ無イ事ヲ言ウテ、強テ之ヲ以テ全體ノ問題ヲ晦マサウト云フノハ、餘リ卑怯ナ遺リ方デアアル(拍手起ル)「ヒヤ」ト呼フ者アリ)私ハ此場合ニ於テ多ク言フ必要ハ無イ、若シ論ズルニ足ラザル人物ナラバ免モ角、島田君ノ如キ人ガ、斯ウ云フ無責任ナル放縱ナル言論ヲ爲シテ、之ニ何等ノ制裁ヲ加ヘナイトシタルナラバ、將來益々惡傾向ヲ助長スル危險ガアル、

拍手起リ「ヒヤ」ト呼フ者アリ議會ノ信用ヲ高ムルガ爲メニ、議會ニ於ケル言論ノ權威アラシムル爲メニ、斯ノ如キ無責任ナル言論ニ對シテハ、斷然タル制裁ヲ加ヘラレンコトヲ希望致シマス

〔拍手起リ議場騒然〕

○岩崎勳君 議長

○議長(奥繁三郎君) 岩崎勳君

○岩崎勳君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

〔賛成々々〕反對々々ト呼フ者アリ拍手起リ

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ヨリ討論終結ノ動議が出マシタ、之ヲ採決スル先ニ、唯今島田君ヨリ自己ノ身上ニ就キ辯明シタイト云フ通告ガアリマシタ、島田三郎君ニ發言ヲ許シテ、其演説ヲ聴イタ後ニ、岩崎君ノ動議ヲ採決スル考デアリマス

〔拍手起リ「公平々々」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナイト認メマス——島田三郎君

〔島田三郎君登壇、拍手起リ〕

○島田三郎君 諸君、此問題ハ極メテ重大ナル問題デアリマス、此事ハ内閣ノ信用並ニ議會ノ信用全部ニ對シテノ重大問題デアリマス、本員ガ一タビ之ヲ提出シ、再ビ之ヲ提出スルノ機會ヲ得ントシタル際ニ、其事ノ總テノ手續ヲ中斷シテ、昨日ノ小川君ノ動議ガ提出セラレタノデアリマス、其小川君ノ演説ハ、議場極メテ喧器デ、聴取ルコトガ出來ナカッタノデアリマス、ソレ故ニ議長ガ之ヲ速記録ニ記シテ、明日諸君ニ示シテ、サウシテ之ヲ靜ニ論ゼント云フコトデ、昨日ノ散會告ゲタノデアリマス、大臣ハ列席セラレマシタケレドモ、喧器ノ議場ニ於テ、應酬ヲスル時モ無カッタ位デアリマス、本員ガ一(議場騒然)靜ニ御聽ナサイ——本員ガ文書ヲ以テ世ノ中ニ發表致シマシタル彼ノ長キ——僅ニ一部分ヲ舉ゲテ、大臣ガ自己ノ便利ニ論法ヲ立テ、答ヘラレタト云フコトハ、今朝之ヲ發見スル迄ハ、僅ニ其寫ヲ見テ、其一端ヲ知ルニ過ギナカッタノデアリマス、斯様ニシテ本員ハ其文書ヲ議長ヨリ受取りマシテ、更ニソレニ對シテ再質問ヲ爲スト云フ、此發議ヲ昨日致シテ、其權利ヲ保留致シタルデアリマス、凡ソ斯ノ如キ問題ハ、甲是カ、乙非カ、之ヲ決スルニハ、若シ本員ノ議ガ世ノ中ニ容レラレマシタナラバ、少クトモ三大臣ハ其椅子ヲ去ラナケレバナラス所ノ境遇ニ立ツデアリマス(拍手起リ)若シ本員ノ議ガ容レラレザルニ方テハ、本員ハ諸君ノ請求ヲ待タズシテ、自ラ決スル位ナコトハ何デモナイノデアリマス、然ルニ何事ゾ、勿々總テノ應酬ヲ中斷シ問答ノ機會ヲ與ヘズ、更ニ再度ノ質問書ヲ出ササルニ方テ、勿々トシテ諸君ハ此未決ノ問題ヲ確定ノ問題トシ

テ、斯ノ如キ處決ヲ請求セラレルノデアリマスガ、諸君モ亦甚ダ輕躁ナリト謂ハナケレバナラスト思フノデアリマス(拍手起リ)本員愈々其事ガ分レバ、自ラ決スルコトハ何デモナイノデアリマス、御請求ヲ待タズノデアリマス、併ナガラ大臣ノ答甚ダ要領ヲ缺イテ居リマシテ、本員ノ問ウタ所ノモノニ巧ニ其論點ヲ避ケテ答ヘラレタノデアリマス、併ナガラ此事ハ餘儀ナキ境遇デ、本員ハ甚ダ不便ヲ感ジタノデアリマス、若シ幸ニ本月五日佐々木君ノ議ガ容レラレテ、特別ニ調査委員會ヲ開クコトニナリマシタナラバ、本員モ亦其言ハントスル所ヲ盡シ、大臣モ其答ヘントスル所ヲ答ヘラレテ、雙方天下ニ向テ快ク爭フ決シ得タルニ、何ノ譯デアルカ勿々トシテ廣岡總務ノ議ヲ覆シテ、而モ佐々木君ノ語ル所ニ依レバ、是非ノ問題トシタイト云フノデ、佐々木君ニ此議ノ提出ヲ促シタ、政友會議員アルニ拘ラズ、總務廣岡君ノ發議ヲ無視シテ、直チニ之ヲ暗中ニ葬ラズ、總務廣岡君ノ發議ヲ以テ多數ノ御方ガ議會ヲ自由ニシ得ルニ拘ラズ、此決スベキ問題ヲ横ニ抑ヘテ、之ヲ未決ニ附シタル所ノ責任ヲ問ハナケレバナラスト本員ハ思フノデアリマス(拍手起リ)斯ノ如クニシテ天下ノ疑ハ懸テ此議會ニ在リト言ハンヨリハ、多數黨諸君ノ身邊ヲ蓋ヒ、且ツ三大臣ノ頭上ノ黑雲總テノ上ヲ隱蔽シタノデアリマス、ソレ故ニ本員ハ再ビ此問題ヲ提起シテ、諸君ノ判決ヲ乞ハナガ爲メニ、但シ此議場ハ動モスレバ適當ナル議論、殊ニ其身ニ甚ダ痛烈ナル議論ガ動モスニハ、常ニ之ヲ支ヘテ、人ヲシテ言論ノ自由ノ甚ダ達シ難キヲ憂ヘシムル傾向ガアリマス(拍手起リ)議場騒然現在ソレガイケナイノデス——ソレガイケナイノデス、貴方ガタガ今私ノ言ウテ居ル所ノ事ガ偶々其實例ヲ現シタノデアリマセヌカ、(拍手起リ)島田ハ惡化シタト呼フ者アリ)靜ニ聽イテ議スヘキヲ御議シナサイ(無證據ノコトヲ言フナ)此方モ一個ノ議員ダト呼フ者アリ)靜ニナサイ——ソレ故ニ本員ハ先ヅ以テ此議會ノ言論ノ自由ノ甚ダ乏シキヲ感ジテ、長文ヲ草シテ、之ヲ議會ノ中ト同時ニ、議會ノ外ノ人ノ判斷ヲ乞フコトノ便利ヲ圖タノハ、本員ノ自白スル所デアリマス、幸ニ天下此議院ノ多數ヲ除イテハ、多大ノ反響ヲ生ジタコトハ、本員快ク此議席ヲ去リテモ(拍手起リ)目的ヲ達シ得テ、甚ダ快ク感心スルノデアリマス、諸君ハ多數ノ意ヲ以テ本員ヲ此議場カラ去ラシムルナラバ、甘ンジテ受ケルノデアリマス(拍手起リ)最早議論ハ無イト思フ、然ラバ何故ニ此場合ニ於テ本員ガ此處ニ立タカト申シマスレバ、昨日勿卒ニ本員ニ催促セラレタ所ノ手續ガ、甚ダ違法違例デアル、若シ本員ニ加ヘルニ斯ノ如キ宜シカラザル例ヲ以テシタラバ、明日ハ諸君ノ上ニ矢張斯ノ如キ事ノ起ルト云フコトハ、議院ノ爲メニ痛嘆息シナケレバナナイノデアリマス(拍手

起ル)ソレ故ニ先ヅ以テ本員ハ此手續ヲ非難シナケレバナラス、何故ニ大臣ノ答ガ終リノ決定ノ事實デアルト斯様ニ申サレルノデアルカ、本員ノ論ジタル所ニ較ブレバ殆ト四分一位キヨリ外言デナイノデアル、本員ハ總テノ問題ニ互テ今ノ政界ノ腐敗、殊ニ政黨社會ト商業家ト全ク同心一體ノ如ク陷テ、天下ノ腐敗今ノ時ニ極マルコトヲ世ノ中ニ告ゲテ、此廓清ヲ圖ルノ端緒ヲ啓キタイト思ウタノデアリマス、(拍手起リ)再質問ニハ詳シク之ヲ論ジテ、證ヲ舉ゲ實ヲ告ゲテ殊ニ高橋君ガ自ラ傲然トシテ過去ノ歴史ヲ飾ルガ如ク言做サレタ秘露事件ノ真相モ、私ノ提出シタ再質問ニ載ッテ居リマス、此再質問ヲ議場ニ讀ムノ暇モ與ヘズ、此再質問ガ出タト云フコトノ報告モナイ中ニ、直チニ大臣ノ陳列シタ彼ノ無意味ナ形式の答辯ヲ以テ、最後ノ確定ノ事實ノ證據ヲシタイト云フコトハ、抑、吾々同志ノ受ケザル所、本員モ亦之ヲ甘受セザル所ノモノデアリマス、本員ノ考ニ依リマスルト、政治上ノ裁決ト裁判所ニ於ケル法律上ノ裁決トハ、全ク範圍ガ違テ居リマス、議會ハ政治道德ノ上ニ立ッテ社會ノ信用ニ依ッテ論ズベキ所ノ廣キ範圍ヲ有ッテ居リマス、直接ノ證據ヲ舉ゲントスレバ、證人ヲ呼バナケレバナラス、議會ハ此權限ガ無い、嫌疑ヲ受ケタ人ノ家ノ證據ヲ押ヘ、或ハ彼ノ相場の證據物ニ就テハ、帳簿モ押ヘナケレバナラスノデアリマス、是モ議會ニハ權限ガ無い本員ガ指摘シタル所ノ住友銀行ニ預ケ置イタト云フコトハ、是ハ住友銀行ノ帳簿ヲ調ヘレバ、確ニ私ハ確信シテ、昨日ノ大臣ノ答辯ハ偽デアルト云フコトノ斷言ヲ致シマス、(拍手起リ)裁判所ヘ願ヒ給マヘト呼フ者アリ)裁判所ハ刑法其他ノ法律ノ支配スル所、立法部議會ハ左様ナ狭キモノデアリマセヌ、總テノ證據ハ間接ナリ直接ナリ、世ノ中ノ周知見ル所ノ前ニ立ッテ、信用何レニ屬スルカト云フコトヲ裁決シ得ベキ所ノ立法部デアリマス、諸君ガ之ヲ區裁判所ニ較ベルコト勿レ、又之ヲ地方裁判所ト並ブルコト勿レ、諸君ノ權限ハ更ニ是ヨリ大ナルモノガアリマス(拍手起リ)但シ證據ノ舉ゲ難キ事恰モ、和姦罪ト同ジキ所ノ相場案デアリマス、預ケル者モ尙且ソレセラレタ者モ秘密ニ、雙方互ニ便宜ノ爲メニ隱レ合ウモノデアリマス、加フルニ今舉ゲタル所ノ直接證人ヲ喚ブコト能ハズ、帳簿ヲ調ベルコト能ハズ、如何ニシテ一家ノ事ヲ修飾シテ偽リノ答辯ヲ與ヘルト云フコトニ、的確ナル反證ヲ舉ゲルコトガ出來マスカ、之ガ裁判所ト議會ニ於ケル所ノ辯論ノ違デアリマス、併シナガラ本員ハ既ニ世ノ中ニ前ノ質問ヲ公ニスル機會ヲ得タノデアリマスカラ、僅ニ此議會ニ居ル所ノ二百八十名ノ非難ヲ何トモ心ニ留メヌノデアリマス、(泣言ヲ言フナ)ト呼フ者アリ)拍手起リ議論騒然)且ツ以テ議長ノ手許ニ差出シタル所ノ、速ニ公ニセンコトヲ請ウテ

言シテ置キマス——岩崎勲君ノ討論終結ノ動議ニハ被異議アリマセスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(奥繁三郎君) 異議ナイト認メマス、採決致シマス
佐々木安五郎君ノ修正案ハ起立ニ諮ヒマス、此修正案ハ演説ニ於テ述ベラレマシテアリマセウデ、諸君ハ能ク御承知デアラウト思ヒマセガ念ノ爲メ申シマス、小川君提出ノ決議案中「議員島田三郎君提出高橋大臣云々ノ質問ハ」ソレ以下ヲ削除シテ、其實問「ニ對シ以上三大臣ハ進ムデ徹底の闡明ノ態度ヲ取ラズ一片ノ辯明書ヲ以テ七千万人民ノ視線ヲ糊塗セムトスル者ト認ムスノ如キハ官紀振肅風教維持ノ上ヨリ國民思想ヲ惡化スル虞アリ依テ以上三大臣ハ速ニ引責處決スヘシ」斯ウ云フ修正案デアリマス、此修正案ニ同意ノ諸君ニ起立ヲ命ジマス

〔修正案賛成者起立〕

○議長(奥繁三郎君) 修正案ハ即決ニナリマシタ——小川君ノ……〔即決デハ判ラヌ〕即決否決ダラウ」ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 否決ニナリマシタ——小川君ノ島田君ニ對シテ處決ヲ求メルト云フ決議案、是ハ記名投票ニ依テ採決シマス、小川君ノ決議案ニ賛成ノ諸君ハ白票、反對ノ諸君ハ青票——開鎖——指名點呼ヲ命ジマス

〔原田書記官氏名ヲ點呼ス〕

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ハアリマセスカ
〔アル——〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ハアリマセスカ
〔アリマセヌ〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ハ無イト認メマス——開鎖——開匣——投票ノ結果ヲ報告シマス
〔寺田書記官長期讀〕

投票總數 四百二十一

可トスル者 二百六十四
否トスル者 百五十七

○議長(奥繁三郎君) 小川平吉君提出ノ決議案ハ可決サレマシタ(拍手起ル)

決議案ヲ可トスル議員ノ氏名左ノ如シ

石井 三郎君	今井 今助君	今泉嘉一郎君
石川 善盛君	岩崎宗茂助君	市村 貞造君
岩切 重雄君	一宮房治郎君	禰 苗代君
飯島 信明君	伊藤 虎助君	岩崎 勳君
井上敬之助君	池田 龜治君	井坂 豐光君
岩崎幸治郎君	井上角五郎君	石川 玄三君
岩本 平藏君	伊坂秀五郎君	伊澤平左衛門君

磯田 三郎君	伊藤 廣幾君	池田 猪三君	藏內 次郎君	久下 豐忠君	國澤 新兵衛君	岡本 幹輔君	大津 淳一郎君	太田 信治郎君
原田 十衛君	八田 宗吉君	林 毅陸君	山口 義一君	山本 泰太郎君	山本 清三郎君	小野 重行君	尾崎 行雄君	春日 俊文君
花岡 次郎君	長谷川 宗治君	長谷川 敦君	山田 永俊君	山口 熊野君	安原 仁兵衛君	加藤 定吉君	香川 保忠君	川副 綱隆君
花城 永渡君	原田 佐之治君	萩 亮君	谷津 新八郎君	柳原 九兵衛君	矢野 丑乙君	門屋 尚志君	金澤 安之助君	神谷 彌平君
波多野 五郎君	濱口 吉兵衛君	萩 亮君	山本 悌二郎君	山崎 猛君	八木 逸郎君	河野 廣中君	金尾 稜藏君	金田 平兵衛君
西澤 定吉君	秦 豐助君	鳩山 一郎君	山口 嘉藏君	牧山 耕藏君	松岡 俊三君	橫山 勝太郎君	吉田 稜吉君	橫山 金太郎君
西村 伊亮君	西川 嘉門君	西村 正則君	前田 米藏君	舞田 壽三郎君	松田 源治君	吉川 吉郎兵衛君	武內 作平君	田川 大吉郎君
友常 毅三郎君	本多 貞次郎君	堀切 善兵衛君	松野 鶴平君	松山 常次郎君	松浦 五兵衛君	田中 武雄君	高橋 久次郎君	龍口 了信君
陣 軍吉君	戶狩 權之助君	富安 保太郎君	牧野 良三君	丸山 嵯峨一郎君	福井 三郎君	高田 武雄君	高橋 久次郎君	田中 善立君
小山 田信藏君	小田 切磐太郎君	岡崎 邦輔君	益谷 秀次君	麓 純義君	小泉 策太郎君	武富 時敏君	高橋 久次郎君	田中 善立君
大石 大君	小川 平吉君	大久保 虎吉君	福井 甚三君	深見 寅之助君	江崎 幸太郎君	永井 飛雄太郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
大林 森次郎君	岡田 伊太郎君	大島 實太郎君	古林 與六君	古林 新治君	阿部 武智雄君	武富 時敏君	高橋 久次郎君	田中 善立君
岡 順次君	長田 桃藏君	大岡 育造君	遠藤 良吉君	穴水 要七君	青柳 郁次郎君	津原 武雄君	高橋 久次郎君	田中 善立君
若林 德懋君	渡邊 祐策君	河相 三郎君	淺石 惠八君	赤田 瑤一君	齋藤 壽雄君	野呂 丈太郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
柿原 政一郎君	河崎 清君	金光 庸夫君	秋本 喜七君	坂本 素魯哉君	阪上 貞信君	山移 定政君	高橋 久次郎君	田中 善立君
加藤 重三郎君	改野 耕三君	海原 清平君	佐藤 寅太郎君	三枝 彦太郎君	崎山 克治君	八並 武治君	高橋 久次郎君	田中 善立君
粕谷 義三君	加藤 久米四郎君	川原 茂輔君	佐藤 良平君	指田 義雄君	澤 來太郎君	山移 定政君	高橋 久次郎君	田中 善立君
川村 數郎君	神田 重義君	風間 八左衛門君	佐野 正雄君	佐々木 志賀二君	菊池 長右衛門君	降旗 元太郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
海江田 準一郎君	河上 哲太君	吉植 庄一郎君	櫻内 幸雄君	齊藤 賢太郎君	菊池 長右衛門君	山口 直吉君	高橋 久次郎君	田中 善立君
吉原 祐太郎君	吉原 正隆君	吉野 小一郎君	榊田 清兵衛君	齊藤 賢太郎君	菊池 長右衛門君	安達 謙藏君	高橋 久次郎君	田中 善立君
米田 稜君	米澤 與三三君	高柳 淳之助君	清澤 規矩雄君	吉良 元夫君	菊池 長右衛門君	阿由 葉勝作君	高橋 久次郎君	田中 善立君
橫山 寅一郎君	高橋 本吉君	高柳 淳之助君	木下 謙次郎君	北井 波治目君	木村 清三郎君	佐々木 千秀君	高橋 久次郎君	田中 善立君
高橋 辰二君	高橋 正雄君	高柳 淳之助君	木下 謙次郎君	北井 波治目君	木村 清三郎君	齊藤 宇一郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
田中 定吉君	田邊 熊一君	高柳 淳之助君	宮崎 三之助君	三善 清之君	水野 吉太郎君	定行 八郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
田村 順之助君	高島 七郎右衛門君	高柳 淳之助君	宮崎 三之助君	三善 清之君	水野 吉太郎君	三浦 得一郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
竹澤 太一君	高橋 光威君	高柳 淳之助君	宮崎 三之助君	三善 清之君	水野 吉太郎君	清水 留三郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
玉置 良直君	高橋 光威君	高柳 淳之助君	宮崎 三之助君	三善 清之君	水野 吉太郎君	清水 留三郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
竹上 藤次郎君	龍野 周一郎君	高柳 淳之助君	宮崎 三之助君	三善 清之君	水野 吉太郎君	清水 留三郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
田中 隆三君	高橋 善五郎君	高柳 淳之助君	宮崎 三之助君	三善 清之君	水野 吉太郎君	清水 留三郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
津崎 尚武君	塚原 嘉藤君	高柳 淳之助君	宮崎 三之助君	三善 清之君	水野 吉太郎君	清水 留三郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
坪田 十郎君	鶴見 孝太郎君	高柳 淳之助君	宮崎 三之助君	三善 清之君	水野 吉太郎君	清水 留三郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
中山 佐市君	中村 清造君	高柳 淳之助君	宮崎 三之助君	三善 清之君	水野 吉太郎君	清水 留三郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
成田 直一郎君	中倉 萬次郎君	高柳 淳之助君	宮崎 三之助君	三善 清之君	水野 吉太郎君	清水 留三郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
長峰 與一君	中島 守利君	高柳 淳之助君	宮崎 三之助君	三善 清之君	水野 吉太郎君	清水 留三郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
中島 鵬六君	永屋 茂雄君	高柳 淳之助君	宮崎 三之助君	三善 清之君	水野 吉太郎君	清水 留三郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
中村 喜平君	向井 倭雄君	高柳 淳之助君	宮崎 三之助君	三善 清之君	水野 吉太郎君	清水 留三郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
梅田 潔君	上塚 司君	高柳 淳之助君	宮崎 三之助君	三善 清之君	水野 吉太郎君	清水 留三郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
宇野 勇作君	上塚 司君	高柳 淳之助君	宮崎 三之助君	三善 清之君	水野 吉太郎君	清水 留三郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
植竹 龍三郎君	內山 安兵衛君	高柳 淳之助君	宮崎 三之助君	三善 清之君	水野 吉太郎君	清水 留三郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
野村 治三郎君	野村 勘左衛門君	高柳 淳之助君	宮崎 三之助君	三善 清之君	水野 吉太郎君	清水 留三郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
野呂 駿三君	野口 忠太郎君	高柳 淳之助君	宮崎 三之助君	三善 清之君	水野 吉太郎君	清水 留三郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君
黑住 成章君	久慈 貫一君	高柳 淳之助君	宮崎 三之助君	三善 清之君	水野 吉太郎君	清水 留三郎君	高橋 久次郎君	田中 善立君

守屋松之助君 仙波 太郎君 富永孝太郎君
大濱忠三郎君 押川 方義君 田淵 豊吉君
副島 義一君 中野 正剛君 野溝傳一郎君
山本 厚三君 山科慎次郎君 松下 禎二君
松本 君平君 安藤 正純君 秋田 清君
佐々木安五郎君

○議長(與繁三郎君) 島田三郎君—議長ハ島田君ガ

此決議ノ結果ニ就キマシテ、發言ヲ求メラシマシモノト認
メマシテ、之ヲ許シマス

○島田三郎君登壇(拍手起ル)

○島田三郎君 本員ハ小川君提出ノ決議案ガ可決セラ
レテ、本員ノ自決ヲ促スト云フコトノ報告ヲ承リマシタ、本
員ハ此不當ノ決議ニ服從シマセヌ、(「ヒヤ」)ト呼フ者ヲ
リ拍手起ル)

○議長(與繁三郎君) 一時間許リ休憩致シマス
午後一時十九分休憩

午後三時二分開議

○議長(與繁三郎君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

(原田書記官朗讀)

一 今二十七日貴族院ヨリ廻付セラレタル政府提出案
左ノ如シ

道路公債法案

所得税法改正法律案

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案

一 今二十七日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ議
案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案(政府提出)

大正八年法律第五號中改正法律案(政府提出)

朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル法律案(政府提出)

電信事業公債法案(政府提出)

電話事業公債法中改正法律案(政府提出)

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)

臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)

樺太事業公債法中改正法律案(政府提出)

國債償還資金ノ繰入ヲ爲サ、ルコトニ關スル法律
案(政府提出)

事業公債金特別會計法中改正法律案(政府提出)

大正五年法律第四號中改正法律案(政府提出)

國債整理基金特別會計法中改正法律案(政府提出)

家祿賞典祿處分法施行法中改正法律案(政府提出)

鐵道國有法中改正法律案(政府提出)

京釜鐵道買收法中改正法律案(政府提出)

成田鐵道及中越鐵道買收ニ關スル法律案(政府提出)

一 今二十七日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ議
案ニ對シ承諾スルコトヲ議決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ
受領セリ

大正七年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外
支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求
ムル件)

大正七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過
及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度大正三年度臨時事件豫備費支出ノ
件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度大正三年度臨時事件豫備費外ニ於
テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度帝國鐵道特別會計積立金支出ノ件
(承諾ヲ求ムル件)

大正七年度帝國鐵道特別會計積立金外ニ於テ
豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

一 今二十七日議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ
如シ

茨城縣ニ於ケル人權蹂躪ニ關スル再質問主意書
提出者 橫山勝太郎君 鈴木富士彌君

天津淳一郎君

高橋大藏大臣、山本農商務大臣、中橋文部大臣
濱職ノ嫌疑ニ關スル再質問主意書
提出者 島田三郎君

一 今二十七日政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

衆議院議員松本君平君提出普通選舉ニ關スル質
問ニ對スル答辯書

衆議院議員森下龜太郎君提出特別市制制定ニ
關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員橫山勝太郎君提出明治會館ニ於ケル
警察官ノ職權濫用ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員中野正剛君提出外交ニ關スル再質問
ニ對スル答辯書

大正九年七月二十七日

內閣總理大臣原敬

衆議院議長與繁三郎殿

衆議院議員松本君平君提出普通選舉ニ關スル質問ニ
對シ別紙答辯書差進候也

(別紙)

衆議院議員松本君平君提出普通選舉ニ關スル質
問ニ對スル答辯書

政府ハ現在ノ國情ニ於テ現行衆議院議員選舉法ノ規
定ヲ適當ト認メ亦一般國民モ之ニ満足ヲ表スルモノ
思惟ス市制町村制ニ付テハ次期ノ帝國議會ニ改正案
提出ノ見込ナリ

右及答辯候也

大正九年七月二十七日

內務大臣床次竹二郎

大正九年七月二十七日

內閣總理大臣原敬

衆議院議長與繁三郎殿

衆議院議員森下龜太郎君提出特別市制制定ニ關ス
ル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員森下龜太郎君提出特別市制制定ニ
關スル質問ニ對スル答辯書

特別市制ノ制定ニ關シテハ政府ハ目下攻究中ニシテ未
タ成案ヲ得ルニ至ラス

右及答辯候也

大正九年七月二十七日

內務大臣床次竹二郎

大正九年七月二十七日

內閣總理大臣原敬

衆議院議長與繁三郎殿

衆議院議員橫山勝太郎君提出明治會館ニ於ケル警察
官ノ職權濫用ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員橫山勝太郎君提出明治會館ニ於ケル
警察官ノ職權濫用ニ關スル質問ニ對スル答辯書

本月二十二日明治會館ニ於ケル演說會ハ會衆騷擾ノ
結果混亂ニ陥リタルヲ以テ解散ヲ命ジタルニ尙煽動不
穩ノ行動ニ出ツルモノアリ益々騷擾ヲ極メ會衆中爭鬭
ヲ爲スモノアルノ狀況ナルヲ以テ警察官ニ於テ公安維持
上檢束其他必要ナル措置ヲ講シ漸ク事ナキヲ得タリ而
シテ質問書記ノ如キ警察官カ某々ニ對シ暴行ヲ加ヘ
又ハ殘酷ナル取扱ヲ爲シタル事實ヲ認メス

言論集會ニ對シテハ政府ハ常ニ其自由ヲ尊重シ公安維持上必要ナル限度ニ於テ之ガ制限ヲ加フルノ方針ヲ執リ警察官吏ニ於テモ職務執行上亦此趣旨ヲ體シ法規ノ範圍ヲ逸シ橫暴不法ノ行爲ニ出ツルモノアルヲ認ハス唯世上往々虛構ノ事實ヲ流布シ官民ノ間ニ於ケル感情ノ疎隔ヲ謀ルカ如キモノアルハ甚遺憾トスル處ナリ右及答辯候也

大正九年 月 日

內務大臣床次竹次郎

大正九年七月二十七日

內閣總理大臣原敬

衆議院議長奧繁三郎殿

衆議院議員中野正剛君提出外交ニ關スル再質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員中野正剛君提出外交ニ關スル再質問趣意書ニ對スル答辯書

一 質問者ノ所謂革命露西亞トハレーニン政府ノ下ニアル露西亞ヲ指稱スルモノノ如シ果シテ然ラハ政府ガ從來革命露西亞ト接近ヲ計ラザリシハ決シテ宗教的ニ之ヲ嫌忌シタルガ故ニ非ス其政策施爲ニ於テ到底承認シ難キモノアリシガ爲ナリ去之ヲ國際的實在トシテ取扱フノ意ナキヤ否ヤノ質問ニ對シテハ既ニ或程度ニ於テ右ノ通之ヲ取扱居レリト答フルヲ得ヘシ

二 英國政府カレーニン政府ノ通商使節ト交渉ヲ爲シタルハ果シテレーニン政府承認ノ前提ト爲ルベキヤ否ヤ今日ニ於テハ未タ斷言シ難シ

三 列國ハ未タレーニン政府ニ對シ事實上ノ承認ヲ與ヘタルモノト認メス

四 列國ガレーニン政府ヲ承認スルノ方針ニ傾ケルヤ否ヤ未タ斷定シ難シサカレン州內必要地點並沿海州ノ駐兵ハ七月三日宣言ノ事情ニ因ルモノニシテ右駐兵ノ結果生スルコトアルヘキ今後形勢ノ發展ハ不絕注意ヲ拂フヨリ致方ナキヲ信ス

五 米國ノ對露方針ガ果シテ質問者ノ見ル所ノ如キヤ否ヤ言明シ難シ駐兵ノ趣旨ハ宣言ニ明カナル如ク公明正大ナルヲ以テ列國ニシテ我趣旨ヲ諒解スル以上駐兵ノ爲排日ノ氣勢ヲ猛烈ナラシムル虞アリト認ムルコトヲ得ズ支那ニ於テハ排日運動ハ爾來下火トナリ露西亞ニ於テモ別ニ排日ノ勢昂進シタリトハ認ムル能ハス

六 英國海外領土ノ日英同盟ニ對スル態度ハ政府ニ於テ未タ之ヲ確知セズ政府ハ英國政府ト接觸ヲ保テテ

事ヲ處理スルノ決心ナリ

七 南太平洋諸島ニ對スル委任統治ノ問題ニ關シテハ目下交渉中ニ屬シ其ノ内容ニ至テハ未タ之ヲ言明スルノ時期ニ達セス

八 政府ハ國際關係ニ於テ帝國利益ノ維持及伸長ニ最善ノ努力ヲ爲シツツアリ

九 政府ハ七月三日ノ宣言ノ趣旨ニ於テサカレン州內ノ必要地點ヲ占領セルモノニシテ今日質問者ノ言フカ如キ趣旨ノ表明ヲ爲ス所存ナシ政府ハ内外ノ情勢ニ顧ミ其ノ最善ヲ盡シツツアル次第ニテ豫見シ難キ事體ノ發展ニ關シテハ今日ニ於テ明言シ難シ

右答辯候也

大正九年七月二十七日

外務大臣 子爵內田 康哉

奈良縣第二區選出議員森岡京次郎君ノ補闕トシテ去二十二日福井甚三君當選確定シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

普通選舉ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正九年七月三日

提出者 松本 君平 賛成者 佐々木 安五郎

外三十二人

普通選舉ニ關スル質問主意書

一 明治四十四年第二十七回議會ニ於テ納稅資格ヲ撤廢シ二十五歳以上ノ男子ニ選舉權ヲ與フヘシトスル

普通選舉法案ハ多數ヲ以テ衆議院ヲ通過シタリ此ノ事實ハ當時既ニ輿論カ普通選舉ヲ認メタルモノト信スヘキ理由アリ之ニ對スル政府ノ所見如何

二 今回ノ總選舉ノ結果政府黨カ多數ヲ制シタルハ國民カ普通選舉ノ實施ニ反對スル意思表示ナリトスルヤ之ニ對スル政府ノ所見如何

三 政府ハ本議會又ハ近キ將來ニ於テ普通選舉法案ヲ議會ニ提出スルノ意思ナキヤ

四 政府ハ現行市町村三級制度ヲ廢シ普通選舉制ヲ實行スル意思ナキヤ

五 急激ナル時代ノ變化ニ對スル政治的施設ノ之ニ伴ハサルヨリ生スル反動的ノ不平力遠ニ民衆ヲ驅テ直接行動ニ類ラシメムトスル險惡ナル現時ノ傾向ニ對シ普通選舉ノ實施カ此ノ社會的危險ヲ緩和スル效

果ナシトスルヤ之ニ對スル政府ノ所見如何

六 婦人參政權ノ要求及獲得ハ戰後ニ於ケル世界の現象ニシテ同一ノ運動ハ現ニ我カ國ニ於テモ勃興シツ、アリ之ニ對スル政府ノ所見如何

右及質問候也

特別市制制定ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正九年七月十日

提出者 森下 龜太郎 賛成者 奧村 安太郎

外三十一人

特別市制制定ニ關スル質問主意書

政府ハ東京市及大阪市ニ特別市制制定ノ意アリヤ其ノ意アリトセハ之カ法律案提出ノ時期如何

右及質問候也

明治會館ニ於ケル警察官ノ職權濫用ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正九年七月二十四日

提出者 橫山 勝太郎 賛成者 吉川 吉郎兵衛

外二十九人

明治會館ニ於ケル警察官ノ職權濫用ニ關スル質問主意書

一 大正九年七月二十二日午後六時ヨリ神田明治會館ニ於テ富士紡績株式會社ノ労働者同盟罷工事件批判ニ關スル演說會ヲ開催シタル者アリ聽衆中喊聲ヲ揚ケテ演說ノ妨害ヲ爲シタル者アリ場內大混亂ニ陥リタルヲ以テ臨場ノ警察官ハ之カ解散ヲ命ジタリ其ノ際労働歌ヲ高唱シタル者アル外何等不穩ノ舉動ナク聽衆ノ一人杉原正夫ハ場內ニ洋傘ヲ忘却シタルヲ取ルヘク引返シタルニ警察官數名之ヲ取圍ミ之ヲ亂打スルコト甚シキヲ以テ杉原正夫ノ知人タル岩淵忠次郎ナル者警察官ニ對シ之ヲ救解セムトスルヤ警察官ハ更ニ忠次郎ニ對シ暴行ヲ加ヘ遂ニ階上ヨリ階下ニ突き落スニ至レリ當時聽衆ノ一人タル野村正ナル者亦労働歌ヲ唱ヘタリトテ警察官約二十名殺到シ非常ナル暴行ヲ受ケタル結果階下一室ニ檢束セラレ警察官數人ノ爲ニ監視シ居リタル所ヘ右忠次郎ヲ引摺リ込ミタルモ當時既ニ同人ハ昏倒シ人事不省ノ狀態ナリシヲ以テ野村正ハ警察官ニ對シ至急醫師ノ手當ヲ爲サシメムコトヲ求メタルモ之ヲ放任シテ顯ミサルヲ以テ居合セタル野村正等ハ水ヲ吹キ懸ケ水ヲ飲マシメ僅ニ蘇セルヲ以テ同夜九時神田區北神保町神保醫院ニ入院セシメ醫師ノ手當ヲ受ケ漸ク翌二十

三日午後四時退院スルコトヲ得タリ此ノ如キ殘酷非道ナル取扱ハ何ノ必要アリテ之ヲ爲スヤ

二頃者集會ノ開催セラルル毎ニ警察官ノ之ニ對スル態度ハ法規ノ範圍ヲ逸脱シ不法橫暴其ノ極ニ達セリ此ノ如キハ官民一途上下一致ノ美風ヲ破リ抗上反官ノ危險思想ヲ醸成スルノ虞アリト信ス政府ハ此ノ點ニ關シ如何ナル所見ヲ有スルヤ

三現内閣ノ成立スルヤ大正七年十月十日岡警視總監ハ署長會議ニ於テ「公衆ニ對シテハ飽迄懇切ト叮嚀トヲ旨トシ彼ノ職權ヲ笠ニ苛酷ノ取扱ヲ爲スル如キ行爲ハ絕對ニ之ヲ避ケ人民ト應接ノ際ノ如キモ叮嚀ヲ要シ決シテ鷹柄ニ流ル可ラス(中略)要ハ公衆ト警察トヲ接近セシメ其ノ融和ヲ圖ルニ在リ若人民ヲシテ反感ヲ懷カシムル如キコトアラム乎反テ警察ノ威信ヲ傷ケ不測ノ害ヲ招クコトアラム(後略)」ト訓示シタルニ拘ラフ頃者警察官ノ行動ハ全ク此ノ訓示ノ精神ニ背戾シ官民反目ノ端ヲ作ラムトスルモノアリ本員等ノ深憂ニ勝ヘサル所ナリ政府ハ此ノ時弊ヲ如何セムトスル乎

四假令警官橫暴ノ事實ナシトスルモ常ニ本案ノ如キ疑惑ヲ受クルハ警察官ノ素質ノ低下シタルニ依ルカ將タ又他ニ其ノ原因アル乎政府ハ現下ノ如キ警察官ノ言論集會ニ對スル取締方法ヲ改善スルノ意思ナキヤ右及質問候也

外交ニ關スル再質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正九年七月二十四日

提出者 中野 正剛 賛成者 鈴木梅四郎

外二十九人

外交ニ關スル再質問主意書

七月十四日本員ノ提出シタル外交ニ關スル質問主意書ニ對スル外務大臣ノ答辯書ハ簡單ニシテ質問ノ要旨ヲ誤解セルカ如シ依テ更ニ左ノ條項ニ就テ明快ノ答辯ヲ求ム

一日本政府ハ從來革命露西亞ノ性質ヲ究メス單ニ宗教的ニ之ヲ嫌忌シ來ルカ如シ今日以後列國最近ノ態度ニ鑑ミ之ヲ國際的實在トシテ取扱フノ意ナキカ
二英國政府ハ「レイニン」政府ノ通商使節ト交渉ヲ遂ケ對露貿易中央局ヲ設ケテ之ト通商ヲ開始スルニ決シ「レイニン」政府ヲシテ英領内ニ宣傳ヲ中止スルヲ約セシメタリ是レ顯著ナル英國對露政策ノ變調ニシテ「レイニン」政府承認ノ前提トナルニ非サルカ政府ノ

所見如何

三最高會議ハ倫敦ニ露西亞對波蘭ノ講和會議ヲ開カシメムトシ革命露西亞、芬蘭、西ガリシヤノ委員ヲ會セシメ露、波兩國ヲ平等ニ取扱ハムトス是レ列國カ事實上「レイニン」政府ヲ承認シタルモノニ非サルカ政府ノ所見如何

四列國ハ既ニ「レイニン」政府承認方針ニ傾ケリ此ノ際日本ハ依然トシテ舊策ヲ改メス沿海州ノ一部及サガレン州ニ駐兵シ前途ニ不安ヲ感セサルカ
五米國ノ對露方針ハ既ニ一變シ露西亞ト支那トヲ誘ヒテ大陸ニ共同排日ノ勢ヲ長セムトス我カ駐兵ハ此ノ勢ヲシテ一層猛烈ナラシムルノ虞ナキカ
六日英同盟ノ改訂期迫レルニ際シ政府ハ英米間ノ交渉ヲ如何ニ見ルカ巴里會議以後ノ形勢ニ見レハ英國ハ米國ノ好意ヲ維カムカ爲日本ヲ顧ミサル勢ヲ呈セリ且英領タル澳洲、新西蘭、加奈太等ノ排日ハ米國ノ排日ノ氣勢ト相呼應セリ而シテ巴里會議ハ英領植民地ニ許スニ一國トシテ發言權ヲ以テセリ然ラハ日英同盟ノ改訂ハ此等太平洋ヲ點綴セルアングロ、サクソンノ排日熱ニ禍セラル所ナキカ澳洲ノ如キハ白人澳洲主義ヲ認メサル日英同盟ニ反對スト公言セリ政府ノ之ニ對スル決心如何

七澳洲ハ白人澳洲主義ヲ延長シテ南太平洋ノ委任統治領ニモ及ホサムトス斯ノ如キハ前領有者タル獨逸モ之ヲ爲サリシ所ナリ政府ハ之ヲ默認スルカ
八大陸ニハ列國共同ノ排日ヲ見ムトシ太平洋ニモ亦英米及其ノ屬領ノ排日益猛烈ナラムトス日本ハ海ニ陸ニ孤立ノ勢ニ臨メリ政府ハ之ニ對應スル胸算アルカ
九北樺太以外全部ノ兵ヲ撤シ同時ニ北樺太ヲ尼港損害ノ賠償トシテ獲得スルノ意ヲ表明シ帝國ノ爲ス所ト爲ササル所トヲ中外ニ表明スルヲ要セサルカ「オムス」クニ失敗シ「チタ」ニ失敗セシ所更ニ之ヲ沿海州ニ繰返スノ虞ナキカ政府ハ前途復不得要領ノ裡ニ撤兵ヲ宣スルノ窮境ニ陥ルナキヲ保證シ得ルカ
右及再質問候也

○議長(奧繁三郎君) 休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス御諮リヲスル事ガアリマス、第七部選出懲罰委員小野重行君常任委員辭任ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ
○議長(奧繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第七部ノ諸君ハ速ニ補關選舉ヲ行ヒ御届出アラントヲ望ミマス—川原茂輔君ヨリ、議員島田三郎君ヲ懲罰委員ニ付

スルノ動議ガ出テ居リマス、是ハ日程ニ依ラズ此動議ノ趣旨ヲ聽イテ決議ヲ致シマス—川原茂輔君

〔川原茂輔君登壇、拍手起ル〕

○川原茂輔君 唯今議長ヨリ報告セラレマシタル通り、議員島田三郎君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議ヲ提出致シタルデアリマス、同君ニ對シテ、濱職ニ關スル質問ニ對シテ、過刻小川君ノ提案ノ決議案ガ本場ニ於テ採用セラレタノデアリマス、然ルニ島田君ハ此院議ヲ無視シテ、御承知ノ通りノ發言ヲセラレテ、即チ院議ヲ承諾セザルト云フコトヲ言明セラレタノデアリマス、此以上ハ遺憾ナガラ即チ懲罰委員ニ付スルノ外ハナインデアリマス、ドウカ満場大多數ノ御賛成アラントヲ希望シマス(拍手起ル)

○議長(奧繁三郎君) 島田三郎君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議ハ、討論ヲ用キズ採決致シマス、此採決ハ記名投票ヲ用井マス、此川原茂輔君提出ノ動議ニ賛成ノ諸君ハ白票、反對ノ諸君ハ青票ヲ御持參ヲ願ヒマス—閉鎖—氏名點呼

〔田口書記官氏名ヲ點呼ス〕

○議長(奧繁三郎君) 投票漏ハアリマセヌカ—投票漏ハ無イト認メマス—開鎖—開匣—投票ノ結果ヲ報告致シマス

〔寺田書記官長朗讀〕

投票總數 三百九十五
可トスル者 二百四十四
否トスル者 一百五十一

○議長(奧繁三郎君) 投票ノ結果島田三郎君ヲ懲罰委員ニ付スルコトニ決シマシタ
議員島田三郎君ヲ懲罰委員ニ付スヘカラストスル議員ノ氏名左ノ如シ

井上 剛一君	磯貝 浩君	石井 研二君
早速 整爾君	本田 恒之君	濱口 雄幸君
大竹 貫一君	岡本 幹輔君	中馬 興九君
太田 信治郎君	小野 重行君	大津 淳一郎君
春日 俊文君	加藤 定吉君	尾崎 行雄君
川副 綱隆君	門屋 尚志君	香川 保忠君
神谷 彌平君	河野 廣中君	金澤 安之助君
金田 平兵衛君	横山 勝太郎君	金尾 稜嚴君
横山 金太郎君	吉川 吉郎兵衛君	吉田 磯吉君
田中 武雄君	頼母 木桂吉君	田川 大吉郎君
高田 松平君	高橋 久次郎君	龍口 了信君
武富 時敏君	高木 正年君	田中 萬逸君
添田 飛雄太郎君	津原 武君	田中 善立君
		内藤 濱治君

永井柳太郎君 中野寅吉君 鷺澤宇八君
野村嘉六君 野尻彌重郎君 野呂丈太郎君
野田文一郎君 黒金泰義君 山移定政君
山道襄一君 山邊常重君 八並武治君
正木照藏君 松井鐵夫君 牧口義矩君
藤井啓一君 福本清之輔君 降旗元太郎君
古屋慶隆君 古賀三千人君 小山松壽君
木村三郎君 小泉又次郎君 出口直吉君
手島鐵司君 淺賀長兵衛君 安達謙藏君
秋井太郎君 荒川五郎君 阿由葉勝作君
淺野順平君 綾部惣兵衛君 佐々木千秀君
作間耕逸君 佐竹庄七君 齊藤宇一郎君
坂口仁一郎君 齋藤巳三郎君 定行八郎君
佐藤啓君 菊池良一君 三浦得一郎君
箕浦勝人君 重松重治君 清水留三郎君
下田勤次君 森忠治君 樋口秀雄君
平出喜三郎君 森達三君 鈴木儀文治君
森田茂君 關和知君 鈴木周三郎君
鈴置倉次郎君 鈴木富士彌君 板野友造君
濱田國松君 西村丹治郎君 星島二郎君
土井權大君 大口喜六郎君 渡邊昭君
高柳覺太郎君 高草美代藏君 中川幸太郎君
長場龍太郎君 村田虎造君 植原悦二郎君
倉石知藏君 前川達兒君 福地錢吉君
古島一雄君 近藤達兒君 鮎川盛貞君
有森新吉君 清瀬一郎君 湯淺凡平君
最上直吉君 關直彦君 鈴木梅四郎君
砂田重政君 飯塚春太郎君 與村千太郎君
與村安太郎君 鎌田三郎兵衛君 上島益三郎君
納富陳平君 矢島專平君 山邑太三郎君
小菅劍之助君 南鼎三君 森下龜太郎君
仙波太郎君 林田龜太郎君 富永孝太郎君
大濱忠三郎君 押川方義君 田淵豐吉君
副島義一君 中野正剛君 野溝傳一郎君
山本厚三君 山科慎次郎君 松下禎二君
松本君平君 安藤正純君 秋田清君
佐々木安五郎君
議員島田三郎君ヲ懲罰委員ニ付スシトスル議員ノ氏
名左ノ如シ

池田龜治君 井坂豐光君 岩崎幸治郎君
井上角五郎君 伊坂秀五郎君 伊澤平左衛門君
伊藤廣幾君 池田猪三三君 磯田宗三郎君
八田宗吉君 林毅陸君 原田十衛君
波多野尊右衛門君 蓮井藤吉君 長谷川宗治君
長谷場敦君 花城永渡君 原田佐之治君
原田藤次郎君 濱口吉兵衛君 萩山亮君
波多野永五郎君 西川嘉門君 鳩山一郎君
西澤定吉君 本多貞次郎君 友常毅三郎君
西村伊亮君 富安保太郎君 陣軍吉君
戶持權之助君 岡崎邦輔君 小山田信藏君
小田切磐太郎君 大石大君 岡田伊太郎君
小川平吉君 大林森次郎君 長田桃藏君
大島實太郎君 渡邊修君 若尾幾造君
大岡育造君 渡邊祐策君 加藤重三郎君
河崎清君 金光庸夫君 柏谷義三君
改野耕三君 海原清平君 川村數郎君
加藤久米四郎君 風間八左衛門君 吉原祐太郎君
神田重義君 吉植庄一郎君 米田穰君
河上哲太君 吉野小一郎君 高橋辰二君
吉原正隆君 吉野小一郎君 高橋義信君
米澤與三三君 高見之通君 田中定吉君
高橋本吉君 高柳淳之助君 田村順之助君
龍正雄君 高橋義信君 高田第四郎君
田邊熊一君 高橋七郎右衛門君 高田良平君
竹內明太郎君 高橋光威君 竹上藤次郎君
竹澤太一君 高山長幸君 田中隆三君
玉置良直君 武田德三郎君 津崎向武君
龍野周一郎君 高橋善五郎君 津野田是重君
高橋善五郎君 塚原嘉藤君 坪田十郎君
塚本正君 成田直一郎君 中倉次郎君
成田榮信君 成田直一郎君 中島守利君
南里琢一君 長峰與一君 永屋茂君
永井作次君 中島鵬六君 梅田潔君
中村喜平君 武藤金吉君 宇野勇作君
上塚司君 植場平君 宇野龍三郎君
鷺澤總明君 上埜安太郎君 植竹龍三郎君
內山安兵衛君 野村治三郎君 野副重一君
野口忠太郎君 野呂駿三君 國重政亮君
久木田叶君 黒住成章君 熊谷直太君

久慈貫一君 久下豐忠君 國澤新兵衛君
山口義一君 山本条太郎君 山本清三郎君
山田永俊君 山口熊野君 安原仁兵衛君
谷津新八郎君 柳原九兵衛君 矢野丑乙君
山本悌二郎君 山崎猛君 八木逸郎君
牧山耕藏君 松岡俊三君 前田米藏君
舞田壽三郎君 松田源治君 松野鶴平君
松山常次郎君 松本孫右衛門君 丸山巖峨一郎君
松浦五兵衛君 益谷秀次君 麓純義君
福井甚三君 深見寅之助君 小鹽八郎右衛門君
古林與六君 小久保喜七君 江崎幸太郎君
遠藤良吉君 阿部武智雄君 淺石惠八君
青木恆太郎君 有馬秀雄君 秋本喜七君
赤田瑳一君 齋藤壽雄君 佐藤寅太郎君
坂本素魯哉君 阪上貞信君 佐藤良平君
三枝彦太郎君 櫻内幸雄君 佐々木志賀二君
指田義雄君 榊田清兵衛君 齊藤鷲太郎君
菊池長右衛門君 清瀨規矩雄君 吉良元夫君
菊川惣吉君 木下謙三郎君 宜保成晴君
木村清三郎君 木下十四三君 北井波治目君
木村作次郎君 宮崎三之助君 北山一郎君
三好德松君 宮崎友太郎君 三善清之君
水野吉太郎君 宮崎友太郎君 志賀和多利君
水上忠造君 白井博之君 廣岡宇一郎君
下出民義君 島本信二君 日野辰次君
匹田銳吉君 樋口伊之助君 毛里保太郎君
廣瀬爲久君 樋口伊之助君 望月圭介君
門田新松君 森峯太郎君 菅原傳君
妹尾順平君 菅野傳右衛門君 鈴木義隆君
鈴木三郎兵衛君 鈴木錠藏君 鈴木義隆君
井內歎二君 若尾瑋八君 難波作之進君
佐々木平次郎君 木村權右衛門君 三輪市太郎君
井上孝哉君

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致
シマス、即チ茲ニ政府提出貴族院ノ送付ニ係ル、大正九年
勅令第八十七號承諾ヲ求ムル件ヲ議題ト爲シ、政府ノ説
明ヲ求メ、引續キ之ヲ審査ヲ行ハレシコトヲ希望致シマス
○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセ
ヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 仍テ日程ハ變更サレマシタ、大正九年勅令第八十七號ヲ議題ニ供シマス

大正九年勅令第八十七號(承諾ヲ求ムル件)(政府提出、貴族院送付)

大正九年勅令第八十七號
朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ帝國ト獨逸國トノ間ニ設置スル混合仲裁裁判所ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名 御璽
大正九年四月七日

内閣總理大臣兼司法大臣 原 敬

外務大臣 子爵內田 康哉

大藏大臣 男爵高橋 是清

陸軍大臣 田中 義一

農商務大臣 山本 達雄

內務大臣 床次竹二郎

文部大臣 中橋徳五郎

逓信大臣 野田卯太郎

勅令第八十七號

第一條 同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約第三百四條ノ規定ニ依リ帝國ト獨逸國トノ間ニ設置スル混合仲裁裁判所カ司法裁判所ニ於テ受理シ得ヘキ性質ノ事件ニ關シ爲シタル判定ハ司法裁判所ノ確定ノ判決ト同一ノ效力ヲ有ス

前項ノ判定ニ依リ強制執行ニ付テハ外國裁判所ノ判決ニ依リ強制執行ニ關スル民事訴訟法ノ規定ヲ準用ス

第二條 司法裁判所ハ前條ノ混合仲裁裁判所ノ囑託ニ因リ書類ノ送達及證據調ニ付法律上ノ補助ヲ爲ス

前項ノ法律上ノ補助ノ手續ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第三條 第一條ノ混合仲裁裁判所ニ對スル事件ノ提起ハ時効ノ中断ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(松田政府委員登壇)

○松田政府委員 大正九年勅令第八十七號ノ承諾ヲ求ムル件デゴザイマス、本件ハ提出ノ理由ニモ説明シテアリマス、對獨逸國ノ平和條約ノ規定ノ結果ト致シマシタ、日本國ト獨逸國トノ間ニ混合仲裁裁判所ヲ設クルノ規定デゴザイマス、此混合仲裁裁判所ハ條約ノ規定ニ依リマシタ、

條約ノ實施ノ時カラ三箇月内ニ設クルト云フコトニナッテ居ル、即チ本年ノ四月九日マデニ之ヲ設クルコトニナッテ居ルノデアリマス、此混合仲裁裁判所ノ判定ノ效力其他ニ就キマシテ、內閣ノ立法ヲ要シマスガ爲メ、此勅令第八十七號ヲ公布シマシタ次第デゴザイマス、此勅令デ尙ホ將來ニ向テモ、其效力ヲ認ムルコト云フ必要ガゴザイマス、何卒御審議ノ上デ承認ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○議長(與繁三郎君) 本案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ニ供シマス

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○岩崎勳君 本案ハ委員ノ數ヲ九名トシ、議長ニ於テ指名セラレンコトヲ望ミマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 異議ナシト認メマス、仍テ議長ハ直チニ九名ノ委員ヲ指名致シマス、宮崎三之助君、花園次郎君、大道寺慶男君、岩崎幸治郎君、佐々木志賀二君、永井作次君、井上剛一君、佐々木千秀君、長場龍太郎君、以上ノ九名ヲ指名致シマス、委員ハ直チニ委員室ニ於テ委員長理事ヲ互選シ、引續キ審査ニ著手セララル、コトヲ望ミマス

○岩崎勳君 再ビ議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ唯今書記官ヨリ報告サレマシタ通り、露ニ本院ヨリ貴族院ニ送付シタル政府提出道路公債法案ニ對シテ、貴族院ハ之ヲ修正シテ本院ニ回付セラレマシタ、仍テ茲ニ本案ヲ議題トシ、右修正ニ同意スベキヤ否ヤヲ審議セラレンコトヲ望ミマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 仍テ日程ハ變更サレマシタ、道路公債法案ヲ議題ト致シマス

(議案ガ無イ)ト呼フ者アリ

道路公債法案(政府提出、貴族院回付)

道路公債法

第一條 國道改良費支辨又ハ國道、府縣道若ハ市ノ重要街路ノ改良費補助ニ關スル經費支辨ノ爲政府ハ當該經費豫算ノ範圍内ニ於テ公債ヲ發行シ又ハ

之カ繰替支辨ノ爲借入金ヲ爲スコトヲ得
第二條 前條ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前條ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

(議案ガ無イ)ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 修正ノ分ヲ朗讀サセマス

(原田書記官朗讀)

道路公債法案中貴族院回付ノ箇所左ノ如シ
第一條中「二億八千二百八十萬圓ヲ限リ」トアルヲ「當該經費豫算ノ範圍内ニ於テ」ト改ム

(分ヲス……)頭ガ惡イノダト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 靜ニ——本案ニ就キマシテハ、別ニ發言ノ通告ガアリマセヌカラ、直チニ採決致ス考ヘデアリマス

○三土忠造君 唯今ノ貴族院ノ修正案ハ、道路改良計畫ニ何等ノ支障ナキモノト認メマスガ故ニ、同意致シマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 此貴族院ノ回付ノ案ニ同意ナルヤ否ヤヲ起立ニ依テ決シマス、貴族院ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

(同意者 起立)

○議長(與繁三郎君) 多數ノ同意スルコトニ決シマシタ

○岩崎勳君 更ニ議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、同シク露ニ本院ヨリ貴族院ニ送付シタル政府提出所得稅法改正法律案ニ對シテ、貴族院ニ於テ修正ヲ爲シ、本院ニ回付セラレマシタ、仍テ茲ニ本案ヲ議題ト爲シ右修正ニ同意スベキヤ否ヤヲ審議セラレンコトヲ望ミマス

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ日程變更ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 仍テ日程ハ變更サレマシタ、所得稅法改正法律案ヲ議題ニ致シマス、貴族院ノ修正案ヲ朗讀致シマス

所得稅法改正法律案(政府提出、貴族院回付)

所得稅法改正法律案中貴族院修正ノ箇所

第五條 法人ノ各事業年度ノ所得カ同年度ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額ヲ以テ法人ノ超過所得トス

第十四條 第三種ノ所得ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ算出ス

一 條給給料歳費年金恩給退隱料及此等ノ性質ヲ有スル給與、營業ニ非サル貸金ノ利子並第二種ノ所得ニ屬セサル公債社債及預金ノ利子ハ其ノ收入豫算年額

二 田又ハ畑ノ所得ハ前三年間毎年ノ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタルモノノ平均ニ依リ算出シタル收入豫算年額但シ前三年以來引續キ自作セス、小作セス又ハ小作ニ付セサル田又ハ畑ニ在リテハ近傍類地ノ所得ニ依リ算出シタル收入豫算年額

三 山林ノ所得ハ前年ノ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル金額

四 賞與又ハ賞與ノ性質ヲ有スル給與ハ前年四月一日ヨリ其ノ年三月末日ニ至ル期間ノ收入金額

五 法人ヨリ受クル利益若ハ利息ノ配當又ハ剩餘金ノ分配ハ前年四月一日ヨリ其ノ年三月末日ニ至ル期間ノ收入金額ヨリ其ノ十分ノ四ニ相當スル金額ヲ控除シタル金額但シ無記名式ノ株式ヲ有スル者ノ受クル配當ハ同期間ニ於テ支拂ヲ受ケタル金額ヨリ其ノ十分ノ四ニ相當スル金額ヲ控除シタル金額

六 前各號以外ノ所得ハ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル收入豫算年額

法人ノ社員其ノ退社ニ因リ持分ノ拂戻シテ受クル金額カ其ノ退社當時ニ於ケル出資金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額ハ之ヲ其ノ法人ヨリ受クル利益ノ配當ト看做ス株式ノ消却ニ因リ支拂ヲ受クル金額カ其ノ株式ノ拂込済金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額亦同シ

第二十條 第三種ノ所得ハ八百圓ニ滿タサルトキハ所得稅ヲ課セス第十五條及第十六條ノ規定ニ依ル控除ヲ爲シタル爲八百圓ニ滿タサルニ至リタルトキ亦同シ

戶主及其ノ同居家族ノ所得ハ之ヲ合算シ其ノ總額ニ付前項ノ規定ヲ適用ス戶主ト別居スル二人以上ノ同居家族ノ所得ニ付亦同シ

第二十一條 第一種ノ所得ニ對スル所得稅ハ左ノ稅率ニ依リ之ヲ賦課ス

甲 超過所得金額ヲ左ノ各級ニ區分シ、遞次ニ各稅率ヲ適用ス

所得金額中資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ

超エル金額 百分ノ四

同百分ノ二十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超エル金額 百分ノ十

同百分ノ三十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超エル金額 百分ノ二十

乙 百分ノ五

丙 百分ノ七、五

丁 百分ノ七、五

戊 百分ノ七、五

法人ノ事業年度末ニ於ケル積立金及其ノ事業年度ニ於ケル留保所得ノ合計金額カ其ノ事業年度末ニ於ケル拂込株式金額、出資金額又ハ基金及之ニ代ルヘキ積立金ノ合計金額ノ二分ノ一ニ相當スル金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額ニ屬スル其ノ事業年度ノ留保所得ニ對スル稅率ハ百分ノ十トシ其ノ事業年度末ニ於ケル拂込株式金額、出資金額又ハ基金及之ニ代ルヘキ積立金ノ合計金額ニ相當スル金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額ニ屬スル其ノ事業年度ノ留保所得ニ對スル稅率ハ百分ノ二十トス但シ其ノ事業年度ニ於ケル所得ノ十分ノ一ニ相當スル金額以內ノ金額ニ付テハ其ノ稅率ハ百分ノ五トス

第二十二條 第二種ノ所得ニ對スル所得稅ハ左ノ稅率ニ依リ之ヲ賦課ス

甲 公債ノ利子 百分ノ四

其ノ他 百分ノ五

乙 百分ノ七、五

第八十一條 法人ノ超過所得ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ大正十年七月三十一日ニ至ル間ニ終了スル各事業年度分ノ超過所得ニ限リ本稅ノ三割五分ヲ増徴ス

大正九年七月一日以後ニ於テ法人ノ事業年度ノ期間ニ變更アリタルトキハ前項ニ該當スル舊事業年度ノ期間內ニ始期又ハ終期ヲ有スル各事業年度分ノ超過所得ニ付テハ本法ニ依リ所得稅ヲ課シ仍本稅ノ三割五分ヲ増徴ス

〔原田書記官朗讀〕

所得稅法改正法律案中貴族院回付ノ箇所左ノ如シ

第五條中「百分ノ八ヲ」「百分ノ十ニ」改ム

第十四條第一項第五號中

「十分ノ三ヲ」「十分ノ四ニ」改ム

第二十條中「六百圓ヲ」「八百圓ニ」改ム

第二十一條第一項甲號中

「百分ノ八ヲ」「百分ノ十ニ」「百分ノ二十ヲ」「百分ノ四十ニ」「百分ノ五十ヲ」「百分ノ六十ヲ」「百分ノ七十ヲ」「百分ノ八十ヲ」「百分ノ九十ヲ」改ム

「同百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超エル金額百分ノ四」改ム

同 乙號中

「百分ノ七、五ヲ」「百分ノ五ニ」改ム

同 丙號中

「百分ノ四ヲ」「百分ノ五ニ」改ム

同條第二項中

「百分ノ十五ヲ」「百分ノ十ニ」「百分ノ三十ヲ」「百分ノ二十ニ」「百分ノ七、五ヲ」「百分ノ五ニ」改ム

第二十二條甲號中

「百分ノ二ヲ」「百分ノ四ニ」「百分ノ三ヲ」「百分ノ五ニ」改ム

第八十一條中

「六割一分ヲ」「三割五分ニ」改ム

○議長(奧繁三郎君) 鈴木富士彌君

○鈴木富士彌君登壇、拍手起ル

○鈴木富士彌君 諸君、唯今貴族院カラ所得稅法改正法律案ガ回付ニナリマシテゴザイマス、本員ハ院議尊重ノ意味ヲ以テ、此案ニ同意ヲ與フルコトヲ拒ムモノデゴザイマス、(拍手)御承知ノ如ク我憲政會ハ本年ノ春、即チ第四十二議會ニ於キマシテ、政府ヨリ提出サレタル所ノ所得稅法改正案ハ、其內容杜撰ナルガ故ニ、一年延期ノ趣旨ヲ以テ、之ニ反對ヲ致シタルモノデアリマス、當時全國ノ商業會議所、工業俱樂部、銀行俱樂部、其他實業家ノ諸團體ハ、皆ナ此一年延期論ニ共鳴サレマシタ、同政友會員ノ諸君ノ中デモ、亦之ニ同意セラレタル方ガ隨分アツタウニ御見受ヲ致シタルデアリマス、然ルニ其後時日ノ經過ニ從ヒマシテ、此法律案ノ內容ノ杜撰ナルコトガ、益々證據立テラレルトナリタデアリマス、即チ政府提出ノ原案ハ、是デ丁度三回大斧鉞大修正ヲ加ヘラレテ居リマス、本年ノ二月カラ此七月ニ至ル迄僅カ半年ノ間ニ一回ハ一回ハ衆議院ニ於テ、今一回ハ貴族院ニ於テ、殆ド原案ガ完膚ナキマデノ大修正大斧鉞ヲ加ヘラレテ居ルデアリマス、(拍手)是ガ即チ如何ニ政府提出ノ原案ガ孟浪杜撰デアラデ、且ツ不徹底デアラルコト云フコトノ證據デアルト私ハ信ズルデアリマス、(拍手)而モ第四十二議會ノ此法案ノ委員會ニ於キマシテ、大藏大臣ハ何ト言明サレマシタ、此處ニ居ラレル所ノ高橋大藏大臣ハ、當時昂然タル態度ヲ以テマシテ、本案ハ最モ名案ト信ズルモノデアリマスカラ、此根本主義ヲ傷ケザル範圍ニ於キマシテ、名案ガアレバ贊成スルケレドモ、

若シ此根本主義ヲ傷ケルヤウナコトデアレバ、如何ナル名案ト雖モ贊成ハ出來ヌト明言サレド、デアリマス、然ルニ其後ノ三回ノ修正ハ、如何ナル點ニ於テ加ヘラレテ居ルカト申シマス、政府ノ最モ力ヲ入レマシタ所ノ所謂綜合課稅主義、此綜合課稅主義ガ殆ド大部分破壊サレテシマッテ居ルデアリマス(拍手)此事實ヲ何ト見ルデアリマス、即チ株ノ配當金ヲ各配當受ケル人ノ所得ニ綜合シテ、其人カラ稅ヲ取ル、是ガ社會政策ノ立場カラ、是非必要ナ事デアルト云フ大藏大臣ノ御説明デアリマス、其後株ノ借金ノ利子ニ相當スル金額ト致シマシテ、二割ヲ控除スルコトニシテ、先ヅ第一ニ茲ニ綜合課稅主義ト云フモノ、一部分ガ破壊サレマシタ此議會ニ於キマシテ更ニソレガ三割ニナリ今一層破壊サレテ、今度ハ貴族院ニ於キマシテソレガ四割ニ修正サレテ、殆ド綜合課稅ノ——綜合所得ノ半額ニ近イ所ノ源泉課稅ニ戻シタト云フ狀態ニナッテ居ルデアリマス、是等ノ點ハ大藏省トシマシテハ、飽クマデ固執ヲシテ、此案ニハ不賛成ノ意ヲ表セナケレバナラヌ、茲ニ斯ノ如キ昂然タル態度ヲ以テ之ニ反對ヲシナガラ、此修正ニ對シテ、唯々諸タトシテ之ニ賛成ノ意ヲ表サレタ其態度ハ、若シ極端ナル言葉ヲ以テ申シマス、或ハ厚顔無恥ト云フヤウナ形容詞ヲ以テ言ハレテモ、致方ナカラウト思ヒマス(拍手)厚顔無恥大藏大臣「院議尊重」ト呼フ者アリ(翻)貴族院ノ修正サレマシタル所ノ内容ヲ見マス、或點ハ餘程私共ノ意ヲ得タリト思フ點ガアルデアリマス、即チ免稅點ヲ引上ゲタルガ如キ、或ハ留保所得ノ累進率ニ輕減シタルガ如キハ、或ハ良修正ト言ヒ得ルコトガ出來ルデアリマス、其綜合課稅主義ノ根本ヲ破壊シタル點ニ於テ、此修正ニハ甚ダ同意ハ出來ナイデアリマス、前ニモ申シマシタル如ク、我黨ハ一年延期ノ意味ニ於テ之ニ反對致シタデアリマス、既ニ當衆議院ニ於テ可決サレタル以上ハ、院議ヲ尊重スルコト云フ意味ニ於テ政府ノ——衆議院ノ此修正案ニハ同意ヲ致スコトハ出來ナイデアリマス(拍手)貴族院「ラウ」ト呼フ者アリ、貴族院ノ修正案ニハ同意スルコトハ出來ナイデアリマス、尙ホ詳シキ事ハデアリマス、大體右ノヤウナ次第、此貴族院ノ案ニハ同意致シ兼ネル次第デゴザイマス、此點ヲ明カニ致シテ置ク次第デアリマス(拍手)

貴族院ニ於キマシテ修正ヲ加ヘラレマシタコトハ、洵ニ遺憾ト致ス所デアリマス、併ナガラ此修正案ヲ詳ニ拜見致シマスルト云フ、稅法ノ根本主義ヲ害スルコトナク、「ノウ」ト「嘘」ト呼フ者アリ、金高ニ於テ増減スル所ナク、隨テ政府ノ財政計畫ニ影響ナキモノト認メマス、茲ニ「政友會」ニ主義主張ナシト呼フ者アリ、兩院交議妥協ノ精神ヲ發揮シ、貴族院送付ノ修正案ニ同意ノ意思ヲ表明致シマス(此時發言スル者多シ)

場デアッタデアリマス、唯今三土君ハ、一面ニ於テ源泉課稅主義ニ還元シテ居ルガ、尙且ツ一面ニ於テハ、綜合課稅主義ヲ主トシテ居ルデアリマス、故ニ、決シテ矛盾シナイモノデアルト論ゼラレタデアリマス、吾々ノ信ジマス所ニ依レバ、社會政策ヲ行フ上ニ就テ、決シテ綜合課稅主義ト源泉課稅主義トハ、兩立スベキモノト信ジテ居ナイデアリマス、一面ニ於テ綜合課稅主義ヲ置クト云フナラバ、一面ニ於テ源泉課稅主義ヲ廢シナケレバ、差引上社會政策ハ立タナイデアリマス、此主義ニ於テ、大藏大臣ハ現ニ四十二議會以來、堂々トシテ吾々ニ説イテ居ラレタデアリマス、然ルニ一面ニ於テ四十三議會ニ於テ衆議院ガ此綜合課稅主義ニ修正ヲ加ヘテ、源泉課稅主義ニ還元シタ、成程一面カラ見レバ、唯今三土君ノ言ハレマシタ如ク、一面ニ於テハ源泉課稅主義デアリマス、一面ニ於テ綜合課稅主義デアリマス、宜イヤウデアリマス、之ヲ算盤ノ上カラ見レバドウデアリマス、源泉課稅ハ最低百分ノ七五デアルモノヲ百分ノ四十ナシ、之ニ依テ三割減ジタデアリマス、ソレダケハ綜合課稅ニ持テ行フ綜合サレテ居ル、即チ金高カラ言ヘバ半分ハ綜合課稅カラ取テ、半分ハ源泉課稅主義ニ基クト云フノガ事實デアリ、此事實ノ上ニ於テ政府ガ社會政策ト申サレタ所ノ根本ハ、半バ打碎カレテ居ルデアリマス(拍手起ル)

或點ハ餘程私共ノ意ヲ得タリト思フ點ガアルデアリマス、即チ免稅點ヲ引上ゲタルガ如キ、或ハ留保所得ノ累進率ニ輕減シタルガ如キハ、或ハ良修正ト言ヒ得ルコトガ出來ルデアリマス、其綜合課稅主義ノ根本ヲ破壊シタル點ニ於テ、此修正ニハ甚ダ同意ハ出來ナイデアリマス、前ニモ申シマシタル如ク、我黨ハ一年延期ノ意味ニ於テ之ニ反對致シタデアリマス、既ニ當衆議院ニ於テ可決サレタル以上ハ、院議ヲ尊重スルコト云フ意味ニ於テ政府ノ——衆議院ノ此修正案ニハ同意ヲ致スコトハ出來ナイデアリマス(拍手)貴族院「ラウ」ト呼フ者アリ、貴族院ノ修正案ニハ同意スルコトハ出來ナイデアリマス、尙ホ詳シキ事ハデアリマス、大體右ノヤウナ次第、此貴族院ノ案ニハ同意致シ兼ネル次第デゴザイマス、此點ヲ明カニ致シテ置ク次第デアリマス(拍手)

貴族院ニ於キマシテ修正ヲ加ヘラレマシタコトハ、洵ニ遺憾ト致ス所デアリマス、併ナガラ此修正案ヲ詳ニ拜見致シマスルト云フ、稅法ノ根本主義ヲ害スルコトナク、「ノウ」ト「嘘」ト呼フ者アリ、金高ニ於テ増減スル所ナク、隨テ政府ノ財政計畫ニ影響ナキモノト認メマス、茲ニ「政友會」ニ主義主張ナシト呼フ者アリ、兩院交議妥協ノ精神ヲ發揮シ、貴族院送付ノ修正案ニ同意ノ意思ヲ表明致シマス(此時發言スル者多シ)

場デアッタデアリマス、唯今三土君ハ、一面ニ於テ源泉課稅主義ニ還元シテ居ルガ、尙且ツ一面ニ於テハ、綜合課稅主義ヲ主トシテ居ルデアリマス、故ニ、決シテ矛盾シナイモノデアルト論ゼラレタデアリマス、吾々ノ信ジマス所ニ依レバ、社會政策ヲ行フ上ニ就テ、決シテ綜合課稅主義ト源泉課稅主義トハ、兩立スベキモノト信ジテ居ナイデアリマス、一面ニ於テ綜合課稅主義ヲ置クト云フナラバ、一面ニ於テ源泉課稅主義ヲ廢シナケレバ、差引上社會政策ハ立タナイデアリマス、此主義ニ於テ、大藏大臣ハ現ニ四十二議會以來、堂々トシテ吾々ニ説イテ居ラレタデアリマス、然ルニ一面ニ於テ四十三議會ニ於テ衆議院ガ此綜合課稅主義ニ修正ヲ加ヘテ、源泉課稅主義ニ還元シタ、成程一面カラ見レバ、唯今三土君ノ言ハレマシタ如ク、一面ニ於テハ源泉課稅主義デアリマス、一面ニ於テ綜合課稅主義デアリマス、宜イヤウデアリマス、之ヲ算盤ノ上カラ見レバドウデアリマス、源泉課稅ハ最低百分ノ七五デアルモノヲ百分ノ四十ナシ、之ニ依テ三割減ジタデアリマス、ソレダケハ綜合課稅ニ持テ行フ綜合サレテ居ル、即チ金高カラ言ヘバ半分ハ綜合課稅カラ取テ、半分ハ源泉課稅主義ニ基クト云フノガ事實デアリ、此事實ノ上ニ於テ政府ガ社會政策ト申サレタ所ノ根本ハ、半バ打碎カレテ居ルデアリマス(拍手起ル)

或點ハ餘程私共ノ意ヲ得タリト思フ點ガアルデアリマス、即チ免稅點ヲ引上ゲタルガ如キ、或ハ留保所得ノ累進率ニ輕減シタルガ如キハ、或ハ良修正ト言ヒ得ルコトガ出來ルデアリマス、其綜合課稅主義ノ根本ヲ破壊シタル點ニ於テ、此修正ニハ甚ダ同意ハ出來ナイデアリマス、前ニモ申シマシタル如ク、我黨ハ一年延期ノ意味ニ於テ之ニ反對致シタデアリマス、既ニ當衆議院ニ於テ可決サレタル以上ハ、院議ヲ尊重スルコト云フ意味ニ於テ政府ノ——衆議院ノ此修正案ニハ同意ヲ致スコトハ出來ナイデアリマス(拍手)貴族院「ラウ」ト呼フ者アリ、貴族院ノ修正案ニハ同意スルコトハ出來ナイデアリマス、尙ホ詳シキ事ハデアリマス、大體右ノヤウナ次第、此貴族院ノ案ニハ同意致シ兼ネル次第デゴザイマス、此點ヲ明カニ致シテ置ク次第デアリマス(拍手)

貴族院ニ於キマシテ修正ヲ加ヘラレマシタコトハ、洵ニ遺憾ト致ス所デアリマス、併ナガラ此修正案ヲ詳ニ拜見致シマスルト云フ、稅法ノ根本主義ヲ害スルコトナク、「ノウ」ト「嘘」ト呼フ者アリ、金高ニ於テ増減スル所ナク、隨テ政府ノ財政計畫ニ影響ナキモノト認メマス、茲ニ「政友會」ニ主義主張ナシト呼フ者アリ、兩院交議妥協ノ精神ヲ發揮シ、貴族院送付ノ修正案ニ同意ノ意思ヲ表明致シマス(此時發言スル者多シ)

場デアッタデアリマス、唯今三土君ハ、一面ニ於テ源泉課稅主義ニ還元シテ居ルガ、尙且ツ一面ニ於テハ、綜合課稅主義ヲ主トシテ居ルデアリマス、故ニ、決シテ矛盾シナイモノデアルト論ゼラレタデアリマス、吾々ノ信ジマス所ニ依レバ、社會政策ヲ行フ上ニ就テ、決シテ綜合課稅主義ト源泉課稅主義トハ、兩立スベキモノト信ジテ居ナイデアリマス、一面ニ於テ綜合課稅主義ヲ置クト云フナラバ、一面ニ於テ源泉課稅主義ヲ廢シナケレバ、差引上社會政策ハ立タナイデアリマス、此主義ニ於テ、大藏大臣ハ現ニ四十二議會以來、堂々トシテ吾々ニ説イテ居ラレタデアリマス、然ルニ一面ニ於テ四十三議會ニ於テ衆議院ガ此綜合課稅主義ニ修正ヲ加ヘテ、源泉課稅主義ニ還元シタ、成程一面カラ見レバ、唯今三土君ノ言ハレマシタ如ク、一面ニ於テハ源泉課稅主義デアリマス、一面ニ於テ綜合課稅主義デアリマス、宜イヤウデアリマス、之ヲ算盤ノ上カラ見レバドウデアリマス、源泉課稅ハ最低百分ノ七五デアルモノヲ百分ノ四十ナシ、之ニ依テ三割減ジタデアリマス、ソレダケハ綜合課稅ニ持テ行フ綜合サレテ居ル、即チ金高カラ言ヘバ半分ハ綜合課稅カラ取テ、半分ハ源泉課稅主義ニ基クト云フノガ事實デアリ、此事實ノ上ニ於テ政府ガ社會政策ト申サレタ所ノ根本ハ、半バ打碎カレテ居ルデアリマス(拍手起ル)

或點ハ餘程私共ノ意ヲ得タリト思フ點ガアルデアリマス、即チ免稅點ヲ引上ゲタルガ如キ、或ハ留保所得ノ累進率ニ輕減シタルガ如キハ、或ハ良修正ト言ヒ得ルコトガ出來ルデアリマス、其綜合課稅主義ノ根本ヲ破壊シタル點ニ於テ、此修正ニハ甚ダ同意ハ出來ナイデアリマス、前ニモ申シマシタル如ク、我黨ハ一年延期ノ意味ニ於テ之ニ反對致シタデアリマス、既ニ當衆議院ニ於テ可決サレタル以上ハ、院議ヲ尊重スルコト云フ意味ニ於テ政府ノ——衆議院ノ此修正案ニハ同意ヲ致スコトハ出來ナイデアリマス(拍手)貴族院「ラウ」ト呼フ者アリ、貴族院ノ修正案ニハ同意スルコトハ出來ナイデアリマス、尙ホ詳シキ事ハデアリマス、大體右ノヤウナ次第、此貴族院ノ案ニハ同意致シ兼ネル次第デゴザイマス、此點ヲ明カニ致シテ置ク次第デアリマス(拍手)

貴族院ニ於キマシテ修正ヲ加ヘラレマシタコトハ、洵ニ遺憾ト致ス所デアリマス、併ナガラ此修正案ヲ詳ニ拜見致シマスルト云フ、稅法ノ根本主義ヲ害スルコトナク、「ノウ」ト「嘘」ト呼フ者アリ、金高ニ於テ増減スル所ナク、隨テ政府ノ財政計畫ニ影響ナキモノト認メマス、茲ニ「政友會」ニ主義主張ナシト呼フ者アリ、兩院交議妥協ノ精神ヲ發揮シ、貴族院送付ノ修正案ニ同意ノ意思ヲ表明致シマス(此時發言スル者多シ)

場デアッタデアリマス、唯今三土君ハ、一面ニ於テ源泉課稅主義ニ還元シテ居ルガ、尙且ツ一面ニ於テハ、綜合課稅主義ヲ主トシテ居ルデアリマス、故ニ、決シテ矛盾シナイモノデアルト論ゼラレタデアリマス、吾々ノ信ジマス所ニ依レバ、社會政策ヲ行フ上ニ就テ、決シテ綜合課稅主義ト源泉課稅主義トハ、兩立スベキモノト信ジテ居ナイデアリマス、一面ニ於テ綜合課稅主義ヲ置クト云フナラバ、一面ニ於テ源泉課稅主義ヲ廢シナケレバ、差引上社會政策ハ立タナイデアリマス、此主義ニ於テ、大藏大臣ハ現ニ四十二議會以來、堂々トシテ吾々ニ説イテ居ラレタデアリマス、然ルニ一面ニ於テ四十三議會ニ於テ衆議院ガ此綜合課稅主義ニ修正ヲ加ヘテ、源泉課稅主義ニ還元シタ、成程一面カラ見レバ、唯今三土君ノ言ハレマシタ如ク、一面ニ於テハ源泉課稅主義デアリマス、一面ニ於テ綜合課稅主義デアリマス、宜イヤウデアリマス、之ヲ算盤ノ上カラ見レバドウデアリマス、源泉課稅ハ最低百分ノ七五デアルモノヲ百分ノ四十ナシ、之ニ依テ三割減ジタデアリマス、ソレダケハ綜合課稅ニ持テ行フ綜合サレテ居ル、即チ金高カラ言ヘバ半分ハ綜合課稅カラ取テ、半分ハ源泉課稅主義ニ基クト云フノガ事實デアリ、此事實ノ上ニ於テ政府ガ社會政策ト申サレタ所ノ根本ハ、半バ打碎カレテ居ルデアリマス(拍手起ル)

○議長(奧繁三郎君) 三土忠造君

○議長(奧繁三郎君) 三土忠造君

○議長(奧繁三郎君) 三土忠造君

○議長(奧繁三郎君) 三土忠造君

○議長(奧繁三郎君) 三土忠造君

○議長(奧繁三郎君) 三土忠造君

○議長(奧繁三郎君) 三土忠造君

○議長(奧繁三郎君) 三土忠造君

○議長(奧繁三郎君) 高橋大藏大臣

○議長(奧繁三郎君) 高橋大藏大臣

○議長(奧繁三郎君) 高橋大藏大臣

○議長(奧繁三郎君) 高橋大藏大臣

貴族院ノ修正案ニ同意スルヤ否ヤト云フ御尋デアリマス、續テ此修正案ナルモノハ、政府ガ豫テ本案ヲ提出スルニ當リテ主張シタル所ノ主義ヲ、全ク破壊サレテ居ルデハナイカ、(然リ)其通りト呼フ者アリ)少シク冷靜ニ御清聴ヲ煩シタイ、源泉課税綜合課税ト云フコトヲ頻リニ仰シヤリマスガ、政府ノ申シタル所ノ綜合課税ノ趣意ハ、最初ヨリ是マデ會社カラ受ケル所ノ配當金ニ對シテ、個人ガ所得稅ヲ納メテ居ラスト云フノ之ヲ個人ニ歸屬シテ、他ノ所得ト綜合シテ、之ヲ個人カラ累進課稅ヲスルト云フノガ、政府ノ綜合課稅ト云フ主義デアアルノデス、又社會政策ヲ加味シタト云フコトハ、此點ニ於テ重キヲ措イテ言ウテ居ルノデハナイ、即チ負擔ノ公平、負擔ノ力ノ弱イ者ニハ、ソレダケ輕減ヲスル、負擔力ノ多イ者ニ多ク負擔ヲサセルト云フノガ、社會政策ト云フモノデアアル(ヒヤ)ト呼フ者アリ)即チ第三種ノ稅率ヲ低下シタルコト、又免稅點ヲ引上ゲタルコト、ソレカラ(共產主義デスカ)ト呼フ者アリ)其ナンノ一扶助ノ義務アル老人幼者、不具者、是等ノ爲メニ相當ノ控除ヲ爲シ、勤勞所得ニ對シテ控除金額ヲ殖シタ、此點ガ社會政策ヲ意味シタル主ナル點デアアル、而シテ今般ノ此修正ハ、綜合主義ト政府ガ主張シタル所ハ、少シモ傷ケラレテ居ラスノデアアル(ノウ)ト呼フ者アリ)如何トナレバ個人ガ會社ヨリ受ケル所ノ配當金ニ對シテ、個人ノ他ノ所得ト綜合シテ之ニ課稅スルト云フ主義ガ貫イタ以上ハ、少シモ破壊サレテ居ラスノダ、而シテ一方ニ於テ源泉課稅ト言ハレケレドモ、是ハ會社ノ所得ニ對スル課稅デアアル、法人課稅デアアル、源泉課稅ト綜合課稅ト云フモノハ、貴方ノ仰シヤルヤウナモノデハナイ、會社ニ課ケル所ノモノハ、會社ノ所得ニ對シテ課ケル稅デアアル、個人カラ取ル所ノモノハ、配當金ガ個人ニ歸屬シタ以上ハ、之ニ對シテ個人カラ所得稅ヲ取ルト云フノガ、即チ是ガ綜合課稅デアアル(不明瞭)ト呼フ者アリ)是ニ於テ政府ハ聊モ政府ノ主張シタル所ノ主義ヲ傷ツケラレズシテ、而シテ他ノ修正ト云フモノハ、是ハ負擔ノ稅率ノ按排ヲサレタゲデアアル、故ニ政府ハ貴衆兩院ニ於テ修正案ニ定マリマスル以上ハ、政府ハ同意ヲ致スノデアアル

稅デアアル、綜合課稅ト云フノハ個人ニ課ケル稅デアアルカラ、左様ナ衝突ハシナイ、斯ウ云フコトヲ今私ニ答ヘラレタ、所ガ四十二議會ニ於テ、政府ガ所得稅増稅案ヲ提出サレタトキニ何ト云ハレタノデアアルカ、是マデ會社カラノミ取テ居タ所ノ所得稅ヲ全廢シテ、所謂源泉課稅ナルモノヲ取テ居マデ一文無シニシテ、全部ヲ個人ニ課ケテ、綜合課稅ニサレル案ヲ出サレタノデアアリマス、其時ニ政府ハ何ト云ハレタカ、會社カラ直接稅ヲ取レマス、大株主モ小株主モ同ジ率デ稅ヲ取ラレタ結果ニナル、又同ジ百株ノ株主デモ、大ナル財產ノ人ト小サイ財產ノ人ガ持テ居デモ、同ジ百株デアアルカラ、百株ノ稅ヲ取ラレタノデアアルカラ、是デハ社會政策ニナラナイ、大キナ人ハ大キイダケニ、同ジ百株デモ個人ニ綜合シテ稅ヲ取ル、小サイ人ハ小サイヤウニ之ヲ綜合シテ、ソレ相應ノ率ヲ以テ稅ヲ取ル、而シテ大株主ト小株主トハ違タ稅ヲ取ルヤウニシナケレバ、社會政策ニナラナイノデアアルト云フコトヲ、頗ル自慢ラシク御高言ニナツタノデアアル(拍手起ル)ソレヲ今日貴族院ノ修正ニ御同意ナサルニ就テ、私ノ說ヲ御非難サレヌナラバ、私ハ默テ聽イテ居ル、所ガ如何ニモ吾ニ違タコトヲ言フガ如クニ言ハレル、貴方ハ綜合課稅ト云フノハ、個人ニ課ケル所ノモノデアアル、一方源泉課稅ハ會社ニ課ケルカラ一向衝突ガ無い、前ガ違テ居ルト云フガ如キコトヲ言ハレルト吾ニハ國家ノ爲メニ默テ居ラレナイ(拍手起ル)大藏大臣ハ四十二議會カラ言ハレタコトヲ何ト思フデ居ラレタカ、四十二議會カラ言ハレタコトヲ考ヘラレタナラバ、唯今ノ事ハ違テ居ルト云フコトハ判ラナクテハナラナイ、之ニ對シテモ尙且ツ此綜合課稅主義ノ半バヲ捨テ、源泉課稅主義ニシテ、前ノ主義ヲ殆ド捨テ、ソレデ且ツ貴族院ノ修正ニ同意シテ、ソレデ收入主義ノミデナイ、是デモ果シテ社會政策ヲ行テ居ル、嚮ニ言ツタコト、違ハナイト言ヒ得ラル、デアリマセウカ、(拍手起ル)明カニ大藏大臣ハ兜ヲ脱イデ、實ハ困リマシタ、吾ニハ此様ナ事柄ハ吾ニノ主義トハ違フケレドモ、此際收入ヲ圖ラネバナラスノデアアルカラ、ドウカ托グテ貴族院ノ修正ニ贊成シテ貰ヒタイト、此處デ兜ヲ脱ガレタラドウデス(拍手起ル)ソレヲ吾ニ對シテ、如何ニモ吾ニガ間違ヘテ居ルヤウナコトヲ此議場ニ於テ、天下公衆ニ向テ公言シ、而シテ己レノ考ヘタコトヲ宜イヤウニシヤウニスルカラ、吾ニハ默テ居ラレナイノデアアル、此點ハ果シテドウデアアルカラト云フコトヲ私ハ承リタイ(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 高橋大藏大臣 (國務大臣男爵高橋是清君登壇、拍手起ル) (大藏大臣顔色ナシ) (兜ヲ脱ケ)ト呼フ者アリ) ○議長(奥繁三郎君) 靜ニ... ○國務大臣(男爵高橋是清君) 唯今大口君ノ第二ノ質問デ能ク御趣意ハ判リマシタ、成程度ニ是マデモ申シタル通り(兜ヲ脱ケ)兜ハナイト呼フ者アリ、笑聲起ル)此修正案ノ提出ニ對シテ(眼鏡ヲ取レ)ト呼フ者アリ)第一ノ目的トスル即チ增收ニ在ルノデアアル(兜ヲ脱イダ兜ヲ脱イダ)ト呼フ者アリ)第二ニハ現在ノ所得稅ヲ其儘ニシテ置イテハ、負擔ノ均衡ヲ彌メ失ハレル、ソレ故ニ此儘デ增收ノ計畫ハ出來ナイカラ、稍、根本的ニ總デニ手ヲ著ケタト斯ウ申シタノデアアル(苦シイ)ト呼フ者アリ、議場騒然) ○議長(奥繁三郎君) 御靜ニ... ○國務大臣(男爵高橋是清君) 而シテ其説明ノ節ニハ、私ハ先刻貴方ノ仰シヤウナコトヲ、言テ居リマシタラウケレドモ、是ハ能ク一ツ考ヘテ戴カナケレバナラス、初メカラ主義ヲ主張スルノデアハナイノデアアル、(主義ガ無いノカ)ト呼フ者アリ、笑聲起ル)而シテ配當金ヲ個人ニ歸屬シタ上ニ於テ、之ニ對シテ個人カラ累進率ヲ課シテ稅ヲ取ルト云フコトガ、即チ綜合課稅ノ趣意ヲ貫イタノデアアル、ソレデ今貴方ノ仰シヤタル所ノ、成程百分ノ四ヲ會社ノ配當ニ課ケルハ、不公平デハナイカト云フコトハ私モ認メル、併シ理想カラ言ヘバ、初メニ政府ノ提出シタルハ最上デアアルト私ハ今デモ信ジテ居ル、併ナガラ主義ヲ主張シタルノデアアルト私ハ今ラ(主義モ主張モ無いノカ)ト呼フ者アリ)ソレハ第一ニ收入ガ目的デアアル、會社ノ配當金ヲ個人ニ歸屬シテ、是カラ所得稅ヲ取ルト云フコトハ、全ク所得稅法ニ於テ新規ノ事デアアル、新タノ事デアアル、此主義ヲ貫ケバ政府ハ満足シテ宜シイノデアアル(拍手起ル)其他ノ事ハ經濟界其他ノ事情ニ依テ、餘リ一時ニ理想ニ飛走ルヤウナコトハ考モノデアアル、(笑聲起ル)ソレ故ニ此儘ニ衆議院ノ修正ヲ政府ハ之ヲ認メテ、同意ヲシタ譯デアリマスカラ、御了承ヲ願ヒタイ(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 大藏大臣ハ無能ヲ表白セリト呼フ者アリ其他發言スル者多ク議場騒然) ○岩崎勲君 緊急動議ヲ提出致シマス、討論ヲ終結シ直チニ採決セラレムコトヲ望ミマス (議場騒然) ○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ヨリ討論終結ノ動議ガアリマシタ、之ニ御同意ノ御方ハ起立) (贊成者 起立) ○議長(奥繁三郎君) 多數ノ討論ハ終結サレマシタ (異議アリ異議アリ)ト呼フ者アリ、議場騒然) ○議長(奥繁三郎君) 討論終結ニ異議ガアリマスカ (異議ガアリマス)ト呼フ者アリ) ○議長(奥繁三郎君) 贊成ガ無いヤウデアリマス(議場

貴族院ノ修正案ニ同意スルヤ否ヤト云フ御尋デアリマス、續テ此修正案ナルモノハ、政府ガ豫テ本案ヲ提出スルニ當リテ主張シタル所ノ主義ヲ、全ク破壊サレテ居ルデハナイカ、(然リ)其通りト呼フ者アリ)少シク冷靜ニ御清聴ヲ煩シタイ、源泉課税綜合課税ト云フコトヲ頻リニ仰シヤリマスガ、政府ノ申シタル所ノ綜合課税ノ趣意ハ、最初ヨリ是マデ會社カラ受ケル所ノ配當金ニ對シテ、個人ガ所得稅ヲ納メテ居ラスト云フノ之ヲ個人ニ歸屬シテ、他ノ所得ト綜合シテ、之ヲ個人カラ累進課稅ヲスルト云フノガ、政府ノ綜合課稅ト云フ主義デアアルノデス、又社會政策ヲ加味シタト云フコトハ、此點ニ於テ重キヲ措イテ言ウテ居ルノデハナイ、即チ負擔ノ公平、負擔ノ力ノ弱イ者ニハ、ソレダケ輕減ヲスル、負擔力ノ多イ者ニ多ク負擔ヲサセルト云フノガ、社會政策ト云フモノデアアル(ヒヤ)ト呼フ者アリ)即チ第三種ノ稅率ヲ低下シタルコト、又免稅點ヲ引上ゲタルコト、ソレカラ(共產主義デスカ)ト呼フ者アリ)其ナンノ一扶助ノ義務アル老人幼者、不具者、是等ノ爲メニ相當ノ控除ヲ爲シ、勤勞所得ニ對シテ控除金額ヲ殖シタ、此點ガ社會政策ヲ意味シタル主ナル點デアアル、而シテ今般ノ此修正ハ、綜合主義ト政府ガ主張シタル所ハ、少シモ傷ケラレテ居ラスノデアアル(ノウ)ト呼フ者アリ)如何トナレバ個人ガ會社ヨリ受ケル所ノ配當金ニ對シテ、個人ノ他ノ所得ト綜合シテ之ニ課稅スルト云フ主義ガ貫イタ以上ハ、少シモ破壊サレテ居ラスノダ、而シテ一方ニ於テ源泉課稅ト言ハレケレドモ、是ハ會社ノ所得ニ對スル課稅デアアル、法人課稅デアアル、源泉課稅ト綜合課稅ト云フモノハ、貴方ノ仰シヤルヤウナモノデハナイ、會社ニ課ケル所ノモノハ、會社ノ所得ニ對シテ課ケル稅デアアル、個人カラ取ル所ノモノハ、配當金ガ個人ニ歸屬シタ以上ハ、之ニ對シテ個人カラ所得稅ヲ取ルト云フノガ、即チ是ガ綜合課稅デアアル(不明瞭)ト呼フ者アリ)是ニ於テ政府ハ聊モ政府ノ主張シタル所ノ主義ヲ傷ツケラレズシテ、而シテ他ノ修正ト云フモノハ、是ハ負擔ノ稅率ノ按排ヲサレタゲデアアル、故ニ政府ハ貴衆兩院ニ於テ修正案ニ定マリマスル以上ハ、政府ハ同意ヲ致スノデアアル

○議長(奥繁三郎君) 大口喜六君 (大口喜六君登壇、拍手起ル) (大口喜六君 是ハ極メテ大切ナル問題デアリマスルガ故ニ、(分タミ)ト呼フ者アリ)唯今大藏大臣ノ御答ニ對シテ今一言承テ置キタイ、唯今大藏大臣ハ斯ウ云フコトヲ言ハレタ、私ノ申シタコトガ違フ、源泉課稅ト綜合課稅ト云フモノハソレハ違フ、源泉課稅ト云フノハ會社ニ課ケル

○議長(奥繁三郎君) 高橋大藏大臣 (國務大臣男爵高橋是清君登壇、拍手起ル) (大藏大臣顔色ナシ) (兜ヲ脱ケ)ト呼フ者アリ) ○議長(奥繁三郎君) 靜ニ... ○國務大臣(男爵高橋是清君) 唯今大口君ノ第二ノ質問デ能ク御趣意ハ判リマシタ、成程度ニ是マデモ申シタル通り(兜ヲ脱ケ)兜ハナイト呼フ者アリ、笑聲起ル)此修正案ノ提出ニ對シテ(眼鏡ヲ取レ)ト呼フ者アリ)第一ノ目的トスル即チ增收ニ在ルノデアアル(兜ヲ脱イダ兜ヲ脱イダ)ト呼フ者アリ)第二ニハ現在ノ所得稅ヲ其儘ニシテ置イテハ、負擔ノ均衡ヲ彌メ失ハレル、ソレ故ニ此儘デ增收ノ計畫ハ出來ナイカラ、稍、根本的ニ總デニ手ヲ著ケタト斯ウ申シタノデアアル(苦シイ)ト呼フ者アリ、議場騒然) ○議長(奥繁三郎君) 御靜ニ... ○國務大臣(男爵高橋是清君) 而シテ其説明ノ節ニハ、私ハ先刻貴方ノ仰シヤウナコトヲ、言テ居リマシタラウケレドモ、是ハ能ク一ツ考ヘテ戴カナケレバナラス、初メカラ主義ヲ主張スルノデアハナイノデアアル、(主義ガ無いノカ)ト呼フ者アリ、笑聲起ル)而シテ配當金ヲ個人ニ歸屬シタ上ニ於テ、之ニ對シテ個人カラ累進率ヲ課シテ稅ヲ取ルト云フコトガ、即チ綜合課稅ノ趣意ヲ貫イタノデアアル、ソレデ今貴方ノ仰シヤタル所ノ、成程百分ノ四ヲ會社ノ配當ニ課ケルハ、不公平デハナイカト云フコトハ私モ認メル、併シ理想カラ言ヘバ、初メニ政府ノ提出シタルハ最上デアアルト私ハ今デモ信ジテ居ル、併ナガラ主義ヲ主張シタルノデアアルト私ハ今ラ(主義モ主張モ無いノカ)ト呼フ者アリ)ソレハ第一ニ收入ガ目的デアアル、會社ノ配當金ヲ個人ニ歸屬シテ、是カラ所得稅ヲ取ルト云フコトハ、全ク所得稅法ニ於テ新規ノ事デアアル、新タノ事デアアル、此主義ヲ貫ケバ政府ハ満足シテ宜シイノデアアル(拍手起ル)其他ノ事ハ經濟界其他ノ事情ニ依テ、餘リ一時ニ理想ニ飛走ルヤウナコトハ考モノデアアル、(笑聲起ル)ソレ故ニ此儘ニ衆議院ノ修正ヲ政府ハ之ヲ認メテ、同意ヲシタ譯デアリマスカラ、御了承ヲ願ヒタイ(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 大藏大臣ハ無能ヲ表白セリト呼フ者アリ其他發言スル者多ク議場騒然) ○岩崎勲君 緊急動議ヲ提出致シマス、討論ヲ終結シ直チニ採決セラレムコトヲ望ミマス (議場騒然) ○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ヨリ討論終結ノ動議ガアリマシタ、之ニ御同意ノ御方ハ起立) (贊成者 起立) ○議長(奥繁三郎君) 多數ノ討論ハ終結サレマシタ (異議アリ異議アリ)ト呼フ者アリ、議場騒然) ○議長(奥繁三郎君) 討論終結ニ異議ガアリマスカ (異議ガアリマス)ト呼フ者アリ) ○議長(奥繁三郎君) 贊成ガ無いヤウデアリマス(議場

騷然)仍テ討論ハ終結サレマシタ

○議長(奥繁三郎君) 採決致シマス、所得税法改正法律案、貴族院ノ修正ニ同意スルヤ否ヤヲ決シマス、同意ノ諸君ハ起立

〔同意者 起立〕

○議長(奥繁三郎君) 多數

〔拍手起ル「少數々々」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 仍テ同意スルコトニ決シマシタ

〔拍手起ル〕

○岩崎勳君 重テ議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、衆議院ヨリ貴族院ニ送付シタル政府提出明治四十一年法律第三十七號中改正法律案、即チ地方税制擴張ニ關スル件ニ對シマシテ、貴族院ハ之ヲ修正シ本院ニ回付サレマシタ、仍テ爰ニ本案ヲ議題トシ、右修正ニ同意スベキヤ否ヤヲ審議セラレンコトヲ望ミマス

〔拍手起ル「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ日程變更ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更サレマシタ、明治四十一年法律第三十七號中改正法律案ヲ議題ト致シマス、貴族院修正ノ部分ヲ朗讀致シマス

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(政府提出、貴族院回付)

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案

第一條中「百分ノ十三」ヲ「百分ノ三十四」ニ、「百分ノ三十二」ヲ「百分ノ八十三」ニ、「四十錢」ヲ「一圓」ニ、「百分ノ九」ヲ「百分ノ二十八」ニ、「百分ノ二十一」ヲ「百分ノ十六」ニ改ム

第二條中「百分ノ十一」ヲ「百分ノ二十九」ニ、「百分ノ十五」ヲ「百分ノ四十七」ニ改ム

第三條中「百分ノ四」ヲ「百分ノ三、六」ニ、「百分ノ十五」ヲ「百分ノ十四」ニ改ム

第六條 北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル前條ノ許可ノ職權ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

附則

本法ハ大正九年度分ヨリ之ヲ適用ス

大正八年法律第二十九號ハ大正八年度分限リ其ノ効力ヲ失フ

大正九年七月三十一日迄ニ制限外課税ノ許可ヲ受ケタル大正九年度分ノ地租附加税、營業税附加税、所得税附加税又ハ段別割ノ賦課率又ハ賦課額ハ従前ノ規定ニ依ル制限率又ハ制限額ヲ通シテ本法ニ依ル制限ヲ超過セサルトキハ之ヲ制限内ノ賦課率又ハ賦課額ト看做シ其ノ制限ヲ超過スル下キハ其ノ超過部分ニ限り之ヲ本法ニ依リ許可ヲ受ケタル制限外ノ賦課率又ハ賦課額ト看做ス但シ大正八年法律第二十九號ニ依リ制限外課税ノ許可ヲ受ケタル所得税附加税ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用ス

〔原田書記官朗讀〕

『第三條中「百分ノ四」ヲ「百分ノ三、六」ニ、「百分ノ十五」ヲ「百分ノ十四」ニ改ム』ヲ加フ

○議長(奥繁三郎君) 發言ノ通告ガアリマセヌカラ、直チニ採決致シマス

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○三土忠造君 唯今ノ修正ハ洵ニ輕微デアリマスカラ同意致シマス

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 明治四十一年法律第三十七號中改正法律案ハ、貴族院修正ニ同意スルヤ否ヤヲ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 同意ノ諸君ハ起立

〔同意者 起立〕

○議長(奥繁三郎君) 多數仍テ同意スルコトニ決シマシタ

○岩崎勳君 重テ議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ爰ニ日程第四、古島一雄君外五名提出決議案ヲ議題ト爲シ、提出者ノ説明ヲ求メ、且ツ之ヲ審議セラレムコトヲ望ミマス

〔拍手起ル「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ日程變更ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更サレマシタ

提出者古島一雄君

第四 決議案(古島一雄君外五名提出)

○議長(奥繁三郎君) 前川虎造君

〔前川虎造君登壇、拍手起ル〕

○前川虎造君 此決議案ハ極メテ簡單ナモノデアリマス

「今回政府ガ城東線ノ一部拂下ノ契約ヲ爲シタルハ不當ト認ム」ト云フ案ニ過ギナイデアリマス、此理由ヲ説明スル

以前ニ於キマシテ、此事柄ガ如何ナル事柄デアルト云フコトヲ、先ヅ諸君ニ申上ゲル必要ガアルト云フノデアリマス、政府ハ鐵道建設及改良費ノ既定額五億千八百七十萬圓ト云フモノ、更ニ追加致シテ八億五千五百萬圓ト云フモノヲ加ヘテ大正十八年ニ至ル間ニ於テ、總額十四億千九百二十九萬圓ト云フモノヲ使フコトニナッテ居ルノデアリマス、ザウシテ此中改良費ハ既定ノモノト追加ノモノトヲ加ヘマシテ、大正十八年度迄ニ八億六千三百三十萬圓餘ヲ使フノデアリマス、之ヲ本年度三億九千九百九十萬圓ノ改良費ヲ要求致シテ居ルノデアリマス、此改良費ノ中ニ大阪湊町間線路、並ニ高架改築費四十七萬五千圓ト云フモノノ要求ガアルノデアリマス、此要求ハ如何ナル所ニ使ハレルノデアルカ、即チ大阪ノ城東線ノ一部一哩八分ト云フ、此線路ヲ新ニ高架式ニ變ヘルト云フ、此改築費ノ中ノ一部ヲ本年度ノ豫算ニ要求致シテ居ルノデアリマス、ソレデ此要求ニ對シテ、豫算委員ニ於キマシテモ問題ニナクナラデアリマス、何故問題ニナクナラト云フト、此改築費シテ後ノ一哩八分ト云フ此鐵道ヲ、如何ニ處分スルカト云フ問題デアルノデアリマス、所ガ此質問ノ結果ト致シマシテ、鐵道大臣ハ「新シキ事實ヲ發表サレタノデアアル、ドウ云フ事實デアアルカト云フト、是ハ此後ノ不用ニナク鐵道ヲ京阪電氣會社ニ約束ヲシテ居ル」ト云フ一契約ヲ致シタト云フ事實ヲ發表サレタノデアリマス、其契約書ナルモノニ依リマスト、價格全體五百七十萬圓ト最低價格ヲ定メテ、サウシテ若シ此價格ト云フモノガ、政府ガ新ニ數カント欲スル所ノ高架線路ガ五百七十萬圓デ行ケバ宜シイガ、萬一五百七十萬圓デ是ガ目的ガ達シナイ時分ニハ、其不足額ハ矢張此京阪電氣會社ガ負擔ヲスル」ト云フ附帶契約ヲ附ケテ、此書類ノ交換ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソコデ此問題ガ本議場ノ問題トナッテハ、中越鐵道成田鐵道ノ買収法案ヲ議スルノ際ニ於テ、此問題ガ本議場ノ問題トナッテデアリマス、引續イテ委員會ニ於テモ、此問題ヲ政府ニ説明ヲ求メタノデアリマス、是ガ是迄ノ經過デアリマス、ソレデ是カラ私ハ此決議案ノ説明ヲ致スノデアリマス、政府ハ此鐵道ノ一部ヲ改良スルニ當ッテ、之ガ爲メニ不用トナッテ所ノ鐵道ヲ、私立會社ニ賣渡スト云フコトガ、如何ナル法律ニ依テ之ヲサレタカ、如何ナル條規ノ定ムル所ニ依テ此處分ヲ爲シタカト云フコトガ、一ノ問題デアリマス、政府ノ言フ所ニ依レバ、是ハ鐵道ハナイ、既ニ之ニ代ルベキ所ノ高架鐵道ガ出來ル以上ハ不用ニナルノデアアル、故ニ不用物ヲ拂下ゲルノデアアル、斯ウ云フコトヲ繰返シ繰返シ説明サレタノデアリマス、如何ニモ一方ニ鐵道ヲ造レバ是マデ使テ居タ線路ハ不用ニナルト云フコトハ、

是ハ明カデアリマス、併ナカラ此不用ナル所ノ線路ナルモノハ、矢張依然トシテ一ノ鐵道トシテ使ハレル時ニハ如何ナルモノデアラカ、不用デハナイ、即チ矢張鐵道デアアル、鐵道デアアル以上ハ是ハ鐵道ノ拂下デアアル、若シ此上ニ載セテ居ル所ノ橋格デアアルカ「レール」デアアルカ云フモノヲ、切レ「ニ」政府ハ御賣拂ニナルノデアアルナラバ、是ハ當然不用物ノ處分デアアルカ知ラヌガ、之ヲスカリ原形ノ儘ニ會社ニ賣渡ス、會社ハ依然トシテ之ヲ線路ニ使フノデアレバ、當然是ハ鐵道ノ拂下デナケレバナラヌノデアアル、故ニ吾々ハ之ヲ頻リニ追窮スルト、政府ハ終リニ斯ウ云フコトヲ言出シテ居ル、實ハ是ハ物ト物トノ交換デアアル、精神ガ拂下ニ在ラズシテ、政府ハ一面ニ改良スル費用ガ要ルカラ、其費用ニ相當ナル代價ヲ以テ之ヲ交換シタルデアアル、政府ハ交換デアアルト云フコトヲ度々繰返シテ説明サレテ居ル、一體此官有物ヲ拂下デラト云セバ、其品物ヲ代ト交換シタルト云フコトハ、是ハ又如何ナル所カラ斯様ニ御割出シニナツタノカ、不用ノ物ハ宜シク賣ルヘシ、又入用ノ物ハ宜シク買フベシ、是デコソ明カデアアル唯ダ此「ツ」價ノ有ル物ヲ、自分ガ之ヲ不用ニナツタカラト云テ、或物ヲ持テ來レバ或物ヲ遣ル上ニ云フ遣方ハドウデアアルカ、斯様ナ遣方ハアルベキ筈デナイ、ソレデ段々追窮致シマスルト終リニハ是ハ契約デアハナイ、是ハ意思ノ表示ニ過ギナイデアレバ何故ニ之ヲ豫算委員會ニ於テ、斯様ナ書類ヲ公表ニナツタノデアアルカ、意思ノ表示ニ過ギナイモノデアアルナラバ、何ガ故ニ此處ニ於テ物ノ交換ノ約束デアアルト云フコトヲ言ハレルノデアアルカ、吾々ニハ一向其意ヲ得ヌノデアアル、殊ニ其線路ノ拂下ト云フコトニ伴ウテ、交換ト云フコトニ就テハ、斯ウ云フモノヲ出シテ來テ居ルノデアアル、此線路ノ拂下ハドウチナノ方カラ言出シタカト云フト、現在ノ豫算ガマダ提出サレルヤラサレヌヤラ判ラヌ以前ニ於テ、本年二月二十一日ニ會社側カラシテ、此度鐵道省ハ是ノ線路ヲ御改良ナサル由デアアル、若シ左様ニナツタナラバ、是カラ生ズル不用ノ分ハ私ノ所ヘ御賣拂下サイト云フ願書ヲ出シタルデアアル、ソレヲ五月二十日ニ政府ハ、斯ウ云フ條件ナラバ賣テヤルト云フテ出シタルハ、疑ニ申シテ條件、之ニ對シテ又確ニ其通リ心得マシタルト云フ受書ヲ出シタルト云フノデ、一ノ契約ハ成立致シテ居ルノデアアル、ソコデ私ハ此線路ハドウ云フ方面ノ線路カト云フト、是ハ大阪湊町間ノ線間、並高架改築費ト豫算ニハ出テ居リマスガ、實際此不用線ナリトシテ拂下デベキ所ノ線路ハ、城東線ノ中、中野町連絡所附近ヨリ本庄葉村町市電新設線附近ニ至ル一哩八分デアリマス、ソレデ此

拂下ハ假リニ之ヲ一步譲リマシテ、鐵道デアハナイ、是ハ不用デアアルカラ拂下ゲルノデアアルト云フコトニ一步譲リマシテ、サウシテドウ云フ結果ニナルカト云フト、若シ之ヲ不用ナリトシテ拂下ゲル時分ニハ、ドウシテモ此都市計畫委員會ニ諮ラナケレバナラナイノデアアル、都市計畫法ハ大正八年四月五日法律第三十六號ヲ以テ發布サレ、本年一月一日ヨリ實行サレテ居ル、此都市計畫法ノ第一條ニドウ云フコトガ書イテアルカト云フト「本法ニ於テ都市計畫ト稱スルハ交通衛生保安經濟等ニ關シ永久ニ公共ノ安寧ヲ維持シ又ハ福利ヲ増進スル爲メ重要施設ノ計畫ニシテ市ノ區域内ニ於テ又ハ其區域外ニ互リ執行スルモノヲ謂フ」ト云フコトヲ規定シテ、第二條ニハ斯ウ云フ規定ガアル、前條ニ規定スル市ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス其ノ市ノ都市計畫區域ハ關係市町村及都市計畫委員會ノ意見ヲ聞キ主務大臣之ヲ決定シ内閣ノ認可ヲ受クヘシ」ト斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ此都市計畫委員會官制ト云フモノヲ更ニ政府ガ十一月二十七日ニ——大正八年ノ十一月二十七日ニ勅令ヲ以テ發布サレテ居ルノデアアル、之ヲ本年一月カラ施行ニナツテ居ル、其都市計畫委員會官制ニ依リマシレバ、斯ウ云フコトガ書イテアル、都市計畫委員會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ左ニ掲グルモノハ地方委員會ノ議決ヲ經タル後中央委員會ノ議決ヲ經ヘシ、一都市計畫區域ノ全部ニ互リ計畫及其ノ變更ニ、都市計畫事業ニシテ都市計畫區域内ニ居住スル者ニ特ニ重大ナル利害關係アルモノ及其ノ變更ニ「下」云フコトガアルノデアアル、ソレデ假令鐵道省ト雖モ、苟モ其都市ニ重大ノ關係アル線路ヲ變更セント欲スル時分ニハ、先ヅ其都市計畫法及ビ此都市計畫委員會官制ニ依テ、諮問サルベキ筈ノモノデアアル鐵道省自ラ此線路ヲ如何ニスルモ、都市ノ委員會ヲ無視シテ此計畫ヲ立テルコトハ出來ナイコトニナツテ居ルノデアアル、況ヤ又之ヲ一ツノ私設會社ニ賣渡スト云フコトノ契約ヲ爲スガ如キニ至ツテハ、其不法モ亦甚ダシト吾々ハ思フノデアアル（拍手起ル）ソコデ又此拂下ハ如何ナル所カラ拂下ゲルト云フコトニシタカト云フコトヲ詰問シマスルト云フト、是ハ明治二十三年七月二十一日ノ勅令第三百三十五號官有地特別處分規則ト云フモノガアル、其中ニ「內務大臣ハ左ノ場合ニ限リ官有地ヲ競争ニ付セス隨意ノ契約ヲ以テ貸渡又ハ賣渡スコトヲ得」ト云フ其中ノ第一項ニ「直接公用ニ供スル爲又ハ公共ノ利益トナル事業ノ爲縣郡市町村及公共組合又ハ其他ノ起業者ニ官有地ヲ貸渡シ又ハ賣渡ストキ」ト云フ、此第一項ニ依テ此契約ヲ爲シタルモノデアアル、斯ウ云フノデアアル、所ガ第一條ノ初メニ「內務大臣ハ左ノ場合ニ限リ」トアル、鐵道大臣ガ權能ノ無イコトハ明カニナツテ居ルノデアアル、

（拍手起ル）所ガ之ニ對シテハ慣例ガアル、是迄段々此慣例ヲ用ニ來テ、ソレガ爲メ今日迄ハ若シ斯様ナ事ヲ鐵道省ガ勝手ニヤツテモ、會計検査院ハ問題ニシナイ、又議會デモ問題ニナツタコトハナイト、斯ウ言ハレルノデアアル、如何ニモ左様カモ知レナイ、然シナガラ之ヲ物ニ譬ヘテ言フテ見マスレバ、或ル泥棒ガ一軒ノ家ニ屢ニ泥棒ニ這入シテ物ヲ取ツタ、併シナガラ其都度告訴シナカッタ、最後ニ告訴ヲシタ、サウスルト告訴ニナラナカッタカラ、アノ家ノ物ヲ取ツテモ差支ナイト思フテ取ツタノデアアルト云フガ如キコトデ、世ニ之ヲ稱シテ盜人猛メシト云フ、此ノ如キ比喩ハ斯様ナ問題ニハ不敬デアアルカ知ラヌガ、是迄此事ニ就テ問題ニナラナカッタカラヤタノデアアルト云フコトハ何タル事デアアルカ（拍手スル者アリ）明カニ如何ニ內務大臣ト鐵道大臣ノ間ニソレハ御交渉ガアラウト、此官有地特別處分規則ニ依テヤツタ言ハルル以上ハ、此第一條ノ內務大臣ノ限リト云フ、內務大臣ノ特ニ計畫權能デアアル、鐵道大臣ガ計畫サレテ居ラヌ、ソレヲ御互ノ唯職務ノ便宜上ノ勝手ニヤツタト云フ一ツノ慣例ヲ以テ、其勅令ヲ無視スルコトガ出來ルカドウカ、斯様ナ事ガ私ハ餘リニ法規ヲ無視シ、此法律ニ違反シタル所ノ行爲デアアルト吾々ハ信ズルノデアアル（ヒヤ——）ト呼フ者アリ）ソレカラ序デニ申上ゲテ置キマスガ、餘程此事ニ就テハ私共怪訝ニ堪ヘナイコトガアルト云フノハ、此鐵道ハ不要デアアルカラ拂下ゲルト云フテ、五月二十日ニ政府ト——鐵道大臣ト京阪電鐵トノ間ニ契約ヲ結ビ、其契約ヲ結ブト同時ニ、四月二十九日ニ電鐵會社カラ梅田乘入レノ特許願書ガ出テ居ルノデアアル、此願書ヲ如何ニ取扱ヘタカ、大阪府知事、京都府知事ニ向テ五月二十九日ニ出シタ、鐵道省カラ諮問サレタ、之ハ三十日、三十一日、二日ヲ經テ六月一日、三日ノ間ニ之ヲ裁決シテ、鐵道院ニ差支ナイト云フ回答ヲシタト云フ一事デアアル、吾々ハ平生此地方廳ノ事務ヲ取扱フコトノ頗ル遲緩ナルヲ憂ヒテ居ルノデアリマス、故ニ此ノ如ク敏捷ニ運バレルト云フコトハ、洵ニ吾々トシテ喜バベキ事デアリマス、併ナガラ斯様ナ事ヲ是迄取扱ヒニナツテ、遲キノハ八箇月、早キモノデモ二三箇月ハ、必ズ御留置ニナルベキコトニナツテ居ルノデアアル、然ルニ此問題ニ限リ二十九日ニ出シタルモノガ、直ニ六月一日ニ之ガ決定ガ出來ルト云フ位迅速ニ運バレルト云フノハ、如何ナル事デアアルカ、是ハ甚ダ迅速ニヤツタノガ惡ルイト云フノデアハナイノデアリマスガ、斯様ナ工合ニ甘ク運シテ、ト——「拍手ニ之ガ契約ガ出來ルガ——」一方ノ乘入レハ直グス様ニ運ビ、サウシテ豫算ガマダ發セラレナイ、若シ此帝國議會ガ此鐵道ノ建設ニ協賛ヲ與ヘナシタ時ニハ、ドウナルノデアリマスガ、是ハ今日ノ事情

カラ言ヒマスレバ、ドント何デモ成立スルコト云フ御豫想ハ付クカモ知レナイ、付クカモ知レナイガ、マダ未必ノモノデア
ル、未必ノ以前ニ於テ斯様ナ契約ヲ爲サレト云フコトハ、
私ハ其意ヲ得ナイト思フノデアリマス(ヒヤ)ト呼フ者アリ
リ)ソレデ殊更不思議ナハ斯ウ云フノデアル、是ハ五百七
十萬圓ノ價ノナイモノデアアル、三百五十萬圓、好ク積テモ
三百三十萬圓カ五十萬圓ノモノデアアル、然ルニ會社ガ五百
七十萬圓ニ買フコト云フハ、餘程良イ相手ヲ見附ケタノデ
アル故ニ是ハ鐵道省トシテ喜ンデヤラネバナラヌ仕事デア
ルト云フコトヲ頻リニ言ハレノデアアル、諸君、新聞社ノ器
械ヲ賣ルト云フ或ル一ツノ新聞社ヲ買ウ時分ニハドウデスカ、
其新聞社ニアル所ノ輪轉機活字ト、ソレカラ古新聞ト古
機ト云フモノガ、直チニ新聞社ノ價格ヲ作スモノデアリマスガ
決シテサウ云フモノデアナイ、何トナレバ新聞社トシテ今日マデ
經營シ來タ所ノ其價格ト云フモノガ之ニ加ハルカラ、或ハ
五萬圓トナリ、十萬トナルノデアアル、鐵道モ其如キモノデア
ル此鐵道ガ廢物トナルナラバ、或ハ地面ガ幾ラ、橋桁ガ幾ラ、
古鐵道ガ幾ラト云フコトヲ計算シナレバナラヌガ、京阪電車
ガ多年希望シテ居ル所ノ目的ヲ達シテ、大阪市ノ或ル部分
マデ此線路ヲ延バスト云フコトニナタ時分ニハ、全體ノ線
路ノ利益ト云フモノハ、殆ド是マデノ倍以上ニ算スルコトガ
出來ルノデアアル(拍手)故ニ是ハ古鐵道トシテ賣レノト、會社
ガ鐵道トシテ使フノト、同ジ價格ヲ以テ論ズベキモノデハナ
イノデアアル(ヒヤ)ト呼フ者アリ)私ハ必シモ此五百七
十萬圓ノ安イ高イヲ云フノデアアリマセヌ、斯様ナモノノ恰
モ何等ノ形式ニ依ラズ、唯ダ鐵道大臣ト會社ガ秘密ノ間ニ
契約シテ、サウシテ世間ガ一ツモ知ラヌ間ニ、一ノ契約ガ成
立シテシマフ、サウシテ大正十四年若クハ十八年ニ此線路
ガ始メテ不用デアルト云フ時ニ、今日契約シタ所ノ此契約
書ヲ出シテ、此不用地ハ既ニ京阪電車ト斯様ナ契約ノアル
モノデアルト云フノデ、總テノ競争者ヲ抑ヘヤウト云フヤウナ
形ニナテ來タ時分ニハ、ドウ政府ハ之ニ向テ御處置ヲサ
ルノデアアル、殊ニ又大阪都市デアリマス、大阪都市ハ是ハ
今尙ホ都市ト云フト雖モ、都市ニナリカカテ居ルノデアアル、成
程人口ハ澤山アリマス、家モ澤山アリマス、併ナガラ大阪
ハ由來道ガ極テ狭イ道デ、稍、電車ヲ通シテ居ル所ダケハ道
ヲシイ道デアリマスガ、尙ホ北ノ方ノ葉村町邊ヘ參リマス
ト、極メテ建築ガ不完全、道路ガ不完全デアアル、是ハ大阪
市ガ將來最モ力ヲ用キテ此都市ノ計畫ヲシナケレバナラヌ場
所ニナタテ居ルノデアリマス、然ルニモ拘ラズ此處ノ鐵道ヲ不
用ニナタテ居ラト云フ、此鐵道ヲ大阪都市ト云フモノト何等ノ
關係モナシニ、秘密ノ間ニ御契約ナサルト云フコトハ、是ハ
將來大阪都市ト內務省ト鐵道省ト、此三者ノ間ニ一大紛

擾ヲ貽ス原因ニ相成ルノデアアル、(拍手)現ニ——現ニ此事
ガ一タビ大阪市民ノ耳ニ入ルヤ、大阪市ハ非常ナル勢ヲ以テ
之ニ反對ヲシテ居ルデヤナイカ、既ニ今日デスラ斯ノ如キ紛
擾ノ端緒ヲ啓イテ居ルノデアアル、若シ之ヲ秘密ノ間ニ置イ
テ、他日此都市計畫ト衝突ヲ致シタ時分ニハ、一大紛議
ノ原因トナルノデアリマス、斯ノ如キ事ガ判テ居リナガラ、
何等ノ法規ニモ據ラズ、勝手氣儘ニ鐵道省ガ之ヲ御取極
ニナテ、サウシテ之ヲ追及スレバ、意思ノ表示デアルト云
フ、意思ノ表示ト云フハ何事デアアルカ、私ハ法律ノ知識
ハ極テ低イ者デアアル、併ナガラ或ル一方カラ一ノ條件ヲ
提出シ、或ル一方カラ承知シタト云フ、御互ニ書面ヲ
交換スレバ、ソレデ直チニ契約ハ成立スベキ筈ノモノデ
アル、常識ヲ以テモ是ハ判ルノデアアル、尙ホ不思議ナ事ハ、
鐵道大臣ハ斯ウ云フ事ヲ言フノデアアル、引込ト云フコト、
鐵道ノ引込ト云フコト、拂下ト云フコトハ全然別デアアルト
言フノデアアル、全然別物デアアルナラバ、何カ故ニ政府ハ三百
五十萬圓ノ値シカナイモノヲ、五百七十萬圓ニ賣リ、ソレカ
ラ之ニ對スル説明トシテ是ハ物ト物トノ交換デアルト云フ
ノハ何事デアアルカ、既ニ此契約ヲナサル當時カラ、引込ト云
フコト別ノ條件ニシテ居ルカラ、之ヲ言ハレノデアアル、ソ
レニ全然別物ト何事デアアルカ、別物モ何デモナイ、相關
聯シテ離レベカラザルモノデアアル、故ニ若シ此京阪電鐵ニ此
引込ヲ許サス、特許シナイト云フコトニナラバ、京阪電鐵ハ
果シテ此契約ニ從テ五百七十萬圓ノ最高額デ橋桁ヤ地
面ヲ引取ルカドウカ、決シテ引取ルモノデナリ、是ハハチヤント
相結ビ付イテ離レベカラザルモノデアアル、故ニ是ハ全然別物
デハナイ、ソレカラ又政府ノ説明スル所ニ依レバ、斯ウ云フ
事ヲ言フノデアアル、是ハ實ハ鐵道ノ拂下交換ト云フコトデア
ルケレドモ、形ハサウデハナイ、形ダケヲ不用物トシテ之ヲヤ
ルノデアアルト云フコトヲ展、明言サレテ居ル、何ト云フ事デア
ルカ、政府ハ此鐵道ヲ拂下ゲテ、新シイ鐵道ト舊イ鐵道トヲ
交換シテ、舊イ鐵道ハ民間ニ使ハセル、新シイ鐵道ハ自分ガ
使フノダ、ソレダカラ物ト物トノ交換デアアルガ、ソレハ法規ニ
無イカラ之ヲサウ云フコトニセズシテ、之ヲ不用ト云フコトニ
シテ拂下ゲルノダト、斯ウ云フ不用ト云フコトニシテト云フ
ノハ如何ナル事デアアルカ、不用ナラハ不用、又有用ナラハ有
用トハキリスベキ筈ノモノデアアル、不用トシテ拂下ケルカラ、
此規則デアレノデアアルト、之ヲ使フガ使フマイガ、政府ハソ
レハ知ラナイ、或ハ電鐵ニ拂下ケレバ、京阪電鐵ハ鐵道トシ
テ使フカモ知レヌ、併シソレハハ知ラナイ、免ニ角鐵道
トシテ拂下ゲル規則ガ無イカラ不用トシテ拂下ゲルノダト
云フノデアアル、ソレカラ又驚クノハ、三百三十萬圓ノ價值
シカナイト云フ見積額ノ中、二百七十萬圓ハ地所デアリマ

ス、地面ニ對スル價格デアリマス、アトハ僅カナモノデアリマ
ス、其二百七十萬圓ノ地所、此大部分ノ地所ガ、而カモ大
阪市ノ土地ト大關係ヲ持ツノデアアル、何モ橋桁ヤ軌道グラ
イハ邪魔ニナレバ捨テタラ宜イノデアアル、此土地其モノハ大
阪市ガ存在スル限ハ、大阪市トハ離レベカラザル關係ノアル
モノデアアル、此大阪都市トシテハ、京阪電鐵ナル一ノ法人會社
ガドン市ノ真中ニ權利ヲ持ツト云フコトハ、將來市ノ發
展ト云フコトニ如何ナル影響ヲ及ベスカト云フコトヲ御承
知デアアルカドウデアアル、總テ是カラ都市ヲ經營シテ行カ
ントスルモノハ、成ベク都市自分自身ニ於テ處理シテ行ケルコ
トヲ望ムノデアアル、然ルニ茲ニ故ラニ——斯様ナ政府ノ不用ニ
ナタテ物ヲ其都市ニ拂下ゲテヤルナラバ、是ハ格別デス又其
都市ガ之ヲ要ラヌ、又其都市ニ於テ鐵道トシテハ要ラヌ、要
ラヌノミナラズ、他ノ計畫ニモ必要ガナイ、斯ウ云フ場合ニハ
ソレハ鐵道院トシテドウ賣拂ヒニナラウト御勝手デアリマス
ケレドモ、都市ガ今尙ホ進歩シツ、アル所ノ此大都市ノ改
良時期ニ、此時期ニ於テ、都市ヲ出シ抜イテ一ノ會社ニ之
ヲ拂下ゲテ知ラヌ顔ヲシテ居ルト云フコトハ、私ハ此內務行
政、即チ內務大臣トシテモ、將來此都市經營ト云フコトヲ
如何ニ御取扱ニナルノカ、一體內務大臣ハ私ハ心事ヲ疑ハ
ザルヲ得ヌデアアル(拍手)現在內務大臣ハ中央ニ都市計
畫委員ヲ置キ、地方ニモ都市計畫委員ヲ置イテ、地方ト中
央ト相俟テ都市ノ改善ヲ計行クト云フ計畫ヲ立テラ
レ、而シテ都市法ナルモノヲ作ラレ、ソレカラ都市法ノ官制ナ
ドモ作ラレ、明カニ條項ヲ舉ゲテ、是ハ斯ウベキモノ、是ハド
ウベキモノト云フコトヲ決定シテ居ルニモ拘ラズ、之ニ何
等ノ御相談モナクシテ、鐵道大臣ニ委シテ居ルノデアアルカ
ラ、鐵道大臣ガ地所ヲ隨意ニ賣ラウト、ドウシヤウト、乃公
ノ方ハ構ハヌデアアルト、內務大臣ハ御答ニナルノカドウデ
アルカ、甚ダ私ハ其意ヲ得ナイノデアアル、要スルニ微頭微尾
是ハ不當ナル拂下デアリマス、故ニ私ハ此不當拂下ハ宜シ
ク取消スベキモノデアアル、ヨシ取消サナクトモ、是ハ當然無効
ニナルモノデアアルト思フ、尙ホ附加ヘテ言テ置キマスガ、是ガ
取消シタカラト云フ、鐵道大臣及內務大臣ノ責任ハ決シ
テ解除セラレベキモノデアリマセヌ(拍手)是ハ別問題
デアリマス、是ハ取消ス取消サスト云フコト、別問題デアリ
マス、是ハ今日此處ニ言フベキ問題デアリマセヌカラ、此處
デハ唯ダ此交通機關ト云フモノ、趣意ヲ述ベ、微頭微尾此
鐵道ノ一部分ヲ京阪電鐵會社ニ拂下ノ處分ヲ爲シタ契
約ト云フモノハ、是ハ不當ナル契約デアアル、故ニ是ハ破棄ス
ベキモノデアアル、ヨシ破棄シナクトモ、是ハ當然無効ニ歸スベ
キモノデアアルト云フコトダケヲ私ハ此處デ述ベマシテ、是デ降
壇ヲ致シマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 鈴木錠藏君——鈴木君著席ガアリマスカ(今出テ居リマス「眼ヲ開イテ御覽ナサイ眠テ居ルテハイケマセヌ」ト呼フ者アリ)

(鈴木錠藏君登壇、拍手起ル)

○鈴木錠藏君 前川君ニ依テ提出サレタル所ノ決議案ニ反對ヲ表シ、政府ノ處置ヲ是認スルモノデゴザイマス、抑モ此城東線ナルモノハ、過日來貴衆議院ニ於テ連日論難應酬セラレマシテ、天下ノ耳目ヲ唆リ、恰モ大事件ノ如ク宣傳セラレテ、今日又決議案ト云フガ如キ仰々シキ名目ノ下ニ上程セラレタノデアリマス、其内容ヲ審査スル時ニハ、寧ろ政府ニ於テ何等ノ手落モナク、吾々ハ之ヲ大成功ト云フニ彈ヲスノデアリマス、唯今前川君ノ説明ニ依テ見マシテモ、非難攻撃空疎薄弱ニシテ、前川君自身ニ考ヘタナラバ、今日此提案ヲサレタノ後悔サレテ居ルダラウト信ジテ居リマス(拍手起ル「低能」ト呼フ者ナリ)併ナガラ一般國民ノ前ニ此問題ガ展開サレタ以上ハ、國民ノ爲メニ其疑惑ヲ除キ、事理ヲ宣明シ、而シテ事實ノ無根ナル事ヲ明カニスルト云フ必要ガアリマス、私ハ前川君ガ此所デ説明サレタノハ、前川君ノ爲メニハ御都合ガ好イカ知ラヌケレドモ、私ハ詳カニ思ヒマス(「謹聽々々」代辯)ト呼フ者アリ(參考ニ供シタイト思ヒマス)「謹聽々々」代辯ト呼フ者アリ(全體此城東線ト云フノハ、梅田カラシテ關西線ノ天王寺ニ至ル所ノ六哩六分ニ當ルノデ、鐵道省ハ城東線ナルモノガ交通頻繁ナル所ノ道路ヲ切斷スル爲メニ、ドウシテモ之ヲ將來高架線ニシナケレバナラヌト云フ考ヲ持テ居タ、併ナガラ其場所ニ於テ高架線ニスルガ宜イカ、或ハ別ナ所ヲ擇ンダガ宜イカト云フコトハ、調査研究ノ結果、ハ現在ノ所ヨリモモット人家ノ稠密デナイ、而シテ土地ノ價格ノ安イ所ヲ擇ンダガ宜イ、斯ウ云フ事カラシテ此事ハ起テ居ル、(「ソナナ事ヲ聽ク必要ナシ」ト呼フ者アリ)此事ヲ聽カナクチヤ分ラヌ、然ルニ京阪電車鐵道會社ハ、幸ニ京都ト野江間ノ軌道ノ特許權ヲ得タ場合ニ、ドウシテモ大阪市内マデ乘込マナケレバナラヌト云フ條件ガ附セラレタノデアルカラシテ、是ガ他日不用ニナツタ場合ニ於テハ、之ヲ自分ノ方ニ拂下ゲテ貰ヒタイ、故ニ政府ニ於テハ若シサウナラバ、新高架線ヲ設置スル爲メニ要スル所ノ最低五百七十七萬圓ヲ負擔スルナラバ、其事ヲ高架線完成ノ後ニ於テ、現在ノ詰リ梅田カラ一哩六十五圓ノ鐵道ノ廢線ニナツタ部分ヲ拂下ゲテモ宜シイト云フ回答ヲシタノデ、故ニ此京阪電車鐵道會社ハ其回答ヲ得タ爲メニ、此一部乘入線ノ變更ヲ今申請シテ居ルノデアル、政府ガ決シテ鐵道ヲ賣ルノデハナイ、後ニナツテ廢線ニナルベキモノヲ賣ルノデアル(「詭辯々々」ト呼フ者アリ)此事ニ就キマシテハ京都府知事カラモ大阪府

知事カラモ追申ガアッテ...

(「讀ミ給ヘ」其所ガ胡麻化シダト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ...

○鈴木錠藏君 淀川ノ右岸ノ高架線ニスルナラバ差支ナイト云フ所ノ上申ガ出テ居ル、大阪市長モ亦其事ハ承知シタ上ニ於テ(「ノウ」ト呼フ者アリ)市内——大阪市内ハ即チ高架線ニスルナラ差支ナイ、大阪市會ト雖モ他日發達ノ見込ノアル所ハ、高架線ニスルヤウナ準備サヘスレバ差支ナイト云フコトハ、即チ大阪京都兩知事ト及大阪市長ノ三名カラ出テ居ルノデアルカラ、大阪市ノ意見モ此時ニ於テ發表サレタモノト云フコトハ言ヘルノデアリマス

(「市會議長ハ反對シテ居ルデハナイカ」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ願ヒマス

○鈴木錠藏君 政府ニ於キマシテモ、目下提出シテアリマス所ノ豫算ガ通過シタ上ニ於テ、而シテ此一方ノ會社ガ廢線敷地ヲ利用シテ、市内へ乘入ノ特許ヲ得タ曉ニ於テ、初メテ効力ヲ生ズルノデアリマス、今日ニ於テ之ヲ契約シテ置キマシテモ、即チ三四年ノ後ニ此事が完成スルノデアルカラ、之ヲ今日ニ於テ契約シテ申合ヲ爲スト云フコトハ必要タラウト云フ見地カラ、此事ガ出來テ居ルノデアリマス(「必要ナシ」朗讀々々、其儘其方ノ方ニヤレト呼フ者アリ)其後ニ本月二十二日ニ大阪市長ガ詰リ大阪市會ノ決議書ヲ提出シテ、城東線ノ一部ヲ拂下ゲテ、之ヲ京阪電鐵會社ノ電車軌道敷ニ許容セシムルノハ、都市計畫委員會ニ諮詢ガアルカラシテ、都市計畫委員會ニ之ヲ都市計畫委員會ニ諮詢シテ之ヲ決定シテ貰ヒタイ、隨シテ拂下及特許ヲ中止シテ貰ヒタイ、少ナクトモ特許ノ事ハ都市計畫委員會ノ意見ヲ微シテ貰ヒタイト云フ陳情ガアッテ、併ナガラ政府ハ之ヲ拂下ヲ中止スルコトハ出來ナイケレドモ、特許ニ就テハ大阪市長ト都市計畫委員會ノ意見ノ決定上デ決定スルガ當然デアルト云フコトヲ、市長ニ向テ回答シテアル、此經過ヲ諸君ガ冷靜ニ判斷スルナラバ、唯今ノ前川君ノヤウナ疑ハ起ラヌノデアラ、更ニ吾々ハ是ヨリ以上辯ヲ弄シテ此決議案ニ反對論ヲ唱ヘル必要ハ無イケレドモ、而モ尙ホ此ノ理由ヲ知ラナイ人ニ於テハ、恰モ此間ニ何等カノ事件ガ伏在スルガ如クニ認定セラレル爲メニ、私ハ更ニ各條ニ互ニ辯明ヲ試ントスル者デアリマス、第一ノ前川君ノ攻撃ハ何デアルカト云フト、鐵道拂下デアルノデ、公用ニ使用シテアル所ノ鐵道ヲ鐵道大臣ガ拂下ゲタルノデ、若シ鐵道ヲ拂下ゲルト云フノガ、貴族院アタリニ於テ隨分色ニ議論ガアリマシタケレドモ、鐵道大臣ノ言フノニハ、是ハ鐵道其物ヲ拂下ゲタルノデハナイ、鐵道

ガ他日不用ニナツタ場合ニ於テ、其廢線ト「ステーション」所在地敷地ノ全部及之ニ存在シテ居ル所ノ軌條橋桁等ヲ拂下ゲテ、建物トソレカラ附屬物ハ除イタノゴト云フ、他日不用ナル物ヲ拂下ゲタト云フ、是ハ諸君ガ如何ニモ怪シイモノ、如ク思ハレマスケレドモ、鐵道ニ於テハ斯ウ云フ慣例ハ幾ラモアル(「言明ノ必要ナシ」ト呼フ者アリ)諸君ノ前ニ二三ノ例證ヲ示シテ、諸君ノ諒解ヲ求メテ見ヤウト思フ、ソレハ院線ノ吹田カラ淀川ニ至ル所ノ線路ガ、線路變更ノ爲メニ不用ニナツタ、其不用ニナラナイ前ニ於テ、北大阪電車鐵道會社ハ、之ヲ將來不用ニナルナラバ、私ノ方ハ拂下ゲテ貰ヒタイト云フコトヲ鐵道省ニ申込シタ、其時ハ鐵道院デアル、鐵道院ニ申込シタト云フ、他日ハ拂下ゲテアラウト云フ申合ガアッテ、其申合ニ依テ、今北大阪電車鐵道ノ敷設ガ出來ルヤウニナツタノデアリマス、又今日諸君ガ大阪方面ニ御出ニナルト云フ通ル所ノ、逢坂山ノ隧道ナルモノモ早晚不用ニナル、不用ニナツタ場合ニ於テ之ヲ貰ヒタイト云フコトヲ、今大津市カラ申出テ居ル、故ニ鐵道院ニ於テハ、相當ノ價格ヲ提供スルナラバ、拂下ゲテ差支ナイト云フコトヲ大津市ニ言デヤタ、斯ウ云フ例ハ幾ツモアルノデアリマス、之ヲ鐵道ヲ拂下ゲルト云フ如ク、恰モ其儘鐵道ヲ使ヘルガ如ク言フノハ大變ナ誤デアラ(拍手起ル「ノウ」ト呼フ者アリ)京阪鐵道會社ト雖モ、此儘之ヲ使用スルコトハ出來ナイノデアル、申スマデモナク特許ヲ受ケテ、高架鐵道ニ之ヲ變更シナケレバナラヌノデアルカラシテ、鐵道其物ヲ拂下ゲルト云フコトハ、最早明カナル事實デアリマス(拍手起ル「何デ是ガ鐵道デナイト言フノデ」)

「鐵道ヲ賣タノデハナイカ」ト呼フ者アリ(第二ニ公用ヲ廢シタノ土地ハ、官有地特別處分規則ニ依テ、當然內務大臣ノ所管ニ歸スルモノデアルカラ、鐵道大臣ガ專斷ヲ以テ拂下ゲルノハ違法デアルト云フ、是ハ法規ニ依テ明カナル事柄ニシテ、別段議論スル必要ハ無イノデアル、私ハ茲ニ法規ニ依テ明カニ證明シテ御覽ニ入レル、即チ明治八年十一月太政官達第百九十八號ニ依テ見ルト鐵道用地ト云フモノハ鐵道廳限リ處分シテ差支ナイト云フコトニナツテ居ル(變更サレテ居ルヨト呼フ者アリ)次ニ明治二十三年七月二十二日勅令第百三十五號官有地特別處分規則ニ依テ、內務大臣ハ「直接公用ニ供スル爲メハ公共ノ利益トナル事業ノ爲ニ府縣郡市町村及公共組合ハ其他ノ起業者ニ官有地ヲ貸渡スルハ賣渡スルキハ隨意契約ヲ以テ貸渡スルコトヲ得」トアリマス、鐵道ノ用地ト云フモノハ、他ノ普通ノ官有地ト異リマシテ、事業上ノ須要ニ從テ、鐵道廳限リ處分シテ差支ナイト云フコトガ、明治二十四年八月四日內務省總務局長ノ通牒ト、ソレカラ明

治二十七年三月八日內務大臣ノ回答ニ依テ明白デアリマス(勅令ニ依テ改正サレタ)ト呼フ者アリ)又帝國鐵道會計規則明治四十三年三月二十九日勅令第五十五號ノ第三十一條ニ斯ウ云フコトガアル、鐵道事業用ノ諸材料、車輛、船舶、器具、機械、運轉用品、被服及船舶、旅館ノ營業用ノ物品ヲ賣買スルキハ所管大臣ノ隨意契約ニ依ルコトヲ得ト云フコトガ書イテアリマス、詰マリ是等ノ規程ニ依テ、鐵道ノ用地及諸材料ヲ、鐵道院總裁限リテ拂下ゲタ件數ハ是迄ニ中ノ澤山アルデアリマス(何件アルカ)ト呼フ者アリ)今詳ニ申シマセウ

○議長(與繁三郎君) 中野君、再ビ警戒ヲシマス

○鈴木鏡藏君(續) 未ダ會テ其事ニ就テハ會計検査院、樞密院ヨリ何等ノ異議ナク、又帝國議會ニ於テモ承認シテ居ルデアリマス、其例ヲ申シマスレバ、大正三年ニ五十九件、大正四年ニ四十件、大正五年ニ三十八件、大正六年ニ五十一件、如何ニ大隈內閣ノ時代ニ斯ノ如キ拂下ゲ大クアルカガ判ルデアル(拍手起ル)之ヲ以テ見マシテモ、鐵道院ニ一ツモ缺點ノ無イト云フコトハ諸君ガ御分リニナシト信ズルデアリマス、(拍手起ル)違ウ「内容ヲ示セ」ト呼フ者アリ)其次ニハ大正十八年ニ完成スル城東線ヲ今急ニ拂下ゲタノハ、ドウデアアルカト云フ意味ノ質問ラシ、成程城東線ガ全部完成スルノハ、大正十八年マデ掛リマスケレドモ、其拂下ゲタ線路ノ變更線ハ、大正九年カラ始マルデアリマス、此一哩六十五鎖ノ所ハ、將來三四年ノ間ニ之ヲ完成スルモデアリマスカラシテ、鐵道省ト致シマシテハ將來ノ見込ガ確立スルコト云フコトハ、國家經濟上拾置クベカラザルモノト考ヘルデアリマス、諸君、鐵道省ガ新線路ヲ選定致シマシテ、舊線路ヲ廢スルコト云フコトガ起リマシタラバ、其選定ト同時ニ、正舊線路ノ始末ヲ如何ニスベキカト云フコトハ、第一ニ考ヘナケレバナラヌ問題デアル、(拍手起ル)之ヲ賣下ゲタルト致シマシテモ、鐵道省ノ豫算ニ依テハ、僅ニ三百三十萬圓ニシカ賣ルコトガ出來ナイ、然ルニ京阪電車鐵道會社ハ鐵道省ノ條件ヲ承認シテ、最低五百七十萬圓以上ノ負擔ヲ取テシテモ、此拂下ニ應ズルコト云フデアリマス、鐵道省ノ如キハ歳入ヲ目的トスル所ノ場所ニ在リマシテハ、寧ろ今日ニ於テ拂下契約ヲシタノハ、賢明ナル遠方ト信ズルデアリマス(拍手起ル)「ノウ」ト呼フ者アリ)又豫算編成ヲ待タナイデ契約シタノハ、云々ト云フヤウナ御話モゴザイマシタケレドモ、是ハ詰マリ豫算ガ通過シテ、特許ガ成立シタ後ト云フ未必條件ガ附イテ居ルカラ、苟モ法律ノ一ツモ知シテ居ル以上ハ、是等ノ事ニ疑問ノ起ル筈ハ無イデアリマス(拍手起ル)シレカラ鐵道省ガ或ハ都市計畫法ヲ無視シタカ云フ御話ガアリマスケレドモ、此件ニ

就テハ、即チ大阪市ニ向テ諮詢スルコト云フコトヲチャント回答シテ居ルデアリマスカラ、是ヨリ以上論ズル必要ハ無イト信ズルデアリマス、(問題ガ起テ後ノ場合デスヨ)ト呼フ者アリ)後デモ繼續シテ居リマス、要スルニ此城東線ノ成行ヲ靜ニ觀察シテ、唯今起リツ、アル所ノ疑問ニ就テ私ガ解釋シタ所ヲ諸君ガ冷靜ニ判斷サル、ナラバ、最旦總テノ問題ガ氷解シタモノト言ヘル、(拍手起ル)「ノウ」ト呼フ者アリ)然ルニ前ニモ言フガ如ク、仰々シク決議案ナルモノヲ提出スル諸君ノ心理狀態ヲ私ガ假リニ解剖シテ見ルナラバ、反對黨ハ此議會ニ於テ、第一ニ普選案ニ敗レ、第二ニ彈劾案ニ敗レ、第三ニ豫算案ニ敗レ、所謂滿身創痍、近頃ノ慣用語ヲ以テ言フナラバ、慘敗ノ極ニ達シタモノト思フ、故ニ再ビ之ニ依テ諸君ガ潰滅ニ陥ルト云フコトハ、如何ニモ同情ニ堪ヘヌデアリマス、(拍手起ル)私ハ諸君ニ勸告ス、諸君ハ速ニ之ヲ撤廢セラレテ、姑ク冷靜ニ復シテ、捲土重來、來ル四十四議會ニ此議案ニ於テ再ビ相見エンコトヲ、私ハ立憲の武士道ヲ以テ勸告スルモデアリマス(拍手起ル)

○議長(與繁三郎君) 紫安新九郎君

○紫安新九郎君 諸君、本員ハ前川君ノ御述ニナリマシタ、城東線拂下ヲ不當ト認ムルハ決議ニ賛成スル意見ヲ述ベントスルモノデアリマス、鈴木君ハ唯今迄々ト千百言御述ニナリマシタガ、併ナガラ本員ヲ以テ見レバ、一モ此城東線ノ疑惑ヲ解決スルベキ論據ヲ見出スコトガ出來ナカッタデアリマス、城東線拂下ノ問題ハ、今ヤ天下ノ疑惑ノ裡ニ包マレテ居ルデアル、故ニ公平ナル識者ハ、何人ト雖モ此拂下ノ不當ナルコトヲ認メナイ者ハ無イデアアル、本員ガ此拂下ヲ不當ト認ムル理由ハ先ヅ三箇條ノ論據ガアル、第一ハ行政上ノ手續ヲ誤テ居ルコトデアル、前川君モ申サレタル通り、政府ハ大阪驛ヲ移轉改築スルニ就テ、城東線ノ一部ニ哩餘ノ線路ガ、本年度ヨリ大正十八年度ニ至ル間ニ於テ廢線トナルニ就テ、之ヲ京阪電氣會社ニ拂下ゲルガ爲メニ、本月二十日附ヲ以テ京阪電氣會社ニ拂下ノ契約ヲ爲シタノデアアル、其事ニ就テ先刻前川君ガ、何故ニ此事ヲ爲スニ際シ、城東線ト重大ナル利害關係ヲ有シテ居ル所ノ大阪市ニ諮詢シナカッタデアアルカト云フ攻撃ヲセラレタルニ對シテ、政友會ノ鈴木君ハ、此攻撃ヲ解決スル足ルダケノ論據ヲ有シテ居ナカッタデアアル、政府ガ此問題ノ議會ニ現レタル以來、衆議院及貴族院ノ委員會ナリ、本月二十三日公表セル城東線拂下ニ關スル辯明ニ依レバ、(此時發言スル者多シ)議長此邊ノ辯明ニシテ妨害者ヲ御整理下サイ、貴下方ハ本員ノ演説ガ是カラ進ムト耳ガ痛イグラウト思フ、一拂下ノ目的物ハ、公用ヲ廢止スベキ不要ノ線路、數

地、土工、橋梁、軌條等デアデ、鐵道其物デナイト云フコトヲ二十三日ニ政府ガ公表シタ、辯明書ニモ亦鈴木君ノ演説ニモアッタデアアル、併ナガラ此事ニ就テハ前川君モ述ベラレタル如ク、城東線ヲ京阪電氣會社ニ拂下ゲルニ就テハ、京阪電氣會社大阪市内ニ乘入ル、コトヲ特許スルコト云フコトヲ條件トシテ居ルデアアル、故ニ京阪ハ特許ヲ受クル手續ガ殘テ居ルカナレドモ、政府ガ條件ヲ履行シテ特許ヲ與ヘタナラバ、今日ノ城東線ハ、現在ノ儘直チニ使用スルコトガ出來ルデアアル、然ルニ政府ガ鐵道ヲ賣ルノデハナイ、土地ヲ賣ルノデアアル、軌條ヲ賣ルノデアアル、橋梁ヲ賣ルノデアアル、恰モ家屋即チ廳舎ヲ賣ル場合ニ、廳舎ヲ賣タノデハナイ、木ヲ賣タノデアアル煉瓦ヲ賣タノデアアル、瓦ヲ賣タノデアアルト云フコト、更ニ異ル所ガナイデアアル、ソコデ斯様ナル論法ヲ以テ國ノ營造物ヲ處分スルコト云フナラバ、公用ヲ廢スルコト云フコトハ、政府ノ自由裁量デ出來ルコトデアアル、故ニ此政府ノ筆法ヲ以テスレバ、日本全國ノ鐵道モ之ヲ公用ヲ廢シテ、而シテ軌條ヲ賣ルナリ、道路ヲ賣ルナリ、橋梁ヲ賣ルナリトシタナラバ、日本全國ノ國有鐵道デモ、悉ク之ヲ賣買スルコトガ出來ルデアアル(拍手起ル)ソコデ斯様ナル筆法ハ、世間ニ於テハ之ヲ三百の理窟ト謂フデアアル、斯様ナル約子定木ト云フモノハ、官僚內閣ノ時代ニ於テモ、未ダ會テ見ザル所デアッタデアアル、然ルニ政黨內閣ト自ラ稱セル現政府ガ、平然トシテ斯ル筆法ヲ用ケルニ至テハ、現政府ノ政治の道義觀念ノ極メテ低キモノデアルト云フコトヲ認メザルヲ得ナイデアアル(拍手起ル)又今假リニ百歩ヲ讓テ政府ノ主張ヲ是ナリトスレバ、何故ニ官有地特別處分規則ニ依ラナカッタデアアルト云フコトハ、前川君ガ責メラレタルニ對シテ、鈴木君ハ斯様ナ事ヲ言テ居ルデアアル、官有地特別處分規則ニ依ラナカッタノハ、二十三年ノ內務省總務局長ト鐵道廳長官トノ申合ニ依ッタデアアル、又二十七年ノ逓信大臣ト內務大臣トノ申合ニ依ッタデアアルト云フコトデアリマス、所デ此鐵道長官ト內務省總務局長トノ申合、逓信大臣ト內務大臣トノ申合ハ、二十三年勅令ニ何ノ力ヲ以テ、對抗シ得ルデアアルカ、大臣ハ何ノ權能ヲ以テ勅令ニ對抗シ得ルカ、內務省ノ一局長ガ何ノ力ヲ以テ勅令ニ對抗シ得ルカ、斯様ナ事ハ苟モ法學通論ノ一部デモ讀ンデ居タ者ハ明カニ理解シ得ル事デアアル、故ニ政府ガ之ヲ知ラズニヤ、或ハ知デ之ヲ爲シタカト云ヘバ、其孰レニ在ルニシテモ、不都合デアルト云フコトハ一ナリト斷ゼザルヲ得ナイデアアル、ソレカラ第二ノ不當ナル理由ハ、是ハ前川君モ申サレタル通り、法律ヲ犯シテ居ルト云フコトデアアル、政府ガ貴衆兩院ニ於テ公言セル所、二十三日政府ノ發表セル城東線拂下ニ關スル辯明ニ依レバ、大阪市長ハ去ル六月

ノ辯明書中ニ、政府ハ斯様ナ事ヲ申シテ居ル。城東線ノ高架改築ノ豫算通過ノ上ハ大正九年度ニ於テ梅田附近ヨリ直チニ工事ニ著手スル豫定ナルヲ以テ拂下ニ該當スル部
分ハ遅クモ三四年以内ニ廢線トナル見込デアル。ト言フテ居リマス。――遅タモ三四年以内ニ廢線トナルベキ見込デア
ルト言フテ居ルノデアリマス、此事項ハ大阪ノ地理ヲ知り、大阪ノ交通狀態ヲ知レル者カラ見マスレバ能クモ白トシク斯
ル事ガ言ヘルモノデアルト言ハザルヲ得ヌノデアリマス。(拍手起ル)何トナレバ城東高架線ト云フモノガ、政府ノ所謂遅
クトモ三四年以内ニ出來上タト致シマシテモ、大阪驛ノ改築移轉セラレザル所ニ、城東線ノ改築セルモノガ頭ヲ出
シタ所デア交通上是ハ何ノ役ニ立ツノデアリマスカ、大阪驛ノ移ラザル所ニ城東線ガ頭ヲ出シテ、之ガ何ノ役ニ立チマス
カ、大阪驛ハ今年度ヨリ十八年度之間ニ改築移轉ヲ完了スルノデアル、然ルニ此大阪驛ノ改良移轉ノ竣工セザル、即
チ政府ノ所謂遅クトモ三四年以内ニ城東線ガ廢線トナツテ、而シテ新線路ガ之ガ何ノ要ヲ爲スモノデアリマスカ、是ハ大
阪市ノ地理ヲ知り、大阪市ノ交通狀態ヲ知ツテ居ル者デア
レバ、一笑ニ付スルノ外ナイノデアリマス。(拍手起ル)之ヲ
堂々タル政府ガ城東線拂下ノ問題ヲ追窮セラレテ窮餘ノ結果、斯ル白トシキ辯護ヲ爲シテ恥ザルト云フニ至
テハ、現政府ノ政治的意義ノ觀念ガ如何ニ低イモノデアルト云フコトヲ明白ニ表明セルモノデアルト言ハザルヲ得ヌノデア
ル。(拍手起ル)又此拂下問題ニ就テ鐵道大臣ハ、前後矛盾セ
ル言ヲ爲シテ居ルノデアアル、本月十日ノ豫算委員會ノ第六
分科會ニ於テ、鐵道大臣ハ我黨ノ荒川君ノ質問ニ對シテ、ハ
斯様ナ事ヲ申シテ居ルノデアアル、「何モ事無キニ唯ダ私
立會社ニ斯ウシテヤラウト云フ意味デ出來タモノデハナイ、
外ニ政府ノ非常ニ利益ト認メルモノガアルカラシ
テ、ソレデ起ツテ來テ他日市モ承知シテ總テ出
ルナラバ、斯クモニモシテヤラウ、斯ウ云フコトガ
アツタ私ハ思フテ居リマス、或程度マデ其事柄ハ御話申セ
バ直グ分ルノデアリマス」ト言フテ居ルノデアアル、即チ他日
大阪市ガ拂下ヲ承知シテ、異存ガ無カタ場合ノ意義ヲ公
言シテ居ルノデアアル、然ルニ一方大阪市ハドウデア
ル、十九日ニ緊急市會ヲ開イテ、市制第四十六條ニ依
テ、城東線拂下問題ニ就テ意見書ヲ總理大臣、內務大臣、鐵道大臣
ニ提出シテ居ルノデアアル、其意見書ノ中ニハ、希クハ該拂下
及ヒ特許ヲ中止セラレ度云々」ト言フテ居ルノデアアル、仍
テ鐵道大臣ガ疑ニ豫算第六分科會ニ於テ公言セル通り履行
スルナラバ、先ヅ第一ニ城東線ノ拂下ヲ中止ヨスルト云フコ
トガ、當然ノ處置デア
ルノデアアル。(拍手起ル)然ルニ政府ハ今日ニ於テモ、尙ホ拂下中止ノ意思ノ無イト云フコトヲ公

言シテ居ルト云フコトハ、明カニ是ハ前後矛盾セル言動デア
ルト言ハザルヲ得ヌデアリマス（拍手起ル）斯様ナ事ハ政
府ノ場合ニ於テハ、果シテ何ト形容シテ宜シカハ知リマセ
ヌカ、一般世人ノ間ニ於テハ、斯ル前後矛盾シタル言葉ヲ
使ヘバ、一般世人ノ間ハ之ヲ二枚舌ヲ使フモノト言フテ居ル
デアリマス（拍手起ル）尙ホ更ニ私ハ政府ニ對シテ攻撃
ヲ加ヘテ置カケレバナラヌ事ガアルノデアル、鐵道省ノ政
府委員佐竹三吾氏ハ、城東線拂下ニ就テ二十一日貴族
院ニ於テ、我黨ノ江木君ノ質問ニ對シ、本員等ノ絕對ニ首
肯スルコトノ出來ナイコトヲ申シテ居ルノデアル、ソレハ斯様
デアリマス（會社トシテ考ヘテ見マスレバ成程梅田附近ニ線
路ヲ乘入レルコトハ將來ニ於テハ餘程ノ利益ヲ持チ來スト
云フコトハ想像出來ルノデアリマスガ併シ此利益ハ會社或
ハ會社ノ株主ノ利益トナルノデアリマスガ大阪市民或ハ大阪
市外ニ居住シテ居ル者ノ利益デアアル即チ市ノ内外ニ涉ル
所ノ交通機關トシテ其基點ガ國有鐵道ノ梅田驛ニ起ルト
云フコトハ其電車ヲ利用スル者ニ取テ非常ニ利益デアリ
マス決シテ是ハ會社ノ利益或ハ株主ノ利益ト云フ譯デアリ
ナイデアリマス（ト申シテ居リマス、又鐵道大臣ノ元田君
モ此拂下ノ價格ハ非常ニ廉イト云フコトヲ申シテ居ラル、
ノデアリマス、故ニ佐竹政府委員及元田鐵相ノ説明ニ依リ
マスレバ、京阪電車ナルモノハ、城東線ヲ拂下ゲルコトハ、恰
モ公益ヲ圖ルト云フ事ヲ第一ノ眼目トシテ居ルヤウニ見ラ
レルノデアリマス、所ガ是ハ飛シデモナイ間違デアリマス、政
府當局ガ斯ル言明ヲ爲ス以上、本員ハ更ニ邁テ、何故ニ
京阪電氣ガ城東線拂下ヲ熱望セルカト云フコトヲ明カニシ
ナケレバ、世人ヲ誤ルト思フデアリマス、故ニ更ニ此點ニ於
テ本員ノ知レル所ヲ述ベントスルノデアル（「謹聽々々」ト呼
フ者アリ）京阪鐵道ガ大阪梅田附近ニ乘客ノ吞吐口ヲ求
ムベク、目ヲ光ラシテ居タルハ是ハ多年ノ事デアリマス（「ヒ
ヤ」ト呼フ者アリ）京阪電氣ハ何ガ故ニ梅田附近ニ乘客
ノ吞吐口ヲ求ムルガ爲メニ、多年目ヲ光ラシテ居タルデアリ
マスガ、京阪電氣ハ現在ノ經營線タル大阪天滿橋ヨリ起
テ京都ニ入ル、其外ニ淀川北岸ニ沿ウテ京都ニ入ル間ノ特
許ヲ、昨年七月ト本年ノ二月トニ得テ居ルノデアリマス、即
チ大阪ヨリ京都ニ入ル一線トヲ持テ居ルノデアリマス、ソレデ
京阪ハ此舊線ヲ如何ニ利用スルカト言ヘバ、大阪ノ櫻ノ宮停
車場東方ニ於テ、現在ノ京阪線トハ全然別物デアアル所ノ、
京都四條大宮ニ至ル新線ト結付ケテ、京阪ノ交通動脈ヲ
檀ニセントスルノ計畫ヲ持テ居ルノデアリマス、併シ京阪電
氣ガ此新線路ノ特許ヲ得タル間ニ於テ、鐵道院トノ間ニ十
分開クニ堪ヘザルガ如キ奇怪千萬ナル事ヲ演ジテ居ルノデ

アリマス、大正七年以來新ニ京阪間ノ電氣軌道、又ハ電氣
鐵道ノ敷設ヲ出願致シマシタモノハ、前後六線ノ多キニ至
タノデアリマス其中三線ハ地方廳ニ握リ潰サレテ、殘リノ三
線ニ就テ各、秘術ヲ盡シテ運動シテ居タルデアリマス、其事
柄ニ就テ政友會員ニシテ前代議士タル三谷軌秀君、此三
谷軌秀君ハ此京阪ノ新線ヲ得ル運動ニ就テハ、今日ハ此
議場ニ御顔ヲ見ナイヤウデスガ、政友會ノ代議士植場平君
ト一緒ニナリテ運動ヲシテ居タル事ガアリマス（拍手スル者
アリ）其三谷軌秀君ガ京阪間新線許可願末ト題スル小冊
子ノ中ニ、斯様ナル事ヲ告白シテ居ルノデアリマス（「謹聽」
ト呼フ者アリ）此大阪トノ妥協成立ハ岡崎氏ガ鐵道院ニ
對スル運動ノ口實ヲ打破セシメタルヲ以テ如何ニ岡崎氏
ガ協約ヲ無視シ信義ニ戾ルモ自己ノ利益ノタメニハ敢
テ顧慮セザルノ人ナリト雖モ（拍手「ヒヤ」ト呼フ者ア
リ）三會社ノ妥協ヲ遂行シ前記ニ上申書ニ調印シテ阪京
ノ出願線ニ許可ヲ得セシムルノ餘義ナキニ至レリ是
ニ於テカ奸智ニ長ケタル彼等ハ再び詐言ヲ用ヒ「トアリ
マス（「既述ノ如ク社長印大阪ニ在リトカ實行上ニ關ス
ル事項ヲ覺書ニ追加スル必要アリトカ一種ノ口實
ヲ設ケテ余等ヲ大阪ニ歸ラシメ其間岡崎氏ハ極力石
九副總裁ニ運動シ」石九氏ハ當時ノ鐵道院副總裁デ
アリマス（石九副總裁ニ運動シ如何ナル秘術ヲ行ヒ
タルカ鐵道院ノ最高幹部ヨリ最も適當ニシテ且三會社
ノ妥協線タル阪京ノ出願線ヲ排斥シ最も不適當ニシテ且
妥協反對線タル京阪ノ出願線ニ許可ノ内諾ヲ得タリ其
内諾ヲ得ルヤ直チニ阪京ニ對シ既述ノ理由ヲ以テ上申書
ノ調印ヲ拒絕シ來レリ其理由ノ如キモ石九副總裁トハ豫
メ打合セアリタルモノト見エ六月二日石九副總裁ガ余ニ
告ゲタル北大阪トノ妥協ヲ排斥シ京阪ニ許可ヲ與フルト
云フ理由ト全ク符合セリ是レ果シテ正當ナル行動ニシテ且
公平ナル處置ナリト謂フヲ得ベキカ大正八年五月三十日
鐵道院ニ前記ニ上申書提出ノ際佐竹局長ハ上申書ヲ受理
シ且石九副總裁ノ命ヲ承ケ余等ニ告ゲテ曰ク上申書ハ事
實相違ナキモ如何セン既ニ上局ニ於テ京阪ニ許可シ阪京
ハ不許可ニ決定セザルヲ以テ阪京ノ出願線ニ許可セラザルモ
ノト承知セラレタシト嗚呼其ノ事ノ突發ニシテ且意外千萬
ナルニ驚愕シ其然ル所以ヲ尋ネタルモ總裁ノ命ナレバ監督
局トシテハ如何トモ爲シ難シト依テ已ムナク退席シ其翌
三十一日床次總裁ニ面會シテ（「笑聲起ル」陳述セシ
ニ其前面會ノ際ハ一線ダケハ許可ノ必要アリト認ム（「ソ
レハ何ノ雜誌ダ」ト呼フ者アリ）京阪ガ何故ニ此大阪梅田
口ニ出ル線路ヲ熱望シテ居タルカト云フ事ヲ説クニハ、此歷
史ヲ説カネバ分ラヌノデアリマス（「ルイ」トシテ説ク）ト呼

フ者アリ）故ニ説クノデアル「其前面會ノ際ハ一線ダケハ許可
ノ必要アリト認ム、其何レニ許可スベキカハ明言ノ限リニア
ラザルモ妥協成立セバ無論妥協線ニ許可シ妥協成立セザレ
バ一番良キ線ニ許可スモノト見テ差支ナシト言明セシニ反シ
今回ハ唯ダ取調ベ置クトノミニテ更ニ要領ヲ得ズ依テ六月
二日石九副總裁ヲ訪ヒ京阪出願線ニ許可スルハ非理ナリ
妥協線タル阪京ニ許可スルノ適當ニシテ且公平ノ處置ナ
ルコトヲ百方陳辯セシ石九副總裁ハ傲然トシテ曰ク未ダ
決裁ハ済マザルモ京阪線ニ許可スルノ決定ナリ其何レニ許
可スルモ政府ノ自由ニシテ不當ノ處置ニアラズト言ヒ其甚
シキニ至テハ政府ハ京都大阪間ヲ連結スベキ一線ヲ許ス
ニ在リテ其線路ノ起點及終點ノ如キハ當業者ノ經濟的選
定ニ一任シテ可ナリト暴論ヲ吐露シ其線路ノ適否處分
ノ是非善惡ノ如キハ恬トシテ顧ザルモノ、如シ豈ニ憾歎ノ
至ニ甚フベケンヤ抑モ軌道ノ敷設ヲ許スルハ國家ノ最高
行政權ノ發動ニシテ其事務ハ固ヨリ國家ノ公務ニ屬シ之
ヲ處理スルニハ自カラ依據スベキ規矩準繩アリ決シテ出願
者其人ニ依リ之ヲ左右シ得ベキモノニアラズ然ルニ我が政
黨内閣ノ下ニ在ル鐵道院ノ處置殊ニ石九副總裁ノ今次
ノ取扱及假令京阪ノ社長タル資格ニ於テ爲シタリトスルモ
我黨總務ノ地位ニ在ル岡崎氏其人ノ前記ノ行爲ハ正當
トシテ看過スベキモノニアラズ（拍手スルモノアリ）乃チ其
非違ヲ糾シ之ヲ是正シ其公平ナル取扱振ヲ社會ニ公示シ
以テ政府及政黨ノ信ヲ天下ニ博シ人心ヲ收攬スルハ正ニ
是レ政黨ノ本務ナリト信ズ依テ予等ノ最も尊敬スル元田
總務以下（即チ此處ニ御在ニナル元田鐵道大臣デア
ル（「判テ居ルワ」餘計ナ言ハ止メロ」ト呼フ者アリ）元田總
務以下我黨幹部諸公ニ事情ヲ具シ善後策ヲ講ゼラレコ
トヲ訴ヘ又余等ノ先輩ニシテ最も親友ナル與黨委員長
（即チ此處ニ御在ニナル議長デアリマス（與黨委員長ハ岡
崎氏ノ行爲ニ憤慨シ余等ノ微力ヲ佐ケ適當ナル方法ヲ講
ジ圓滿ナル解決ヲ爲シ以テ黨トシテモ亦京阪及阪京ニ對シ
テモ其面目ヲ維持セシメント期シ自ラ進ンデ其斡旋ノ
任ニ當タレリ爾來元田總務及望月幹事長之ニ參加シ專
ラ調停ノ勞ヲ取ラレ殊ニ與氏ガ奔走大ニ努メラレタルヲ深
ク感謝ス然レドモ其結果ハ余等ノ最も不滿ニシテ其指示
ニ服従スルコト能ハザリシヲ遺憾トス即チ與氏ハ鐵道院及
岡崎氏ノ非違ヲ糾シ之ヲ是正スルニアラズ、又新ナル條
件ヲ提示シテ三會社ノ妥協ヲ勸ムルニモアラズ、反テ岡崎
氏ヲ助ケ其非ヲ遂行セシメ、阪京ト北大阪トノ契約ノ如キ
ハ打捨テ置ケバ可ナリト云ヒ、又余等ニ對シテハ與氏ガ岡
崎氏ヨリ京阪ノ新株ヲ賣フノ約ヲ爲シタルヲ以テ、（拍手
起ル）ドウダ議長ト呼フ者アリ）今後ノ増資ニ依ルト云フ

註ガ入レテアリマス(「ソレハ何ノ雜誌ニ出テ居リマスカ」ト呼フ者アリ)是ハ政友會前代議士三谷軌秀君ノ發表セル此「京阪間新線許可願末」ト云フノデアリマス(奥氏ガ岡崎氏ヨリ京阪ノ新線ヲ贊フノ約ヲ爲シタルヲ以テ憐愍ノ其若干ヲ與フト云フアリ余等如何ニ不敏ナリト雖モ敢テ愚弄恩福ヲ希フ者ニアラズ是レ余等カ其言ヲ聞キ其說ニ服從スルコト能ハザル所以ナリ茲ニ於テ乎止ムナク六月二十日ニ至リ原政友會總裁ニ左ノ意味ノ陳情書ヲ呈シ且ツ親ク陳述シ以テ清鑑ヲ仰ギタルモ遂ニ其目的ヲ達スルコトヲ得ザリキ「トアルノデアリマス、此原總裁ニ差出セル陳述書ハ長イノデアリマスカラシテ私ハ朗讀ヲ省キマス(「謹聽」速記録ニ載セヨ」ト呼フ者アリ)唯今私ガ讀上ゲタルコトニ依ッテ、京阪ガ淀川ノ北ニ沿ウテ新ニ京都ニ入ルノ線路ヲ得ントセルコトニ如何ニ狂熱中シタカト云フコトガ明白ニナルデアラウト思フノデアリマス、而シテ此新線路ニハ梅田驛ニ其頭ヲ出スコトガ條件ニシテアタノデアリマス、故ニ昨年此新線路ガ許可セラレタル其當時ヨリシテ、京阪ハ機會タニアラハ、如何ニシテモ大阪梅田驛附近ニ其頭ヲ出サンコトヲ熱望シテ居タルノデアリマス、故ニ京阪ガ此城東線ノ拂下ヲ熱望シテ居ルト云フコトハ、是ハ殆ド金錢ノ安イ高イノ論デハナイノデアリマス(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)然ルニモ拘ラズ元田鐵道大臣及鐵道院ノ政府委員ガ、恰モ此城東線ノ拂下ヲ受ケテ公益増進ヲ第一ノ眼目トシテ居ルガ爲メニ、此城東線ハ是ハ別ニ會社ガ利益スルノミデハナイ、大阪市ノ住民ガ利益スルノデアル、大阪市街ニ住ンデ居ル者ガ利益スルノデアルト云フカラ、何カ京阪電氣鐵道代辦者ノ如キ口吻ヲ弄スルト云フコトハ、本員ハ甚ダ疑感ヲ懷カザルヲ得ヌノデアリマス、故ニ此問題ハ政府及先刻ノ鈴木君ノ演說ニ依リシ唯ダ土地ヲ賣ルトカ軌條ヲ賣ルトカ、橋梁ヲ賣ルトカト云フ問題デハナイノデアリマス、此問題ヲ論究スレバ、是ハ即チ如何ニ現政府ノ官紀ガ敗壞シテ居ルカト云フコトヲ、明ニ示セルモノデアルト云ハザルヲ得ヌノデアリマス(「拍手起リ」ヒヤ)ト呼フ者アリ)現内閣ノ成立以來、鐵道院ガ如何ニ政友會ニ關係ノアル鐵道會社及其人ニ對シテ、奇怪千萬ナル行動ヲ演ジタカト云フコトハ、私ガ今讀上ゲマシタル即チ京阪間新線許可ノ此願末ノ一節ニ於テモ、明白ナコトヲアラウト思フノデアリマス(「拍手起リ」而シテ是ハ政友會ノ現在ノ黨員デアデ、前代議士タル三谷軌秀君ノ公ニシテ居ルコトデアリマスカラシテ(「拍手起リ」)是ハ先ヅ一點ノ疑ノ無イモノデアラウト思フノデアル(「奧議長ノ乾分ダ」ト呼フ者アリ)此點ニ於テモ岡崎君ニシテ政治的意義ノ觀念ガ高カッタラバ、私ハ私ノ今言ヘル所ハ確ニ岡崎君ノ肺腑ヲ抉リシ感ガスルモノデアラウト私ハ思

フノデアリマス(「拍手起リ」岡崎ハ逃ゲテ行ツタモウ」ト呼フ者アリ)故ニ此城東線拂下ノ問題ノ如何ニ始末セラル、ヤト云フコトハ(「處決々々」ト呼フ者アリ)現政府ガ立憲的ノ道義ニ於テ如何ナル觀念ヲ有シテ居ルカ、又鐵道大臣元田君ガ立憲的政治家トシテ如何ナル心得ヲ持テ居ラル、カト云フコトヲ、明ニ現ハスベキ最モ大切ナル重要ノ問題デアルト思フノデアリマス(「拍手起リ」ヒヤ)ト呼フ者アリ)此意味ニ於テ私ハ現政府ノ官紀頹敗ヲ責ムルト共ニ、多年政界ニ馳驅セル元田鐵道相トシテハ、私ハ此爭フベカラザル拂下ニ對スル責任ヲ負フト云フコトガ、私ハ立憲的政治家トシテ適當ノ處置デアルト云フコトヲ茲ニ斷言スルノデアリマス(「拍手起リ」)

○議長(奧繁三郎君) 上島益三郎君

(「上島益三郎君登壇、拍手起リ」)

○上島益三郎君 我ハ政友會ノ鈴木君ト全然相違セル所ノ別箇ノ理由ニ依リテ本案ニ反對致スデアリマス(「謹聽」ト呼フ者アリ)本案ノ理由書中ニ明記セラレマシタル如ク、大正十八年度ニ至ラザレバ廢線トナラザル國有鐵道ノ一部ヲ、私設鐵道會社ニ拂下ノ契約ヲ爲シタルハ不當ナリ、此一點ニ對シテハ私ハ全然提出者ノ趣意ニ同意デアアルノデス、併ナガラ私ノ見所ヲ以テスレバ、鐵道省ト京阪電氣鐵道會社トノ間ニハ、未ダ所謂城東線ノ拂下ト云フ契約ガ成立シテ居ラナイノデアル、私ハ此拂下ノ契約ガ成立シテ居ラナイト云フコトハ、決シテ鐵道省ヲ辯護スル爲メデハナイ(「ノウウ」ト呼フ者アリ)又京阪電氣鐵道會社ヲ辯護スル爲メデハナイノデアル、唯ダ此拂下ガ未ダ契約成立セズト云フコトハ、大ニシテハ國民一般、小ニシテハ大阪住民ノ利益トナルコトデアデ、而モ此認定ガ最モ能ク事實ノ真相ニ適スルカラデアリマス(「ヒヤ」)成立タナケレバ宜シト呼フ者アリ)本件ノ唯一ノ文書タル所ノ五月二十日附ノ鐵道大臣ノ書面ニ依リマスルト第一項ニ斯様ナ事ガ書イタル、是ハ國民黨ノ諸君モ憲政會ノ諸君モ能ク御覽ヲ願ヒタイ、其第一項ノ根本の規定ノ中ニ「市ノ外方ニ高架式複線ニ變更シ其變更工事竣工ノ後現在線路ヲ廢シ之ヲ拂下ゲ其引渡ヲ爲スモノトス(「其通り」ト呼フ者アリ)即チ此城東線ト云フモノヲ改築ヲシテ、之ヲ高架式ノ複線ニ變更スル、而シテ此變更工事ガ竣工ヲシテ出來上ッテカラ後、現在唯今ノ線路ヲ廢止シテ然後、廢止シテカラ後、此現在ノ線路ヲ拂下ゲル、斯クノ如クナルガ故ニ、今日ニ於テハ未ダ此變更工事ト云フモノガ竣工ヲシナイ、未ダ現在ノ線路ハ廢線トナラナイ、變更工事未ダ竣工セズ、現在ノ線路未ダ廢止セラレズ、此故ニ今日拂下ノ契約ハ未ダ成立シナイト云フコトハ、此明文ニ昭々タル所デアリマス、明

文ニ昭々タル事ハ、明文ヲ御一覽ナサレバ直チニ分ルコトデアアル、ソレカラ其次ニ政府委員ノ辯明甚ダ曖昧多岐ニ互ッテ、明確ナル答辯ヲ得ルコトガ出來ナカッタノデアリマスガ本月ノ二十一日ノ貴族院ニ於ケル佐竹政府委員ノ答辯ニ依リマスル、或ハ此申合セノ效力ヲ、人ニ依リテ契約ト見ル人ガアルカモ分リマセヌガ、自分ノ方ノ心得デハ唯ダ大體ノ方針ヲ示シテ、サウシテ京阪電氣鐵道會社ハ是デ大體差支ガアリマセスト云フ所ノ大體ノ意圖ヲ漏シタニ過ギズシテ未ダ之ヲ以テ契約ト認メルコトガ出來ナイト云フ所ノ元田大臣ノ意ヲ受ケテ言明ヲ致シテ居ルノデアル、諸君、此契約ノ明文ニ、現在線路ヲ廢止シテカラ後ニ拂下ゲルト云フ明文ガアル明文スノ如ク、而シテ此明文ノ契約ヲ——此書面ヲ起草シタル所ノ當事者タル政府委員ノ說明彼ガ如シ明文ト當事者ノ說明ト相俟ッテ、今日未ダ此契約ト云フモノハ成立シナイト云フコトヲ斷定スルハ、最モ穩健ニシテ最モ至當ナル所ノ解釋デアリマセヌカ、(「拍手起リ」成立シナケレバ宜イ「サウダ」ト呼フ者アリ)ソレデハ私ハ斯ウ云フ理由ニ依リテ今日ハ未ダ契約ハ成立シナイ、此故ニ他日廢線トナリタル曉ニ於テモ、政府ハ何等ノ契約ガナイ以上ト云フモノハ、何等ノ拘束ヲ受ケルコトハナイ、唯今日ニ於キマシテハ、線路ノ廢止トナリタ時ニ大體斯ウ云フ意圖デアリテ拂下ゲルコトガアルカモ知レヌト云フ打合せニ過ギズノデアル、他日廢線トナリタ時ニ、ヨリ以上ノ利益スル所ノ條件ガアレバ、元田鐵道大臣ハ岡崎邦輔氏ニ遠慮セズ、(「ドシ」ト呼フ者アリ)他ニ拂下ゲルコトガ出來ルノデゴザイマス、ソレデ私ガ此反對ヲ致シマスルコトヲ云フコトハ、此點ニ於テ精神ハ前川君ト其反對ヲ同ウスルノデアル、前川君ハ本件ノ拂下契約アリタルコトヲ前提トセラレテ居ルノデアル、此前川君ノ拂下契約ノ存在ヲ、前提トスル決議案ガ通過スレバ、成程政府攻撃ノ目的ハ十分ニ達スルコトガ出來ルノデアル、併ナガラ半面ニ於テ是ト同時ニ、此鐵道線路ハ京阪ニ拂下ゲラレタモノデアルト云フコトデ、此拂下契約ノ效力ヲ裏書スルノト同然デアルト云フコトヲ記憶シテ戴キタイ(「拍手起リ」「名案々々」ト呼フ者アリ)故ニ此私ノ見解ト云フモノハ、精神ニ於テハ前川君ト一致シ、而シテ政府ニ於テモ、國法ニ於テモ、此契約ノ拘束ヲ受ケナイト云フ點ニ於テ、私ハ前川君ガ私ノ主張ニ對シテ、自己ノ決議案ヨリハ一層ニ満足ヲ表セル、モノト感ズルノデアリマス(「拍手起リ」)併ナガラ私ハ此ニ至ッテ一應念ノ爲メニ政府ノ判斷タル言明ヲ得タイト考ヘマス(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)元田鐵道大臣、佐竹政府委員ノ是迄ノ態度ハ、此契約ガ成立シテ居ルノデアルカドウカ、政府ハ之ガ爲メニ拘束ヲ受ケルモノデアラカドウカト云フ事ニ就テ、其御說明ガ甚ダ曖昧多岐ニ互ッテ居ルノデアル、法學博士タル

所ノ此佐竹君ノ説明モ其點ハ色ミトシテハゴザイマセウガ、先ヅ大體申合セニ過ギナイヤウニ思ヒマス云フヤナ、甚ダ鮮明ヲ缺イテ居ルノデアル、鮮明ヲ缺クコトハ、即チ疑義ヲ招ク所以デアルノデアリマス、故ニ私ハ此點ニ對シテ辯護士界ノ先輩トシテ、多年尊敬ヲシテ居ル元田鐵道大臣ハ、宜シク此席ニ出テ此契約ノ成立ヲ認メルカ、認メザルカ、判然タル所ノ言明ヲナサル義務ガアルト私ハ思ヒマス(ヒヤ)「ト呼フ者アリ」

○議長(奧繁三郎君) 時間ノ延長ヲ致シマス

○上島益三郎君(續) 尙ホ吾々ノ聞知スル所ニ依レバ、此鐵道ノ拂下ノ申合セト云フモノハ、元田君ノ御就任以前ニ於テ、床次內務大臣ノ手ニ於テ其話ガ餘程進メラレタト云フ事デゴザイマスカラ、或ハ時宜ニ依ッテハ床次內務大臣ガ其言明ヲナサルコトモ宜カラウト思ヒマス(ヒヤ)「ト呼フ者アリ」ソレデ若シ此政府ノ言明ニシテ、不幸ニシテ私ノ意見ト一致シナイ、之ハ既ニ此鐵道ト云フモノハ、京阪電氣軌道ニ拂下ダタモノダト云フガ如キ御解釋デアルナラバ、吾々ハ自己ノ態度ヲ一變シテ、反對カラ賛成ニ移ラナケレバ、ヌト思ヒマス(拍手起リ)「旨イ」賛成カ「反對カ」ト呼フ者アリ一體拂下ト云フ處分ハ、之ハ十二分ニ政府委員ノ御承知ノ如ク、行政法上ニ於ケル執行處分デアリマス、執行處分ト云フモノハ、固ヨリ御承知ノ如ク茲ニ一ツノ事實ガアリ、此事實ニ法律ヲ適用スルト云フ事ガ即チ執行處分デアリ、此事實ナクンバ此處分無シ、此事實アッテ初メテ此處分ガアル、諸君、未ダ廢線トナザル所ノモノニ對シテ、拂下處分ガアルベキ筈ガナイ、廢線ト云フ事實ガアリ、不用物ト云フ事實ガ既ニ出來テ來テ、然ル後ニ拂下處分ト云フモノガ、必要ガ出來テ來ルノデアリマス、城東線ガ今日ニ於テ未ダ廢線ニナッテ居ラナイ、未ダ不用物トナッテ居ラナイコトハ、最モ明カナル事實デアリマス、未ダ廢線トナラズ、未ダ不用物トナラザルモノヲ、之ヲ不用物トシテ拂下ダルト云フ事ハ執行處分ノ行政法上ノ原則トシテ、吾々ハ其存在ヲ認メルコトガ出來ナイ所デアリマス(拍手起リ)加之今日既ニ公用ニ供シツ、アル所ノ公有物デアリ以上ハ、公有物トシテ此公有物ノ上ニ、所有權ノ移轉ガ出來ナイト云フコトハ明カデアリマスカラシテ、假令條件附ト雖モ、現ニ公用ニ供シツ、アル所ノ此鐵道ニ對シテ、之ヲ拂下ダルト云フコトハ、行政上ニ於テハ權力ノ濫用タルト同時ニ、民法上ニ於テハ私ハ不法ニシテ無効ナル處分デアルト考ヘル(拍手起リ)此點ヲ能ク御考ヲ願ヒタイ、政府ニ於テモ條件附ノ拂下、他日不用トナリタル時ヲ考慮シテ、其場合ニ於テ拂下ダルト云フコトハ、是ハ法律上決シテ意味ヲ成サナイ事デアル(コッテ向ケ)「ト呼フ者アリ」今日ニ於テ若シモ公用ニ供シツ、アル所

ノモノヲ、他日不要物トナルト云フコトヲ見越シテ條件附デ拂下ガ出來ルモノデアルト云フコトニ致シマシタナラバ、陸軍省ハ砲臺カラ銃砲彈藥ヲ拂下ダルトコトガ出來ル、海軍省ハ軍艦モ水雷艇モ船渠モ拂下ダルトコトガ出來ル、而シテ吾吾ガ演説ヲシテ居ル間ニ大藏省ハコソリト他日不要物トナルト云フコトヲ見越シテ、此議院ノ土地建物ヲ拂下ダルトコトガ出來ルノデアリマス(拍手)諸君、是等ハ固ヨリ極端ナル想像デハゴザイマセウカ、今日現ニ公用ニ供シツ、アル所ノモノヲ、他日ノ條件附ヲ以テ拂下ダルト出來ルコト云フコトニシレバ、此原則カラ當然此結果ト云フモノハ、推理的ニ合理的ニ認メナケレバナラヌ結果デアリマス(其通リ)「ト呼フ者アリ」果シテ斯ウ云フ結果ハ、是ハ内閣ノ肯定セラレル所デアリマセウカ、ドウカ此故私ハ、斯ノ如キ現實ニ拂下ヲ爲スモノハ、現實不要トナリタル物件デアル、未ダ不要トナラザル物件ハ、條件附デ拂下ヲスルコトガ、出來ナイト云フモノガ吾々ノ解釋デアリ、他日ノ條件附ヲ以テ拂下ヲスルコトガ出來ルトスレバ、是レ政府ハ恰モ彼ノ問題トナッテ居ル所ノ綿絲綿布ノ商人ノ如キ處分ト云フモノハ、無益ニ後繼内閣ヲ拘束シテ、サウシテ長キ累ヲ後日ニ貽スモノデアリマス、私ハ賢明ナル、政友會内閣ニ於テ決シテ斯様ナル御解釋ヲ御取リニナル筈ハナイト思フガ、此事ヲ念ノ爲メニ此席ニ於テ十分明ナル所ノ言質ヲ私ハ得タイト思フデゴザイマス、(ヒヤ)「ト拍手起リ」以上ノ理由ニ依リマシテ、私ハ此五月二十日附ノ文書ニ信用ヲ措キ、サウシテ佐竹政府委員ノ言明ヲ信ジ、之ヲ行政法ノ理論ニ照シテ、此契約ハ未ダ成立ヲシテ居ナイモノト考ヘル、成立ガシテナイ以上ハ此契約ヲ不當ナリトスル、此決議ト云フモノハ畢竟敵ナキニ矢ヲ放ツモノデアルト云フコトニ、私ハ論結スルノデアリマス、此故ニ私ハ本案ニ反對スルト共ニ、主務大臣ノ説明ヲ求メ、説明ノ如何ニ依テ更ニ吾々ノ態度ヲ一變スルコトガアル、茲ニ其理由ヲ陳述シテ此席ヲ退クノデアリマス(拍手)

○國務大臣(元田肇君) 諸君、本問題ニ就キマシテ、政府ノ意見ヲ述ベマス、本問題ノ經過ニ就キマシテハ、既ニ豫算分科會、總會又其後ニ聲明書ヲ鐵道省ヨリ發表致シマシタ、ソレニ於テ來歴ハ詳シク述ベテアリマス、茲ニ私ハ再ビソレヲ繰返スノ必要ハナカラウト思ヒマス、結局城東線ノ改築ヲ致サナケレバナラヌト云フ計畫ヲ立テ、居リマス中ニ、計畫ヲ實行致シマスレバ不要線ガ出來ル、其不要線ガ出

來タ場合ニ拂下ヲ受ケルコトガ出來ヤウカト云フコトデアリマシテ取調ベノ結果其場合ニハ支障ナシト云フコトヲ——先刻既ニ朗讀シタ御方モアツタ、通知書ニ依リマシテ京阪電鐵ノ方ニ通知ヲ致シマシタ、回答ヲ致シマシタ(ソナンニ簡單ナモノデアリマセウ)「ト呼フ者アリ」ソレデ其回答ニ於キマシテハ、詳細ノ事項ハ追テ協定スル、尙ホ最末項ニ於テ線路ニ關シテハ、又更ニ協商スルト云フヤウナコトガ書イテアリマシテ、唯ダ大綱ヲ舉ゲテ斯様ナコトナラバ未來左様ナコトガアツタ場合ニ、拂下ダテモ支障ガナイト云フダケノ意思表示ヲ送ッテデアリマス、此意思表示ヲ送りマシタ、即チ回答致シマシタニ對シマシテ、京阪電鐵會社ヨリ右御受仕リ候也ト云フ書類ガ參タ之ヲ：「立派ナ契約ダ」ト呼フ者アリ(私考ヘマスノニ、自分ノ考ヘデハ不要ニナツタ時分ニ、京阪電鐵ガ拂下ヲ受ケタイト云フコトデアリマシテ、審議ノ末ニ是レ)「トコトヲ盡スナラバ、拂下ダテ支障ハナイ、是ハ未來ノコトヲ豫想シタコトデアリマシテ、固ヨリ茲ニ直チニ有效ナル契約、實行サレルモノガ出來タノデアリマセウ、其意思ヲ表示致シマシタ、意思表示ヲ致シマシタ所ガ、受ケルト申シテ來タノデアリマスカラ、是ガ契約ト看做サレルトカ看做レナイトカ云フ議論ハ別トシテ法曹界ニ於テ假令契約ト看做シタ場合ニハ、未必ノ場合ノ契約デアレバ、差支ナイト云フコトノ慣例ニ基イテ述ベタノデアリマス、併シ此解釋ハ諸君ノ解釋ニ御譲リヲ致シマス、意思表示ニ對スル回答ダケデアッテ御受ケヲスルコト云フコトガ契約ニナル豫約ニナルナラヌト云フコトハ、ソレハ如何様ニ御考ヘニナツデモ宜シイ、契約ニナルト云フコトガ如何様ニ御考ヘニナツト云フコトガ、出來ルカ出來ヌカト云フコトガ、大問題デアラウト思ヒマス、ソコデ此論據ハ屢、聽カレタ方モゴザイマセウガ、政府ハ明治八年太政官達第百八十九號ノ布告鐵道用地處分ニ關スル特別法ト云フノガ出デ居リマス、此法律ニ依ッテ土地ノ處分ガ出來ルノデアリマス、然ルニ其後ニ至リマシテ二十三年デアリマス、一般ノ不要土地ト云フヤウナモノニ關スル官有地ノ處分法ガ勅令デ出マシタ、此場合ニ疑義ヲ生ジマシテ、其疑義ヲ生ジタ結果、明治八年ノ太政官達ハ鐵道ノ用地不要物等ニ對シマスル特別ノ法デアリ、一般ノ場合ノ規定デアルト云フコトニ解釋ガ定リマシテ、爾來今日ニ至ルマデ、此法ヲ根據ト致シマシテ、何十年ト云フ間鐵道省ニ於キマシテ——鐵道院トモナレバ、鐵道局トモナリ、當時ハ逋信大臣ガ所管長官デ、其後鐵道院總裁、ソレカラ今日ハ鐵道大臣トスウナリマシタ、名前ハ色色デアリマスガ、鐵道省ニ於テ處分スルコトガ出來ルコトニナッテ處分ヲ致シ來ッテ居リマス、是ガ歴史デアリマス、而シテ未來ヲ想像シテ豫約ヲスルコト云フコトガ如何デア

○議長(奥繁三郎君) 静肅ニ……
○國務大臣(元田肇君) ソレカラ第三ニ鐵道ノ一部ヲ拂下ゲルト云フコトハ、法規違反デアルヤウナ御論ガアリマシタガ、是ハ辯ジテ置カケレバナラヌ、靜ニ御聽下サイ鐵道ノ一部ヲ拂下ゲルト云フナラバ法規違反ナリマセウ、鐵道省ノ支障ナシト回答致シマシタノハ鐵道ノ一部デハアリ

ウシ刷物ヲ御引キニナリシデヤレ石丸カドウシタトカ計カノ
線シタトカ云フ事ガアリマシタガ、此當時京阪電鐵ニ新規ノ
線路ヲ許可致シタト云フコトハ適當ノ評議ヲ經テ十分ナル
審議ヲ加ヘテ適當ナリト認メテ時ノ當局ハ認可シタモノト
思慮致シマス、個人ノ——何等ノ爲メニスル所ガアリマスカ、
書物ヲ此處ニ御持ニナッテ——御答辯ヲ求メラレテモ私ハ
一々之ニ向ッテ答辯スル限リデナイト思ヒマス、是ダケ申上
ゲマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

〔贊成々々ノ聲起ル〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ヨリ討論終結ノ動議ガ出
マシタ異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ「議長々々」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 異議ナシト認メマス

〔異議アリ異議アリ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ討論終結ノ動議ニ異議
ガアリマスナラバ決ヲ採リマス……

「議長々々」ト呼フ者アリ、前川虎造君「私ハ通告
シテアリマス」ト呼ヒ「無用々々」討論終結」ト呼フ
者アリ

○議長(奥繁三郎君) 通告ガアリマシテモ 討論終結ノ動
機ガ出テ採決シタノデアリマス

〔前川虎造君「討論デハナイ質問デス」ト呼ヒ「無用
無用」「採決」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 質問デモ 討論終結ノ動議ガ出マ
シタナラバ採決セシナリマセヌ

「先決問題ガアリマス」「議長々々」「採決」ト呼ヒ議
場騒然

○議長(奥繁三郎君) ……(議場騒然聴取スルコト能ハ
ス)……討論ハ終結サレマシタ

〔議長々々「ト呼ヒ其他發言スル者多ク議場騒然」〕

○議長(奥繁三郎君) 静カニ……前川虎造君ノ決議案
ヲ記名投票ニ依ッテ採決シマス

〔前川虎造君「質疑ガアリマス」ト呼ヒ「無用々々」ト
呼フ者アリ、議場騒然」〕

○議長(奥繁三郎君) 討論ハ終結シマシタ

〔「ノウ」〕「採決々々」ト呼ヒ議場騒然

○議長(奥繁三郎君) ……(議場騒然聴取スルコト能ハ
ス)……前川虎造君ノ決議案ニ賛成ノ諸君ハ白票、反對ノ
諸君ハ青票——閉鎖

〔土岐書記官氏名ヲ點呼ス〕

〔議長々々「ト呼ヒ議場騒然」〕

○議長(奥繁三郎君) モウ一應宣告シマス、討論ハ終結
サレマシタ

〔「ノウ」〕「質問ヲ許スベシ」ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 終リ迄宣言ヲ御聴キナサイ——岩

○議長(繁繁三郎君) 仍テ古島一雄君提出ノ決議案ハ
否決ニナリマシタ(議場騒然)

久慈 貫一君 久下 豐忠君 久木田 叶君 黑住 成章君 熊谷 直太君 國澤新兵衛君

七五	下	一九	工學士	理學士
七五	下	一八	春雄	晴雄

〔參照〕

〔衆議院議事速記録第十七號三木武吉君質問演說參考書〕

愛媛縣ニ於ケル大干渉

第一 短刀直入候補者ヲ狙フ

愛媛縣ニ於ケル選舉干渉ハ、他府縣ニ於ケル尋常手段ト大ニ趣ヲ異ニシ、在野黨候補ニ對シテ短刀直入司法警察權ヲ濫用シ、選舉界稀ニ見ル大壓迫ヲ加ヘタリ、是ヨリ先衆議院ノ解散セラル、ヤ、政府ハ比較的公平ナリシ前任警察部長金澤正雄ヲ群馬縣ニ轉任セシメ、政友會總務委員國勢院總裁小川平吉ト縁故淺カラズ、會テ北海道小樽ノ選舉場裡ニ辛辣ナル怪腕ヲ揮ヒタル東京區裁判所檢事久保田金次郎ヲ其ノ後任トナシ、三月十九日新部長就任スルヤ、上ハ警察署長ヨリ下ハ駐在巡查ニ至ルマテ更迭シ、以テ選舉干渉ノ準備ヲ爲シタリ

本縣第五區(喜多上淳穴兩郡)ノ憲政派ハ、初メ大洲銀行頭取槍田一ヲ候補ニ推薦シ、運動著々効ヲ奏シテ既ニ必勝ノ成算アルニ方リ、三月下旬久保田部長ハ突如トシテ同區ヲ巡視シタリ、之ト同時ニ同地ノ政友派ハ「槍田一カ同郡大瀬村ヘ德國文四郎ニ對シ、運動費トシテ金二十圓ヲ提供セントシテ拒絕セラレタル事實アリ」ト聲言シ、入ヲ以テ槍田ニ面談セシメ、政友派ニ加祖スルカ、然ラサレハ候補ヲ辭退ス可シ、久保田警察部長ハ既ニ告發ノ手續ヲ爲サンカ爲ニ此地ニ來レリ」ト脅迫シタレハ、槍田ハ勢ヒ抵抗シ難キヲ知り、恨ヲ吞ンテ候補ヲ辭退シタリ、而シテ前記ノ德國文四郎ハ警察側ノ間諜ナリシト傳フルモノアリ、是ニ於テ憲政派ハ已ヲ得ス五月一日ヨリ更ニ池田龍一ヲ推薦シタルモ遂ニ敗戦シタリ、第三區(越智周桑)ノ八木春樹カ立候補ヲ見合セタルモ官憲ノ脅威ニ由リ、第四區(新居宇摩)候補者森達三、第六區(東西宇和)ノ本多眞喜雄ニ對シテモ、或ハ駐在巡查ヨリ、或ハ親屬中ノ政友派ヨリ「政府反對ノ候補者ニ對シテハ、必ス恐レ可キ禍害降下スヘシ、寧ロ候補ヲ斷念ス可シ」ト脅喝行ハレタリ

第二 司法參事官來リテ檢舉頻發

警察ハ在野黨ノ候補者及ヒ運動者ニ對シ、日夜刑事巡查ヲ尾行セシメ、苟クモ違反ノ嫌疑ヲ見出シ得レハ、假籍ナク告發シタリシカ、檢事局ハ初メ警察ノミニ信任シ能ハスト爲シタルモノ、如ク、現ニ憲政派新聞記者ニ對シテ在野黨ノ違反事件ハ警察ヨリ之ヲ告發スルモ、政府黨ノ非違ハ當局ニ於テ知ルニ由ナシ、諸君モ亦躊躇ナク反對黨ノ不正行爲ヲ告發スヘシ」ト語レリ、去レ

ハ久保田警察部長モ檢事局ノ手續キニ嫌ヲクリシ故ニヤ、四月月末ニ至リ突然其ノ所在ヲ晦マシ、密カニ上京シテ政府部内ニ何等カノ運動ヲ爲シタルモノ、如ク、五月二日司法省參事官宮城長五郎ハ屬官一名ヲ隨ヘテ松山市ニ出張シ、五月九日即チ選舉ノ前日マテ滞在シタルカ、不思議ニ同參事官ノ出張前後ヨリ、警察署檢事局ノ猛威ハ在野黨ニ對シテ一網打盡的ニ發揮セラレタリ、則チ候補者ノ檢舉セラレタルモノ、曰ク村松恆一郎、曰ク本多眞喜雄、曰ク門屋尚志、警察署ニ召喚サレタルモノ曰ク村上紋四郎、其他在野黨側ノ被告事件總數四十件ニ上リ、政府黨側ノ違反事件ハ僅カニ三件ニ過キス

第三 當選妨害ノ告發

第六區候補者本多眞喜雄ハ、西宇和郡ノ海岸三瓶村ニ於テ一艘ノ和船ヲ備ヒ、沿岸地方ヲ運動シタルカ、案内者安田熊太郎ハ多年本多家ニ出入シ、縁故淺カラサルモノナレハ、船賃初メ諸種ノ支拂ヲ爲サシムル爲ニ金三十圓ヲ同人ニ委託シタリ、而シテ熊太郎ハ選舉權ヲ有セス、又タ選舉競爭上何等ノ關係ナキニ拘ハラズ、同地警察署ハ選舉法違反ノ嫌疑者トシテ之ヲ告發シ、松山地方裁判所森田檢事ハ、五月一日東宇和郡宇和町旅館旭屋ニ出張シテ、本多眞喜雄ヲ召喚シ、午前十時ヨリ正午マテ種々ノ訊問ヲ爲シ、一旦中止シテ本多ヲ留メ置キ、同夜八時頃ヨリ十時頃ニ到ルマテ再ヒ訊問スル所アリ、漸ヤク歸宅ヲ許シタルモ、明日又々取調ヘノ必要アレハ、必ラス自宅ニ在リテ何分ノ沙汰ヲ待ツヘシト申渡シタリ、選舉競爭上最重要ナル時期ニ於テ、空シク檢事ノ沙汰ヲ待ツハ得策ニ非スト信シ、本多眞喜雄ハ二日午前自カラ檢事ノ滞在セル旭旅館ヲ訪問シタル所口、森田檢事ハ意外ニモ「最早訊問ノ必要ナシ」ト言明シタルヲ以テ、嫌疑全ク氷解シタルモノト信シテ運動ヲ續ケ居タルニ、五月九日謂ユル「最後ノ五分間」ニ到リ、松山地方裁判所渡邊豫審判事ハ、何ノ必要アリテカ、特ニ事件ノ發生地タル三瓶村ニ出張シ、數里ノ山道ヲ隔テタル野村市街地ノ演說會場ヨリ本多眞喜雄ヲ三瓶村ニ召喚シテ豫審ヲ開キタリ、其ノ後本多眞喜雄ハ豫審免訴ヲ云渡サレタリト雖モ、五月一日森田檢事ノ喚問及ビ五月九日渡邊判事ノ審問ハ當ニ緊急ナル時機ヲ逸セシメタルノミナラズ、反對派ハ盛ニ「本多眞喜雄ハ拘引セラレタリ」トノ流言ヲ放チ最モ有效ニ當選妨害ノ目的ヲ達セシメタリ

第四 政友派ノ一言檢舉見合ス

第三區(越智周桑)ノ憲政派候補村上紋四郎ハ、五月五日今治警察ニ召喚セラレ、無事放還サレタリト雖モ、

反對派ハ「村上拘引サレタリ」ト巧ミニ宣傳シ、彼等ヲシテ當選妨害ノ目的ヲ達セシメタルハ、第六區ノ本多眞喜雄ニ對スル同一筆法ナリ、偶、越智郡九和村ノ村上派運動員選舉法違反ノ嫌疑ヲ以テ今治警察署ニ召喚セラレ、長井警部補同村ニ出張シ、事件擴大セントスル兆アリ、同派運動員山本定吉ハ、之ヲ未發ニ防カント欲シ、政友派候補山本事務所ヲ訪問シ、「飽マデ我黨ヲ檢舉セバ、我々モ亦政友派違反ノ實況ヲ握レルヲ以テ、之ヲ檢事局ニ告訴セン」ト談判シタルニ、川上派ノ參謀日野松太郎ハ夫ハ御互ニ不利益ナリ、自分ヨリ警察ニ交渉シテ檢舉ヲ見合スヘシ」ト答ヘ、直ニ今治警察署ニ交渉シタル結果、果シテ前ノ嫌疑者モ放免セラレ、同村内ニ一ノ違反事件ヲ發生セザリシ、此一事以テ警察カ國家ノ公器タルヲ忘レ、黨爭ノ道具ニ使ハレタルヲ知ルニ足ル可シ

第五 甲ハ處刑乙ハ不問

愛媛縣七區(南北宇和)ハ政友會公認候補渡邊修ト中立候補村松恆一郎ノ競爭地ナリシカ、村松ノ形勢漸次優勢トナルヤ、官憲ノ干渉日ヲ迫フテ露骨トナリ、宇和島町ノ村松選舉本部ニハ、刑事巡查晝夜出入シ、特ニ夜間ハ私服巡查附近ヲ徘徊シ、或ハ事務所ノ階下ナル自働車會社車庫内ニ潛伏シテ、運動員ノ動靜ヲ覗ヒ、而シテ候補村松及ヒ主タル運動員ニハ常ニ巡查ノ尾行ヲ附シ、東京ヨリ來援シタル岡部某ニ對シテサヘ、絶ヘス尾行シテ一舉一動悉ク監視シタリ、是ヨリ先村松恆一郎ハ立候補宣言書中ニ

〔前略〕特ニ地方問題ニ就テハ甚大ノ注意ヲ爲シ、就中四國循環鐵道中伊豫土佐聯接線ノ完成ハ、地方開發上最モ急務ニ有之候故、小生ハ多年此方面ニ微力ヲ盡シ候處、政府ハ四十二議會ニ於テ松山八幡濱迄ハ敷設ノ提案ヲナシタルモ、夫ヨリ以南ニ及ハサリシハ、最モ我々ノ遺憾トスル所ニシテ、將來ハ是非共八幡濱以南ノ線路開通ノ目的ヲ達セサル可ラスト存候

ト聲明シ、四月二十日八幡濱ニ於テ政見發表ノ演說ヲ爲シタル際、前記宣言ノ趣旨ヲ布衍シ

聖書ニ所謂求メヨ、然ラハ與ヘラレンニテ、運動ノ如何ニ依リテハ速ニ鐵道敷設ノ目的ヲ達スル事ヲ得ヘシ

〔中略〕自分ハ今回當選スルト否トニ拘ハラズ終始此問題ノ爲ニ努力スヘシ

同六日豫審判事ハ村松カ宇和島ヨリ七里ヲ距ツル三島村ニ於テ、演說會開催中、電報ヲ以テ宇和島ニ召喚取調ヲ爲シタリ、其ノ前後ニ於テ村松ノ政見發表演說ヲ傍聴シタル有權者十數名モ亦證人トシテ喚問セラレタレハ、反對派ハ之ヲ奇貨トシ、「村松ハ收監セラレタリ假令當選スルモ失格スヘシ、寧ろ渡邊ニ投票セヨ」ト宣傳シ、之ト同時ニ警察側ハ何ノ罪ナキモノト雖モ村松派ノ運動員ト見レハ、引致喚問シタルヲ以テ、人心恟々タリシ、抑モ村松カ立候補宣言書ヲ發シタルハ四月中旬ニシテ、演說モ亦同月二十日ナリシニ拘ラス、選舉期日切迫シテ後ニ檢舉シ、選舉期ニ先テ豫審ヲ開キタルハ、其ノ何故タルヤ、知ルニ由ナシト雖モ、係リ檢事ハ村松ニ對シ「此場合取調ヲ爲サハ選舉ニ影響シ、迷惑察シ入ルモ事情已ヲ得ス是ニ及ヒタルコトヲ諒セヨ」ト挨拶シ、豫審判事モ亦個人トシテハ氣ノ毒ニ感スレト、四圍ノ事情已ヲ得ス、選舉中ニ喚問シタルト言ヘリ、然ルニ村松ノ敵手タル渡邊修ハ、公開ノ演說會ニ於テ同一ノ四國循環鐵道問題ヲ論述シ、之ガ速成ヲ希望セハ、政友會ニ信頼スル外ナキ旨ヲ、最も具體的ニ説明シ、其他選舉法違反ト信スヘキ行爲察カラサリシヲ以テ、有權者ノ一人柴田芳久ヨリ左ノ告發狀ヲ檢事局ニ提出シタル

告發狀

北宇和郡宇和島町大字九穗村

告發人

柴田 芳久

北宇和郡泉村大字岩谷

現住所東京市麹町區平河町

被告人

渡邊 修

右被告人ニ對スル選舉違反被告事件ニ付告發ヲ爲ス要領左ノ如シ

第一 被告人渡邊修ハ大正十年ニ行ハルヘキ衆議院議員候補者トシテ出馬セン事ヲ畫策シテ大正八年九月ニ執行セラレタル縣會並ニ郡會議員選舉ニ際シ既ニ其豫備行為ニ著手シ次ニ執行セラレベキ衆議院議員選舉ニ自己立候補ノ地盤擁護ノ爲メ自黨タル政友會系ノ縣會議員候補者ヲ多數ニ立タシムル必要上多額ノ金員ヲ出金シ其内金貳千圓ヲ太宰孫九金壹千圓ヲ赤松泰苞二分與シ之ヲ受領セシメ又南宇和郡ニ於ケル縣會議員候補者小西喜代太ニ金千圓ヲ贈呈シテ逐鹿場裡ニ立タシメ又一面ニ於テハ赤松泰苞等ヲ介シ金千圓ヲ分配スル條件ヲ以テ井谷正命ノ縣會議員立候補ヲ勸誘セシメタルモ井谷正命ハ之レヲ應諾セサリシ事ハ世間衆知ノ事實ナリ猶又郡會議員選舉ニ付キ自黨政友會系ニ屬スル議

員數名ニ其當時被告人渡邊修ハ當選ヲ祝スル意味ニ於テ各金五十圓宛ヲ贈呈シテ各地方有力者ノ歡心ヲ買ヒ今回ノ立候補ニ就キ其運動援助ヲ得ントスル豫備行為ニ外ナラサルナリ

以上ノ關係ニアラサルカ赤松泰苞太宰孫九小西喜代太ハ今回ノ選舉ニ付渡邊派ノ參謀長トナリ策戰急ラサルノミナラス渡邊修並ニ參謀太宰孫九ハ宇和水電株式會社ノ社長又ハ事務取締役ナルヲ以テ近來各所頻リニ電燈火ノ供給ヲ申込ニ居ルヲ奇貨トシテ之ヲ利用セント企テ株主ニ加入セシメ又ハ電燈供與ヲナスヘシト仄メカ選舉ト電燈點火トヲ最モ密接ニ締結セントコトヲ畫策シ現ニ九穗村宇谷川部落八幡村藤江、大浦部落來村川内藥師谷部落南村高近村各部落並ニ南宇和郡西海外海村船越御莊村貝塚部落等ニ於テ以上ノ關係ヲ仄シ以テ運動ノ方法ニ供シ居ル事ハ人口ノ膾炙シツ、アル事實ナリ

第二 被告人渡邊修ハ今回ノ衆議院議員選舉ニ際シ立候補ヲナシ各所ニ於テ演說會ヲ開會シ其政見トシテ四大政綱ヲ説キ交通機關ニ於テ四國循環鐵道問題ヲ具體的ニ論シテ日ク四十二議會ニ於テ松山八幡濱線ハ既ニ提案ヲ見ルニ至リタルモ夫レヨリ以南ノ中央線、又ハ海岸線即チ中村町ヲ起點トシテ宿毛南宇和郡通過線ノ問題ハ鐵道院技師ノ調査シ何等難工事ニアラサル事ヲ聞ケリ又先年後藤元鐵道院總裁ハ自ら之ヲ踏査シタル次第ニシテ政府ハ其何レニ採ルヤハ之ヲ明言シ得サルモ其經畫ノ小額案ヲ立ツルヤ明カナリ

然レトモ國民黨又ハ新政會ノ如キ反對黨ニ於テ如何ニ畫策スルモ到底實行覺束ナキ空論ニシテ之ヲ實行セントセハ大政黨タル政友會ニ依ラヌンハ何事ヲモ完成スルコトヲ得サルナリ國民黨新政會ノ如キハ今回ノ選舉ニ於テ二十五名ノ議員ヲ得ル事疑ハシク交渉團體トシテノ資格ヲ缺ク黨派ニ於テ何事力ヲ爲シ得ンヤト論シ其一例トシテ福岡縣ノ如キ十七名ノ議員中僅カニ一名ノ反政友會議員アルノミニシテ殆ント政友會系ノ代議士ニ於テ獨占居ルノ形勢ニアリ故ニ同縣ノ如キハ交通機關ノ完備ハ勿論商業ノ發展等著シク最近ニ於テハ高等學校ノ設置ヲ見又近來長崎控訴院ヲ福岡市ニ移サントシ近キ將來ニ於テ現實スルニ至ルヤ明カナル問題ナリ然ルニ我四國ノ代議士ヲ見ルニ憲政會アリ國民黨アリ種々黨派ヲ異ニシテ著シク一致ヲ缺クカ爲メ現狀ノ如ク交通機關ノ完備ヲナサ、ル一大原因ニ外ナラス

又自分ハ決シテ實行シ得ラル事ヲ説ク者ニアラス現ニ愛媛縣理事官ヲ奉職中偶々高知縣海ニ於ケル愛媛縣南宇和郡ノ入漁問題ニ付キ紛擾ヲ生シタル際自分ハ時ノ郡長警察署長ト共ニ其衝ニ當リ最も有利ニ解決シ現ニ南宇和郡ニ於ケル漁業者ノ勝手ニ高知縣海ニ於テ漁業シ得ルニ至ラシメタル事實アリ自分ハ此南宇和郡トハ多大ノ干係ヲ有スルモノナリト説キ以上ノ次第ニシテ大政黨ニ據ラスンハ何事ヲモ實行シ得サルナリ依テ政友會公認候補者タル自己ノ爲メニ投票セラレン事ヲ冀フモノナリト述ヘタルト聞知セリ

右ハ衆議院議員選舉法罰則ニ違反スル行為ト被存候條御取調相成度此段及告發候也

右

柴田 芳久

宇和島區裁判所

檢事局御中

然ルニ檢事局ハ村松ニ對シテハ、選舉中迷惑ヲ察シツ、四圍ノ事情已ヲ得ス檢舉スル稱シナカラ、渡邊ニ對シテハ選舉終了ニ至ルマテ一回ノ取調タモ爲サス、五月十三日ニ至リ、檢事ヨリ渡邊ニ對シ、協議シタキ事アリ出頭ヲ求ムル旨ヲ電話シ、渡邊ハ翌十四日檢事局ニ出頭シ、其儘歸京シテ、此事件ハ曖昧裡ニ消滅シタル

第六 平沼檢事總長ニ陳情書

村松ト渡邊トニ對スル檢事局ノ處置餘リニ差別アルヲ憤慨シ、村松恆一郎ハ五月十七日附ヲ以テ左ノ陳情書ヲ平沼檢事總長ニ提出シタル

謹啓初夏好適之候益御清榮御座被遊奉大賀候、陳者乍突然今回ノ選舉ニ關シ、聊カ尊臺ニ訴ヘ、御判斷ヲ乞度事有之候間左ニ開陳仕候、何卒御一讀奉願度候

一 自分儀今回ノ立候補ニ際シ、四月二十日議會報告ヲ兼テ政見發表演說會ヲ開キ演題ハ「四十二議會報告」ト題シ、議會ニ於テ諸問題ノ經過ヲ報告シテ、四國鐵道ノ速成問題ニ言及シ、

「今後之カ速成ヲ期セントセハ、到底一二ノ代議士ノ力ヲ以テ爲シ得ヘキ事ニ非サルカ故ニ、地方人士ハ政派ノ異同ヲ問ハス一致團結シテ之カ目的ヲ貫徹スル事ニ努ムヘシ、其場合ニ於テ自分ハ當落ノ如何ニ拘ラス、地方民ノ一人トシテ俱ニ此事ニ力ヲ盡スヘシ」ト述ヘ、尙誤解ナカラシカ爲メ、其結末ニ於テ

「此問題タルヤ固ヨリ國家事業ニ屬シ自分一人ノ力ヲ以テ如何トモ爲シ難キ事前述ノ通りナルヲ以テ余カ當選セハ、此事ニ盡力スヘシトカ、此事ニ盡力スヘキカ故ニ、余ニ投票セラレ度トカ云フ如キ意味ハ毛頭之ナシ」

トノ事ヲモ附加ヘ置キタルニ、本縣警察側ニ於テハ、之ヲ以テ選舉法違反ナリトシ、當時右演說全體ノ趣旨ヲ包含シタル依頼狀ヲ發送シタルニ、之ヲモ併セテ證據物件トシ、檢事ニ告發シタル、檢事ハ直ニ之ヲ受理シテ、取調ニ著手シ、小生ハ勿論當時ノ傍聴者數名ヲ召喚シテ、演說ノ内容ヲ聞取タル後之ヲ豫密ニ移シ、豫審廷ニ於テモ小生及傍聴者ヲ喚問シテ取調ヘラレ今尙審理中ニ御座候

右ハ恰カモ五月初旬選舉戰鬪ナルノ時ニ有之候間反對候補者ノ側ニ於テハ奇貨措ク可シトナシ、之ニ關シテ百方流言蜚語ヲ放チ、甚タシキハ「村松ハ收監セラレタリ」ナト言ヒ觸ラシ、其結果新聞紙上ニモ掲載スルニ至リ、小生ノ不利言フ可ラス、今回選舉失敗ノ最大原因ハ此ニ在リト迄言ハル、程ニ御座候處、是逆モ既ニ國法ニ違ヒ、執行セラル、モノナル以上、之ニ對シテ異議ヲ唱フヘキニ非ス、況ンヤ其後ノ進行及結果ニ就テハ公明ナル司法部ノ裁斷ニ俟ツノ外無之候間小生ハ敢テ此等ノ事ニ關シ、愁訴スルモノニハ無之、唯タ特ニ尊臺ノ御一考ヲ煩シ度ハ四月下旬即チ小生カ未タ訴起セラレサル以前政友派候補渡邊修カ南宇和郡ニ於テ同シク政見發表ノ演說中、是亦四國鐵道ノ事ニ言及シタル後チ

少數黨ハ如何ニ大言壯語スルモ之ヲ實現スル能ハサルニ反シ、我政友會ハ大政黨ナルヲ以テ、其言フ所ハ必ス之ヲ實行スルヲ常トス、其一例ハ福岡縣ノ如キ、其代議士ハ大部分政友會ナルヲ以テ、現ニ鐵道ハ縱橫ニ敷設セラレ、大學及各種ノ高等學校モ設置セラレ、近クハ長崎控訴院モ此處ニ移サレントス、此實例ヲ見テモ地方民カ鐵道ノ速成ヲ希望セラル、ナラハ、我政友會ノ力ニ依ラサル可ラス、從而此際自分ノ爲ニ一票ヲ投シ、自分ヲ當選セシメラルルニ於テハ極力之カ實現ニ付テカヲ盡スヘシト述タル事實アリ、右ハ前記小生ノ趣旨ト異ナリ微頭徹尾其實現ヲ主眼トシ、自己ノ力ニ依テ之ヲ解決スル事ヲ明言シ、併テ投票ヲ依頼セシモノナレハ、是コソ眞ニ違犯事項ナリト云フヲ得ヘク、從テ此事實ニ付當時檢事ニ告發セシモノアリ、檢事ハ其際告發者及一二ノ證人ヲ喚問セシカ、本人渡邊修ハ選舉後去十四

日檢事ノ通知ニ依リ宇和島警察署ニ出張シタリトノ事ナルカ、何故カ同人ハ當初十九日出發歸京ノ旨發表シタルニ、俄然右十四日夜ノ汽船便ニテ出發途中松山ニ立寄り、直ニ歸京スル由ニ有之而シテ坊間噂スル所ニ依レハ同人ノ急遽歸京シタルハ、該事件ニ關シ、政府當局ニ哀願シテ之ヲ不起訴タラシメンカ爲ナリト申ス者有之、右ハ固ヨリ臆測ニ止マルミナラス、彼カ如何ニ政府黨ナリトテ、法ヲ枉テ之ヲ特免サル、カ如キ事ハ、公正ナル司法部ニ於テ、固ヨリ有り得ヘカラサル事ニシテ殊ニ小生ノ如ク初ヨリ毫モ責任ヲ負ハス、且ツ夫カ爲テニ投票ヲ依頼スルノ趣旨ニ非サルコト明白ナルモノスラ豫審ニ移サレタル以上、夫ヨリ具體的ナル渡邊修ノ演說ハ、無論起訴セラルヘキカ當然ナリト忠考仕候、但シ今回ノ選舉ニ際シ警察側ノ偏頗不公平ハ極度ニシテ、極力政府反對側ニ壓力ヲ加ヘ、干涉ヲ行フニ反シ、政府黨ハ出來得ル限り庇護ヲ與ヘタル事實歷然タルノ時、或ハ警察側ニ於テ其筆記ヲ改竄シ且ネ渡邊修ニ不利ナル材料ハ提出セサルヤモ難測候得共、苟クモ多衆會同セル公會ノ席上ニ於テ公言シタル事ヲ其儘抹殺シ得ヘキ儀ニ無之ト存候

五月十七日

勿々

村松恆一郎

平沼驥一郎様貴下

副申 今回ノ選舉ニ付警察側ノ偏頗不公平ハ極度ニシテ、殊ニ反對候補者ニ對シテハ、最モ峻嚴ヲ極メ、些細ノ事柄ニテ檢舉ヲ受ケシモノ小生共ニ三名ニ及ヒ、尙ホ其事務所ニハ晝夜數名ノ刑事張リ込ミ、之ナル運動者ニハ悉ク尾行ヲ附シ、且ツ投票兩三日前ニ至テハ罪ノ有無ヲ問ハス、有力ナル運動者ハ種々ノ名義ノ下ニ警察又ハ駐在所ニ引致シテ取調ヘ、微罪ト雖モ假藉セス、且ツ選舉人ニ對シテハ駐在所ニテ投票スヘシト勸誘セシモノアリ、之カ爲メ各運動者及一般選舉人ハ極端ニ畏怖心ヲ生シ、夫カ爲メ一旦贊成シタル者ニシテ、離反セシモノ少カラス、之ニ反シテ政府黨候補者ニハ何等右様ノ掣肘ヲ加ヘス買収響應等隨意ニ之ヲ爲サシメ、目前違犯ノ事實アルヲ知ラサル如クニシ、遇テ告發スルモノアルモ、更ニ採用セス、實ニ不法ヲ極メタリ、是亦併セテ御參考ニ供シ候

第七 警察官ノ干涉實例

第一例 第七區村松恆一郎ノ運動員岡島某外一名ハ四月中旬北宇和郡遊子村ノ親戚藤田某方ニ到

リ、村松ノ爲ニ盡力セン事ヲ依頼シ、藤田方ニテハ遠來ノ親戚岡島ニ酒食ヲ供シタルニ、數日ヲ經タル深夜、水上警察船ノ内ニ藤田ヲ拉シ去リ、乘組ノ警官四五名交々同人ヲ責メ、汝ハ岡島ヨリ金ヲ貰ヒ、酒食ヲ供シタリト自白ヲ強ヒ、藤田ハ「決シテ左様ノ事實ナシト辯明シタレハ、當夜ノ事ヲ他言スル勿レ」ト口留シテ釋放シタリ、其後同村駐在所ニ檢査ハ村内毎戸ニ就キ「藤田カ村松ノ名刺ヲ配付シタル際、金ヲ添ヘテ依頼セヌヤ」ト尋問シ、何レモ之ヲ否定スレハ、然ラハ汝ハ誰ニ投票スルヤ、若シ村松ニ贊成セハ汝等ノ不利益ナルヘシト威嚇シタリ、而シテ五月三日ニ到リ前記ノ藤田ヲ初メ松澤福島等數名ヲ水上警察船ニ召喚シ、午前九時ヨリ午後九時マテ止メ置キ、百方尋問スルモ何等違犯ノ事實ヲ發見セス、遂ニ放還シタルカ、斯ノ如キ數回ノ威嚇ハ慥カニ干涉ノ效ヲ奏シ、質樸ナル同村選舉人ハ孰レモ後害ヲ畏レテ全部棄權シタリ

第二例 五月八日北宇和郡三間村宇宮ノ下ニ於テ村松派ノ演說會アリシ時、同村ニ出張シ居タル警部巡查部長及ヒ數名ノ巡查ハ村松ノ運動員長岡某ホカ五名ヲ夜中強雨ヲ冒シテ宇和島警察署ニ引致シ候補者村松ヨリ飲食ノ餐應ヲ享ケタルモノトシテ告發シ、檢事直チニ出張訊問ヲ遂ケタル所口、全然事實ヲ捏造シタル告發ナルヲ判明シ直チニ放還セラレタリ

第三例 北宇和郡三島村駐在所ニテハ、投票ノ前日松九分署ノ巡查數名應援ニ來リ、村松派ノ運動員選舉人等十數名ヲ交々々々駐在所ニ引致シ、種々ノ言ヲ構ヘテ嚴重ニ取調ヘ、其内數名ハ飲食シタル事實ヲ捕ヘ得テ直チニ檢舉シ、見ヨリ村松ニ贊成スルモノハ斯ノ如シト威嚇ノ效ヲ奏シタリ

第四例 北宇和郡吉野生村ノ麻生田某ハ五月初旬、松九分署ニ召喚セラレ、汝ハ部下ノ運動員ニ金ヲ渡シタル違犯アリ、今後運動ヲ爲サ、ルニ於テハ放免スヘシ、然ラサレハ留置スヘシト嚇サレ、餘儀ナク運動中止ヲ誓ウテ放免セラレタリ

第五例 北宇和郡成妙村宇會根ノ駐在所ニ各選舉人ヲ訪問シ、誰人ニ投票スルヤ、村松ニ贊成セハ汝ノ爲ニナラスト威迫シタリ

第六例 北宇和郡吉野生村ノ渡邊派選舉事務所ニ於テハ屢々有權者ニ酒食ヲ饗シ甚タシキ時ハ二名ノ藝妓ニ給仕ヲ命ジタル事アリ、巡查モ亦往々酒食シタル事アリ、而シテ彼等ハ曰ク「我々ハ政府黨ナルカ故ニ何等ノ心配ナシ」ト

第七例 第三區越智郡宮窪村助役矢野有志夫ハ憲

政派ノ有力ナル運動員ナルカ、四月十七日政友派ノ八塚好治ト酒ノ上ニテ喧嘩ヲ爲シ、翌日仲裁者アリテ圓滿ニ解決シタルカ、四月三十日ニ至リ突然今治警察ノ警部渡邊多助檢事開發松三郎君出張シ、八塚好治ヲ同村巡査部長派出所ニ召喚シテ、矢野有志夫ニ對スル傷害罪ハ告訴ヲ提出セシメ、直チニ矢野ヲ拘引シテ、喧嘩ノ原因ハ選舉ニ關スル脅迫ニ在リト云フヲ動機ニ、矢野ト運動員トノ間ニ運動費授受ノ事アルヘシト徹審訊問ヲ續ケ、遂ニ五月一日今治警察ニ引致シ同五日マテ留置シ、且ツ選舉運動ハ全然中止セヨト勸告セラレタリ、其結果ハ數名ノ違反者ヲ發見シタルト雖モ、政友派ハ殆ンド公然運動費ヲ授受スルモ之ヲ放任シ、獨リ憲政派ニ對シテ爬羅剔抉至ラサル無キハ、之ヲ干涉ト云ハシヨリ寧ろ暴政ト稱ス可シ

第八例 越智郡鏡村附近ノ各部落ニテハ刑事巡查白神某ナルモ候補者村上紋四郎ノ親屬ト詐稱シテ同派ノ形勢ヲ探リ、五月一日ノ夜鏡村ノ運動員藤原房太郎方ニ到リ、小生ハ村上ノ親屬ナルカ、運動費ニ不足アラバ渡スコシト語り、房太郎ハ欺カル、トハ知ラズシテ村上候補ノ子息隆逸ヨリ十圓ダケ預カレトシ答ヘテレハ、有無ヲ云ハサズ直ニ引致シ、之ヲ動機トシテ拘引セラル、モノ十八名ニ及ヒ、中ニハ全く無關係ノ人民モアリタリ、憲政派ニ對シテ警官ノ所置如何ニ辛辣ナリシカヲトスルニ足ル可シ

第九例 警察官ハ憲政派優勢ノ地ヲ目シテ激戰地ト稱シ、他ノ應援巡查ヲ増派シテ候補者及ヒ運動員ニ尾行セシメ、政友派ニ對シテハ一切放任シタルハ各地同様ナルカ、第二區憲政派候補門屋尚志カ四月二日縣會議員林實正武知勇記川瀬儀太郎等ト共ニ伊豫郡廣田村及中山村ヲ訪問シタル時ノ如キ、巡查部長國田ナルモ口髯ヲ剃リ商人風ヲ裝フテ終始尾行シ旅館ニ宿泊スレハ變裝巡查モ同一旅館ニ泊リ運動員有權者等ニ畏怖心ヲ懷カシメタリ、第三區候補村上紋四郎カ四月二十八日ヨリ數日間大島ノ各村ヲ歴訪シタル時ハ刑事巡查白神某ホカ一名絶エス尾行シ、村上ノ訪フタル毎戸ニ付キ、村上ハ何事ヲ語リタルヤ、汝ハ何ト答ヘタリヤ、杯、五月蠅ク質問シタリ、有權者ハ候補自身ノ訪問ヲ受ケテ喜フカ世上一般ノ狀態ナルニ拘ラス、今回ハ異口同音ニ「憲政派候補ノ訪問ハ實ニ迷惑ナリ、警察官ノ調ヘヲ受ケテ家族等迄モ困難セリ」ト稱シタリ、

第十例 東宇和郡野村ノ本多派選舉事務所運動員河野伊左衛門ヨリ特使ヲ以テ同郡土居村滞在中ノ

縣會議員別宮良ニ宛テ一通ノ封書ヲ齎ラシタル途中、豫テ密偵中ノ警官ハ「必定送金ノ使者ナリ」ト早合轉シ、封書ヲ差押ヘテ野村分署ニ引上ケ、發信人河野伊左衛門ヲ召喚シ數時間ニ亙リテ尋問スル所アリ、最後ニ證據物ノ封書ヲ突き附ケ、面前ニ於テ開封シタル所口、何ノ圖ラン、金ハ一錢モ見ヘス、大金ト見ヘタルハ一葉ノ電報ナリシニ、警察官モ啞然タリキ

第八 通信機關ノ不都合

選舉競争中、松山郵便局ニハ廣島通信管理局ヨリ二名ノ屬官差遣セラレ、在野黨間ニ往復スル電報ハ一々檢閲サレタル形跡アリ、第七區宇和島郵便局ニ於テハ五月六日東京新橋局ノ引受ニ係ル在宇和島同鄉會有志ヨリ差出タル村松松一郎推薦ノ郵便物ヲ五月十日ノ投票終了後ニ配達シ、村松派ノ抗議ニ對シテ、九日午前五時四十五分當局へ著スヘキ處、松山當局間ニテ遲延シ（中略）這ハ延著ノ結果ニテ如何トモ難致ト回答シタリ

廣島縣ニ於ケル干涉

廣島縣ニ於ケル干涉手段ハ、廣く全國ニ行ハレタル干涉方法ト大差ナク、郡吏ハ政府ノ解散理由宣傳ヲ口實トシテ各町村ノ有權者ヲ集合セシメ、原首相ノ訓示演說ヲ傳達スルト同時ニ、政府黨候補ヲ選出セン事ヲ勸誘シ警察官ハ各有權者ニ就キ「何人ニ投票スルカ」ヲ問ヒ間接直接ニ政友會ノ運動ヲ助ケ、憲政派ノ運動員ハ謂レナク召喚拘留シテ、彼等ノ機敏ナル行動ヲ妨害シ、且ツ政府ニ反對スルノ危險ヲ感セシメ、政府黨ノ候補者及ヒ運動員ニ對シテハ明白ナル選舉法違反ト雖モ之ヲ放任シタリ、今マ其ノ二三ノ實例ヲ左ニ掲ケ可シ

(イ) 安佐郡長川崎壽太郎ハ、各町村ニ於ケル解散理由傳達會ニ於テ、憲政會ヲ攻撃シ普通選舉論ハ共產主義ナリト脱線の暴論ヲ吐露シタリ

(ロ) 高田郡長ノ訓示傳達會ニハ、政友派候補同行シ、郡長ノ口ヨリ憲政派候補金尾稜嚴ヲ攻撃シ、特ニ三田村志屋村等ニ於テハ金尾候補ノ政見發表アリタル後、郡長ハ再び集會ニ臨ミテ金尾攻撃ヲ爲シ、却テ有權者ノ惡感ヲ買ヒタリ、第十三區沼隈郡内ニ於テモ岩田派ノ運動員二名ヲ駐在所ニ召喚シ唯タ徒ラニ時間ヲ空費セシメテ放還シタル實例アリ

(ハ) 祇園警察署ハ五月七日何ノ理由モナク突然憲政派ノ參謀玉田達吾、及ヒ竹本竹藏、松田德藏ノ三名ヲ召喚シ、夜ニ入ルマテ拘束シ、同派ノ運動員ヲ妨害シタリ

(ニ) 政友派縣會議員山崎周次郎ハ、公開演說ニ於テ山

縣郡役所移轉問題、廣濱鐵道問題、並ニ縣道編入問題等、地方人民ノ利益ヲ好餌トシテ投票ヲ勸誘シ、且ツ是等ノ問題ハ同派ト當局者トノ間ニ連絡アルモノ、如ク吹聴シタルモ官憲ハ一切不問ニ附シタリ、又タ同派ノ配布シタル印刷物ニハ、憲政會ハ耶蘇教ノ集團ナリト誣証シテ選舉妨害ヲ爲シタルモ是亦タ官憲ハ放任シタリ

(ホ) 郵便電信ノ遲延ハ言語ニ絶シ、僅カニ三里ノ距離ニ於テ三日ヲ費シタルモノアリ、又タ往々郵便物ノ行衛不明トナリタルモノモ寡カラス、

(ヘ) 福山市ノ警察ハ選舉事務所運動員ノ數ニ付キ、警告シタルカ、政友派ハ一千百有餘ノ有權者ニ對シ、三百名以上ノ運動員ヲ使用スルモ、敢テ咎ムル所ナク憲政派事務所ニ對シテハ深夜蕎麥ヲ食スルサヘ嚴重ニ戒告シナカラ政友派ノ事務所ニ對シテハ全ク自由放任ノ態度ヲ採リ、特ニ市民ノ熱望スル芦田川國庫支辨問題ヲ選舉ニ利用シ、此請願ヲ貫徹セント欲セハ、政府黨タル河相三郎ヲ選出セヨト勸誘シ、公然選舉法ヲ犯スモ官憲ハ之ヲ不問ニ附シタリ

大分縣ニ於ケル干涉

第一 官權濫用ノ訓令

大分縣知事新妻駒五郎ハ大正九年四月七日警察署長會議ニ臨席シ、今回ノ衆議院議員選舉ハ極メテ重大ノ意義ヲ有スルヲ以テ政府黨ノ多數ヲ制スル如クニ努力スヘキ旨ヲ訓示シ公然干涉ノ命ヲ下シタリ新妻知事ノ態度斯ノ如クナルヲ以テ同縣各課長ハ部下ノ屬僚ニ對シ政府黨候補者ニ投票セムコトヲ勸誘シ各郡長ハ配下ノ小學校教員ニ政府黨援助ヲ委嘱シタリ上ノ好ヌ所下之ニ倣フトハ是等ノ謂乎而シテ大分地方裁判所檢事正男庭善之助ハ警察署長會議ノ第二日目ニ臨席シ某署長ヨリ選舉法第八十九條中「選舉人ニ對シ其投票セムトシ又ハ投票シタル被選舉人ノ氏名ノ表示ヲ強要シタル時」云々ノ強要ノ意味ノ質問ニ對シ「警察官カ職務上ノ必要ヨリ單ニ有權者ノ意志ヲ問フハ差支ナシ但タ其ノ意志表示ヲ強要スル場合ニ於テ禁令ニ抵觸ス」云云解釋ヲ與ヘタリ是ニ於テ警察官ハ何ノ權カ所ナク各町村ノ有權者ニ就キ「汝ハ何人ニ投票スル乎」ト質問シ甚タシキハ政友會ノ運動員ト同伴シテ有權者ヲ訪問シ彼等ヲシテ一種ノ恐怖心ヲ懷カシムルト同時ニ一面ニハ斯クシテ選舉ノ形勢ヲ明カニ探知シ、政府黨ニ大ナル便宜ヲ與ヘタリ今マ其ノ顯著ナル實例二三ヲ左ニ掲ケ

第一例 東國東郡上國東村駐在巡查後藤和藏ハ五

月十日午後十時頃同村ノ馬車曳栗林豊ナル者ヲ使者トシテ憲政會派ノ同情者有松松吉ニ左ノ喚出狀ヲ送レリ
相尋ネノ儀有之候條本日即日本村駐在所ニ出頭セラルヘシ

大正九年五月七日 上國東村駐在所

有松松吉殿

松吉命ニ隨ヒ駐在所ニ出頭スレハ後藤巡查ハ彼ニ對シ「汝ハ從來政友派ノ味方ナリシカ今回憲政派ノ安藤亮ニ加担セルハ五圓モ貰ヒタルナラン云々」ト威喝シ其意志ヲ驕カヘセント試ミ翌八日ハ後藤江崎ノ二巡查同伴シテ有松松吉宅ニ到リ飽マデ威壓セントスル折柄憲政派ノ有力者ニ發見セラレテ其儘引取リタル

第二例 大分郡明治村ニ於テハ政友會ノ運動員カ巡查ト同伴シテ有松松吉ヲ勸誘シ將ニ買収セントスル所ヲ憲政派ニ抑ヘラレタリ然モ警察ハ之ヲ不問ニ附セリ

第三例 大分郡桃園村ニ於テハ政友會員後藤某ナルモノ巡查ト共ニ有松松吉ヲ訪問シ切リニ威力ヲ以テ勸誘スル所ニ同家ノ青年出テ「親ヲ扶ケ」選舉ハ自由ナリ他ノ壓迫ヲ許サス」ト叫ビ巡查ノ名刺ヲ執ラントセシカ彼等ハ青年ノ勢ヒニ避易シテ去レリ

第四例 大分市ニ於テハ刑事巡查等政友派ノ自働車ニ乘リテ奔走シタリ

第五例 東國東郡來浦村ノ駐在巡查佐藤鐵雄ハ同村憲政派ノ同情者與田壯九郎宅ニ於テ「汝ハ元ト政友派ニ拘ハラス今回憲政派ニ與ヨスルハ金ヲ貰ヒタル爲ナラン後日ノ迷惑ヲ恐レヌカ云々」ト叱責シ威力ヲ以テ意思ヲ挫ケシメント試ミタリ

第六例 大分郡戸次村ニ於テ政友派運動員足立百太郎ガ同村上戸次上尾部落ノ有松松吉ヲ買収シタル形跡アリ新聞記者東司馬徹翁コレヲ聞知シ鶴崎分署ニ訴ヘ出タルモ同分署ハ默殺シタリ

第七例 大分郡吉野村ニ於テハ保護島「目白」ヲ飼育セル者ヲ取調ヘ政友派ニハ之ヲ放シメ憲政派ハ之ヲ告發シタリ

第八例 五月九日大分郡阿南村宇中尾ノ飲食店森山喜重方ニ於テ憲政派首藤觀ハナルモノ飲食店居ル所ニ駐在巡查染矢某入り來リ叱責スル所アリ觀ハ「餘リ干涉スル勿」ト云フヤ染矢巡查ハ突然觀ハヲ路傍ニ引出シ毆打負傷セシメタリ店主重喜出テ、兩人ヲ引分ケントスルヤ政友派ノ運動員宮崎普吾大野明ノ兩人巡查ヲ助ケテ重喜ヲ突飛シタリ依テ觀ハハ

巡查部長廣田太市ニ訴ヘ出テ廣田モ其事實ヲ認メタルニ拘ハラス何等處分スル所ナシ

第九例 五月五日大分郡田村巡查駐在所ニ出張中ノ警部補土谷藤造ハ同村憲政派運動員鹿兒島彦太郎ノ意志ニ反シテ同人ノ運動員タルヲ取消サシメタリ

第十例 吉野郡大野村駐在巡查片桐一ハ五月六日午前二時コロ政友會運動員由布叶ト同伴シテ吉野原ヲ密行中憲政派運動員ヲ誰コシテ先行ヲ尋ネ逆サマニ巡查ノ行動ヲ問ハレテ踪跡ヲ問マシタリ

第二 告發ノ代リニ投票セヨ
大分郡高田村ニ於テハ政友派仲摩龍三郎ト巡查某トカ協力シテ憲政派仲摩宇五郎ホカ二名ヲ威嚇シ同村常泉寺住職ヨリ金十一圓ヲ授受シタル事ヲ自白セシメ住僧ニ返金シテ政友派候補金光庸夫ニ投票セムコトヲ強要シ遂ニ其目的ヲ達セタリ同村三佐村ニ於テハ政友派運動員江口大四郎ナルモノ憲政派ノ有松松吉一名カ同派ノ加藤半三ヨリ運動費五圓ヲ受取タル事ヲ探知シ告發セント爭ヒ居ル所ニ鶴崎警察分署ノ岡田巡查カ入り來リ「運動員ハ返金セヨ而シテ政友派ノ爲ニ運動セヨ」ト慰撫シテ其目的ヲ達シタリ此類ノ行動ハ全縣下到處ル所ニ遍ネク行渡リ一般的干涉手段トシテ實行セラレタリ

第三 通信ノ秘密侵害

通信機關ヲ利用シテ巧妙ナル選舉干涉ヲ爲スハ政友派ノ常套手段ナルガ、大分郵便局ニ於テハ奇怪ナル電話漏洩疑獄事件ヲ惹起シタリ、同縣ノ競爭日ヲ迫ウテ激甚トナルヤ、熊本通信管理局事務官補井出貞三ハ同局書記西垣太郎、池田房市及ヒ電話係田添野田ノ四人ヲ隨ヘ、大分市ニ出張シ、平井出事務官補ハ政友派ノ旅館樵屋ニ滞在シ、他ノ隨員ハ大分郵便局内ニ宿泊セシメ、而シテ同局電話交換所ノ加入電話ノ内、三十一番(憲政會支部)二七四番及ヒ二二二番(箕浦勝人選舉事務所)五三四番(篠崎豐彦選舉事務所)並ニ二三〇番(大分新聞)ノ電話線ヲ隣接ノ倉庫内ニ引キ込ミ、田添野田兩人ハ晝夜憲政會側ニテ交換スル電話ヲ盜ミ聞キ、其要領ヲ筆記シテ西垣池田兩書記ニ渡し、兩書記ハ暗號電報ヲ以テ之ヲ熊本管理局ニ送達スル同時ニ政友派旅館ニ滞在シ、平井出事務官補ニ報告シ、熊本本局及ヒ平井出ヨリ直チニ政友派幹部ニ漏洩サレタリ、此ノ奇怪ナル秘密力端ナク憲政派ノ耳ニ入りタレハ同黨支部幹事長ナル長野綱良ハ五月十一日午後五時檢事正男庭善之助ヲ官邸ニ訪問シ口頭ヲ以テ右ノ事

實ヲ訴ヘ之カ取調ヲ求メタル所正式ノ告發ナキニ於テハ其ノ手續困難ナリトノ答ヲ得テ直ニ引返シ事實ノ發見者ナル大分新聞記者吉野安藏ヲシテ告發書ヲ作製セシメ兩人同伴再ヒ檢事正ヲ訪問シ檢事正ハ取敢ヘス外部ノ狀況ヲ實檢セシム可キヲ約シ翌十二日午後急、眞實ニシテ一點疑ナキ事ヲ體メタリシカハ進シテ内部ノ實檢ニ着手セントスル場合ニ至リ檢事谷田勝之助ハ「該事件ハ申告罪ナルヲ以テ利害關係者ノ告訴ヲ必要トス」ト稱シテ檢證ヲ躊躇スル内二同日午後九時過キ奇怪ナル架設電線ハ収除カレ熊本管理局ヨリ出張シ居タル局員モ亦同日奇怪ノ任務ヲ果シテ歸任ノ途ニ就キ長蛇ヲ逸スルノ感アラシメタリ然レトモ斯ノ如キ公器濫用ノ弊害ハ根本的ニ排除セサル可カラサルヲ以テ憲政會大分支部ハ五月二十五日左ノ告訴狀ヲ檢事局ニ提出シタリ

告訴狀 寫

大分市大字大分字荷楊町
憲政會大分支部常任幹事

告訴人 長野 綱食
被告 不 明

電信法違反ノ告訴
右告訴ノ要領左ニ開陳仕候

告訴人ハ憲政會大分支部常任幹事トシテ本日十日施行ノ衆議院議員總選舉運動ニ參與シタルモノニシテ特ニ大分縣第一區大分市選出議員候補者箕浦勝人選舉事務所ナル電話二百七十四番並ニ同縣第二區大分郡選出議員候補者篠崎豐彦選舉事務所ナル電話五百三十四番ト憲政會大分支部ナル電話三十一番トハ尤モ頻繁ニ通話シタルモノナル所選舉運動ノ常トシテ是等ノ通話ハ機密ヲ要シ他聞ヲハ、カモノニシテ若シ該機密ノ通話ニシテ反對運動者ノ知ル處トナランカ爲メニ蒙ル處ノ運動上ノ損害實ニ莫大ナルモノアリ然ル處大分郵便局ハ電信電話等公平且ツ敏活ニ運用處理サルルコトヲ目的トナシアルモノナラント思惟シ居リシニ意外ニモ何人ナルカ姓名ハ判明セサルモ告訴人並ニ同僚ノ運動員等カ憲政會大分支部ト箕浦候補事務所並ニ篠崎候補事務所トノ間ニ於ケル相互通話ノ機密ヲ侵シタル不法行為アルモノト思料仕候其故ハ自分ガ本月十一日午後三時頃大分郵便局北側一般加入電話線引出口ト約一尺ヲ隔テタル同場所ヨリ約六七個分ト思シキ電話線ヲ束側ニ向ケ新ニ架設シアルヲ發見セルガ右ハ全ク前掲ノ憲政會大分支部電話三十一番箕浦候補選舉事務所電話二百七十四番同二百二十二番篠崎

候補選舉事務所電話五百三十四番並ニ憲政會派機關新聞タル大分新聞社電話二百三十番トノ間ニ於ケル相互選舉運動上ノ通話ノ機密探知ヲ目的ニ架設シタルモノト認メラレ候而シテ犯人ニ於テハ右秘密侵害ノ設備ヲナシ以テ機密ヲ探知シタルモノニシテ右電信法第三十一條ノ規定ニ該當スル犯罪行為ナリト思料仕候

追テ右新電話線ハ五月十二日朝ニ至リ交換機ヨリ取外レタルモノト思ハレ約二尺計リ弛線致シ居候更ニ同日正午前ニ至リ全部ノ電話線ヲ取除カレタルモ該電話取付ノ場所ト思ハル、同局東側新倉庫二階ニ至ル間ニ釘孔其他ノ形跡ヲ殘シ居ルモノト思料致シ候右及告訴候也

大正九年五月二十二日

右

長野綱良印

大分地方裁判所

檢事局御中

第四 郡長ノ當選妨害宣傳

大分縣第六區憲政會候補者安藤亮ハ鄉黨ノ多年渴望セル區東鐵道會社ヲ整理シ之カ開通完成ヲ圖ルニ熱心努力セル一人ナルカ偶同會社取締役役高木次郎ノ名ヲ以テ本年四月十一日左ノ如キ通知狀ヲ一般株主ニ發セラレタリ

陳者今同東京市麹町區内幸町一丁目五番地ニ國東鐵道整理事務所ヲ設置仕候ニ就キ豫メ得貴意度御報告申上候由來國東鐵道ノ現狀ニ就テハ株主諸氏ニ對シ少カラサル不安ノ念ヲ與ヘ居候處幸ヒニ完全ナル整理方針相立チ昨今東京方面ニ於ケル有力ナル實業家ノ贊同ヲ得殊ニ御縣出身ノ新進實業家ナル安藤亮君ノ熱心ナル援助ヲ受ケ益々小生ト相提携シ關西方面ハ不肖專ラ之ニ當リ東京方面ハ右安藤君ニ一任シ豫定ノ整理方針ニ基キ是非トモ明年大分市ニ開催セラル、共進會迄ニハ一部ノ開通ヲ爲サシメ度目下著々其方針ニテ進行致居候間此儀御含シ置被下度尙早晚一般株主ニ對シ具體的ノ御報告爲シ御協議可仕ハ勿論ニ候得共先ツハ不取敢如斯御座候

其ノ後安藤亮ノ立候補宣言セラル、ヤ區内有志翁然トシテ集リ政府黨ノ元田肇ヲ凌ク勢ヒアリ是ニ於テ官憲等大ニ驚キ東國東郡長宇都宮喜六ハ選舉期日ニ先ツ四日即チ五月六日附ヲ以テ左ノ書面ヲ作製シ同郡内株主ニ配布シタリ

拜啓益々御清通奉賀候扱先月十一日附國東鐵道會社取締役役高木次郎ノ名義ヲ以テ株主ニ發シ候書面ノ儀ニ關シテハ會社側ヨリ株主へ夫々書面差出候起ニ候處過般來郡株主ノ一人タル本職ヨリ高木氏へ照復ヲ重々居候結果尙間調候處トニヨレハ曩ノ高木名義ノ書面ハ高木本人ヨリ發セシモノニ無之認メラレ候條誤解之無様致度此段及御通知候早々

五月六日

宇都宮郡長

宇都宮郡長ノ書面ト同封シタル國東鐵道株式會社ノ書面ハ左ノ如シ

拜啓 愈々御清昌奉賀候扱年唐突客月十一日當會社高木次郎名義ヲ以テ各株主ニ對シ書面差出タル趣ニ候處本件ニ關シテハ地方重役ニハ何等ノ相談ナク當郡ノ大株主タル郡長ニモ更ニ通知無之ニ付直ニ郡長ヨリ書面ノ内容ニ關シ高木重役へ照會相發候處左記ノ通り電報之有候趣ニ候間御參考迄御報申上候條御了知相成度此段得貴意度候 早々

大正九年五月五日

國東鐵道株式會社

附記電報文「安東ヨリ出シタ文書ニハ大變行違ヒアリ、委細使者遣ツタ、立候補イマ元田氏ニ間キ驚ヒタ、少シモ關係ナシ、」

鐵道會社ノ内部ニ如何ナル事アルヤハ之ヲ別問題トナシ、郡有財產ヲ代表スル一株主タル郡長ガ、恰カモ鐵道會社重役ノ總代タル如キ態度ヲ以テ該問題ニ臨ミ、高木ト安藤トノ關係ヲ引離ス事ニ極力熱中シタルハ、畢竟安藤ノ聲望ヲ傷ケンカ爲ナリシヲ想像スルニ餘リアリ

第五 檢事局ヲ利用シタル偽電

大分縣第六區ノ憲政派候補者安藤亮ノ勢力日ヲ追フテ旺盛ナルヤ敵派ノ口ヨリ「安藤ハ五月十日拘引セラレヘシト」ノ謠言ヲ流布スルモノアリ憲政會支部ハ屢々同志ノ警告ニ接シタルモ固ヨリ一笑ニ附シ居タルガ選舉ノ前夜即チ五月九日午後七時コロ西國東郡高田町高田警察署ヨリ同町ノ安藤選舉事務所ナル清風園ニ對シ電話ヲ以テ左ノ如ク通達シタリ

明日大分地方裁判所檢事正ヨリ安藤候補者ニ出頭セヨトノ命令アリタリ云々

高田警察署ハ更ニ同夜十時コロ刑事巡查ヲ安藤事務所ニ派出シテ翌十日檢事局ニ出頭スルヤ否ヤノ請書ヲ差出スヘシト迫リタリ是ニ於テ安藤事務所ヨリハ直チニ憲政會大分支部ニ右ノ顛末ヲ電話シ五月十日午前九時支部幹事長野綱良報知新聞記者御手洗辰雄兩人檢事正ニ面會シテ其ノ實否ヲ照會シタルニ檢事正ハ安藤候補ヲ召喚シタル事實ナシト明言セラレタリ然ルニ高田

警察署ガ檢事局ノ名ヲ以テ安藤候補召喚ノ電話ヲ爲シタル夜即チ九日午後十一時高田電信局ヨリ兩郡四十二箇村ノ元田肇選舉事務所ニ宛テ左ノ如キ電報ヲ發シタルモノアリ

安藤亮昨夜大分地方裁判所檢事局ニ召喚サレタリト確聞スサレト進撃セヨ

此ノ奇怪ナル偽電ハ忽チ各町村ノ投票場入口又ハ公衆ノ見易キ場所ニ特筆大書シテ貼附セラレ電報ノ寫シハ電光石火ノ如ク有權者ニ配布セラレタリ就中東國東郡竹田津町ノ投票所附近ニハ十日ノ拂曉ヨリ縱三尺橫一尺五寸内外ノ唐紙ニ左ノ如ク大書シテ廣告セラレタリ

高田通信

憲政會候補安藤亮昨日檢事局ニ召喚サレタリ

豐州新聞社支局

安藤事務所員ハ之ヲ剽キ取リテ元田選舉事務所ニ居合セタル大坪巡查ニ訴ヘ之カ證明ヲ求メタルニ元田方運動員亮未如是ナルモノ之ヲ奪取シ「電報アリタルニ相違ナキヲ以テ豐州新聞支局主任高盛關三郎ヲシテ廣告セシメタリ」ト言明シタルニ拘ラス巡查ハ斯ル明白ナル當選妨害ノ違反事件ヲ不問ニ附シタリ特ニ奇怪ナル事實ハ西國東郡各町村ノ元田派運動員ハ高田警察署カ安藤候補ニ對シテ「檢事正召喚」ノ電話ヲ通達スルニ先ツ口數時間前ヨリ各有權者ニ對シテ「安藤亮ハ拘引セラレタリ彼ニ投票スルハ無益ナリ云々」ト宣傳シタリ願フニ宇都宮郡長ノ國東鐵道會社株主ニ對スル書面ト云ヒ高田警察署ノ不思議ナル電話ト云ヒ高田郵便局ノ奇怪ナル偽電報ト云ヒ四十二箇町村ニ互ル巧妙ナル宣傳ト云ヒ若クハ又タ五月初頭ヨリ安藤拘引ノ謠言流布ト云ヒ何レモ連絡アルモノ、如ク頗フル巧妙ナル當選妨害策ナリシ事ハ想像スルニ餘リアリ依テ安藤亮ハ斯ク事件ノ顛末ヲ明カニセンガ爲ニ五月十二日大分地方裁判所檢事正ヲ訪問シタルカ男庭檢事正ハ安藤カ任意出頭シタルモノトシテ同人ノ立候補ニ關スル意志ノ決定時期ヲ尋問セラレタリ蓋シ何ノ理由タルヤ知ルニ由ナシ

第六 片手落ノ復權

大分縣大野郡ニ於テハ大正六年四月二十日施行ノ衆議院議員總選舉ノ際選舉法違反トシテ左ノ如ク處罰サレタルモノアリ

政友會派

禁錮四箇月(五年間選舉被選舉權停止)

後藤 肅藏

四二七

太郎ハ最下級ノ三十等ヨリ二十等ニ引上ラレ其他土
方稼キ日傭稼キノ貧民カ十五等ノ税額六十二圓餘ヲ
賦課セラレテ重税ニ泣クモアリ小學教員宇薄伊三次
ハ元ト十五等ナリシカ政友派ノ意ニ逆ラフ事アリテ昨年
三等ニ引上ケラレ本年ハ政友派ノ頭目伊藤清一ノ愛
孫某ノ爲ニ端午ノ祝賀ヲ爲シタル功空シカラス忽チ十
五等ニ輕減セラレタリト同一ノ例ハ小野龜齡ト稱ス
ル老翁ハ多少ノ素養アリト雖モ資産ナク從來二十七等
ノ貧民級ナリシニ大正六年憲政派ヨリ出テ村會議員
ニ當選シタル爲ニ忽チ三等ノ一級民ニ列セラレ遂ニ納
税ノ義務ヲ完フスル能ハスシテ已ヲ得ス政友會ニ降り忽
チ三十等ノ最下級ニ引下ケラレタリ斯ノ如キ横暴惡
辣ナル自治政治ハ天下ニ類例ナシト信セラル、ニ拘ラス
監督官廳ハ政友會ノ爲スカ儘ニ放任シテ顧ミル所ナシ
是ニ於テ彼等ノ横暴愈益甚タシク今回ノ總選舉ニ先
タチ警察官カ有權者ヲ集メテ選舉ニ關スル訓示ヲ爲シ
タル際モ伊藤清一ハ其席上ニ於テ戸數割等級別ヲ云々
シ我意ニ從ハサルモノハ重税ヲ負荷セシメントノ意味ヲ
暗示シタリ今マ參考トシテ左表ヲ掲ク

衆議院
記錄第十九號

參說演問質君吉武三木號第十七號記錄速事

四二七

一五六七

[illegible]

佐賀縣二於ケル干涉

佐賀縣内務部長間野一ハ、曩ニ大分縣警察部長在職中、政友派ト結托シテ縣政ヲ紊亂シ、其ノ統率セル警察界ハ腐敗ノ極達シ、警察瀆職事件ノ大獄ヲ惹起シタル人ナリ、今回佐賀縣ニ於ル選舉干渉モ概ネ其方寸ニ出テタルモノ、如ク、内務部長邸ニハ絶エス政友派ノ參謀等出入シ、同邸ノ電話ハ夜半ニ至ルマテ政友派候補副島義一、田中猪作選舉事務所ノ他トノ間ニ通話ノ聲斷續シタリ

第一 瀆職警部ノ重任

警察ノ干渉最も激甚ナリシハ第五區(東西松浦)唐津警察管内ナリシカ、同署長赤嶺惟ハ昨年間野内務部長ノ大分縣警察部長在職中ノ下部下ニ在リ「警官瀆職

事件ニ連生シテ休職トナリ、衆議院解散ノ後即チ三月一日間野ノ推舉ニ依リテ佐賀縣保安課ニ採用セラレ、四月九日何等ノ過失ナク地方人民ノ信望ヲ有スル唐津警察署長古川義人ノ鹿島ニ左遷シテ其後任トナシ、彼ヲシテ選舉干渉ノ辣腕ヲ揮ハシメタルナリ、其人物ノ如何ハ警官贖職事件ノ被告ノ一人タル貸座敷營業近庄六ノ罪狀(贈賄)第六項ニ左ノ如ク明白タリ

大分警察署長警視小野忠藏カ警部ニシテ別府警察署長タリシ中、大正七年六月中旬某夜忠藏ノ求メニ

依リ、同人並ニ同入カ客トシテ遇スヘク案内シ來レル其當時、竹田警察署長タル警部赤嶺惟ニ對シ、酒食ヲ供シテ饗應シ、且藝妓三名ヲ席ニ出シテ酒興ヲ助ケシメ、惟ニハ特ニ藝妓ヲ充テ之ト同宿泊セシメ因リテ忠誠ノ歡心ヲ買ヒ、同人ヲシテ金二十六圓餘ニ相當ナル利益ヲ享受スルニ至ラシメ云々當時大分縣ノ警察部ハ百鬼夜行ノ伏魔殿ヲリシコト、豫審決定書ニ依リテ暴露サレタルカ、其主人公トリシ間野赤嶺等ノ手ニ依リテ議員選舉ヲ執行ス、不當干涉ノ行ハル、固ヨリ怪シムニ足ラス

第二 道路利用郡書記干涉

第二區佐賀郡ハ憲政會領袖武富時敏ニ對シ、政友派田中猪作ノ競争地ナリシカ、同書記御厨德次郎ハ五月六七八ノ三日ニ互リ同郡南川副村ニ出張シ、村役場ノ樓上ニ宿泊シテ兩派ノ有力者ヲ説キ、名ヲ犬井道路ノ完成一村ノ平和ニ藉リテ投票ヲ分割シ、武富四分田中六分ノ妥協案ヲ作り、有權者ノ自由意思ヲ抑制シテ之ヲ斷行セシムル事ニ努力セリ、蓋シ間野內務部長ノ内命ニ由ルト稱ス、同時ニ佐賀警察署ノ警部補某ハ多數ノ巡查ヲ引率シ來リテ四分六部ノ投票分割ヲ基トスル選舉人名別ヲ受取り、右ノ妥協案即チ選舉法違反ノ申合セニ違背セザラン事ヲ取締リタリ、元來同村ハ憲政會ノ鞏固ナル地盤ニシテ敵派ノ一指タモ染メ難キ所ナリシカ本年二月臨時縣會ノ際、政友會ノ策士等ハ同村ノ犬井道路ヲ縣道ニ編入スル條件ヲ以テ黨勢ヲ擴張シ、議會解散ノ後四月初旬ニ至リ、縣道認定ノ發表セラレタルニ依リ、之ヲ以テ直チニ選舉競争ニ利用シタルナリ、其ノ顛末ハ佐賀市ノ各新聞紙上ニ明記セラレタルモ未ク會テ選舉法違反事件ノ提起サレタルヲ聞カス、却テ郡書記御厨德次郎ハ間モナク縣屬ニ拔擢セラレタリ

第三 巡查ノ歸省運動

佐賀郡出身ノ警官郡吏技手等ニシテ、他郡ニ在勤セルモノハ、歸省休暇ノ名ノ下ニ歸宅シ、政友派田中ノ爲ニ親屬故舊ヲ勸誘セン事ヲ命セラレタリ、即チ唐津署ノ小久、森、野田等モ其命ニ接シタルカ、小久ハ勸誘スヘキ有權者ナシト稱シテ拒絕シタリ

第四 政友派ニ罰則ナシ

第五區政友派ハ徹頭徹尾地方ノ利益問題ヲ以テ有權者ヲ勸誘シ、唐津高等女學校ノ昇格ハ川原茂輔ノ働キナリ、故ニ謝禮トシテ投票スヘシ、唐津入野間ノ切木道路ハ政友派ニ信頼セハ縣道ニ認定サルヘシ、故ニ川原ヲ援助セヨ名護屋道路モ亦然ルヘシ、伊万里ノ築港モ盡力スヘシ、博多ヨリ唐津ヲ經テ伊万里ニ達スル北九

州輕便鐵道ノ速成ヲ希望スルモノハ川原ニ助力カスヘシ、大川村ニ對シテハ國有林ノ地下ケ、耕地整理ヲ爲シ與フヘシト、彼等ハ公開演說ヲ避ケテ懇談會ヲ催フシ、旺ンニ利益問題ヲ餌ニカケタルコト公然ノ事實ナルニ拘ハラス、官憲ハ一切之ヲ放任シタリ、東松浦郡入野村田野尋常小學校ニ對シ、候補川原茂輔カ衆議院解散ノ前日即チ二月二十五日ヲ以テ金五十圓ヲ寄附シタル如キ若シ在野黨ナリセハ必ラス一問題タルヘキナリ、第二區佐賀郡ノ田中猪作派モ亦縣立農學校移轉問題若クハ縣道認定問題タルヲ提唱シテ有權者ヲ勸誘シ、第三區神崎郡ノ木下十四三派ハ三潮村縣道問題ヲ以テ投票ヲ得タリ、而モ司法警察ハ全然是等ヲ放任シタリ、佐賀市ニ於テハ政友派候補副島義一ノ主宰スル佐賀新聞紙上ニ於テ、反對候補福田慶四郎ニ對シ、虛構ノ記事ヲ掲ケテ當選ヲ妨害シ、檢事局ニ告訴スルモノアリテ取調中ナリシカ、大木遠吉司法大臣ニ親任セラレ、ヤ否ヤ不起訴ニ決定シタリ

宮崎縣ニ於ケル干涉

宮崎縣三選舉區ノ内、第一第二兩區ハ政府黨獨占シ、獨リ第三區ハ政友黨兩派ノ激戰ヲ演シタルヲ以テ、官憲ハ全力ヲ注シ集中シ、內務部長警察部長ノ出張各二回、多數ノ應援巡查ヲ放チ、有ラユル手段ヲ以テ憲政派ヲ壓迫セント試ミ、選舉法違反者ノ檢舉セララル、モノ十八件、凡テ憲政派二屬シ、政友派ノ違犯行爲ハ動カスヘカラサル確證アリ、雖モ一切放任セラレタリ、今左ニ干涉壓迫ノ最モ顯著ナルモノヲ列舉ス可シ

第一 故ナク幹部ヲ拘束ス

(一)警察ハ三浦派ノ參謀河野通カ四月十五日執行ノ縣會議員選舉ノ際違犯行爲アリタリト稱シテ、將ニ拘引セント企テタルカ、河野ハ味方ノ氣勢ニ關セン事ヲ恐レテ身ヲ逃レ、遂ニ事ナキヲ得タリ、罰スヘキ罪アラハ速カニ處分スヘキニ拘ハラス、其當時ハ之ヲ棄テ置キ、衆議院議員選舉ニ際シテ處分セントスルハ、謂ユル敵本主義タルヲ知ル可シ

(二)延岡警察署ハ西臼杵郡ニ於ケル三浦派ノ總參謀田尻藤四郎ヲ狙ヒ居タルカ、偶マ延岡選舉本部ノ吉羽會計主任カ檢舉セラレタレハ之ヲ動機トシテ、直チニ田尻ヲ喚問シタリ、然レトモ何等違犯ノ事實ナク無事放還セラレタルカ、政友派ハ之ヲ奇貨トシテ田尻拘引說ヲ流布シ、警察ハ毫モ之ヲ制止セザリシ

(三)舊延岡藩主内藤子爵家ノ工業所役員ニシテ三浦派ノ援助者タル大谷治忠ハ電燈點火ノ利益供與ヲ豫約シタリト跡方モナキ嫌疑ヲ以テ召喚セラレ、徹實取問

ヲ續行シ、翌日正午漸ヤク放還サレタリ、而シテ政友派カ大谷拘引說ヲ流布シ警察之ヲ知ラサル風ヲ裝フコト例ニ依テ例ノ如シ

(四)多數ノ警察官カ變裝シテ各村落ニ入込ミ、辛辣ノ手腕ヲ揮フ由ヲ聞キ、三浦派運動員中野仙平ハ變裝警官ニ尾行シテ其行動ヲ監視中、政友派ノ運動員九名檢舉セラレタリト風説ヲ聽キ、之ヲ他人ニ語リタリト理由ヲ以テ直ニ警察處罰令ニ照サレ五日ノ拘留ニ處セラレタリ、然ルニ政友派ハ前述ノ如ク如何ニ憲政派拘引說ヲ流布スルモ罪ナシ、之ヲ不公平ト云ハスシテ何トカ云ハン

第二 警察ノ勸誘句調

東臼杵郡岩脇村平岩ノ有權者松葉初治ハ四月二十八日違反嫌疑者トシテ細島警察署ニ召喚セラレ、山下警部ノ訊問ヲ受ケタルカ、其ノ問答ハ大要左ノ如シ

問 前ハ政友會ト憲政會ノ是非優劣ヲ知ツテ居ルカ

答 知リマセン

問 誰ニ投票スル積リカ

答 三浦サンニ入レル積リテス

問 夫ハイケナイ、前達ハ農民ヂヤナイカ、憲政會ノ政府ニナレハ米カ下ル、薪炭モ賃銀モ皆下ル、政友會ニ投票スレハ、今迄通り物價ハ高ク景氣ハ良クナル、夫カ前達ノ爲テハイケナイカ

警察官ハ種々ノ口實ヲ設ケテ有權者ヲ召喚シ、訊問スル所ハ概ネ此類ニシテ、同署附ノ木下赤野兩巡查ナルモ岩脇村內ノ有權者ニ對シ、米價ノ騰貴ヲ望マハ政友派ニ投票セヨト説キ廻リタル形跡アリ

第三 何故三浦ニ贊成スル乎

(一)細島警察署長山下警部ハ大羽刑事等ヲ隨ヘ、東臼杵郡西郷村ニ出張シ、土地ノ有志竹本甲斐ヲ喚ビ出シ「三浦ニ贊成スルハ何故カ、他ニ適當ノ候補アルニ非サヤ、金ヲ貰ヒタルヘシ自白セヨ」ト脅威ツ、如何ニ無實ヲ辯明スルトモ許サス一夜留置シテ翌日放免シタリ、之ト同一筆法ヲ以テ三日間ニ互リ有權者ヲ脅威シタル數ハ同村內ノミニテ四十餘名ニ及ヒ、政府黨ニ反對スレハコソスル憂目ニ遭フトノ危虞心ヲ懷カシメタリ

(二)岩切警部ハ東臼杵郡南郷村ノ佐藤竹吉ニ對シ「何故ニ三浦ニ投票スルカ」ト詰問シタリ

(三)東臼杵郡恆富村ノ西田直作ハ道ニ變裝警官ニ要セラレ「三浦ノ運動ヲ爲サハ拘引スヘシ」ト脅迫サレタリ、同村ノ谷口源藏ハ延岡警察ノ重山刑事ヨリ「政友派甲斐ニ投票セヨ」ト勸誘サレタリ

(四)東日杵郡南方村ノ柳田利三郎、甲斐彌三郎、富山嘉十郎ノ三人ハ、投票ノ前夜延岡警察ニ召喚セラレ「三浦派ノ金ヲ貰ヒタルヘシト問ハレ、極力無實ヲ辯明スレハ」然ラハ圖師派(政友非公認)ヨリ貰ヒタルヘシト號シ、故ナク一夜留置シテ憲政派ノ運動ヲ妨害シタル

(五)東日杵郡南郷村ノ黒田政右衛門ハ五月五日村内清水谷部落ニ運動セシ爲ニ警察ニ召喚セラレ、宿泊料其他ノ支掛額ヲ訊問セラレ、一夜留置キ翌日放免サレタリ、而シテ同人及ヒ若至幸太郎ノ家宅ハ搜索サレシカ、何ノ違犯モ出テス畢竟三浦派ニ對スル一種ノ脅威ニ過キス、

第四 比類ナキ警察權濫用

東日杵郡東海村宇鹿狩瀬ニハ、豫テ舊藩主内藤子爵家ニ於テ林道開鑿ノ計畫アリ頃日著手中ナルカ、同部落二十有餘名ノ有權者ハ何レモ警察ニ召喚セラレ、林道開通ノ利益ヲ享クル爲ニ、三浦派ニ賛成シタル嫌疑アリト稱シ甚タシク壓迫ヲ加ヘタリ、又西日杵郡岩井村宇古園ニハ有權者十四名アリ、未タ電燈ノ設備ナキヲ不便トシ内藤子爵家工業部ニ電燈引込メノ交渉ヲ爲サント協議シ居タルヲ、高千穂警察ハ之ヲ以テ選舉ニ利用スルモノト猜疑シ、有權者全部ヲ召喚シテ詰問叱責至ラサルナク、約一晝夜留置シテ其儘放還シタルカ、斯ノ如キ亂暴ナル警察政治ハ世界何レノ文明國ニ於テモ見ル能ハサル可シ、然レトモ同警察ハ有權者ヲ虐待シテ「政府ニ反對スレハ斯ノ如キ禍害アリ」トノ實證ヲ示シタルカ爲ニ、同村六十名ノ有權者中三割以上ノ棄權者ヲ出ス事ヲ得タリ、

第五 三浦派ニ對スル脅迫電報

三浦派ノ有力ナル參謀矢野力治ニ宛テ左ノ電報ヲ發シタルモノナリ

貴下ノ身ノ上危シ、逃ケヨ

坪谷郵便局長那須九市ニ宛テ、ハ

免職ノ覺悟テ、三浦ヲ援ケヨ、今ニ縛サレシ

右ハ反對派ノ脅迫ナルコト論ヲ待タス、而シテ少シク搜索セハ發信人ヲ發見スルコト左マテ困難ナル事件ニ非サルモ、官憲ハ訴ヘテ聞キテ更ニ搜索シタルトモ見ヘス、政府反對黨ハ法律ノ保護サヘ受ル能ハサルノ憾ミナキヲ得ス

島根縣ニ於ル大干渉

島根縣ニ於ケル不當干渉ハ局部的ナリシト雖モ、其ノ第五區憲政派候補係孫一ヲ落選セシメンカ爲ニ採リタル官憲ノ干渉手段ハ、到ラサル所ナク、盡サ、ル事ナク、警察官全部カ政友派ノ運動員トナリ、憲政派ヲ敵ト呼ビ、政

友派ヲ味方ト稱シテ毫モ憚カル所ナク、鹿足郡津和野警察署員ノ如キ、五月十五日偵派運動員青木音吉ニ對シ「選舉後ハ御互ニ敵味方ノ感情ヲ棄テ親密ニスヘシト語り、同郡木部村駐在巡查高橋鶴次ノ如キ盛ニ敵味方ノ言葉ヲ用セリ、以テ彼等ノ心情ヲ察スルニ足ル可シ、今其一般ニ實行サレタル惡辣手段ヲ概記スレハ左ノ如シ、

一、選舉期切迫スルニ隨ヒ、憲政派運動員ニハ、必ラス尾行巡查ヲ附シ、或ハ其留守宅ニ巡查出張シテ家族ヲ恐怖セシメ或ハ公然運動員同行シテ有權者勸誘ノ妨害ヲ爲シ、其ノ選舉事務所ニハ數名ノ立番ヲ附シテ行動ヲ監視セシメ、運動員及ヒ有權者ヲ恐怖セシメタル事

一、廣ク各町村有權者ニ就テ「何人ニ投票スル乎ヲ訊問シ、其ノ形勢ヲ政府黨ニ通知シ、運動上ノ便利ヲ與ヘタル事

一、投票期日一兩日前ヨリ、巡查ハ政友會運動員ト共ニ有權者ヲ訪問シ、政友會ニ賛成スルハ御上ノ命令ナリ、若シ違フ事アレハ他日警察ニ於テ考アリ」ト威嚇シタル事

一、憲政派運動員ニ對シ「汝ハ候補者ヨリ金錢ヲ受ケ、響應ニ與カリタル嫌疑アリ告發スヘシト威嚇シ、運動ヲ中止セシメタル事

一、選舉ノ決勝點ト稱スヘキ五月八九日頃、何等ノ嫌疑ナク何等ノ理由ナキニ拘ラス、多數ノ憲政派運動員ヲ警察ニ召喚シ、數時間留置シテ運動ヲ妨害シタル事

以上ハ競争地一般ニ適用サレタル干渉方略ナルカ、猶ホ特別ノ方略、特ニ惡辣ナル干渉ニ關シテハ項ヲ追フテ順序列舉ス可シ

第一 政府黨援助ノ命令

島根縣知事財部時秀ハ、五月六日部下ノ官吏ニ對シテ左ノ通牒ヲ發シタル

本月十日行ハルヘキ衆議院議員選舉ハ、極メテ重大ナル意義ヲ有スルニ付別紙解散理由ヲ部下ニ徹底セシメ、進テ選舉權ヲ行使セシムヘク、特ニ内務次官ヨリ通牒ノ次第モ有之候條、部下有權者ニ對シ、遺策ナキ様處置相成度此段及通牒候也

五月六日 島根縣知事 財部 時秀

原總理カ普選論ハ社會階級ノ打破ナリ、國家ノ基礎ヲ危フクスル危險思想ナリト斷シタル解散理由ヲ部下ニ徹底セシメヨ、有權者ニ對シテ遺策ナキ様處置セヨ、トノ命令ハ穩カナル文字ヲ以テ強キ干渉ノ意味ヲ包ミタルコト

如何ニ神經遲鈍ノモノト雖モ看取セサルモノナカルヘシ

第二 知事ノ巡視ト道路利用

係孫一ト島田俊雄ノ競争正ニ關ナルノ時、縣知事財部時秀ハ名ヲ農林學校敷地見分ニ藉リテ、係派ノ優勢ト聞ヘタル那賀郡益田町ニ出張シ、四月二十八日同二十九日二日間同町ニ滞在シ、學校敷地ニ何等關係ナキ同郡三隅村長、西隅村長並ニ美濃郡二川村長等ヲ招致シタル、蓋シ是等ノ各村ハ三隅村ヨリ二川ヲ經テ美濃郡道川ニ至ル道路ヲ縣道ニ編入セラレン事ヲ希望スル地方ナリ、三村長ノ陳情ヲ推シテ知ルヘク、知事カ選舉競争中特ニ彼等ヲ引見シタル事情モ多言スル要ナシ、兩者ノ談ハ自然選舉ノ事ニ及ヒ、知事ノ聲トシテ、那賀郡ハ島田ノ勢力不振ナリ、一層ノ努力ヲ要ス」トノ意味モ聽取サレタリト稱ス

那賀郡波佐村及ヒ都川村ノ有權者等多數政友會ニ引入ラレタルモ亦縣道編入ノ希望アルニ乘シ、縣參事會員田中勝總等ノ斡旋ニ係リ、同郡大森村ハ鐵道停車場設置ヲ餌トナシテ岩田藤吾ナルモノ主トシテ勸誘ノ任ニ當リタリ

第三 山口警察部長ノ應援

警察部長山口織之進ハ投票期日前三日即チ五月七日ヲ以テ保安課長ヲ引率シテ那賀郡益田町ニ出張シ、保安課長ハ同夜十時頃憲政派ノ選舉事務所ニ臨檢シテ帳簿ヲ檢閲シタル、山口部長ハ同夜西尾郡長ヲ旅館ニ招キ、何事カ密カニ談スル所アリ、同郡ニ書記ノ選舉權アルモノ政友派ニ投票スルヲ餘儀ナクセラレタリ、山口部長ハ第五區内ノ警察署長ニ對シ「島田俊雄ハ政友會幹部ノ一人ナレハ落選セシム可ラス」ト内命シタル事、益田警察署長カ係派ノ梅尾某ニ語リタル所ナリ、

第四 上長官ノ命令

島根縣理事官東ハ其事務室ニ部下ヲ招キ、今回ノ選舉ハ現政府擁護ノ爲ニ政友派ニ投セヨト語り、命令ハ忽チ廳内全般ノ有權者ニ傳達セラレ、警察部員ノ如キハ自己ノ投票ノミナラス、他ニ向テ運動セヨト命セラレ、中ニハ不當ノ命令ニ憤慨シテ、官吏生活ノ臍ヲ斐ナキヲ嘆シタルモノアリ、然レトモ命令ニ背ケハ心ス崇アリ、縣廳ノ御用商人、警察ノ取締ヲ受クル宿屋料理屋等ノ如キ、何レモ其ノ餘波ヲ蒙ラサルハナシ、而シテ松江稅務署同郵便局等ノ有權者ハ何レモ長官ニ引率セラレテ投票所ニ赴キタルハ抑モ何事ヲ語ル乎

第五 憤慨辭職シタル巡查

那賀郡雲城村駐在巡查河田繁ハ、憲政派ニ屬スル同村長山東吉三郎ト昵懇ナル故ヲ以テ、伊南村ニ轉勤ヲ

命セラレタリ、然ルニ伊南ノ村長岡本俊人モ亦憲政派ニシテ而モ河田巡査ノ知人ナル旨ヲ聞キ、署長ハ更ニ辭令ヲ變更シテ井野村駐在ニ轉勤ヲ命ジテ選舉ニ干渉セシメントセリ、是ニ於テ河田巡査ハ大キニ憤慨シテ辭職ヲ願ヒ出テタリ

第六 甲ニハ許シ乙ニハ禁ス

那賀郡江津町地方ノ政友派ハ島田俊雄推薦ノ連名帳ヲ作り各有權者ノ記名調印ヲ求メタリシカ、同地警察分署長ノ選舉ニ關スル訓示會ニ際シ、憲政派中ヨリ右ハ推薦豫約ノ如ク誤解スル有權者アリ、禁止スルカ當然ナラスヤト質問シタルニ、分署長ハ何等差支ナシト即答シタリ、因テ憲政派ニ於テモ同様ノ連名推薦狀ヲ作製シ賛成者ノ調印ヲ求メタリシニ、分署長ハ忽チ之ヲ差止メ、其後熟考セシカ連名帳ハ穩當ニ非ス故ニ自今禁止ス、ト口述セリ、島田推薦ナラハ何等差支ナク、依推薦ハ穩當ナラスト爲ス、是レ法ヲ弄フモノト謂フ可シ

依派ニ對シテハ有權者三十名ニ對シ、運動員一名ヲ超ユヘカラスト嚴命シ、偶マ那賀郡周布村ノ依派運動員カ制限數ヲ超ヘタリトシテ、濱田警察ノ渡邊警部ハ五月三日特ニ出張シテ制限外ノ運動員ヲ中止セシメタリ、然ルニ鹿足郡六日市村ノ島田派カ百八十人ノ有權者中三十人ヲ以テ運動員トナシ、制限數ヲ超過スル餘リニ甚タシキヲ以テ、依派ヨリ警察ニ警告スレハ、運動員ノ制限ハ單ニ注意事項ニ止マリ、假令注意ヲ用ヒサルモ如何トモ爲シ難シトシテ、其儘放任シタリ、事小アリト雖モ警察カ政友派ヲ味方ト稱シ、憲政派ヲ敵ト呼フ決シテ偶然ニ非サルヲ知ル可シ

第七 非常識ナル壓迫三則

第一 憲政派係孫一ノ名刺ニ投票用紙ニハ係孫一ト記載ヲ願ヒマス、外ノ文字ヲ書クト無効テス、ト附記シタル所口、江津警察分署ハ該名刺ノ配布ヲ差止メ、
「外ノ文字」トハ島田俊雄ト解セラレ、島田ニ投票スレハ無効ナリトノ意味ヲ含ミ、穩當ナラスト口達セリ、干渉モ茲ニ到レハ滑稽ノ妙ヲ極メ、聞ク者ヲシテ思ハス噴飯セシム

第二 津和野警察署ハ四月二十八日津和野町ノ依派選舉事務所ニ對シ、憲政會本部ヨリ公ケニシタル「比類ナキ惡政府」政友會ノ變節改論ト題スル二種ノ印刷物ハ不穩當ノ文字アルニ付キ、公衆ニ配布ス可ラスト差止メタリ、日本全國ニ配布セラレテ、何人モ咎ムルモノナク、而モ衆議院ノ公文ヲ拔萃シタル印刷物ニ故障ヲ挿ムカ如キハ、常識ヲ以テ判スヘカラス、
第三 津和野警察署ハ五月一日津和野町ニ於ケル若

觀禮次郎政談演說會ノ廣告ビラハ規定ノ寸法ニ適セサルヲ以テ直チニ取替フヘシト嚴達シタリ、主催者ハ演說ノ廣告ニ規定ナシトシテ之ヲ拒絕スレハ、警察ハ島根縣ノ規則ニ依リ廣告ノ許可ヲ受クヘシト命シタリ、而シテ該規則トハ風俗公安ヲ害スル虞アル廣告ノ取締ニ過キス、顯フニ演說會ノ廣告ニ對シテマテ干渉シタル例ハ恐ラク全國ニ比類ナカルヘシ

第八 奇怪ナル訓示四則

第一 美濃郡益田警察署長ハ、署長ニ對シ、有權者ト差向ヒニテ、何人ニ投票スルカ其意思ヲ問ヒ假令強要ノ程度ニ至ルモ、證人ナケレハ犯罪立證ノ手段ナシト語リタル由

第二 津和野警察署長ハ四月二十五日鹿足郡日原村ノ有權者ヲ集メテ、選舉注意ヲ訓示ノ際ニ運動者ノ情實ニ迷フ可カラスト論シテ同村ニ於ル依派運動員ノ職業別ヲ並ヘ、此種ノ營業柄ノ緣故ニ引カル、事アルヘカラスト警告シタリ

第三 鹿足郡長和久利善三郎ハ五月四五日同郡日原須川青原諸村ノ選舉心得訓示會ニ臨ミ、普通選舉ハ危險思想ナリ賛成ス可カラスト演述シ、且ツ配下ノ屬官ニ對シテハ、文書ヲ以テ普通選舉論者ニ投票ス可カラスト内命シタリ

第四 第二區ナル義郡長モ亦各町村ノ有權者ヲ集メテ解散理由ヲ説明シ且ツ「普通選舉ハ社會階級ノ打破ナリ、國家ノ基礎ヲ危フスル危險思想ナリ」ト演說シ政友會候補ノ爲ニ應援シタリ

第九 選舉訓示ト應援演說

那賀郡波佐、久佐、雲城、美又、今市、和田、都川、本田ノ各村ニ於テ、選舉心得ニ關スル訓示會ノ日制定マルヤ政友會候補島田俊雄ノ政見發表會モ亦之レト同一ノ日割ヲ定メ、警察側ヨリ選舉心得ノ訓示終ルヤ否ヤ、其席サハ改メス、直ニ島田候補登壇シテ政見ヲ發表シタリ、兩者ノ聯絡如何ニ密接ナルカヲ知ルヘシ、特ニ四月二十八日同郡美又村宇迫原ニ於ル警察訓示會ニ於テハ島田派根孫六ナルモノ起テ上リ「選舉ノ後ニハ屹度御禮スル故島田ニ投票セヨ」ニ云ト公言シ、臨席ノ佐々木巡査部長ハ開カサル風ヲ裝ヒ居タリ

第十 巡査ノ投票勸誘實例

警察官カ政友派運動員ト同行シ、或ハ單獨ニテ同派ノ爲ニ有權者ヲ勸誘シ、政友派事務所ニ於テ飲食シタル等ノ實例ハ、競争地到ル所ニ實證多シ、今其ノ顯著ナルモノヲ列舉セン

第一例 那賀郡長濱村駐在巡査松島某ハ毎夜有權者ヲ訪問シテ、島田俊雄ニ投票セヨト勸誘シ、中ニモ和島太郎ニ對シテハ「汝ハ三字名(係孫一)ヲ書クカ、四字名(島田俊雄)ヲ書クカト質問シ、明答ヲ與ヘサルヨリ、屹度四字名ヲ書ク可シト云渡シ、小川親吉同倉次郎ノ親子兩人ニ對シテハ、一票宛兩候補ニ分與スルハ無益ナリ、一票トモ島田俊雄ニ投セヨト戒シメタリ

第二例 五月八日那賀郡美又村宇迫原ニ出張中ノ警部高濱謙之助ハ、岩本種市ニ對シ島田俊雄ノ運動ヲ依頼シ、有權者カ意志ヲ明カニ示サ、ル間ハ其席ヲ離レス強請スヘシト教ヘタルカ、岩本種市ハ「左様ノ事ハ違犯ニ非スヤ、今市村巡査部長ノ警告中ニ在リタリ」ト答ヘシニ、高濱警部ハ「否ナ夫ハ巡査部長ノ誤解ナリ、若シ咎メラレタル際ハ高濱カ申セリト答ヘヨ」ト言放テリ

第三例 濱田警察ノ山本刑事ハ五月八日頃同町藤井安平方ノ店員戸津川ヲ通シテ政友派ニ賛成セン事ヲ求メタリ

第四例 鹿足郡細ヶ廻村駐在巡査大間輝雄ハ村内有權者三浦寅藏、岩本勝太郎等ニ對シ、島田俊雄ニ投票セン事ヲ依頼シ且ツ依派ノ動靜ヲ内報セン事ヲ求メタリ、三浦寅藏ノ兄阪口菊松ハ桑村刑事、橋本巡査部長ヨリ何故ニ依派ヲ援助スルカト詰問サレタリ

第五例 津和野警察詰山口巡査部長ハ五月九日同町宇下市ノ馬車營業藤村鹿太郎方ニ至リ、親子三票トモ島田俊雄ニ投票セヨト勸誘セリ、鹿太郎ハ商賣柄後難ヲ恐レテ表面服從ノ意ヲ示シタリ

第六例 津和野署長ハ部下ニ對シ「將來ハ駐在地ヲ變更スヘキニ付遠慮ナク大ニ努力スヘシ」ト口達シタル由

第七例 那賀郡中西村駐在巡査ハ受持管内ノ各有權者ニ對シ政友派ニ投票セン事ヲ勸誘シタリ

第八例 那賀郡岡見村ニテハ五月八日政友派ノ齋藤德太郎細川竹次兩人連レ立チ細川鶴次初メ多數ノ有權者ヲ訪ヒ、我々ハ警察ヨリ頼マレタリト稱シテ島田推薦狀ニ記名捺印ヲ強ヒタリ、因テ依派事務所員ハ三隅町巡査部長派出所ニ至リ、右ノ事實取調方ヲ申出テシニ當時出張中ナリシ警部渡邊辨吉ハ「取調ルト否トハ當方ノ權限ナリ」ト劍ネ付タリ、同村渡邊榮之助モ亦一冊ノ帳簿ニ大山寅次渡邊直吉等ノ記名調印ヲ求メ「此書面ハ警察ニ差出スモノニ付キ嘘ヲ云ヘハ後害アリ」ト公言シタリ、又タ齋藤治太郎

ナルモノハ同様ノ手段ヲ以テ同村床並部落ヲ纏メタリ、何レモ巡査大谷ノ命ニ出テタリト稱ス

第九例 那賀郡石見村宇河内ニテハ警官毎戸ヲ歴訪シ、島田ハ農家ナリ俵ハ然ラス農民ハ島田ニ投票セヨト説廻レリ

第十 警察ノ反對派妨害

警察ハ一面政友派ノ運動ヲ補助シ、他面ニハ憲政派ノ運動ヲ極力妨害シタリ、其ノ例證ノ顯著ナルモノ數項ヲ左ニ掲ク

第一例 鹿足郡木部村ニ於テ四月二十四日憲政派運動員青木音助、領家寅市ノ兩人戸別訪問ヲナシタル際同村駐在高橋巡査、太田署ノ應援堀田巡査カ絶エス尾行シテ有權者ニ不快ノ感ヲ與フルヨリ、有權者右田常吉方ニ至リシ時、青木ハ巡査高橋ニ向ヒ「貴官ハ何故斯ク我々ニ尾行シ行動ノ自由ヲ害スルヤ」ト詰レハ巡査ハ「上官ノ命令ナレハ致方ナシ」高橋「然ラハ干涉セヨトノ命令カ」巡査「否ナ干涉ニ非ス極端ニ取締ヲ爲セヨトノ命令ナリ」云々

第二例 五月八日鹿足郡青原村ニ於テ憲政派ノ増野盛雄、岡村豐兩人、戸別訪問ヲ爲シタル際、笹谷駐在大谷巡査、日原駐在岡省三ノ兩人午後二時頃ヨリ七時過ルマテ絶ヘス尾行シ、有權者ノ家ニ入りテ談話スレハ、巡査モ亦タ其傍ラニ腰掛ケ、勸誘ノ妨害ヲ爲スコト餘リニ甚タシキヲ以テ岡村ハ巡査ニ向ヒ穩カニ「斯ク尾行セラレテハ有權者カ恐レヲ爲スニ付、小生等ノ訪問前又ハ後ニ有權者ト接見セラレ度」ト懇談セシニ「上官ノ命令ユヘ如何トモ仕難シ」ト答ヘタリ

第三例 濱田警察ノ原田巡査部長ハ五月九日那賀郡杵束村ノ飲食店平田繁太ヲ何ノ理由ナク駐在所ニ呼出シ、酒類販賣ヲ禁シタリ、同人ハ俵派ノ運動者ナルカ故ニ警察ノ怒ニ觸レタル次第ナルカ、斯ノ如キハ實ニ野蠻ノ暴政ト評スル外ナシ

第四例 五月一日那賀郡周布村ノ區長憲政派佐々木平太郎カ同村駐在所前ヲ通過スルヤ、巡査ニ呼ヒ留メラレ、何心ナク駐在所ニ入レハ、出張中ノ大森警察署長渡邊辨吉ハ諄々トシテ選舉運動ヲ中止スヘキ旨ヲ諭シ、遂ニ一旦承諾シタル運動ヲ謝絶スルヲ餘儀ナクサレタリ

第五例 那賀郡岡見村ニ於テハ五月五日俵孫一ノ政見發表アリ六日各有權者ノ推薦承諾ヲ確カメ翌七日連名調印ヲ採ル運ヒトナルヤ警察ト政友派ハ大ニ公憤シ、八日俵派ノ運動幹部タル三浦織一、川上源吉、右藤吉太外一名ヲ駐在所ニ召喚シ、數日前各自

分擔シテ飲食シタル事件ヲ取調ヘ、數時間拘束シ置キテ其間ニ俵派推薦者ノ切崩シ運動ヲ爲シタリ

第六例 大森警察署長渡邊辨吉ハ五月八日三隅派出所ニ出張シ、三保村ノ俵派運動員井上莊二郎ヲ召喚シ、長時間ニ亙リテ運動心得ヲ訓示シ、以テ其行動ヲ妨害セントセリ、四月二十九日ニ届出タル運動員ニ對シ、投票前二日ノ最も大切ナル時機ヲ擇ミテ召喚訓示スルハ運動妨害ノ目的ニ外ナラス

第七例 那賀郡西隅村駐在巡査秋枝某ハ同村ノ俵派三浦新太郎太平竹次兩人ヲ説伏シテ運動ヲ中止セシメタリ

第八例 那賀郡岡見村駐在大谷巡査ハ同村寺戸磯五郎カ陸軍ノ恩給ヲ受ケナカラ選舉運動ヲ爲スハ不都合ナリト勸告シ、同シ恩給ヲ受ケル渡邊榮之助ニ對シテハ、盛シニ政友派ノ爲ニ運動スルヲ援助シタリ

第九例 美濃郡美濃村ノ中島幸兵衛ハ某巡査部長ノ爲ニ、俵派ヨリ運動費ヲ貰ヒ、酒食ヲ供セラレタル嫌疑アリト頻リニ威嚇サレタリ

第十例 那賀郡大森村駐在會田巡査ハ各有權者ノ意志ヲ尋問シ、五月八日夜ハ俵派運動員齋藤逸司方ニ赴キ、何人カ同家ニ宿泊シ居ルヘシト種々ノ威壓ヲ加ヘ翌九日同人カ駐在所ニ赴キタル際「汝ハ俵孫一ノ當選疑ヒナシト稱シテ有權者ヲ説クハ選舉法違反ナリ」ト威嚇シタリ

第十一例 那賀郡大内村及ヒ附近村落ニテハ、五月八日夜ヨリ九日ニ亙リ、憲政派ノ運動員、何ノ理由ナク巡査駐在所ニ召喚セラレ、運動中止ノ間隙ニ乘シテ、政友派ヲシテ活動セシメタリ

第十二例 那賀郡波佐村ノ摩按業谷七太ハ俵派ノ運動ヲ止メサレハ汝ノ營業ヲ停止スヘシト警察官ニ威嚇サレタリ

第十三例 那賀郡三隅町巡査部長派出所ハ五月八日俵派ノ運動員四名ヲ召喚シ、長時間ニ亙リテ何等根據ナキ事ヲ尋問シ、運動ヲ妨害シタリ

第十四例 那賀郡今市村ノ俵派運動員岩田要吉ハ五月八日人夫ヲ雇フテ俵孫一ノ名刺ヲ一部ノ有權者ニ配布セントセシニ、同村出張ノ警部高濱鎮之助ハ「候補者ノ名刺ヲ配布スレハ人夫ト雖モ運動員ナリ、運動員ハ警察ニ届出ヲ要ス」ト稱シテ、遂ニ人夫ノ名刺配リヲ抑制シタリ

井カ其住宅ヲ在野黨ニ貸與シタル不都合ヲ鳴シ、建設事務所ハ平井ニ對シテ注意スル所アリタリ

第十六例 第二區八東郡伊能村駐在巡査來問鶴之助ハ五月九日投票ノ前夜十一時頃憲政派ノ運動主任多和權市ヲ政友派河瀬嘉一郎方ニ呼出シ、其處ニ待受タル松江警察ノ刑事ト共ニ一里餘ヲ距タル美野巡査駐在所ニ同行シ、一時間餘ハ空シク控ヘサセ四十分間ハ「野津ノ爲ニ勸誘スル辭句ハ如何」「金錢物品ヲ授受シタル事ナキヤ」杯、何ノ理由モナキ尋問ヲ爲シ、歸宅ヲ許シタリ、畢竟選舉界ニ於テ一刻千金ト稱スル三四時間ヲ空費セシメン爲ノ偽計ナリシナリ、而シテ政友派ハ野津派ノ幹部拘引サレタリ、同派ニ與スルモノハ皆此ノ危險アリト宣傳スルコト各地同一ノ筆法ナリ

第十七例 松江市宇石橋ノ憲政派有志等ハ、數年前ヨリ購買組合ヲ組織シ居タルカ、五月初メニ至リ警察ハ同組合ノ會計ニ不正ノ嫌疑アリト稱シテ、片岡儀助、吉岡覺太郎櫻井佐七等數名ノ幹部ヲ拘引シ、數日間選舉運動ヲ妨害シタリ

第十八例 第二區能義郡廣瀬村廣瀬警察分署角田巡査ハ、五月八日午前九時頃憲政派運動員近藤祐三郎ノ通行中ヲ呼ヒ留メ、往來ニテ身體檢査ヲ爲シタルカ、所持ノ金員少額ナリシ故ニ其儘放還シタリ

第十一 巡査ノ暴行三件

第一 那賀郡石見村宇津淺井梨田惣太ハ五月二日午後一時頃耕作地ニ出テ、働キ居ル所ニ、濱田警察署ノ巡査藤山保一來リテ同署ニ伴ヒ刑事室ニ於テ「汝ハ俵派ノ爲ニ扇某ニ金一圓ヲ與ヘシナラン扇ハ既ニ自白シタリ、其他上野新吉、淺附要八、佐々木益一等ヲモ買収シタル嫌疑アリ」ト訊問シ、惣太ハ全然無根ノ事ナリト否認スルヤ巡査藤山ハ手ヲ以テ惣太ノ面部ヲ亂打スルコト五六回、居合セタル姓名不詳ノ巡査ハ扇子ヲ以テ頭部ヲ打ツコト十五六回惣太ハ非常ノ痛苦ヲ忍ビツ、訊問ニ答ヘ、同夜ハ其儘留置セラレ翌日午後五時頃漸ヤク歸宅ヲ許サレタルカ、何等ノ罪科ナキモノニ對シ、斯ノ如キ暴行虐待ヲ加フルハ、文明國ニ有ルマシキ事ナレハ被害者ハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘテ告訴シタリ

第二 那賀郡石見村ノ樋野新吉モ亦五月二日午前十一時頃山林ニ出テ、作業中濱田警察署ノ巡査藤山保一ニ連レ行カレ、刑事室ニ於テ「俵派運動員ヨリ金ヲ貰ヒタル覺アラン白狀セヨ」ト責ラレ、斷シテ左様ノ事ナシト云ヘハ散々面部ヲ毆打セラレ、夜九時ニ至ルモ、午ハ勿論晩ノ食事サヘ與ヘス、辨當ヲ依頼スレ

ハ所持金ノ有無ヲ問ヒ、不幸持合セナカリシ爲ニ、絶食ノ儘同夜留置セラレ、翌三日午前九時頃知人小松某來リテ漸ヤ食物ヲ與ヘ同日午後四時頃歸宅ヲ許サレタリ、依テ新吉ハ同六日口頭ヲ以テ濱田區裁判所ニ暴行巡査藤山ヲ告訴シタリ

第三 那賀郡濱田町宇京町ノ土井長一ハ五月九日夜十時頃頼母子講ノ掛金ヲ集メテ歸ル途中、地獄谷ニ於テ和服巡査ニ呼ビ留ラレ、何ノ用件ニテ何處ニ行キヤト問ハレ、有ノ儘答ヘシニ巡査ハ「嘘ヲ云フカ」ト一喝シテ長一ヲ投倒シ、左頰部ニ負傷セシメ、財布、金、風呂敷等モ暗箱中ノ泥路ニ飛散シタリ、長一ハ其儘逃ケ歸リ、同夜十一時頃濱田警察署長青山ニ事ノ次第ヲ訴ヘ置キタルカ、翌日正午頃同署ノ野津刑事巡査來リテ慰メ、財布風呂敷等ハ飲食店大場方ニ在リ酌酌ノ餘リ置忘レタルナラント語り居タリ

第十二 警察ハ政友派ノ味方

第一 益田警察署長鎌田堅市ハ四月十二日ノ夜美濃郡豐田村ニ於テ政友派演說會ニ臨臨シ、其ノ歸途政友派候補島田俊雄ノ自用自働車ニ巡査部長等ト同乗シテ、歸署シタリ俵派ハ之ヲ檢事局ニ告訴シタルカ、遂ニ不起訴トナレリ

第二 美濃郡益田町ノ政友派渡邊稻之助ハ豐川村原田吉左衛門方ヘ金一圓ヲ持參シ、投票買収ヲ爲サントシ、原田ノ拒絕スルニ拘ラス、強テ差置キタルヲ以テ、五月一日益田警察署ニ事實行申告シタル所、鎌田署長ハ「渡邊ヨリ聞ケハ君ニ運動ヲ依頼シタル由、運動費トシテ取置クハ差支ナシ」トシテ、其儘放任シタリ

第三 美濃郡高津村ニ於テ、四月二十四日政友派政談演說ノ際、同村大谷茂ハ「我カ高津ハ國有林ノ拂下、停車場ノ設置ニ付、島田俊雄ノ援助ヲ受クル事多シ、故ニ投票セヨ」ト利益ヲ以テ誘フコト如何ニ露骨ナルモ、警察ハ之ヲ放任シタリ

第四 松江市ノ憲政派事務所ハ警察ノ取締ヲ受ケルコト嚴重ニシテ、投票前日ノ如キ、警部自カラ臨檢スルコト三回、之ニ反シテ政友派ハ初ヨリ公然事務所ヲ設置スルコト少ク、内密ニ料理店ノ裏座敷ナル休憩所ヲ設ケ運動者有權者等ニ酒食ヲ供スルモ、警察ハ全然不問ニ附シタリ

第十三 電報延著八日間

美濃郡横田郵便局ハ四月二十二日東京發ニ係ル憲政會加藤總裁ノ俵候補推薦電報ヲ配達セサルコト數日、受信人ヨリ督促セラレテ四月三十日漸ヤ配達シタリ

第十四 頼ムハ司法權
以上述フルカ如キ無警察ノ狀況ヲ現出シタル際、良民ノ信賴スル所ハ唯一ノ司法權アル而已、而モ檢事ノ手足トナルヘキ警察ノ純然タル政黨ノ機械トナリ果タル際ハ、檢事モ亦タ遂ニ活動スル能ハサル爲ニヤ、憲政派側ヨリ告發シタル幾多ノ事件ハ選舉終了マテ檢舉セラレタル事實ナシ、就中那賀郡濱田町ニ於テハ四月三十日頃政友派有力ナル運動員ノ買収手帳ヲ拾得シタルモノアリ、買収ノ金額六百九十餘圓ニ及ヒ、其範圍大ナリシト雖モ夫サヘ選舉前ニ處罰スル能ハス、獨リ憲政派ノ警察官ノ欲スルマ、ニ壓倒蹂躪セラレタルコト、聖代ノ一大恨事ナリ

千英縣ニ於ケル大怪事
選舉取締トハ在野黨ニ對スル壓迫干涉ノ意義ニシテ、政府黨ニ對シテハ選舉法ノ罰則モ凡テ空文徒法タリシコト全國一様ナリシカ、就中露骨ニ之ヲ實現シタルハ千葉縣第九區(安房郡)ニ於ケル政友派竹澤太一ト憲政派小林勝民トノ競争是ナリ、其一端ハ五月八日告發人駒井清太郎ヨリ被告告發人竹澤太一ニ係ル選舉法違反事件ノ告發狀ニ依リテ明白ナリ、其要ニ曰ク
安房郡ヨリ立候補セル政友派竹澤太一ハ、與黨ノ利劍ヲ亂用シ、盛ニ買収シ努メテアリ、其實例ヲ一
二掲出シテ貴官ノ公明ナル御處置ヲ仰ク
一、竹澤太一ハ去五月三日北條町八幡方面ヲ縣會議員辰野安五郎ト共ニ戶別訪問ヲ爲セル際、恰度同町八幡神宮ニ區内ノ人々集マリ居タルヲ幸ヒニ區長杉田壹次郎ニ對シ、竹澤太一自身懷中ヨリ十圓紙幣ト自己ノ名刺數枚ヲ出シ、金十圓ハ神社ニ寄附シタリ辰野氏ト共ニ差出セルカ、杉田ハ絕對ニ之ヲ拒絕シタリ、然ルニ彼等二名ハ此ノ場ヲ去ルニ當ツテ、何分今同回ハ宜シク御頼ミシマスと云殘シ立去レリ

二、大山村々長宮崎德藏ハ、竹澤派ノ運動員ニシテ、過日村內組長及區長ヲ自宅ニ招集シ、今回選舉ニ際シ、竹澤氏ヨリ公共事業費トシテ金五百圓ヲ自分ニ渡セルヲ以テ、何分今同回ハ御盡力ヲ願フ、但シ受取リシ金圓ハ選舉後迄自分保管シ置クヘシト依頼セル事實アリ、此事實ハ同村區長等ノ周知スル所ナリ云々

右ノ事件ハ告發人ヨリ豫メ司法警察官ニ密告シ、同地方ノ新聞紙亦之ヲ明記シタルニ拘ハラズ、官憲ハ速カニ適法ノ處置ヲ爲サズ、枉再數日ヲ經過シテ證據湮滅ノ機會ヲ與ヘ、五月十五日形式ニ被告告發人等ヲ喚問シテ空シク不起訴トナリタリ、若シ逆サマニ在野黨候補ニシテ前掲ノ如キ行動アラシク、忽チ大獄ヲ惹起シタルハ云フ迄モナカル可シ
政友派力鐵道敷設ヲ條件トシテ黨爭ノ具ニ供シタルハ、一昨年來ノ事ナルカ、今回ノ選舉ニハ盛ニ此利益問題ヲ以テ有權者ヲ誘誘シタリ、而シテ在野黨ニ對シテハ毫末モ寬假セサル官憲カ、政友派ノ是等ノ行動ニ關シテハ一切放任シタリ

秋田縣ニ於ケル干涉
第一 秋田縣第二區(南秋田郡)憲政派候補村山喜一郎ニ對スル警察ノ干涉ハ頗フル猛烈ニシテ、同派ノ主ナル運動員ニハ出入ニ刑事事巡査追隨シ、夜間腕車ヲ飛シテ通行スレハ、必ス車ヲ留メテ種々ノ脅迫的尋問ヲ爲シ、演說會ヲ開催セントスレハ會場ノ妨害ヲ爲シ、或ハ演說者ノ辯論ニ注意ヲ與ヘ若クハ中止ヲ命ジ、尾崎學堂ト雖モ猶且ツ土崎湊ノ演說ニ於テ一警官ノ爲ニ注意セラレタリ

第二 區内各警察ハ各町村ノ消防組頭ニ對シ、村山候補ノ爲ニ運動スヘカラスト命令シ、一日市村ノ組頭小林楊藏ハ、五條目警察ノ壓迫ニ堪ヘスシテ、心ナラズ運動ヲ中止セントシ、富津内村ノ組頭大石安五郎ハ敢然命令ヲ拒ミタリ、命令ヲ傳ヘタル五條目警察ノ某巡査部長ハ大石ニ對シ、強テ村山候補ノ運動ヲ爲スニ於テハ取締上困難ニ付キ辭職セヨ」大石曰ク「然ラハ辭職セン、其理由ヲ何トスヘキカ」部長曰ク「都合上辭職スルコトニセヨ」大石「否」貴官申聞ケノ趣旨ヲ明記セン」部長「夫ハ否カ」結局押問答ニ終リタルカ、翌日同警察署森部長ノ送別會アリ、其席上ニ於テ大石ハ出席ノ同僚ニ對シ、前掲ノ頭末ヲ告ケタレハ、何レモ快ヲ連ネテ辭職セント申合せ、既ニ消防用具ヲ警察ニ返還セントシタルカ、警察署長ノ慰撫ニ依リテ無事解決シタリ

第三 南秋田郡書記鈴木久米治ハ、五月十二日同郡役所ノ選舉會ニ立會ヒ、政友派候補池田逸次ヲ當選セシメンカ爲メ、投票點檢ノ際密カニ憲政派村山喜一郎ノ完全ナル得票百二十餘票ニ黑點ヲ附シ、無效トナシタル疑アリトシテ有權者丸山松藏ヨリ告發セラレ、今猶未審理中ニ屬セリ、加フルニ投票讀上ケノ際村山ノ得票五十票ハ之ヲ讀上ケス、池田ノ得票五十票ハ重複ニ讀上ケタル形跡アリトシテ、二様ノ選舉訴訟提起セラレツ、アリ、斯ノ如キハ我邦選舉アツテ以來ノ珍事ニシテ同裁判ノ成行ハ大ニ世人ノ注目

スル所ナリ

福島縣ニ於ケル干涉

第一 官吏ノ選舉運動

(イ)内務部長佐藤信安ハ五月五日耶摩郡猪苗代町ニ出張スト稱シテ、同町長清水憐五郎ニ人力車雇切ヲ命シナカラ、同町ニ下車セス若松市ニ潜行シ、某料理店ニ投宿シテ密カニ市長松本時政、河沼郡長永山芳之助ト會見シ、密談ノ末若松市第五小學校長甲斐保之ヲ招キ、同市内學校職員ノ有權者六十八名ニ對シ、政友派候補日下義雄ニ投票セシメン事ヲ命シ、郡長永山ハ急キ歸郡シテ學事視察ノ名ヲ藉リ、各町村ヲ巡迴セリ、蓋シ政友派ノ候補八田選舉事務所ヨリ同日「八田危シ」ノ悲電飛來シタレハナリ

(ロ)内務部長佐藤信安ハ五月七日西白河郡ニ出張シ、政友派候補石射文五郎ノ參謀室角次郎、鈴木茂平ノ二名ヲ郡長室ニ招キ密談約三時間、具サニ選舉運動ヲ協議シタリ、因ニ同郡書記橋本甚四郎ハ憲政派ノ根據地田村郡出身ナルノ故ヲ以テ五月一日突然休職ヲ命セラレタリ

(ハ)佐藤内務部長ハ選舉數日前郡山町太田屋本店ニ出張滞在シ、警察署ノ各町村別豫想投票數ヲ徴シ、之ヲ政友派川口候補ニ授ケテ、運動上ノ便宜ヲ與ヘタリ

(ニ)元ノ福島警察署長高橋義信ハ公平誠直ニシテ市民ノ信賴深カリシカ、政府黨ハ之ヲ好マス、四月十三日何ノ理由ナク休職ヲ命シ、同縣高等課詰ノ本居警部ヲ其後任トナシ、五月五六日頃ヨリ多數ノ巡查ヲ指揮シテ、市内各有權者ノ意志ヲ問ヒ警察ノ威力ヲ以テ政友派ノ爲ニ勸誘シ、最モ巧妙ナル干涉ヲ爲シタルヲ、選舉終ルヤ否ヤ、同月二十二日ヲ以テ知事官房秘書課兼地方課ニ轉勤ヲ命セラレタリ、福島警察署長タルコト僅カニ四十日、畢竟干涉セシメンカ爲ノ交迭ナリシヲ推察スルニ餘アリ

(ホ)郡山町ナル大藏省專賣支局ノ有權者ハ本局ノ内命ニ依リ政友派ニ投票シタリ

第二 壓迫公益事業ニ及フ

安積郡消防各組頭ハ郡内有志ノ賛成ヲ得テ消防信用組合ヲ組織シ、縣ノ認可ヲ申請シタル所口、當局ハ其發起人カ憲政派ニ屬スル故ヲ以テ容易ニ認可ヲ與ヘス且ツ創立委員ニ對シ斷然政黨ノ關係ヲ絶テ選舉運動ヲ中止スヘシト諭示シタリ、之カ爲ニ組頭中ニハ已ヲ得ス憲政派栗山博ノ運動ヲ辭退スルモノアリ、而シテ同組合ノ理事ニ推薦セントシタル安積郡書記橋本甚四郎ニ對

シテハ、憲政系ノ疑ヒアリトシテ認可ヲ與ヘサルノミナラス遂ニ休職ヲ命シ、而シテ選舉ノ當日即チ五月十日ニ至リ、漸ヤク同信用組合ノ認可ヲ與ヘタリ

第三 警察官ノ干涉

(イ)第四區憲政派候補栗山博ノ主ナル運動員ニハ殆ント全部尾行巡查ヲ附シ、運動員カ有權者ヲ訪問スレハ、其後ヨリ談話ノ始終ヲ尋問シ、甚タシキハ憲政派幹部ノ左關ニ張番シテ出入者ヲ物色シ、行動ノ自由ヲ妨害シタリ、栗山博ノ推薦者法學士荒川淳カ偶マ某醫學士某銀行員ヲ自宅ニ招キテ圍碁ヲ戰ハシビール數本ヲ傾ケタリシニ、張番巡查ハ鬼ノ首ヲ取タル如ク署長ニ報告シ、署長ハ直チニ檢事局ニ訴ヘタルカ、檢事ハ之ヲ一笑ニ附シタリ

(ロ)第五區田村石川兩郡ニハ、特ニ取締應援ト稱シテ信夫伊達兩郡ヨリ多數ノ警官ヲ派遣シ、之ヲ憲政派優勢ノ地方ニ配置シテ、運動員ノ出動ヲ防止シ、政友派ニ對シテハ一切放任シテ顧ミサルハ他地方ト同様ナリシ

第四 公然選舉法ヲ犯ス

政府黨カ鐵道、道路、學校等ノ利益問題ヲ餌トシテ、選舉民ヲ籠絡スルハ全國同一筆法ナルカ、就中福島市ノ政友派ハ當面ノ問題トシテ

一、福相鐵道敷設問題ハ來議會ニ於テ福島市及ヒ信夫伊達兩郡各區ノ選出ニ係ル政友派議員ヨリ提案スル豫定ニシテ、政友會ノ多數ニ依リ支障ナク通過實行ノ期ニ入ルヘシト雖モ、萬一同地方ニ於ケル代議士ノ選出ヲ誤ル時ハ如何ニ運動スルモ遂ニ達成セサルヘシ云々

一、官吏優遇問題 現政府ハ官吏ノ優遇ヲ徹底的ニ斷行スルノ意志アリ、來議會ニハ必ス提案セラルヘク、物價ノ低落ト相俟テ生活ノ安定ヲ期スヘシ云々

右ハ印刷シテ各有權者ニ配布シ、且ツ口頭ヲ以テ勸誘シタルカ、若夫左愛媛縣ニ於ル村松恆一郎ノ四國循環鐵道問題カ、選舉法違犯トナル以上ハ、福島市ニ於ケル福相鐵道問題モ選舉法違犯タル可シ、然ルニ同地ノ官憲ハ全然之ヲ不問ニ附シタリ

第五 郵便局謝罪ス

相馬郡憲政派候補佐藤富十郎ハ四月二十九日小高町ニ於テ政見發表會ヲ開催スル旨端書通知狀ヲ附近ノ各村落ニ發送シタルカ、二十八日夜ニ入ルモ、各受信人ニ到達セサルヨリ、西村兵太郎時田岩太郎二人小高郵便局ニ就キ調査シタルニ、該郵便物ハ正ニ局内ニ停滯シアルヲ發見シタリ、同局長ハポストノ網ニ引懸リ居タ

ル爲ニ配達遲延シタリト辯明シ、結局謝罪狀ヲ差出シテ同夜中ニ配達シタリ、猶ホ右ノ演說會ニ出演ス可キ雙葉郡龍田村ノ小松幹夫ニ充テタル電報ハ四月二十九日午後一時小高局ニ交付ケナカラ、之ヲ受信人ノ居村龍田驛ニ發送セスシタル數里ヲ隔テタル廣野局ニ送り、同局ヨリ郵便配達トナシタル爲ニ、翌三十日午後四時ニ到達シ、演說會ニ支障ヲ來サシメタリ

熊本縣ニ於ケル大干渉

第一 選舉ニ干渉シ官紀ヲ紊亂ス

熊本縣知事川口竹治ハ大正八年七月衆議院議員補關選舉ニ際シ、天下ニ隱レナキ大干渉ヲ試ミタルニ拘ハラス、遂ニ政府黨ノ失敗ニ歸シ、且ツ其結果ハ縣會及縣民多數ノ排斥運動ヲ惹起シタルカ、今回ノ選舉ニ方リテハ先ツ道路視察ヲ名トシ、郡長ヲ先導シテ各郡ヲ巡視シ到ル所ノ人民ニ對シテ道路ノ開通ヲ希望セハ、縣知事ノ歡心ヲ買ヒ、政府黨ノ左袒スルノ外ナシト、暗示ヲ與ヘタリ、去レハ多數ノ縣官ハ機會アル毎ニ政友會ノ爲メニ奔走シ特ニ内務部長、學務課長、學務屬等ハ中等程度學校職員ヲ威壓シテ政友會候補者ニ投票セシムルコトニ努メタリ

各警察署ニ於テハ苟クモ憲政會側ノ有權者ト見レハ過去ニ於ケル微細ノ過失ト雖モ嚴重ニ調査シ政友會ノ希望ニ副ハサルモノハ直チニ之ヲ告發スヘシト脅迫シ警察ノ威令ノ及フヘキ營利例ヘハ質屋、古物商、料理屋、宿屋、理髮屋、湯屋等ヲ營ム者ニ對シテハ、不意ニ出張シテ物品及ヒ帳簿ヲ峻嚴ニ調査シ、營業者ヲ警察ニ召喚シ、若シ憲政會ノ爲メニ運動スルトキハ後日不利益ナルヘキ旨ヲ告ケテ運動ヲ中止セシメ、脅威ヲ怖レスシテ政友會ニ降ラザリシカ爲メニ突然告發セラレタルモノ數十名ニ上リ、或ハ警察ノ干渉ヲ憤慨シテ質屋營業ヲ廢業シタルモノモ有リ、憲政會派ノ事務所ニハ全部刑事ヲ立番セシメ、運動員ノ主ナルモノハ私服巡查ヲ尾行セシメ、以テ其運動ヲ牽制シ、一面政友會側ニ對シテハ一切之カ取締ヲナサ、ルノミナラス、警察官ト政友會運動員トノ間ニハ「松ト問ヘハ竹ト答フル」合言葉ヲ定メテ、陰ニ之ヲ援助シ、憲政會運動員ハ頗ル危險ヲ感シ、九日夜ノ熊本市ノ如キハ殆ト無警察ノ狀態ニ陥リ、遂ニ檢事局全員及ヒ憲兵ノ出動ニヨリテ漸ク小康ヲ保チ得タリ

特ニ熊本市ノ選舉ニ關シテハ、小橋内務次官カ在官ノマ、競争渦中ニ投シタル爲メ、如何ナル名義ノ下ニ出張シタルヤ不明ナルモ、東京府内務部長岩田衛、内務屬矢野寛、文部屬宮川宗徳、内務省書寫官佐上信一、群馬縣内務部長馬場一衛、農商務屬西川正雄、東京太平

署長坂口鎮雄、東京府警視總方惟一、大分縣某郡長荒木猛、水戸商業學校長澤村秀夫其他中央地方ノ官吏熊本市ニ滞在シテ小橋一太ノ爲メニ選舉運動ニ從事シタルモノ八十名ヲ以テ算ス
管々不法干涉ノ罪科ノミニ非ス、實ニ官紀ヲ紊亂スルノ甚シキモノト謂フ可シ

第二 警察官ノ干涉實例

第一例 熊本警察署署長ハ吉田良弼ヲ召喚シ「汝ハ古物商ノ出願ヲ爲サシテ道具類ノ賣買ヲナセルヲ以テ告發スヘシ」汝ハ憲政會ノ運動ヲ爲ス由ナルカ選舉人ノ心得ニ前科者ハ運動者タルコトヲ得サル旨記載アルニヨリ若シ中止セサレハ浮浪罪トシテ拘留スヘシ云々ト申渡シタリ、側ニアリタル渡邊警部補ハ「將來種々ノ便宜モアル可キニヨリ、此際運動ヲ中止シテハ如何」ト勸告シ吉田ハ止ヲ得ス戸別訪問ヲ中止センコトヲ誓言シテ辭去シタリ、森署長猶ホ心ヲ安ンセス九州日日新聞記者ヲ召喚シ「吉田ハ前科者ナレハ運動ヲ中止セシムヘシ」ト談シタリ
其後森署長ハ吉田ノ身邊ニ二名ノ刑事ヲ附シ出入毎ニ連行セシムルニヨリ、辯護士本田柳藏ハ檢事正ニ狀ヲ具シテ警察ノ不法干涉ヲ訴ヘ檢事正ハ警察ニ向ツテ尾行ヲ廢スヘキ旨注意ヲ與エタルモ尙之ニ從ハサルノミナラス、署長ハ更ニ吉田ヲ召喚シ「今尙ホ運動スル手」ト叱責シ、刑事宿直室ニ四時間以上留置シタル而シテ吉田ノ留守宅ニハ警官屢々入り來リ其妻ニ對シテ「保安課ヨリ呼ビ出シ來レリ」等無根ノ事實ヲ告ケテ婦人ヲ恐怖セシメタリ

第二例 鹿本郡山鹿町古物商某ハ夜中料理屋ニ呼ビ出サレ警察署長ヨリ「政友會ニ入黨セサレハ營業上不利益ナルヘシ」ト強要セラレタリ
第三例 熊本警察署署長ハ同市水道町ノ古物商米村茂一郎ニ對シ「若シ憲政會ノ爲メニ運動セハ今後商賣上ノ取締ヲ嚴ニスヘシ」ト稱シ其運動ニ中止セシメタリ

第四例 菊池郡大津町分署長甲斐直人ハ何等ノ理由ナク憲政派ノ石原榮五郎ヲ召喚シ同人家區長トナリタル理由等ヲ訊問シテ選舉運動ヲ妨害シタリ、猶ホ同分署長並ニ某巡查部長ハ屢々政友會事務所ニ出入シ或ル時ハ頗ル醜陋シ居タリ
第五例 天草郡魚貴村駐在巡查ハ村內ノ有權者ニ對シ「憲政會ニ投票スレハ夏季中裸體ニナリテモ又牛ノ挽キ様カ惡クテ罰スル」ト威迫シタリ

第六例 蘆北郡二見村ノ駐在巡查ハ制服ノ儘「何人ニ投票スルカ」ヲ戸毎ニ調査シタリ
第七例 天草郡高戸村駐在巡查岩本安太ハ酒類小賣商辻本三造ニ對シ屢々選舉スヘキ人名ノ表示ヲ強

要シ最後ニハ三造ノ妻ニ對シ「今度ノ下リ船ニテ本渡警察ニ報告セサルヲ得サルニ付キ其時刻迄二人名ヲ通知セサル時ハ爾來營業上ノ檢査ヲ嚴重ニスヘシ」ト申渡シ三造ハ已ヲ得ス「池田泰親(政友會候補)ニ入レマス」ト書キ娘ヲシテ巡查駐在所ニ届ケシメタリ
第八例 球磨郡渡村ノ駐在巡查ハ憲政派選舉事務所ノ主人山口岩作ヲ呼ビ出シ「選舉ニ關係スレハ違反事件ヲ惹起スルニヨリ馬鹿ヲ運動ヲ止メヨ」ト說示サレ遂ニ同事務所ヲ閉鎖スルニ至レリ

第九例 飽託郡本庄村ノ駐在巡查ハ屢々政友會ノ事務所ニ於テ飲食シ同村質屋荒尾新藏、米穀商福岡政一郎ニ對シ憲政派ニ與スレハ營業上ノ利益ヲ蒙ルコトアルヘシト說示シテ運動ヲ中止セシメタリ
第十例 玉名郡高瀬警察署ノ本田巡查部長ハ同郡東郷村ニ於テ多數人民ニ向ヒ普通選舉ハ危險思想ニシテ之カ爲メニハ陛下モ敬慮ヲ惱マシ給フ等ヲ公言シ皇室ニ政爭ノ累ヲ及ホサントスルカ如キ口吻ヲ以テ政友會ノ爲メニ勸誘シタリ

第十一例 鹿本郡植木警察分署長ハ政友會ノ爲メニ飽託郡川上村ノ谷富某ヲ說キ「憲政會ノ運動員大塚某ニハ巡查一名ヲ附シ置クニ付キ、君ハ同巡查ト共ニ大塚ヲ監督サレタリ」ト語リタリ
第十二例 熊本市横町ノ政友會事務所ニ於テ二名ノ巡查カ酒食ノ饗應ヲ受ケタル事ヲ憲政會運動員ニ探知セラレ驚キテ告發セサル如ク嘆願シタリ

第十三例 飽託郡清水村ノ駐在巡查桑原某ハ同村大字本村ノ林萬太郎ニ對シ「汝ハ同村字免谷ノ中山ヨリ金ヲ貰ヒタルヘシ」ト嚇シ右ノ中山ニ對シ「汝ハ本村ノ林ニ金ヲ與ヘタニ相違アルマイ」ト詰リ兩人ヲ威伏セントシタルモ固ヨリ虛構ノ事ナレハ兩人ハ何ノ憚ル所ナク否定シタリ
更ニ同巡查ハ同村字本村本田敬次郎ニ對シ「汝ノ選舉違反ハ鎮西館憲政會熊本支部ノ帳簿ヲ調フレハ直ニ分明ス可シ速ニ白狀セヨ」ト誣ハタルヨリ敬次郎ハ直ニ憤慨シテ同巡查ヲ叱責シ巡查ハ赤面シテ退出シタリ

第十四例 憲政派運動員ノ主ナルモノニハ概ネ尾行巡查ヲ附シテ行動ノ自由ヲ妨ケタリシカ熊本市ノ管村三之ニ對シテハ募參ノ場合ト雖二名ノ巡查影ノ形ニ隨フ如クニ附隨シ甚シキハ憲政會支部即ニサヘ侵入シタリ
第三 警察官巧ニ檢事ヲ欺ク
五月九日ノ夜熊本市政友會小橋一太ノ運動員ハ同派雇切リノ自働車ヲ以テ應接ノ刑事巡查ヲ迎ヘンカ爲メニ洗馬派出所ニ至リ數名ノ刑事ヲ乘セテ進行中取締ノ爲メ出動セル檢事ノ自働車ト行合ヒ檢事ハ停車ヲ命ジテ何人カ乗リ居ルヤヲ問ヒタルニ、自働車ハ警察ノ專用

ニシテ搭乗者ハ全部警察官ナリト答ヘ、其儘通過セントシタル所ヘ憲政會員橋本壽七通りカ、リ其ノ虛欺ナル事ヲ檢事ニ注意シタルヲ以テ檢事ハ再び停車ヲ命シ車內ヲ取調ヘタル結果政友會運動員藏原惟祖ノ同乘シ居ルヲ發見シ檢事ハ警察官等ノ氏名ヲ聞キ取りテ引上ケタリ

第四 熊本ノ無警察三項

(イ)投票ノ前日熊本市政友會小橋一太ノ運動員カ自働車ヨリ市中ニ宣傳ビラヲ撒布シタルヲ以テ憲政會ノ山田珠一派モ亦自働車ヲ驅リテ同様ノ撒布ヲシタルニ、各巡查派出所ハ一々憲政派ノ自働車ニ停車ヲ命シテ定員以上乗車セサルヤ否ヤヲ取調ヘ機敏ナル運動ヲ妨ケタリ、之レニ反シテ政友會ノ自働車ニハ定員以上群リ乘リテ大旗ヲ立テ萬歳ヲ大呼シ甚シキハ兇器ヲ携ヘタル醉漢搭乘シ居ルニ拘ラス警察官ハ更ニ之ヲ制止セス憲政會側ヨリ再三注意ヲ與フルモ、何等カ所ナカリシ、龍田口巡查駐在所ニテハ、阿部三郎ノ注意ニヨリ森署長ノ許ニ電話シ政友會ノ暴狀ヲ報告シタルニモ拘ハラス、何等ノ取締ヲ爲サ、ルヲ以テ阿部三郎參長ハ斯ル事實ヲ認メ、又何等ノ報告ニモ接セスト放言シタル然レニ夜ニ入りテ政友派ノ暴狀益々甚シク全然無警察ノ狀況ヲ現出シタルニ依リ憲政會ニテハ其狀況ヲ檢事局ニ訴ヘ檢事全員ノ出動トナリタルカ、逸早く警察ヨリ政友派各事務所ニ之ヲ通知シタルモノト見エ檢事ノ法網ニ罹ルモノ少數ニ止リシハ洵ニ長蛇ヲ逸スルノ感アリ

(ロ)熊本市內流長院ニ於テ政友派ノ演說中憲政派近森茂力「政友會ニハ缺點アリ」ト唱ヘタルニ巡查數名ハ同人ヲ場外ニ呼ビ出シ毆打負傷セシメタリ、此ノ事ハ檢事局ノ聞ク所トナリ取調ノ結果證據明白ナリシモ被害者ハ告訴ノ希望ナキヲ以テ加害者ニ訓戒ヲ與エタルノミニテ不起訴トナリタリ

(ハ)五月十日宇土郡不知火村ノ投票場ニハ前科十三犯ノ惡漢カ、數名ノ特殊部落民ヲ率ヒテ門前ニ立チ塞リ憲政會員ト見レハ鐵拳ヲ振テ毆打シ或ハ儉ヲ吐シカケ言語ニ斷ヘタル暴行ヲナスモ警察官ハ何等取締ヲナス候補者、山移定政藤井敬慎ノ兩人警察署ニ出頭シテ交渉シタルモ人員不足ノ故ヲ以テ之ニ應セス遂ニ檢事局ノ聞知スル所トナリ檢事出張取調ノ上事實明確トナレリ

(イ)飽託郡河內村々會議員六名ハ政友會熊本支部ニ於テ同派ノ候補者高木第四郎ニ面會シ河內道路改修ニ關スル協議ヲナシ歸村後數回ノ協議ヲ重ネ五月四五日頃同村長ハ飽託郡長ト共ニ三川口知事ニ面會

之河内道路ハ必要ナリ現在ノ二間中ヲ更ニ一問半擴大スヘシトノ言質ヲ得其歸途村長ハ熊本市明十橋通り片澤民八方ニ於テ、高崎新橋、鑑數馬、宮本某等ト共ニ高木第四郎ニ面會シテ子モ亦知事同意アルナリ大ニ盡力スヘシトノ言明ヲ得タリ其結果政友派ニ加擔スルモノ少カラス

(ロ)天草郡本村々長倉田以文ハ五月八日各區長及ヒ各區員一名宛ヲ召集シ特ニ郡長ノ臨席ヲ求メテ、同村ノ道路ヲ郡道ニ編入センコトヲ協議シ終リテ郡長歡迎ノ酒筵ヲ開キ村長助役警官各區長並ニ有志列席シタルカ是レ選舉投票期日前二日ノ事ナリ、其目的ノ存スル所多言ヲ要セス

第六 郡吏ノ選舉運動

五名郡長村山則貞ハ昨年ノ衆議院議員補缺選舉ノ際部下ノ吏員ニ對シテ政友派ニ投票セン事ヲ強要シ遂ニ中央ノ政治問題トナリ床次内相モ已ヲ得ス相當ノ處分ヲ爲スヘシト言明シタリシカ今猶ホ依然トシテ其職ニ在ルヲ幸トシ今回ノ總選舉ニ際シテハ郡書記冲末ナルモノニ對シ其居村月瀬村大字青木ノ有權者全部ヲ政友派ノ爲メニ總メンコトヲ命ジカ爲メハ勸務ヲ缺クモ敢テ尤メスト懲罰シタリ、先ツ同村ノ助役辛島德藏ヲ説キ辛島ノ承知ナキニ拘ハラヌ區民ニ對シテハ既ニ其ノ甘諾ヲ得タリト吹聴シ實費支辨ト稱シテ奇怪ナル條件ノ下ニ區民全部ノ連名簿ヲ調製シ遂ニ悉ク調印セシメタリ其ノ後五名郡書記堀亮策ナルモノ齊シク村上郡長ノ命ヲ受ケ運動監督ノ爲メニ同地ニ出張シ前配ノ連名簿ヲ一見シ曰ク是レ何ノ名簿カ借金ノ連名カ選舉ノ推薦カニ而シテ自ラ筆ヲ採リ「政友會入黨名簿」ト表記シタリ、然ルニ區民中ノ主立タル立野卯平次、辛島安太、同德藏、同菊太、同喜代之、坂本才平、冲末、前田卯吉立野文藏等集會協議シタルカ政友會反對ノ意見ヲ有スルモノ少カラス爲メニ全村一致ハ破レ前記名簿ハ選舉法違反ノ恐アリトシテ燒棄シタリ

第七 通信機關ノ不都合

憲政會熊本支部並ニ幹部員ト在東京安達謙藏ノ往復文書ハ全部開封取調フヘキ旨「秘密命令」アリタル趣ハ當局内部ヨリ漏レタル奇怪事ナルカ果セル哉同支部ニ配達セラルル郵書中ニハ一旦開封シタル後更ニ糊ツケシタル形跡アルモノ寡カラス

五名郡憲政會候補松村龜源ハ四月九日數千通ノ推薦狀ヲ高瀬局ヨリ發送シタルカ江田村局取扱分二千通木葉局區内ノ分一千通ハ高瀬ヲ距離僅ニ二里内外ノ行程ナルニ拘ラス數日ヲ經テ猶ホ配達セラレズ依テ四月十三日村井信實、藤村末彦兩人ヨリ熊本通信局ニ對シテ照會スル所アリ同局ハ同月二十二日ニ至リ左ノ如ク回答シタリ

臨監第七號回答

大正九年四月二十二日

熊本通信局

村井 信實

郵便物配達遲延ノ事

本月十三日申出相成候高瀬局ハ御差出ニ係ル江田及木葉局區内配達郵便物遲延ノ件ハ即日局員ヲ特派シ嚴重調査セシメタル處兩局共一時郵便物激増シタルト臨時者雇上ケ困難ノ爲メ幾部ノ配達ヲ遲延シ候コト判明セシヲ以テ直ニ相當手配ノ上配達セシムルコトニ取計置申候條不惡御諒察相煩シ度候

追テ本件事故ノ責任者ニ對シテハ相當措置スルト共ニ今後ノ配達方ニ對シテハ嚴重警告シ置候條爲念申添候

第八 投票ノ左側ニ小橋一太

縣廳内ノ官吏ハ投票用紙ノ左側ニ「小橋一太」ニ記入スヘキ旨内訓アリト喧傳サレタリシカ果セル哉左側記載ノ投票券カラサリシ事ハ開票立會人ノ認ムル所ナリ此ノ一事ヲ以テモ如何ニ干渉サレシカラ證スルニ足ルヘシ

事實

一 大正九年五月行ハレタル衆議院議員總選舉ニ當リ鹿兒島市ニテハ政友會候補者床次竹二郎ト憲政會候補者春島東四郎トノ競争アリタリ

二 床次竹二郎ノ方ハ政友會ト實業親睦會市民親睦會ヨリ推薦ノ形式ニナリ居ルモノ其ノ實該幹部ノ專決セシモノ四月二十三日春島カ政見ヲ發表シテ言論戰ヲ以テ猛烈ナル攻擊態度ニ出テ間隙ニ至リ形勢頗ル有望ノ狀況ヲ呈シタル爲メ床次派ノ最高幹部ハ非常ニ狼狽シ自ラ各町ニ奔走シ且ツ六百ノ運動員ヲ指揮シテ殊ニ銀行員ヲシテ取引先ニ勸誘セシムル等惡辣ナル運動ヲ試ミタルカ形勢尙樂觀ヲ許サル狀態ナリシナリ

三、仍テ選舉前日タル五月九日午後五六時頃ヨリ夜半ニ涉リ床次竹二郎ヲ發信人トシ發信局ヲ「東京」トセル電報「何卒御投票ヲ願ヒマス」トイフ悲鳴的文句入ルハ三千餘ノ市内有權者ニ配達セラレタリ

四、然ルニ右ハ其ノ實鹿兒島市ニ於ケル床次派選舉事務所ニ於テ午前十一、二時頃ヨリ三千餘通ノ額信紙ヲ乞ヒ受ケ同事務所ニ於テ之ニ記入シタル上鹿兒島郵便局ニ之ヲ發信ヲ托シ鹿兒島郵便局即チ之ヲ受理シ同局ニ於テ發信ノ科ト明白ナル事實ナリ

四、右ハ春島派ニ於テ九日午前十時頃選舉ニ關スル印刷文書ヲ有權者ニ配付スル爲メ三千餘通ヲ郵便局ニ差出シタル後此ノ事床次派ノ運動員ニ洩レ其ノ實郵便局ヨリ通知シタリト「說アリ」之ヨリ床次派ノ幹部之カ對抗策トシテ俄カニ前記ノ手段ヲ採リタル狀況ナリ

六、前記ノ次第二テ前記三千餘通ノ電報ニ其ノ實鹿兒島局ニテ受理シ同局ニテ發信シタルニ拘ラス發信局ヲ「東京」ト掲ケタルハ其ノ公文書偽造ノ犯罪ヲ構成スルコト寸毫モ疑フヘカラス

七、床次氏カ大毎記者ニ語ルトコロニヨレハ便宜ノ取扱方法トシテ至當ナリトアルモ然レトモ(一)電報ノ配達時間ヲ指定シテ豫メ之ヲ起信シ置ク規定アリ此ノ事ハ鹿兒島局長其以前注意シタルコトアリ床次派事務所ニモ勿論注意シタルナラシ免ニ角此カ爾便法アルコト明カナリ(二)若シ俄カニ發電ノ必要アリトシテ實際鹿兒島局ニテ受理發信スル場合ニ事實通り發信局ヲ同局トシ發信人ヲ床次竹二郎トスルニ於テ通信ノ目的ヲ達スルニ於テ何等ノ支障アル筈ナク特ニ之ヲ東京局ト詐ルヘキ便宜ノ理由ヲ存セス

八、右ノ次第二ナルニ付該電報ニ發信局ヲ東京ト偽造セルハ動シテ通信ノ便宜問題ニテ其ノ實ハ唯選舉運動上ノ有權者ヲ欺瞞シタリシ其ノ氣受ケヲヨリ多ク良好ナラシメントスルノ奸手段ニ外ナラス

蓋シ若シ事實通り鹿兒島局ヲ發信局トスレハ受信人ヲシテ床次派ノ運動員カ床次、名ヲ以テ發信シタルカ如ク疑ハシメ彼レ是レ痛切ノ感ヲ惹起サシナルニ反シ之ヲ東京局トスレハ床次氏自ラ東京ヨリ總々發信シタルモノト認メ受信人タル選舉人ノ情ヲ動カスコト多大ナルヘキハ何人モ見易キコトナルヲ以テ右類信者ハ深ク茲ニ慮リテ前記ノ類信ヲ爲シ郵便局ニ於テモ固ヨリ右ノ事情ヲ當然ニ知悉シテ電報偽造ノ行爲ニ出テタルハ明カニ推測セラルトコロナリ

九、現ニ之カ爲メ春島ニ投票スヘキ選舉人カ之ニ動キテ其ノ意思ヲ顯シタルモノ多シ春島ニ投票スル意思ヲ有セシ或人ノ如キハ右電報ヲ受ケタル後チ一タヒ情ニ動キテ床次ヲ選舉スル意思トナリタルニ偶前記夜間電報タルコト洩レ聞キテ更ニ初志ニ復シタリトノ事實アリ以テ偽造電報ノ影響ヲ察スヘキ以テ偽造者ノ考慮ヲ知ルヘシ

十、右ノ次第二テ前記官文書偽造ノ電報カ其ノ影響ノ大ナルハ勿論其ノ犯罪動機ノ貴重ナル選舉權ノ意思ヲ左右セントスル謀計ニ出テ斷シテ恕スヘカラスル情狀ヲ具スルモノナリ

十一、且ツ夫レ電報ノ記載ハ通信信用上重大ナル關係アリ若シ前記ノ如キ偽造ヲ看過ストセハ例セハ鹿兒島市ノ某株屋カ探偵ニ關シ多數ノ關係者ニ發電スルニ當リ其ノ實鹿兒島局ニテ發信シナカラ發信局ヲ東京又ハ大阪トスヘキ依頼シ郵便局亦之ニ應シテ電報ヲ偽造スルモノトセンカ其ノ影響極メテ重大ナルニ拘ラス尙之ヲ看過スルヲ至當トスヘシ若シ之ヲ看過スルヲ得ストセハ本件電報偽造行爲ハヨリ以上之ヲ看過スヘキニアラサルナリ

十二、政府黨候補者ニ便スル爲メ通信機關カ公文書偽造ヲ敢テスルコトノ官紀上恕スヘカラスハ勿論司法官憲ハ之ヲ知リテ檢舉ニ出テサルコトノ我司法權ヲ犯タルノ不法ナルコト是レ亦恕スヘカラス聖代ノ汚點ナリ